

平成30年度  
家庭ごみに関する市民意識アンケート調査  
調査結果報告書

平成30年12月  
新潟市廃棄物政策課



## 目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 集計・分析にあたって	3
5. 回収結果	4
6. 区（行政区）の範囲	4
7. 回答者の特性	5
8. 回答者の特性（地区別集計）	7
II 調査結果	11
1. ごみの分別・減量について	13
（1）ごみの分別について	13
（2）生ごみの水分を減らす工夫について	17
（3）プラマーク容器包装の処分方法	21
（4）雑がみの処分方法	25
（5）「古紙類」として処分する時に気をつけたこと	29
（6）枝葉・草の処分方法	33
（7）「枝葉」の分別収集の利用回数	37
（8）「草」の分別収集の利用回数	41
（9）「使用済小型家電拠点回収事業」の利用状況	45
（10）「使用済小型家電拠点回収事業」を利用しなかった理由	49
2. 情報入手について	54
（1）市が発信している情報の入手手段	54
（2）「サイチョのごみ分別アプリ」の使いやすさ	59
（3）ごみの分別の確認方法	62
3. 3R（スリーアール）意識について	67
（1）3Rの認知度	67
（2）ふだん行っているリデュースへの取組み	71
（3）買い物でのレジ袋の取得状況	76
（4）レジ袋をもらう理由	80
（5）ふだん行っているリユースへの取組み	85
4. 食品ロスについて	90
（1）自宅で発生する「食品ロス」の内容	90
（2）自宅で発生する「手つかず食品」の内容	94
（3）「手つかず食品」が発生する理由	100
（4）「賞味期限」と「消費期限」の違いの認知度	104
（5）「賞味期限」が切れた食品への対応	108

(6) 「食品ロス」を出さないために行っていること .....	112
(7) 会食の際に食べ残しが発生する原因への考え .....	117
5. 燃やすごみの収集について .....	121
(1) 燃やすごみを出す頻度 .....	121
(2) 燃やすごみを週3回出す理由 .....	125
6. 市のごみ処理施設へのごみの持ち込みについて .....	129
(1) 市の処理施設への持ち込み有無 .....	129
(2) 燃やすごみ又は燃やさないごみを市の処理施設に持ち込んだ理由 .....	133
(3) 粗大ごみを市の処理施設に持ち込んだ理由 .....	138
(4) 市の処理施設へのごみの持ち込み頻度 .....	143
7. 家庭ごみ処理手数料（有料指定袋）収入の用途について .....	147
8. 地域と協働で取り組む美化活動について .....	151
(1) 「クリーンにいがた推進員」の認知度 .....	151
(2) 清掃活動への参加頻度 .....	155
III 調査票様式 .....	159

# I 調查概要



## 1. 調査の目的

この調査は、市民のごみの分別や減量などについて把握し、今後のごみの減量や資源化についての計画（新潟市一般廃棄物処理基本計画）を策定するための基礎資料として活用することを目的として実施する。

## 2. 調査の項目

- (1) 対象者属性  
＜本質問 7 問＞
- (2) ごみの分別や減量などについて  
＜本質問 22 問 補助質問 11 問＞

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域。
- (2) 調査対象：平成 30 年 7 月末現在の住民基本台帳に登録されている満 18 歳以上の市民。
- (3) 標本数：4,000 人。
- (4) 抽出方法：層化二段系統抽出法（電子計算機マスターファイルからの等間隔抽出）。
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の送付・回収とも）。
- (6) 調査期間：平成 30 年 9 月 28 日～10 月 12 日（調査票上の締切日）。

## 4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 結果は百分率（%）で表示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した結果、個々の比率が合計 100%にならないことがある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

## 5. 回収結果

### (1) 区（行政区）について

新潟市は平成 19 年 4 月の政令指定都市移行にともない 8 つの区（行政区）を設置している。

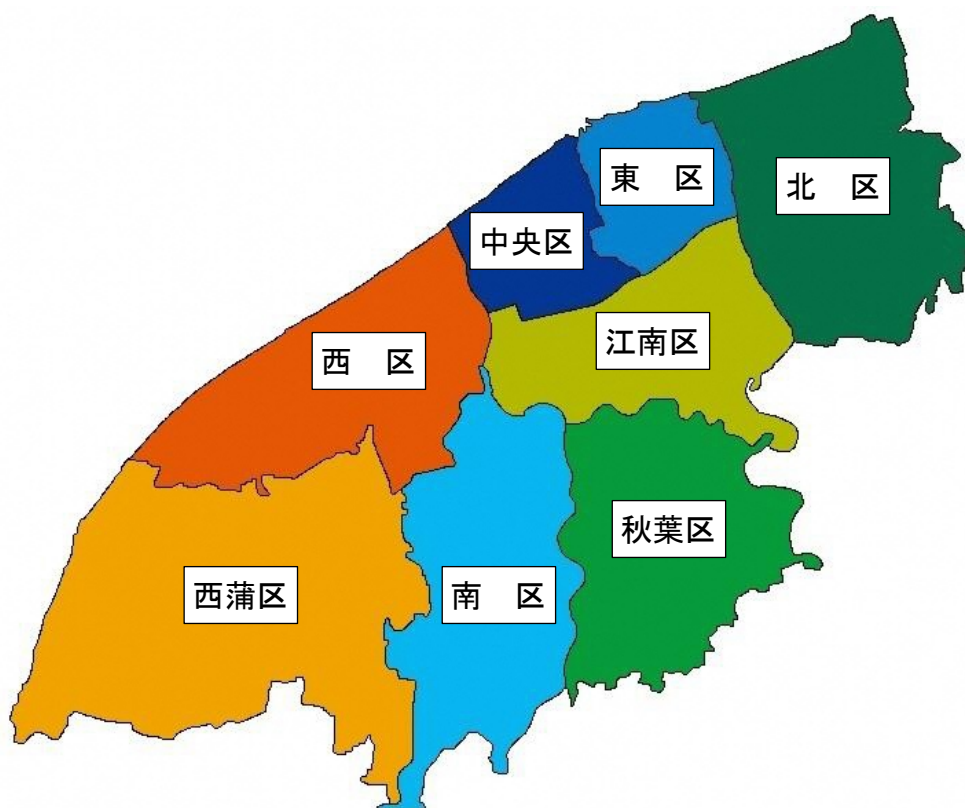
今回の調査では、対象者の居住地を 8 つの「区（行政区）」（次頁区分図参照）に分け、集計・分析を行った。

### (2) 回収結果

※母集団（人）は平成 30 年 7 月末現在

	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有効 回収数	有効 回収率
市全体	793,902	100.0%	4,000	2,277	56.9%
北区	74,578	9.4%	386	235	60.9%
東区	137,294	17.3%	723	390	53.9%
中央区	176,400	22.2%	895	518	57.9%
江南区	68,895	8.7%	339	202	59.6%
秋葉区	77,234	9.7%	389	216	55.5%
南区	45,043	5.7%	206	110	53.4%
西区	157,033	19.8%	765	446	58.3%
西蒲区	57,425	7.2%	297	155	52.2%
区名無回答				5	

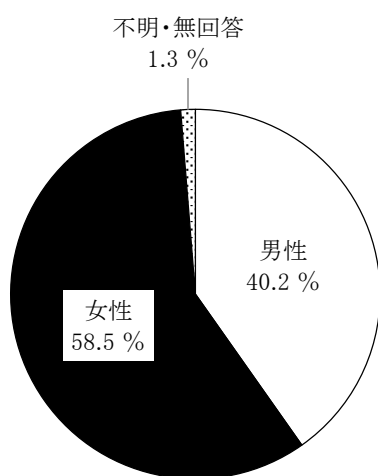
## 6. 区（行政区）の範囲



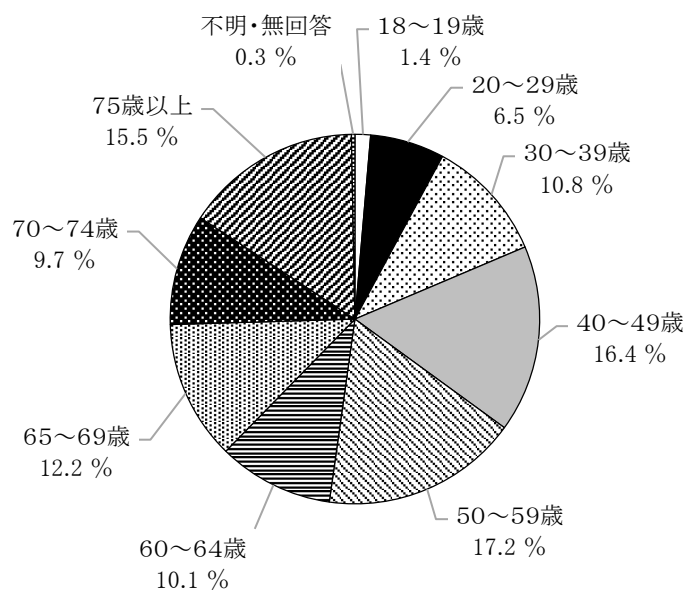


## 7. 回答者の特性

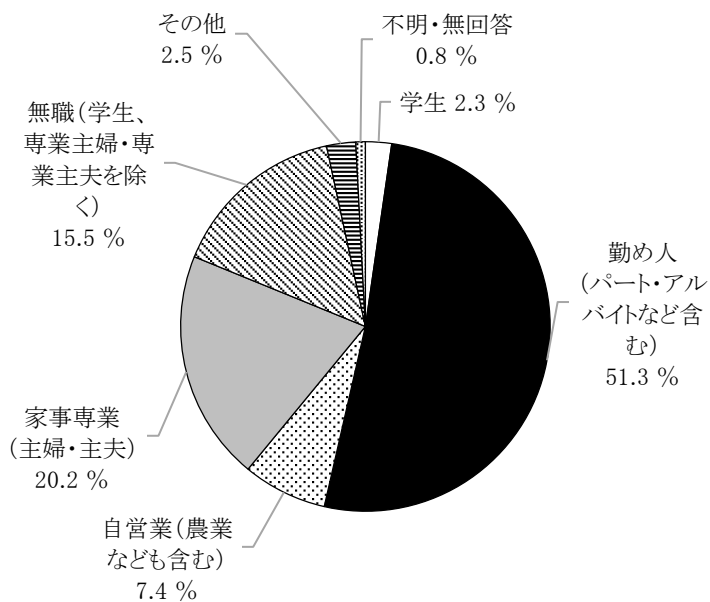
### ◆性別



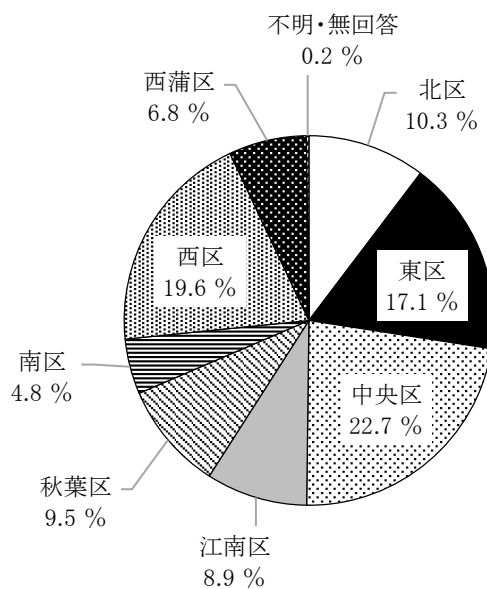
### ◆年齢別



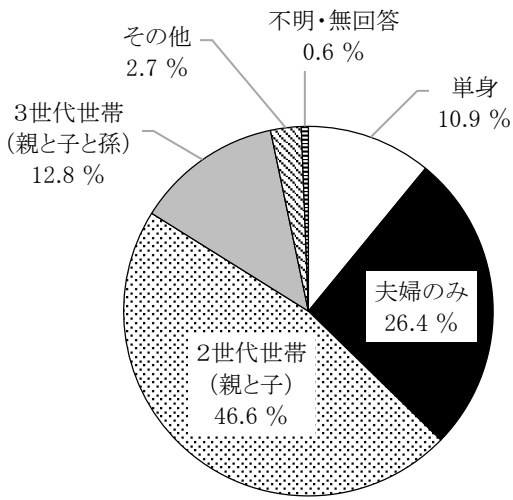
### ◆職業別



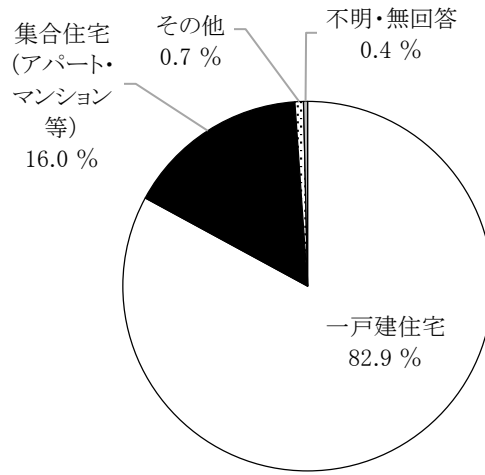
### ◆地区別



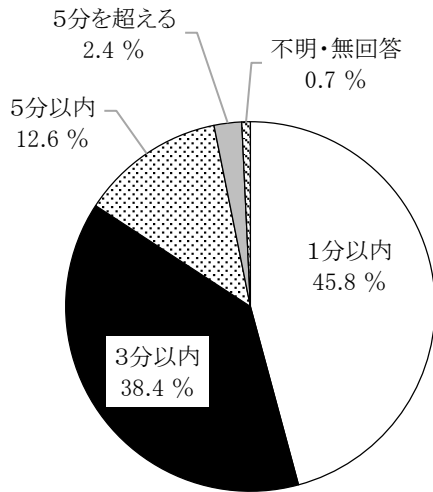
◆家族構成別



◆住居形態別

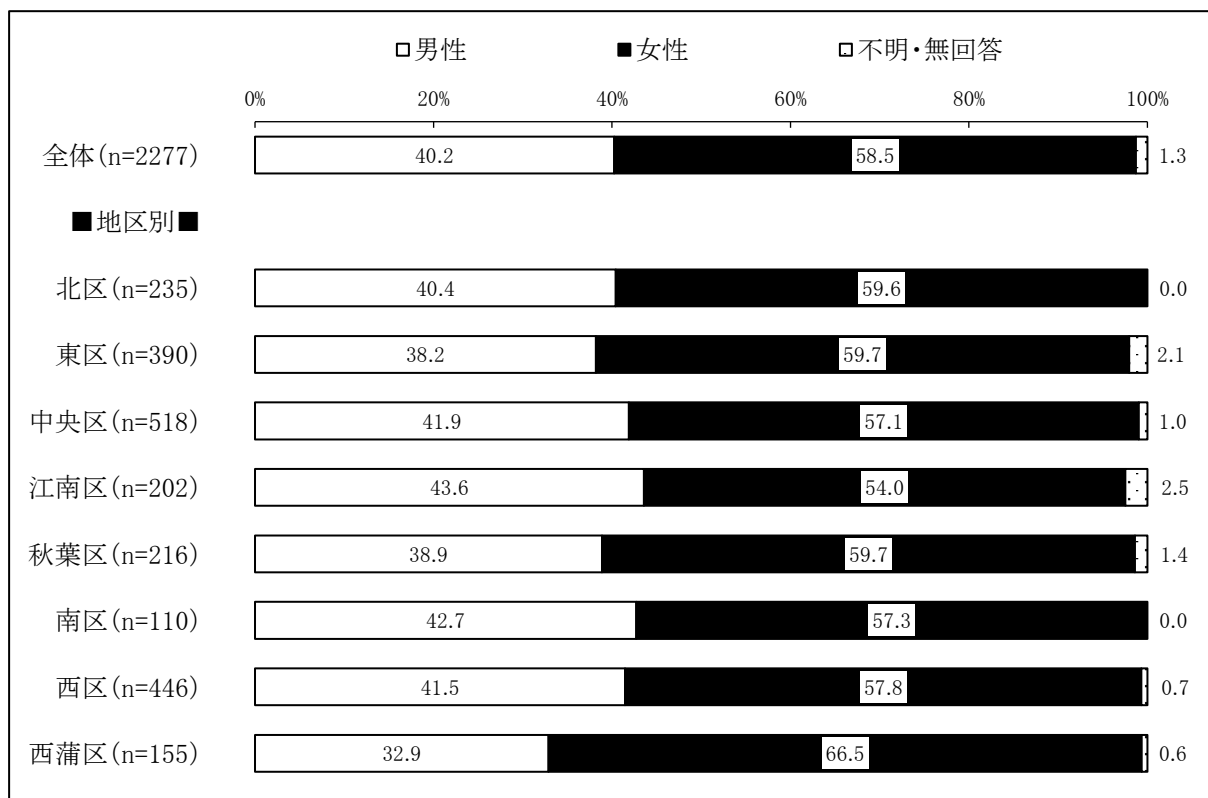


◆ごみ集積場までの所要時間別

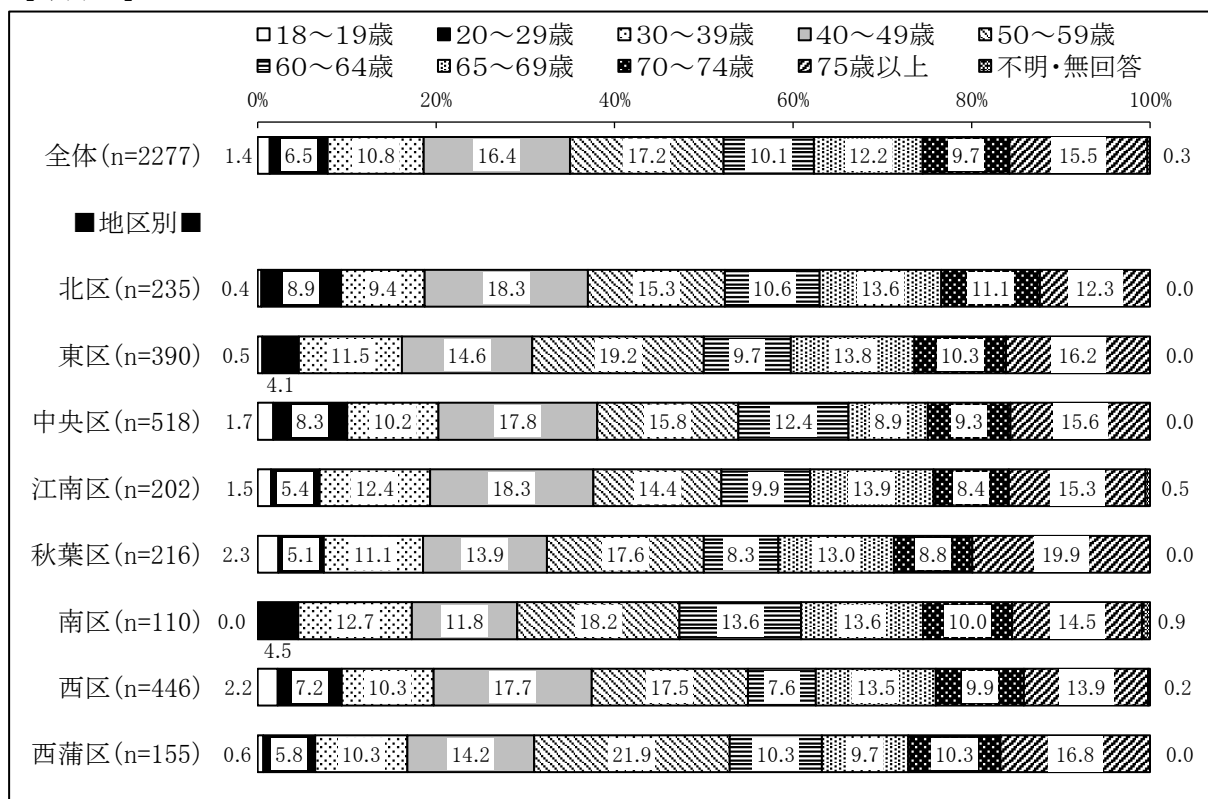


## 8. 回答者の特性（地区別集計）

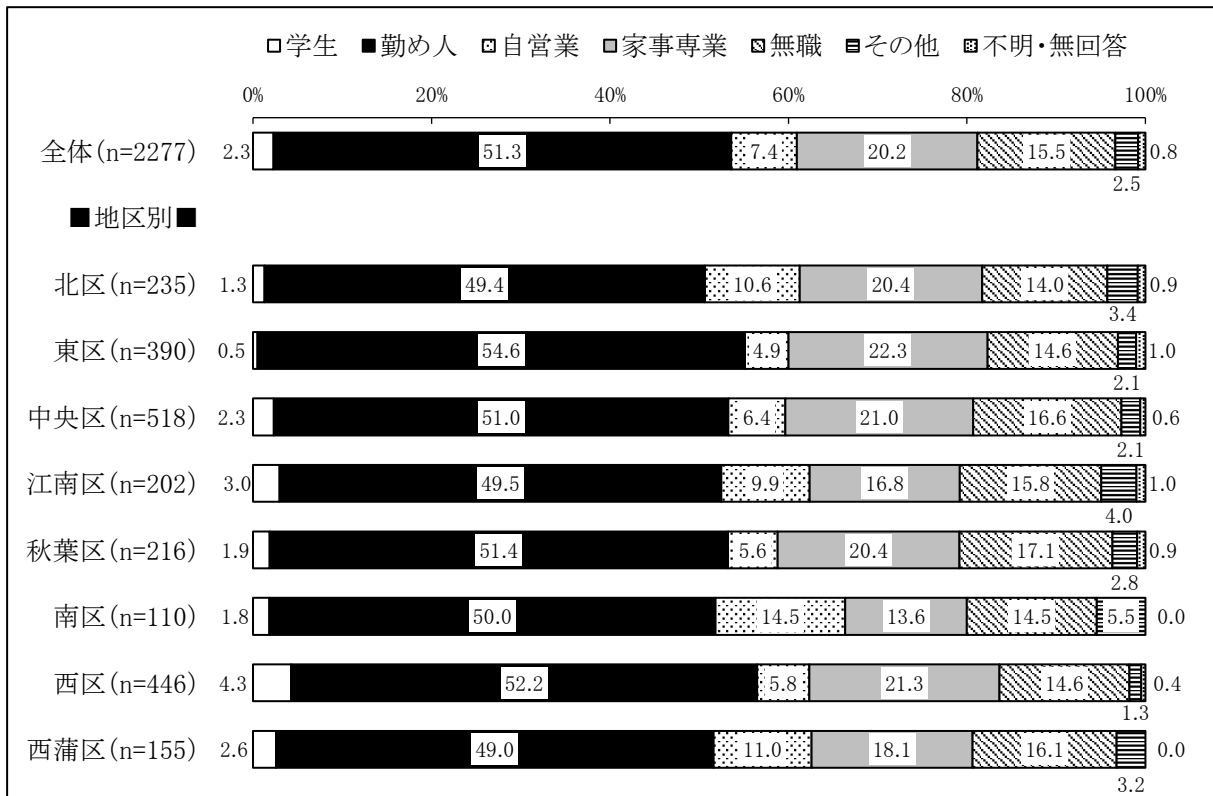
### 【性別】



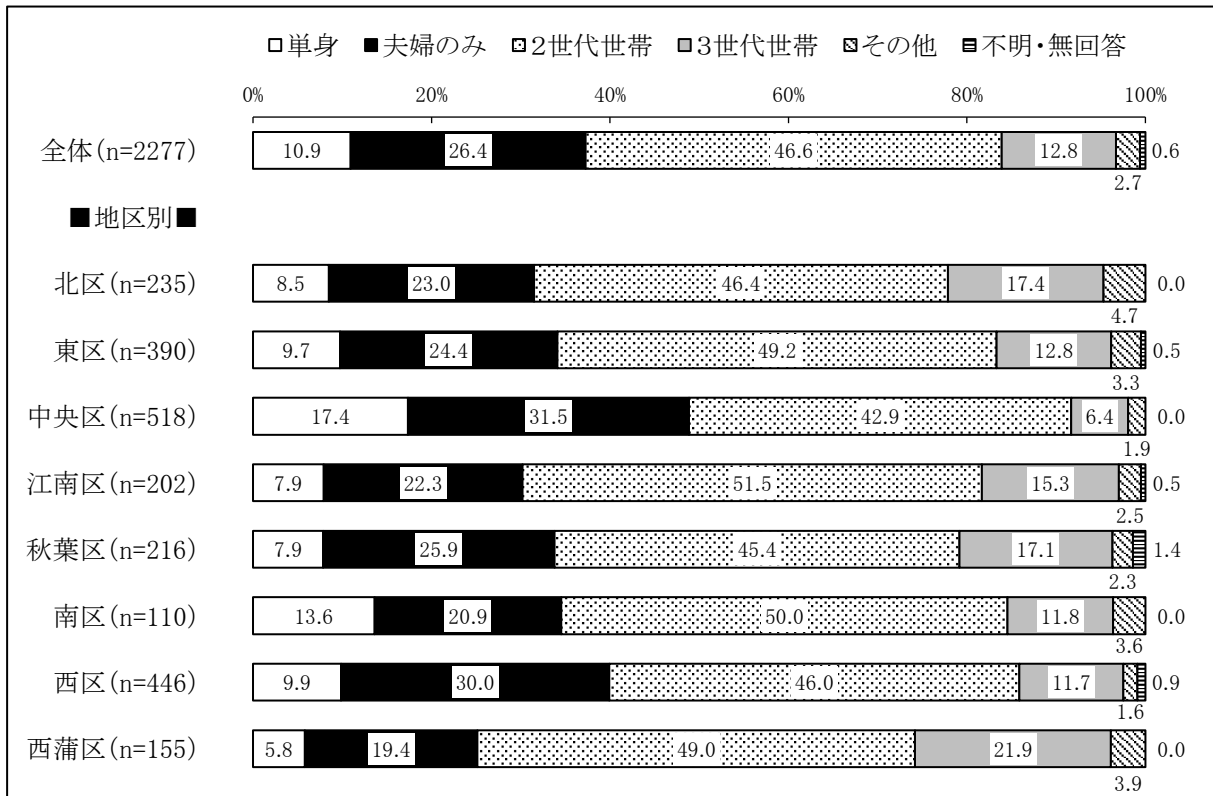
### 【年齢別】



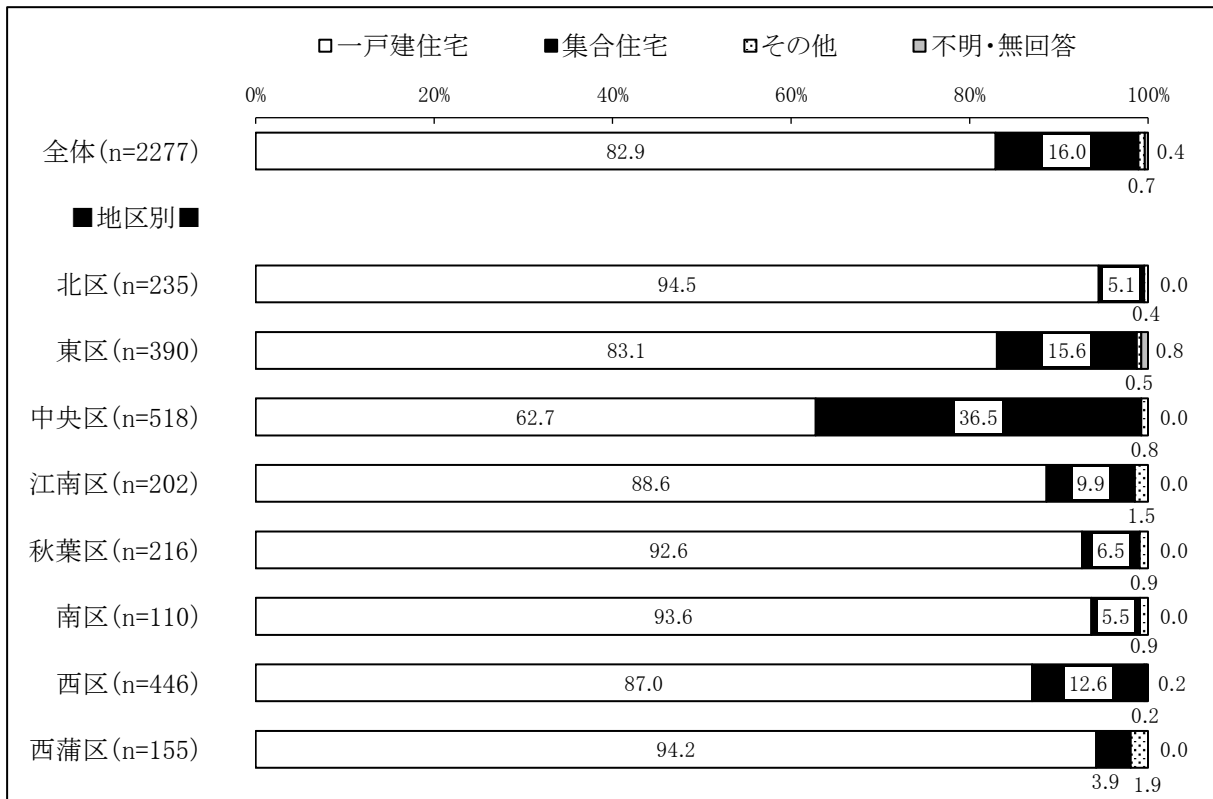
【職業別】



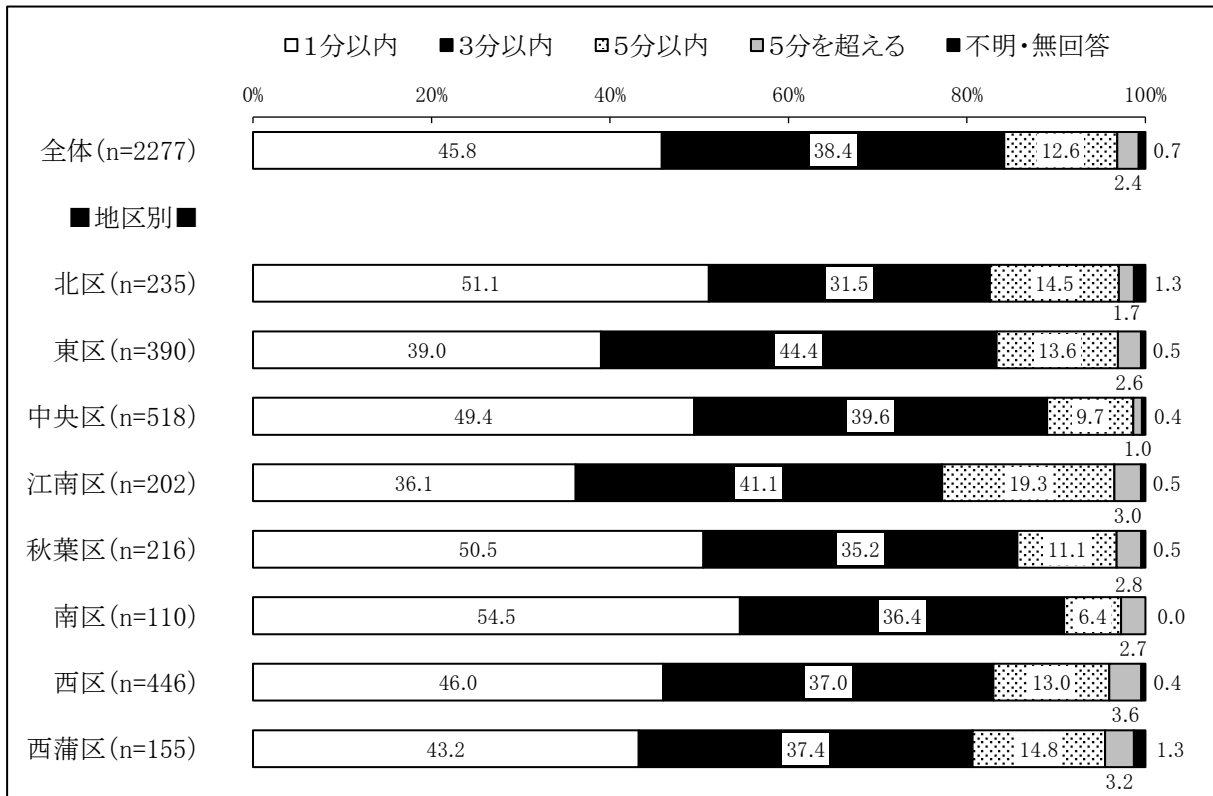
【家族構成別】



【住居形態別】



【ごみ集積場までの所要時間別】





## II 調査結果

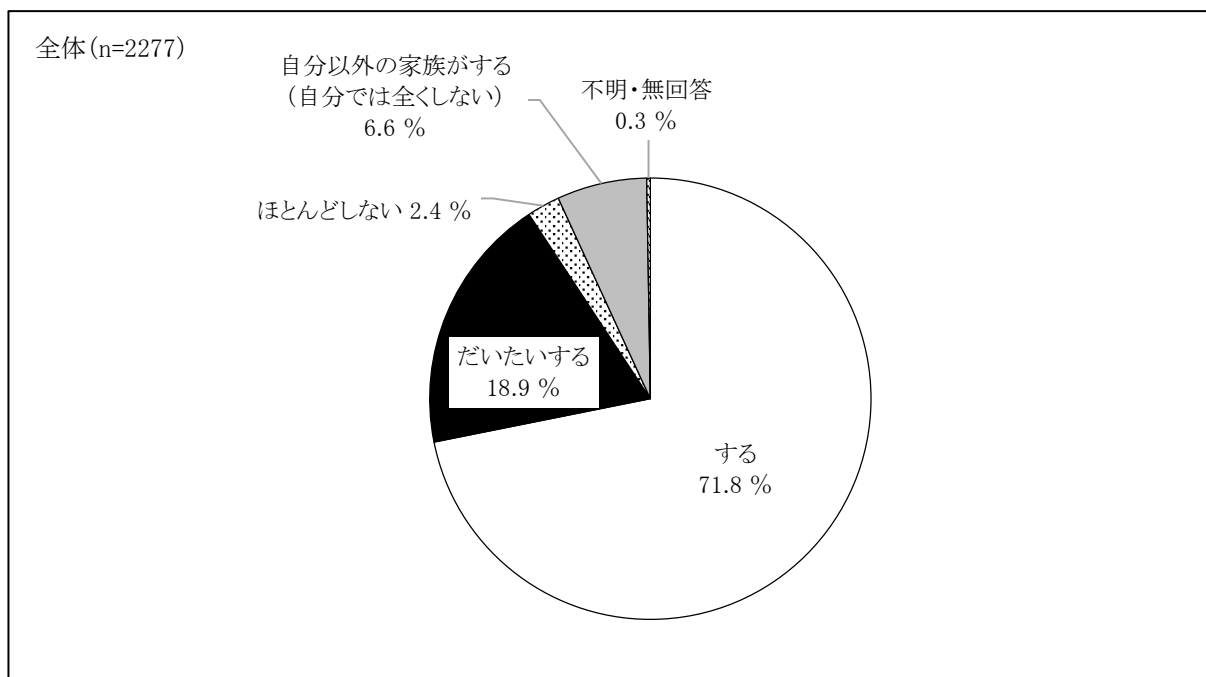




## 1. ごみの分別・減量について

### (1) ごみの分別について

問1 あなたはふだん自分で分別をしていますか。(○は1つ)



— 約9割が、自分で分別を『する』と回答 —

#### 【全体結果】

ごみの分別について、「する」が71.8%、「だいたいする」が18.9%、「ほとんどしない」が2.4%、「自分以外の家族がする（自分では全くしない）」が6.6%という結果となった。

「する」と「だいたいする」を合わせた割合が、約9割を占めた。

#### 【属性別結果】(図1.1参照)

##### ①性別

「する」と答えた割合は、男性(58.0%)と比べて女性(81.7%)で高い。

##### ②年齢別

「する」と答えた割合は、60～64歳(84.3%)でもっとも高く、8割半ばを占めた。18～29歳(46.9%)で他の年代と比べて割合が低く、5割に満たない。年代が上がるほど割合が高くなり、60～64歳をピークに割合が低くなる傾向がみられる。

##### ③職業別

「する」と答えた割合が最も高いのは、家事専業(86.1%)で8割半ばを超えた。学生(42.3%)で他の職業と比べて割合が低く、4割台にとどまった。

##### ④地区別

「する」と答えた割合が最も高いのは、中央区(77.0%)で8割弱の割合となった。北区(66.4%)、南区(65.5%)、西蒲区(63.2%)で6割台にとどまり、他の地区と比べてやや割合が低い。

#### ⑤家族構成別

「する」と答えた割合は、「単身」(89.2%)で最も高く、約9割を占めた。2世代世帯(68.6%)、3世代世帯(62.7%)では、6割台にとどまった。

図 1.1-1 ごみの分別について

(性別／年齢別／職業別)

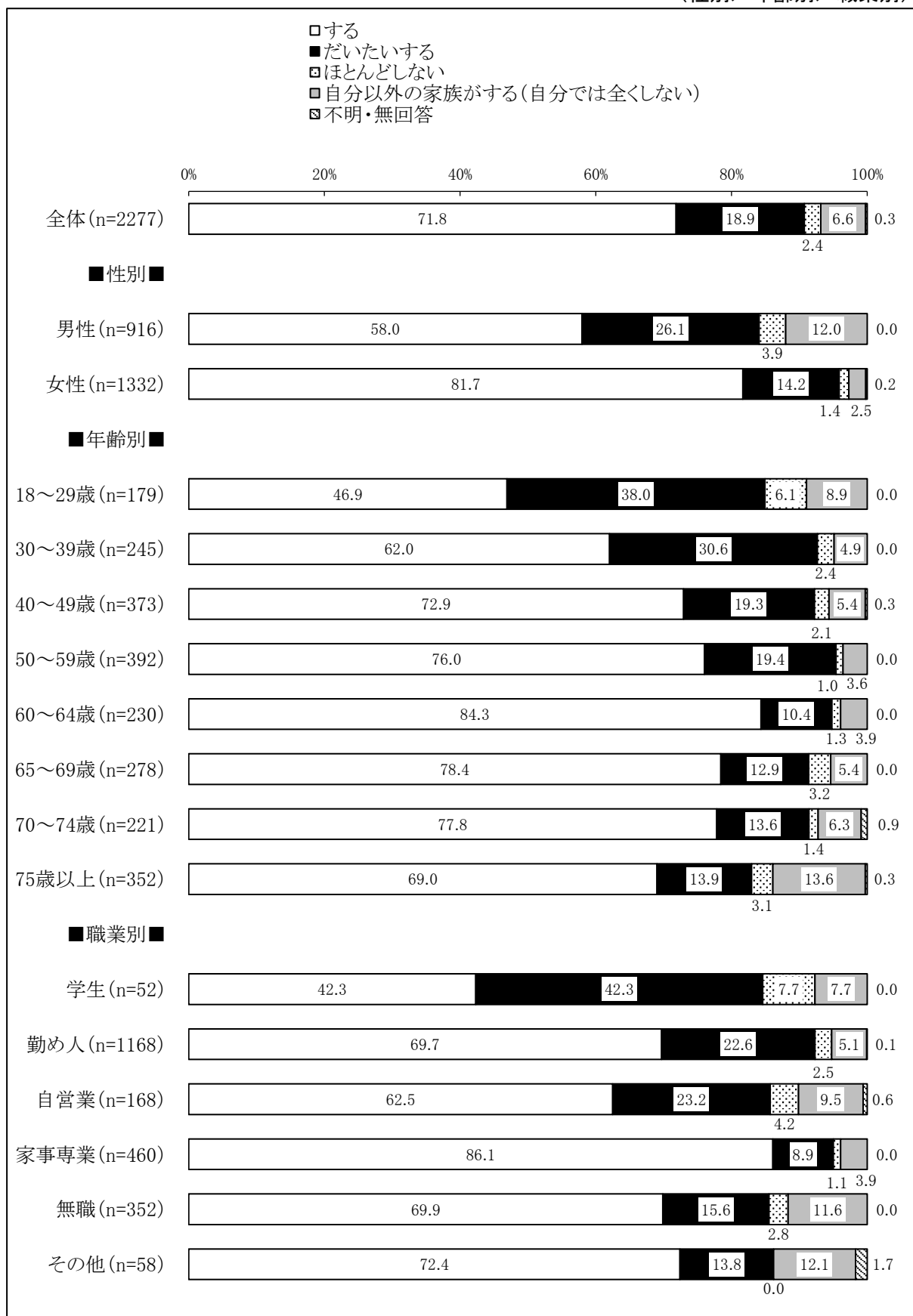
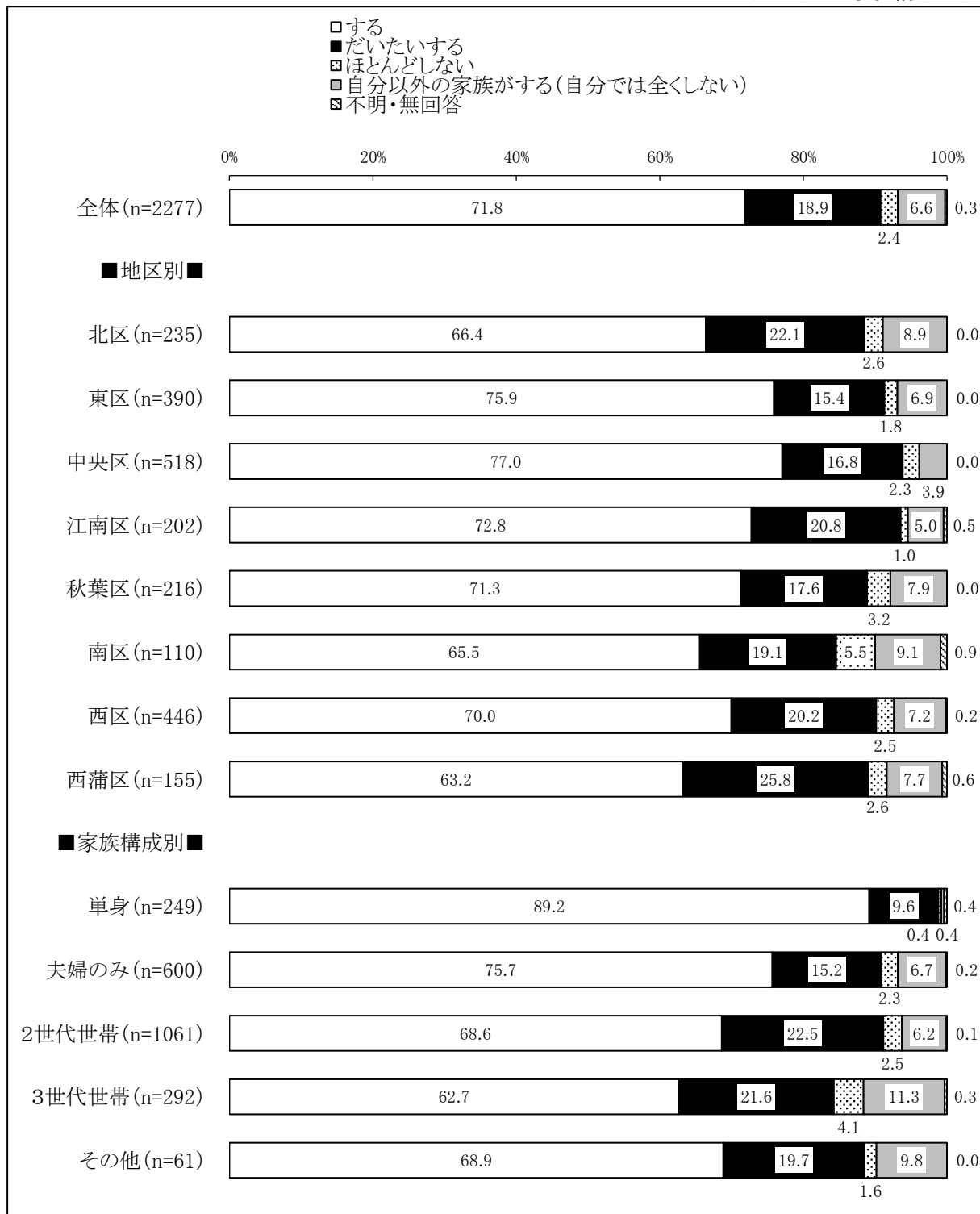


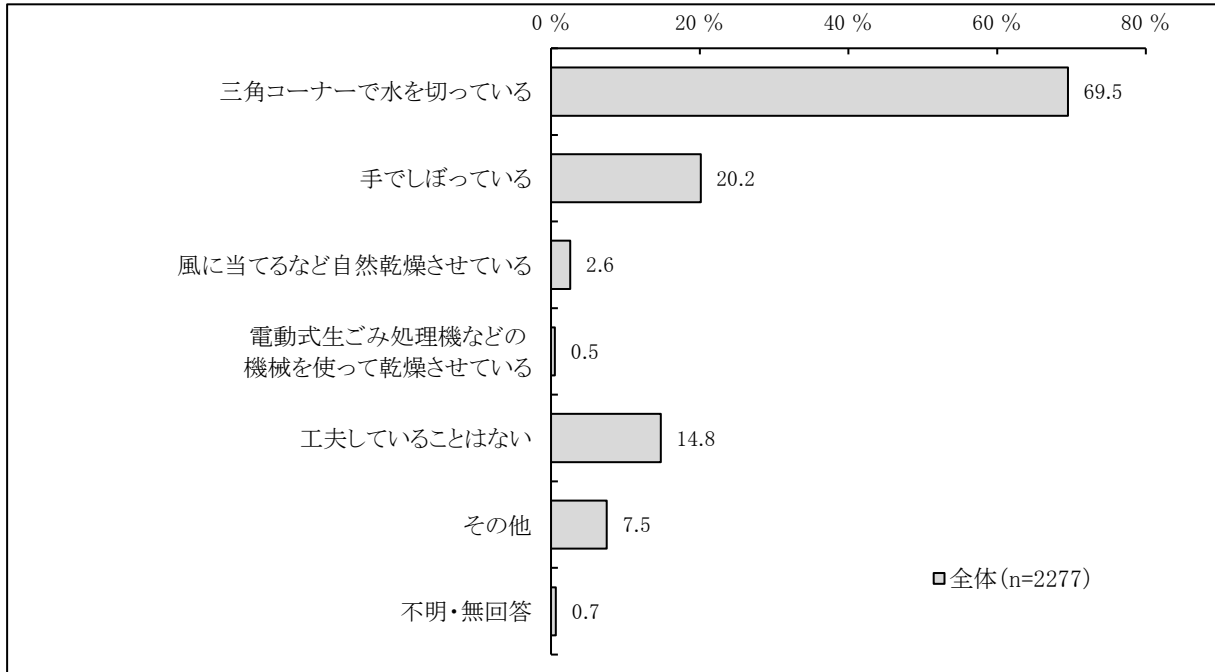
図 1.1-2 ごみの分別について

(地区別／家族構成別)



## (2) 生ごみの水分を減らす工夫について

問2 生ごみの約8割は「水分」と言われています。  
あなたは生ごみの水分を減らすために、工夫していることがありますか。(複数回答可)



— 約7割が「三角コーナーで水を切っている」と回答 —

### 【全体結果】

生ごみの水分を減らす工夫について、「三角コーナーで水を切っている」(69.5%)が約7割で、他の項目と比べて大きな差がみられる。次いで割合が高いのは、「手でしぼっている」(20.2%)で約2割を占めた。「工夫していることはない」と答えた割合は、1割半ばにとどまった。

### 【属性別結果】(図1.2参照)

#### ①性別

男女とも「三角コーナーで水を切っている」(各67.9%、70.6%)の割合が最も高く、大きな差は見られない。「手でしぼっている」は、男性(16.0%)と比べて女性(23.0%)で割合が高く、「工夫していることはない」は、女性(12.3%)と比べて男性(18.7%)で割合が高い。

#### ②年齢別

全ての年代で「三角コーナーで水を切っている」と答えた割合が最も高い。60～64歳(81.7%)では8割を超えた。「工夫していることはない」は、他の年代と比べて18～29歳(39.1%)で割合が高く約4割を占めた。若年層ほど割合が高い傾向がみられる。

#### ③職業別

学生を除き、「三角コーナーで水を切っている」と答えた割合が最も高い。学生は「工夫していることはない」(44.2%)と答えた割合が最も高く、4割を超えた。

#### ④地区別

全ての地区で「三角コーナーで水を切っている」の割合が高い。中央区(65.8%)、西区(62.3%)を除く地区で7割を超えた。「手でしぼっている」は東区(22.8%)、中央区(23.7%)、西区(22.9%)で2割を超え、他の地区と比べて割合がやや高い。

#### ⑤家族構成別

全ての家族構成で「三角コーナーで水を切っている」と答えた割合が最も高い。「手でしぼっている」は、他の家族構成と比べて単身(26.5%)で割合がやや高く、「工夫していることはない」は、2世代世帯(17.6%)でやや高い。

図 1.2-1 生ごみの水分を減らす工夫について

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

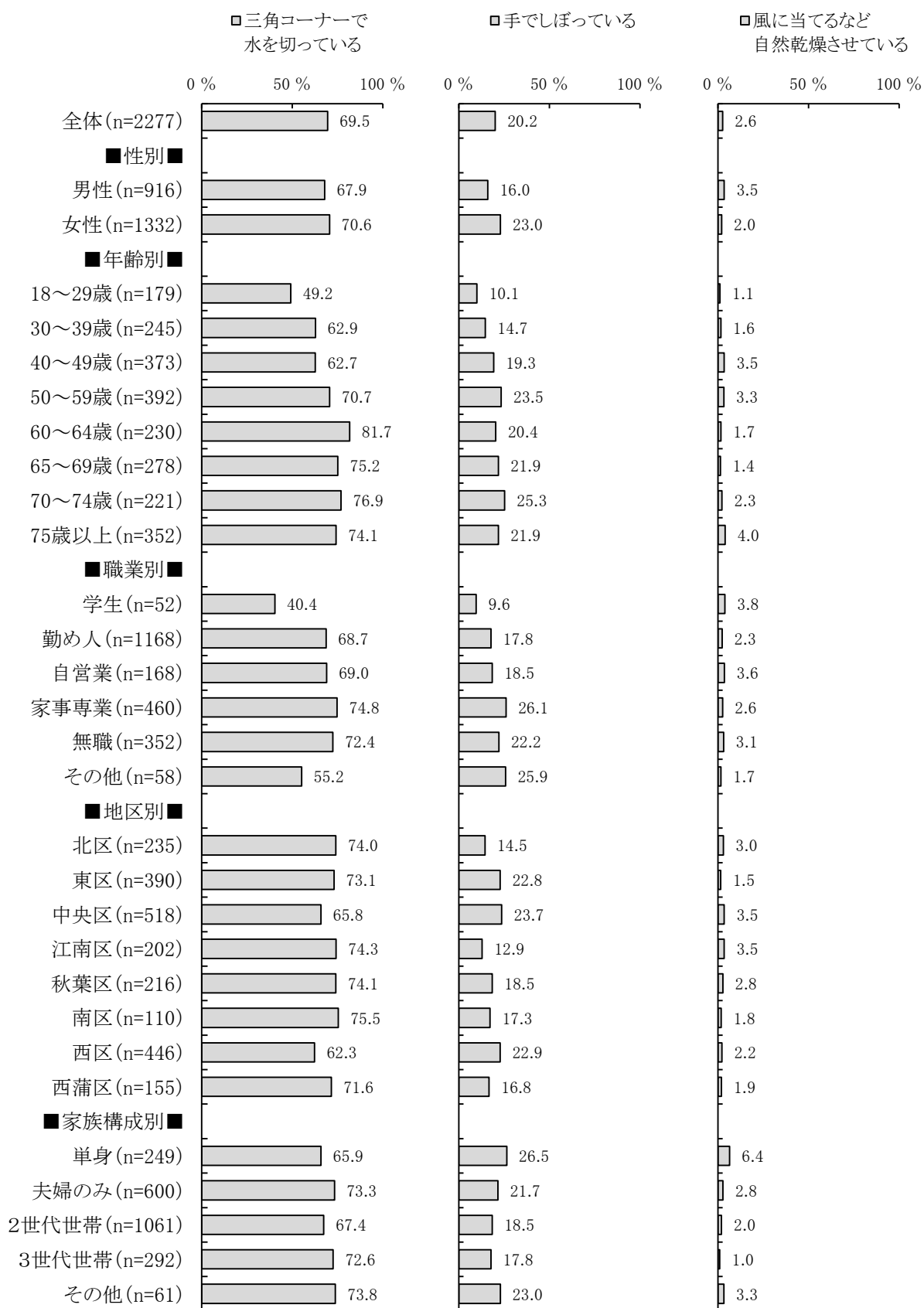
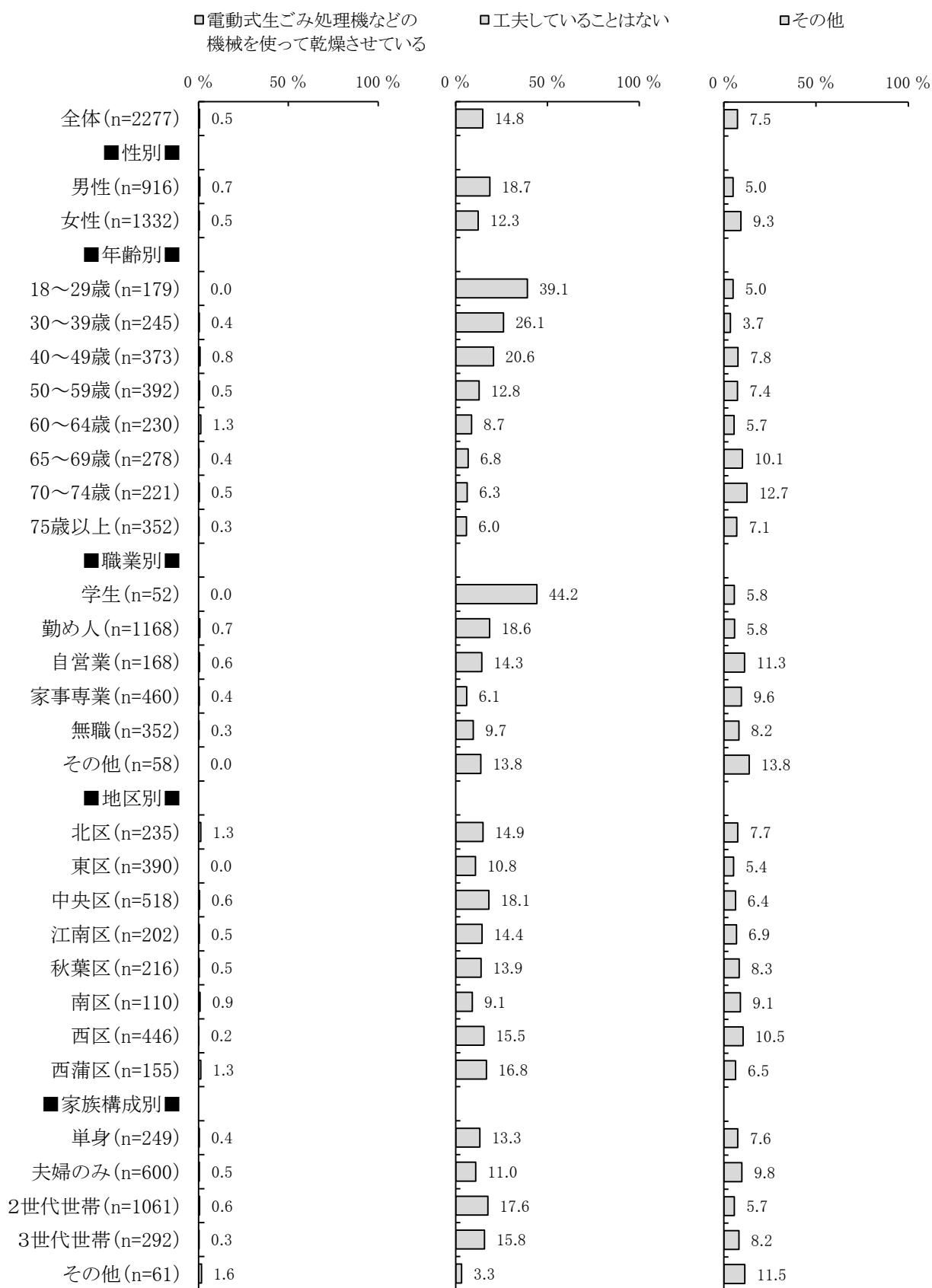


図 1.2-2 生ごみの水分を減らす工夫について

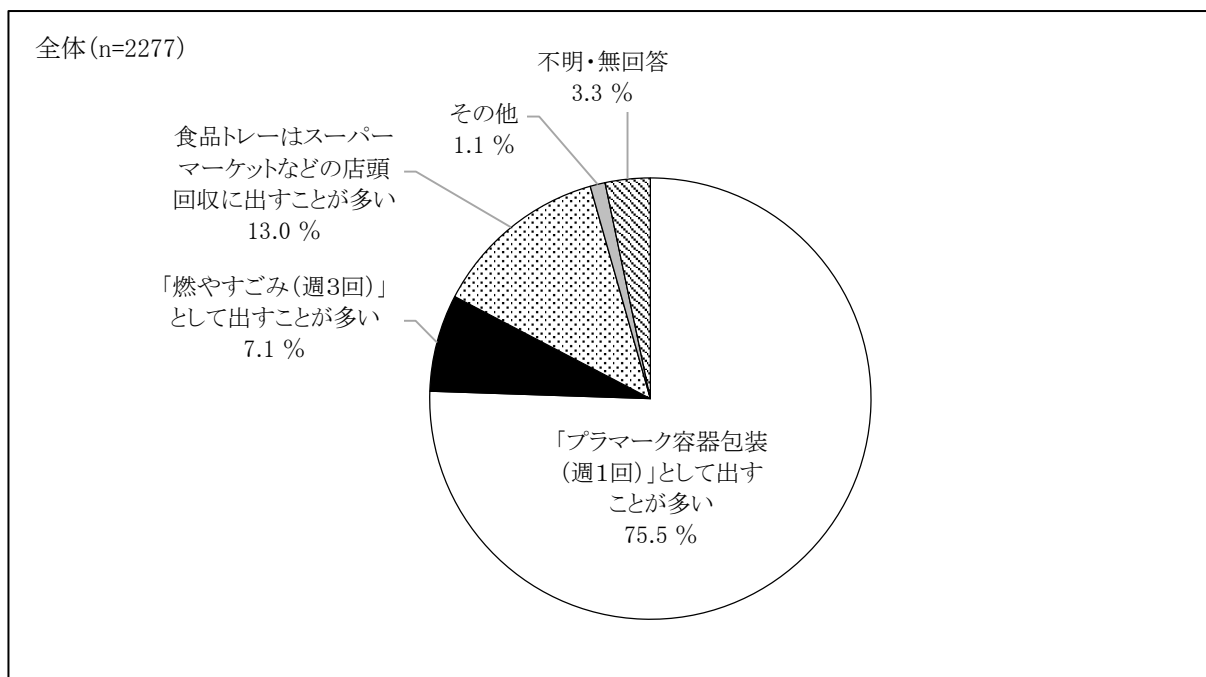
(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)





### (3) プラマーク容器包装の処分方法

問3 あなたは、 プラマーク容器包装をどのように処分していますか。(主なもの1つに○)



— 約4人に3人が「『プラマーク容器包装(週1回)』として出すことが多い」と回答 —

#### 【全体結果】

プラマーク容器包装の処分方法について、「『プラマーク容器包装(週1回)』として出すことが多い」(75.5%)と答えた割合が最も高く、約7割半ばを占めた。次いで、「食品トレーはスーパーマーケットなどの店頭回収に出すことが多い」が13.0%、「『燃やすごみ(週3回)』として出すことが多い」が7.1%の割合となった。

#### 【属性別結果】(図1.3参照)

##### ①性別

「『プラマーク容器包装(週1回)』として出すことが多い」は、男性(73.1%)と比べて女性(77.5%)でやや割合が高い。

##### ②年齢別

全ての年齢で、「『プラマーク容器包装(週1回)』として出すことが多い」の割合が最も高く、18~29歳(62.0%)で6割台、その他の年齢で7割を超えた。18~29歳では、次いで「『燃やすごみ(週3回)』として出すことが多い」(21.2%)の割合が高く、他の年齢と比べて差がみられる。

##### ③職業別

全ての職業で、「『プラマーク容器包装(週1回)』として出すことが多い」の割合が最も高く、学生(61.5%)を除く職業で7割を超えた。学生は、「『燃やすごみ(週3回)』として出すことが多い」(17.3%)、「食品トレーはスーパーマーケットなどの店頭回収に出すことが多い」(19.2%)が2割弱で、他の職業と比べて差がみられる。

#### ④地区別

全ての地区で、『プラマーク容器包装（週1回）』として出すことが多いの割合が最も高い。江南区（81.2%）で最も高く、8割を超えた。南区では、「食品トレーはスーパーマーケットなどの店頭回収に出すことが多い」（3.6%）より『燃やすごみ（週3回）』として出すことが多い（11.8%）の割合が高く、他の地区と比べて差がみられる。

#### ⑤家族構成別

すべての家族構成で、『プラマーク容器包装（週1回）』として出すことが多いの割合が7割を超えた。単身で、『燃やすごみ（週3回）』として出すことが多い（11.2%）の割合が高く、1割を超えた。

図 1.3-1 プラマーク容器包装の処分方法

(性別／年齢別／職業別)

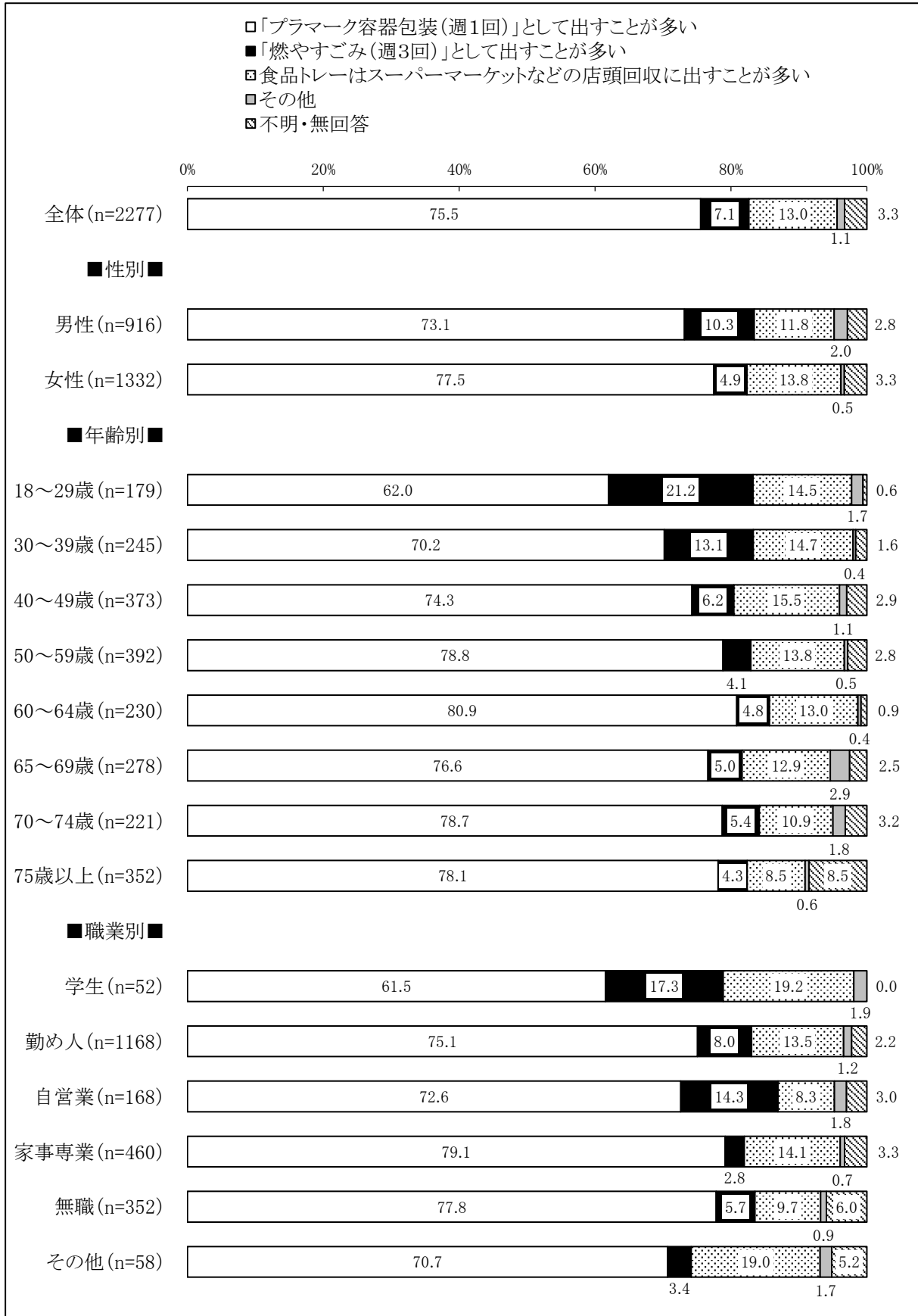
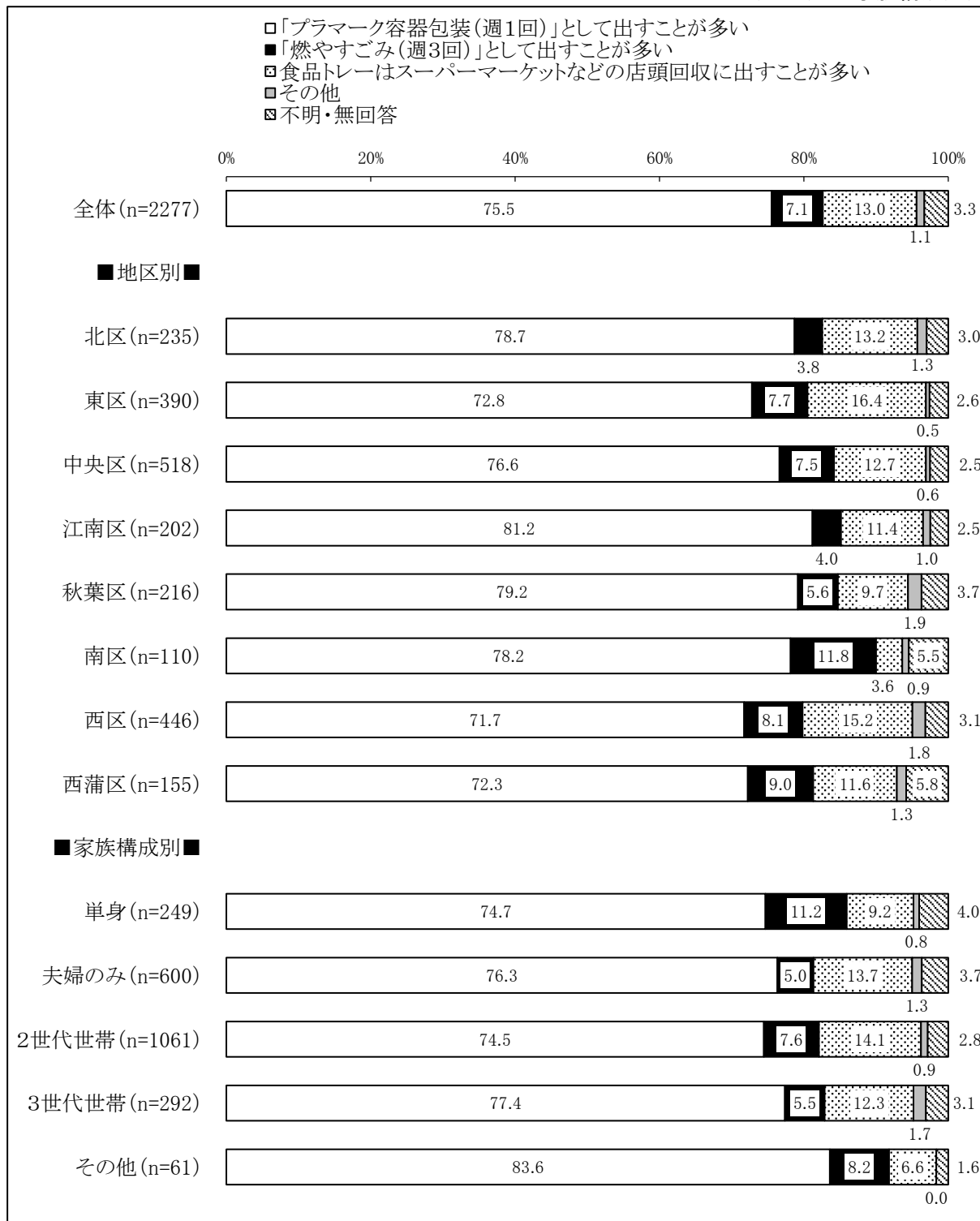


図 1.3-2 プラマーク容器包装の処分方法

(地区別／家族構成別)



#### (4) 雑がみの処分方法

問4 あなたは、「雑がみ★」をどのように処分していますか。(主なもの1つに○)

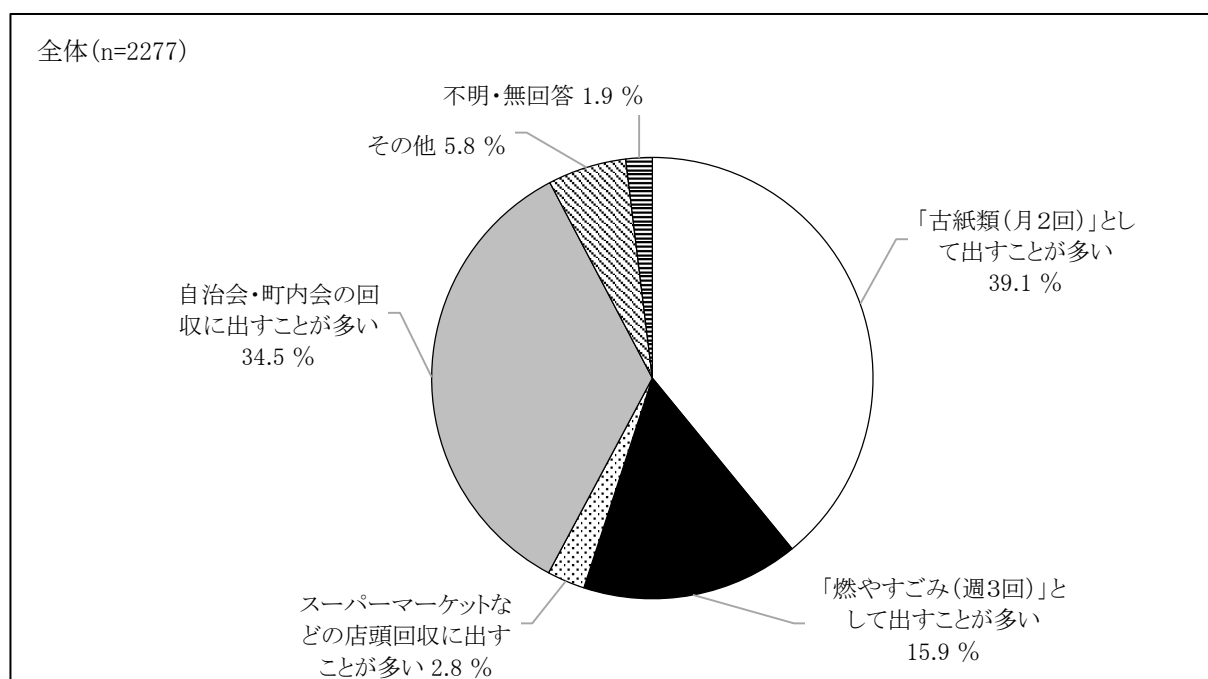
##### ★「雑がみ」とは

新聞、雑誌類、段ボール、紙パック以外のリサイクルできる紙のことです。

(例：ティッシュ箱や菓子箱、包装紙、紙袋、はがきなど)

※以下のものは雑がみでは出せません！

- ・防水加工された紙
- ・汚れた紙
- ・カーボン紙（宅配便の伝票など）
- ・感熱紙（レシートなど）
- ・圧着はがき
- ・アルミ加工紙
- ・ティッシュペーパー
- ・写真や写真プリント用紙
- ・ビニールコーティングされた紙
- ・においのついた紙



— 「『古紙類（月2回）』として出すことが多い」が約4割でトップ —

##### 【全体結果】

雑がみの処分方法について、「『古紙類（月2回）』として出すことが多い」（39.1%）が約4割で最も割合が高い。次いで「自治会・町内会の回収に出すことが多い」（34.5%）の割合が高く、約3割半ばを占めた。

##### 【属性別結果】（図1.4参照）

###### ①性別

男女とも、「『古紙類（月2回）』として出すことが多い」（各40.4%、38.4%）の割合が最も高い。「『燃やすごみ（週3回）』として出すことが多い」は、女性（14.2%）より男性（18.4%）で割合が高く、「自治会・町内会の回収に出すことが多い」は、男性（32.3%）より女性（36.0%）で割合が高い。

## ②年齢別

70歳以上を除く年齢で、『古紙類（月2回）』として出すことが多い」と答えた割合が最も高い。70～74歳、75歳以上では、「自治会・町内会の回収に出すことが多い」（各43.4%、41.2%）と答えた割合が最も高い。18～29歳、30～39歳では、『古紙類（月2回）』として出すことが多い」に次いで、『燃やすごみ（週3回）』として出すことが多い」（各30.2%、28.6%）と答えた割合が約3割で、他の年齢と比べて差がみられる。

## ③職業別

無職を除く職業で、『古紙類（月2回）』として出すことが多い」と答えた割合が最も高い。無職は、「自治会・町内会の回収に出すことが多い」（38.9%）と答えた割合が最も高い。学生は、『古紙類（月2回）』として出すことが多い」に次いで、『燃やすごみ（週3回）』として出すことが多い」（23.1%）と答えた割合が高く、他の職業と比べて差がみられる。

## ④地区別

北区、東区、西区を除く地区で、『古紙類（月2回）』として出すことが多い」と答えた割合が最も高い。特に秋葉区（62.0%）で6割を超え、他の地区と比べて大きな差がみられる。北区、東区、西区では、「自治会・町内会の回収に出すことが多い」（各40.0%、43.3%、39.5%）と答えた割合が最も高い。

## ⑤家族構成別

全ての家族構成で、『古紙類（月2回）』として出すことが多い」と答えた割合が最も高い。単身では、他の家族構成と比べて、『燃やすごみ（週3回）』として出すことが多い」（26.9%）と答えた割合が高い。

図 1.4-1 雑がみの処分方法

(性別／年齢別／職業別)

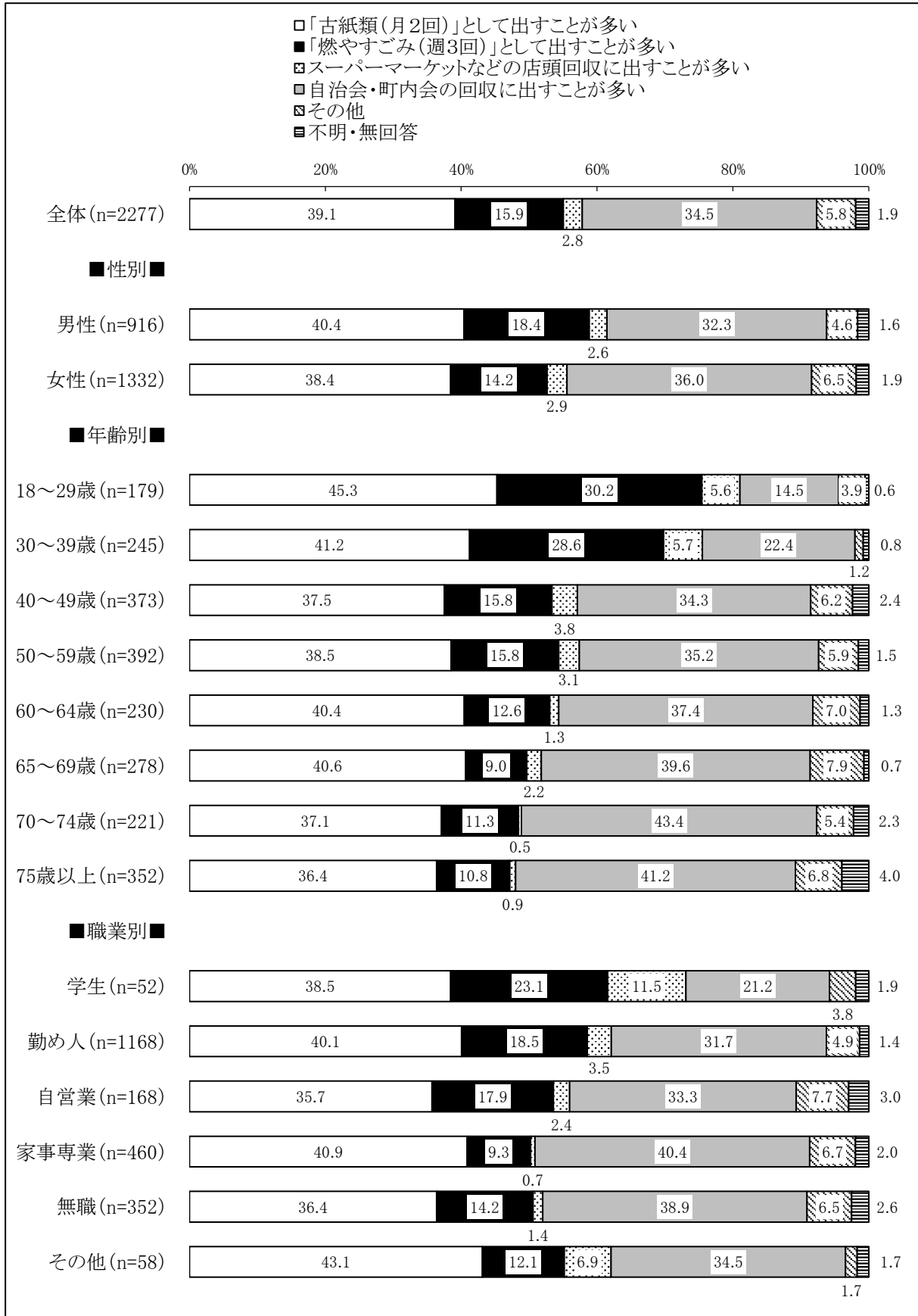
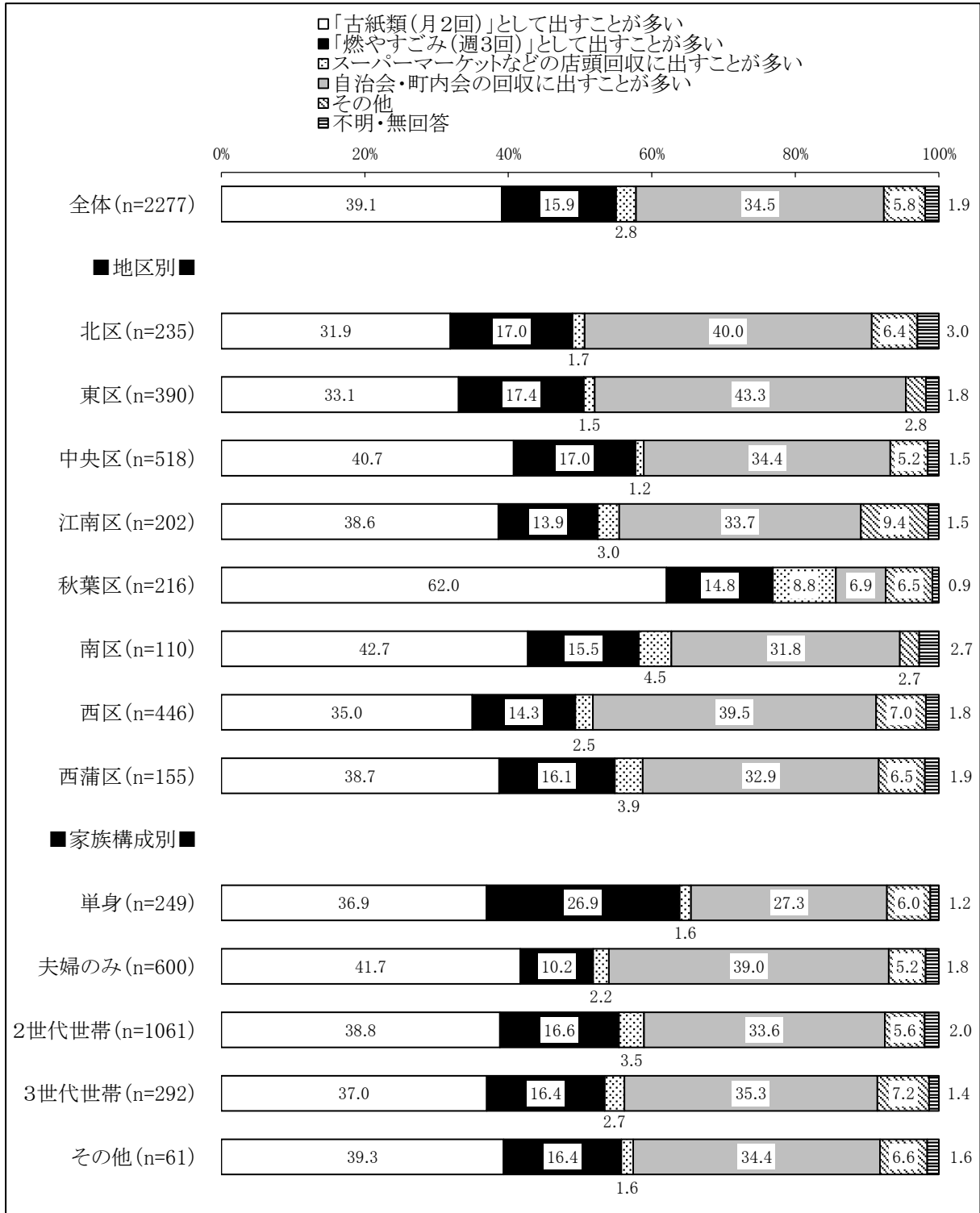


図 1.4-2 雑がみの処分方法

(地区別／家族構成別)

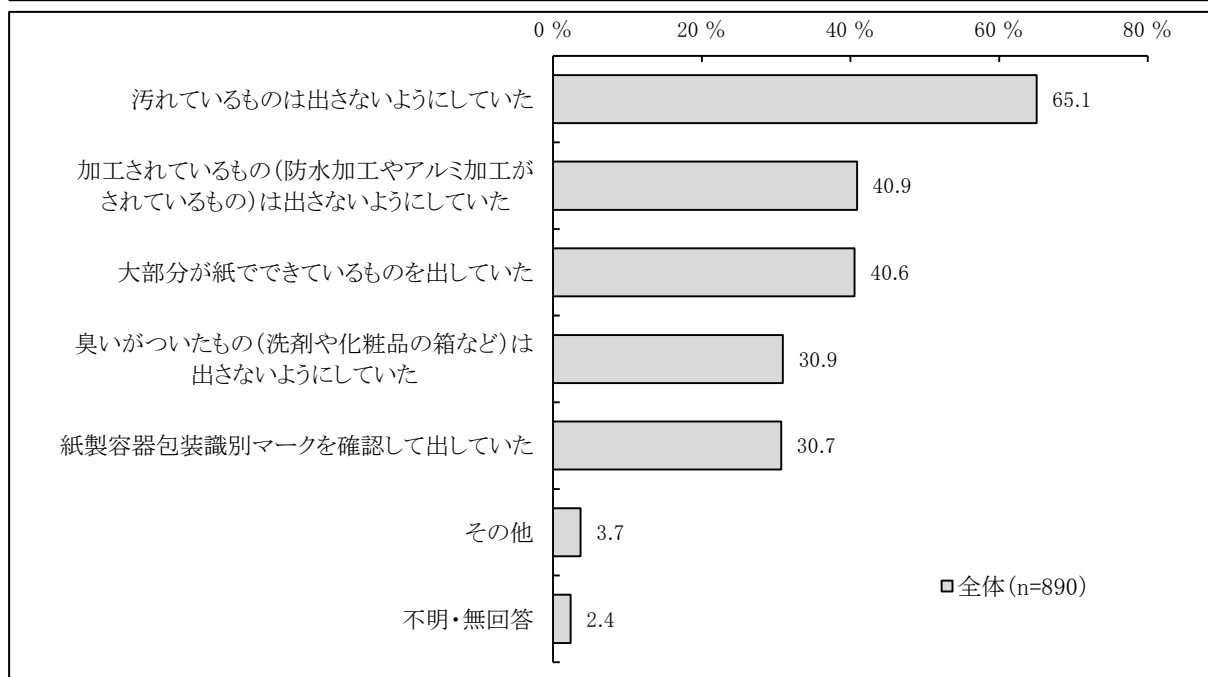




## (5) 「古紙類」として処分する時に気をつけたこと

(問4で1と回答した方に質問します。)

問4-1 あなたは雑がみを「古紙類(月2回)」として出すとき、どのようなことに気を付けていましたか。(複数回答可)



— 「汚れているものは出さないようにしていた」が6割半ばでトップ —

### 【全体結果】

「古紙類」として処分する時に気をつけたことについて、「汚れているものは出さないようにしていた」(65.1%)と答えた割合が最も高い。次いで、「加工されているもの(防水加工やアルミ加工がされているもの)は出さないようにしていた」(40.9%)、「大部分が紙でできているものを出していた」(40.6%)が約4割、「臭いがついたもの(洗剤や化粧品の箱など)は出さないようにしていた」(30.9%)、「紙製容器包装識別マークを確認して出していた」(30.7%)が約3割で続いている。

### 【属性別結果】(図1.5参照)

#### ①性別

男女とも、「汚れているものは出さないようにしていた」(各57.6%、70.5%)と答えた割合が最も高く、特に男性と比べて女性で割合が高い。次いで男性は、「大部分が紙でできているものを出していた」(43.0%)の割合が高く、女性は、「加工されているもの(防水加工やアルミ加工がされているもの)は出さないようにしていた」(48.6%)の割合が高い。「大部分が紙でできているものを出していた」を除く項目で、男性より女性で割合が高い。

#### ②年齢別

全ての年齢で、「汚れているものは出さないようにしていた」と答えた割合が最も高い。「加工されているもの(防水加工やアルミ加工がされているもの)は出さないようにしていた」は、70~74歳(50.0)で割合が高く、「大部分が紙でできているものを出していた」は、60~64歳で割合が高い。

### ③職業別

学生を除く職業で、「汚れているものは出さないようにしていた」と答えた割合が最も高い。特に家事専業（73.4%）で最も高く、7割を超えた。学生は、「大部分が紙でできているものを出していた」（60.0%）と答えた割合が最も高い。「大部分が紙でできているものを出していた」は、自営業（51.7%）でも割合が高い。

### ④地区別

すべての地区で、「汚れているものは出さないようにしていた」と答えた割合が最も高い。「加工されているもの（防水加工やアルミ加工がされているもの）は出さないようにしていた」は、東区（44.2%）、中央区（45.0%）、秋葉区（47.0%）、西蒲区（45.0%）で4割を超え、他の地区と比べて割合が高い。

### ⑤家族構成別

すべての家族構成で、「汚れているものは出さないようにしていた」と答えた割合が最も高い。次いで、夫婦のみ、2世代世帯では、「加工されているもの（防水加工やアルミ加工がされているもの）は出さないようにしていた」（各41.6%、43.4%）と答えた割合が高く、3世代世帯では、「大部分が紙でできているものを出していた」（43.5%）、単身では、「紙製容器包装識別マークを確認して出していた」（39.1%）と答えた割合が高い。

図 1.5-1 「古紙類」として処分する時に気をつけたこと

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

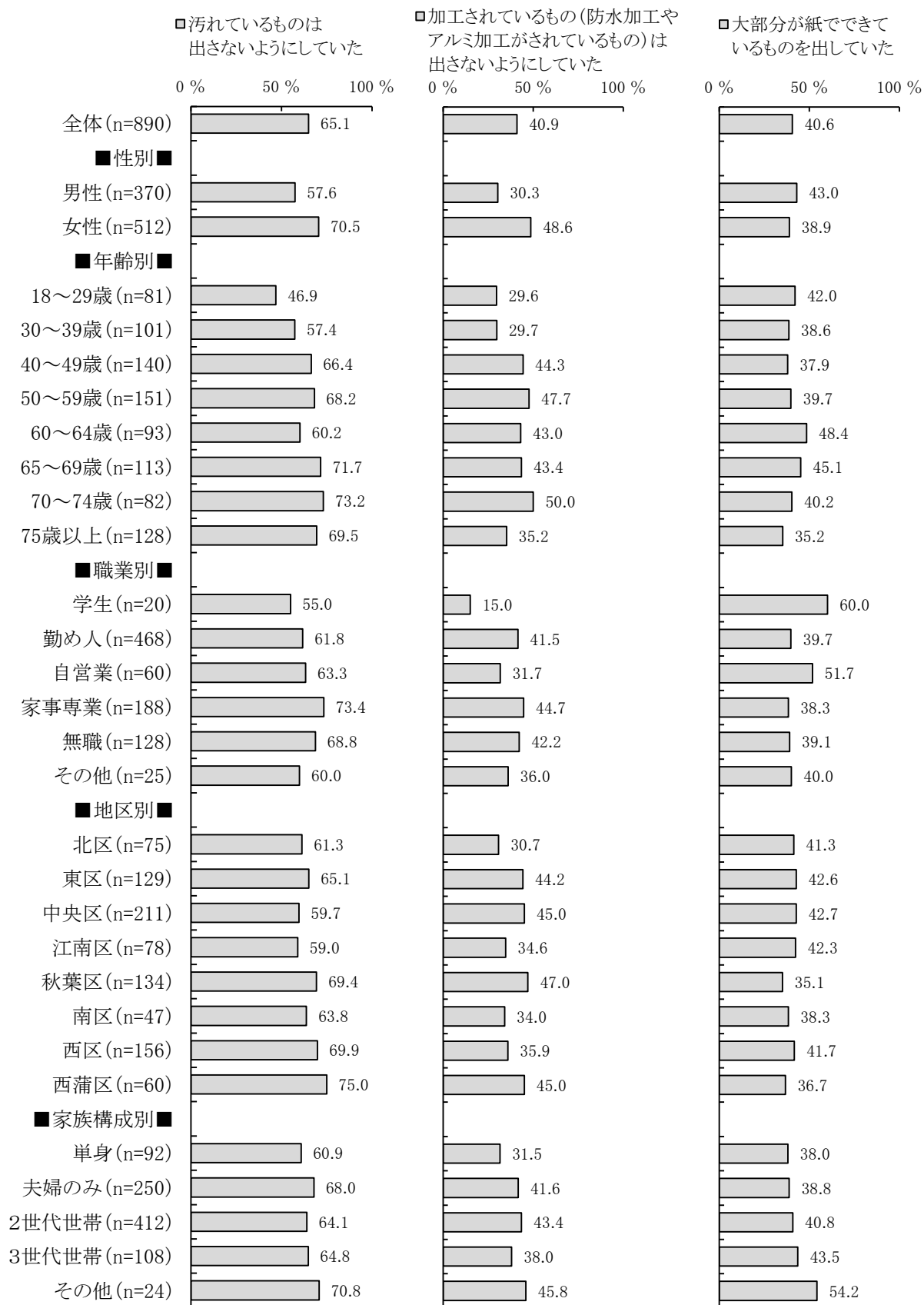
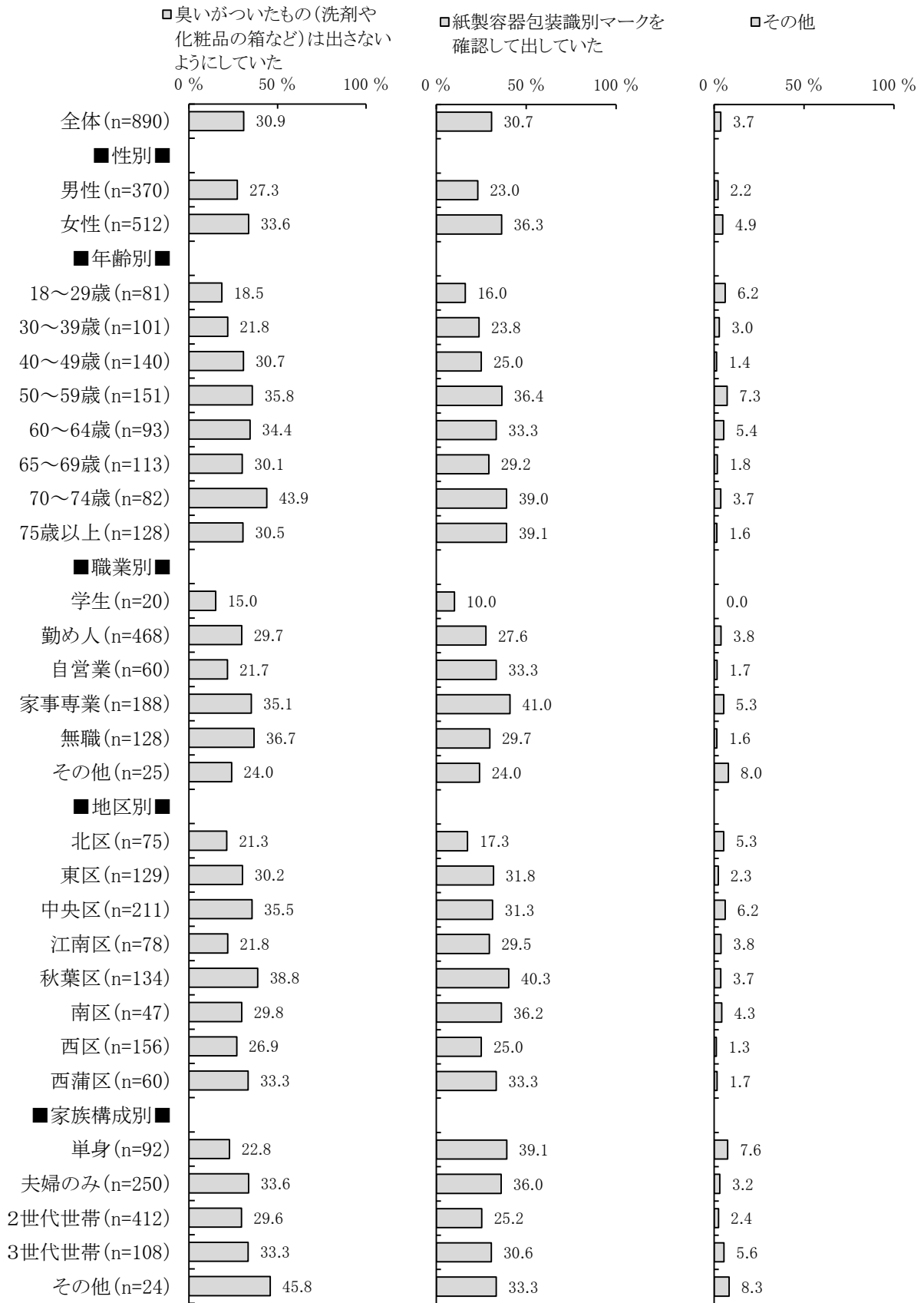


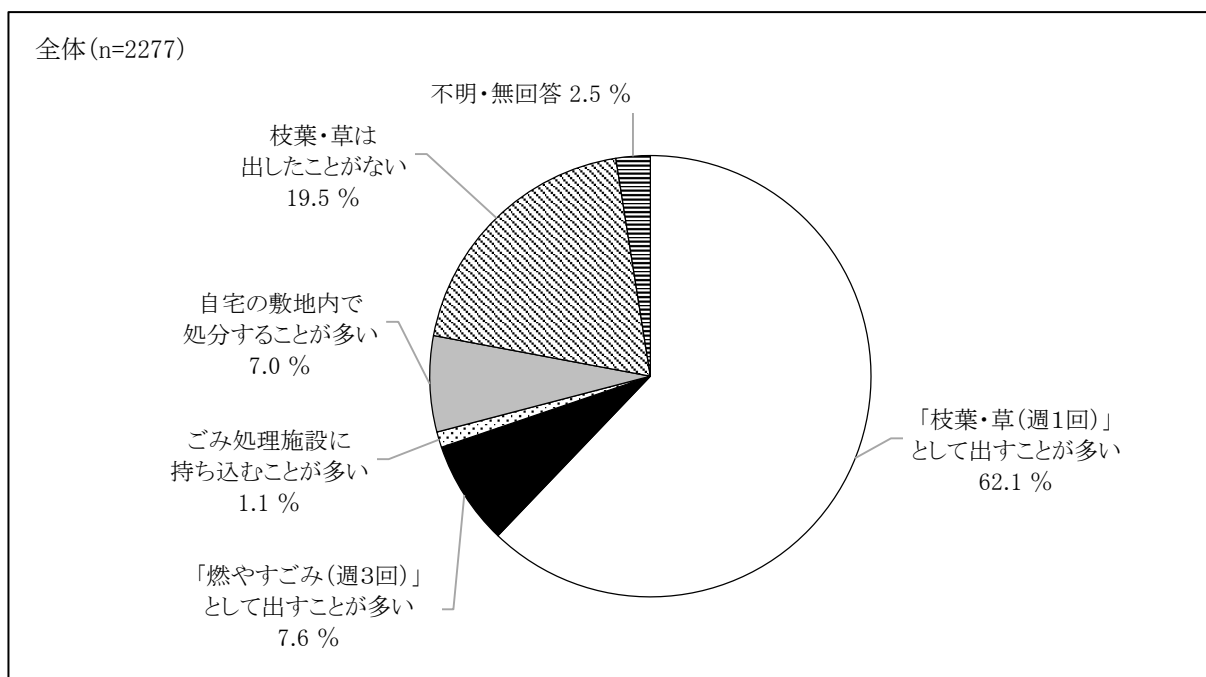
図 1.5-2 「古紙類」として処分する時に気をつけたこと

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)



## (6) 枝葉・草の処分方法

問5 あなたは枝葉・草をどのように処分していますか。(主なもの1つに○)



— 6割以上が「『枝葉・草(週1回)』として出すことが多い」と回答 —

### 【全体結果】

枝葉・草の処分方法について、「『枝葉・草(週1回)』として出すことが多い」(62.1%)と答えた割合が最も高く、6割を超えた。次いで、「枝葉・草は出したことがない」(19.5%)が約2割を占めた。

### 【属性別結果】(図1.6参照)

#### ①性別

男女とも、「『枝葉・草(週1回)』として出すことが多い」と答えた割合が最も高く、男性(58.8%)と比べて女性(64.3%)で割合が高い。「枝葉・草は出したことがない」は、女性(17.9%)と比べて男性(22.3%)で割合が高い。

#### ②年齢別

18～29歳を除き、「『枝葉・草(週1回)』として出すことが多い」と答えた割合が最も高い。概ね高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。18～29歳は、「枝葉・草は出したことがない」(56.4%)と答えた割合が最も高く、半数を超えた。

#### ③職業別

学生を除き、「『枝葉・草(週1回)』として出すことが多い」と答えた割合が最も高い。特に家事専業(75.2%)で割合が高く、約7割半ばを占めた。学生は、「枝葉・草は出したことがない」(53.8%)と答えた割合が最も高く、半数を超えた。

#### ④地区別

すべての地区で、『枝葉・草（週1回）』として出すことが多い」と答えた割合が最も高い。特に東区（69.5%）、江南区（65.3%）、秋葉区（64.4%）、西区（68.2%）で割合が高く、6割を超えた。南区では、「自宅の敷地内で処分することが多い」（19.1%）が2割弱で、他の地区と比べて割合が高い。「枝葉・草は出したことがない」は、中央区（29.5%）では約3割で、他の地区と比べて割合が高い。

#### ⑤家族構成別

すべての家族構成で、『枝葉・草（週1回）』として出すことが多い」と答えた割合が最も高い。夫婦のみ（69.2%）では約7割で、他の家族構成と比べて割合が高い。単身は、「枝葉・草は出したことがない」（37.3%）が3割を超え、他の家族構成と比べて割合が高い。

図 1.6-1 枝葉・草の処分方法

(性別／年齢別／職業別)

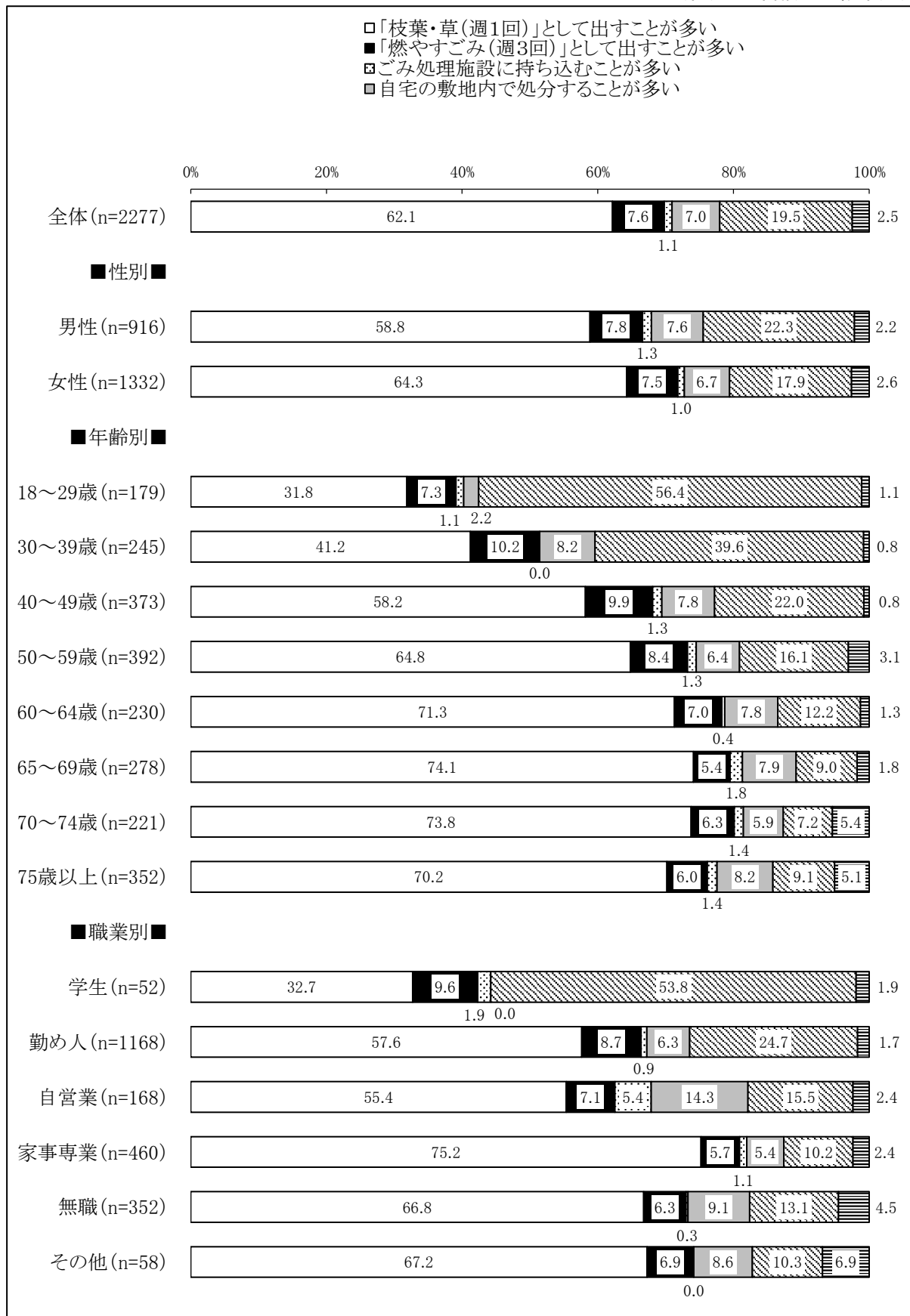
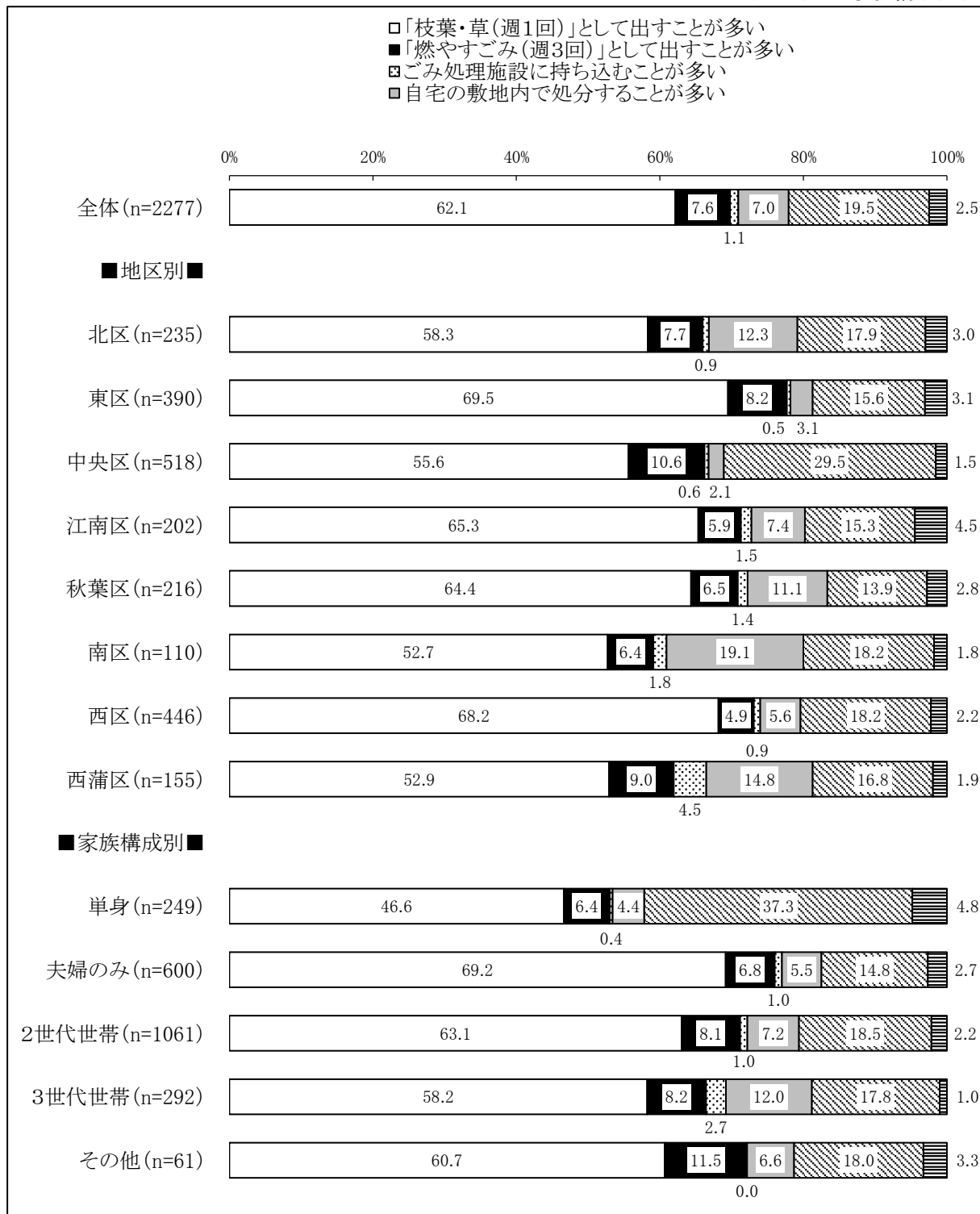


図 1.6-2 枝葉・草の処分方法

(地区別／家族構成別)



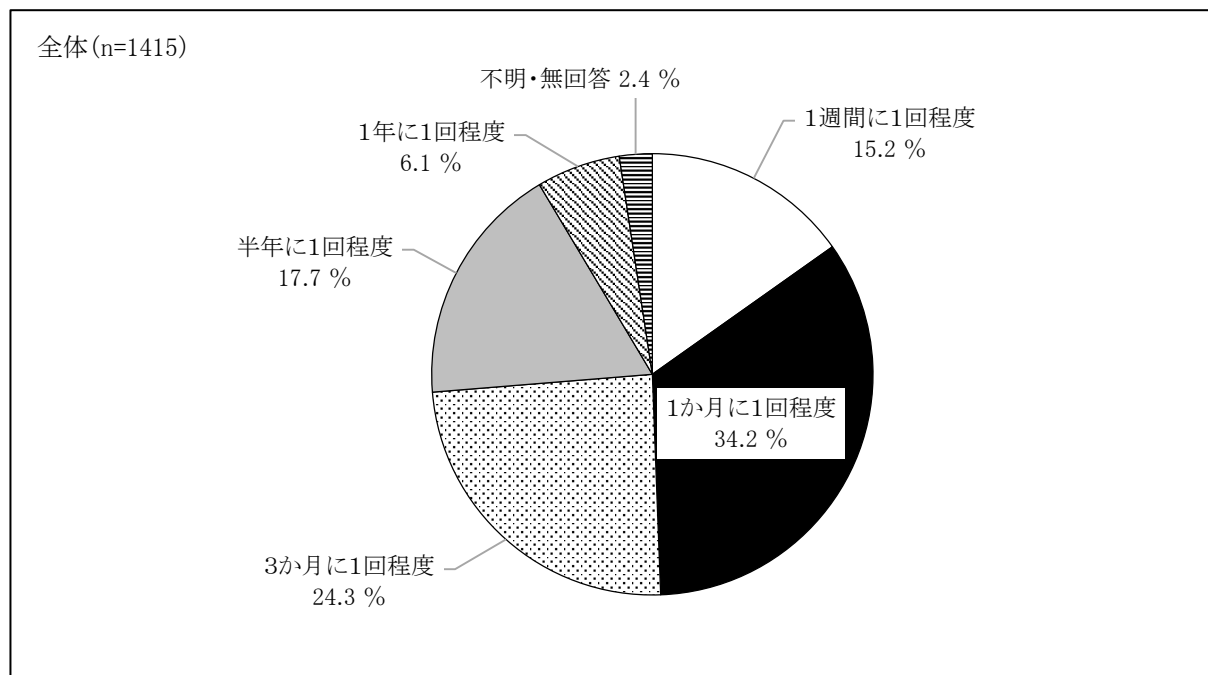


## (7) 「枝葉」の分別収集の利用回数

(問5で1と回答した方に質問します。)

問5-1 枝葉・草のうち「枝葉」の分別収集の利用回数はどれくらいですか。

(近いもの1つに○)



— 3割以上が「1か月に1回程度」と回答 —

### 【全体結果】

「枝葉」の分別収集の利用回数について、「1か月に1回程度」(34.2%)と答えた割合が最も高い。次いで、「3か月に1回程度」(24.3%)、「半年に1回程度」(17.7%)、「1週間に1回程度」(15.2%)の順が続いている。

### 【属性別結果】(図1.7参照)

#### ①性別

性別では、あまり差は見られない。

#### ②年齢別

40歳以上では、「1か月に1回程度」と答えた割合が最も高い。18～29歳では、「3か月に1回程度」(29.8%)の割合が最も高く、30～39歳では、「1か月に1回程度」と「3か月に1回程度」(共に27.7%)が同じ割合となった。「1か月に1回程度」は、概ね高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。70～74歳、75歳以上では、「1週間に1回程度」(各24.5%、22.3%)が、他の年齢と比べて割合が高い。

#### ③職業別

学生を除く職業で、「1か月に1回程度」の割合が最も高い。学生は、「3か月に1回程度」(35.3%)の割合が最も高く、次いで「半年に1回程度」(29.4%)と答えた割合が高い。「1週間に1回程度」は、家事専業(20.2%)、無職(20.9%)で約2割の割合となった。

#### ④地区別

北区を除く地区で、「1 か月に 1 回程度」と答えた割合が最も高く、西蒲区（43.9%）では 4 割を超えた。北区は、「3 か月に 1 回程度」（27.7%）と答えた割合が最も高い。南区では、「半年に 1 回程度」（31.0%）と答えた割合が 3 割を超え、他の地区と比べて割合が高い。

#### ⑤家族構成別

すべての家族構成で、「1 か月に 1 回程度」と回答した割合が最も高い。夫婦のみ、3 世代世帯では、「1 週間に 1 回程度」（各 18.3%、15.9%）と回答した割合が、他の家族構成と比べてやや割合が高い。

図 1.7-1 「枝葉」の分別収集の利用回数

(性別／年齢別／職業別)

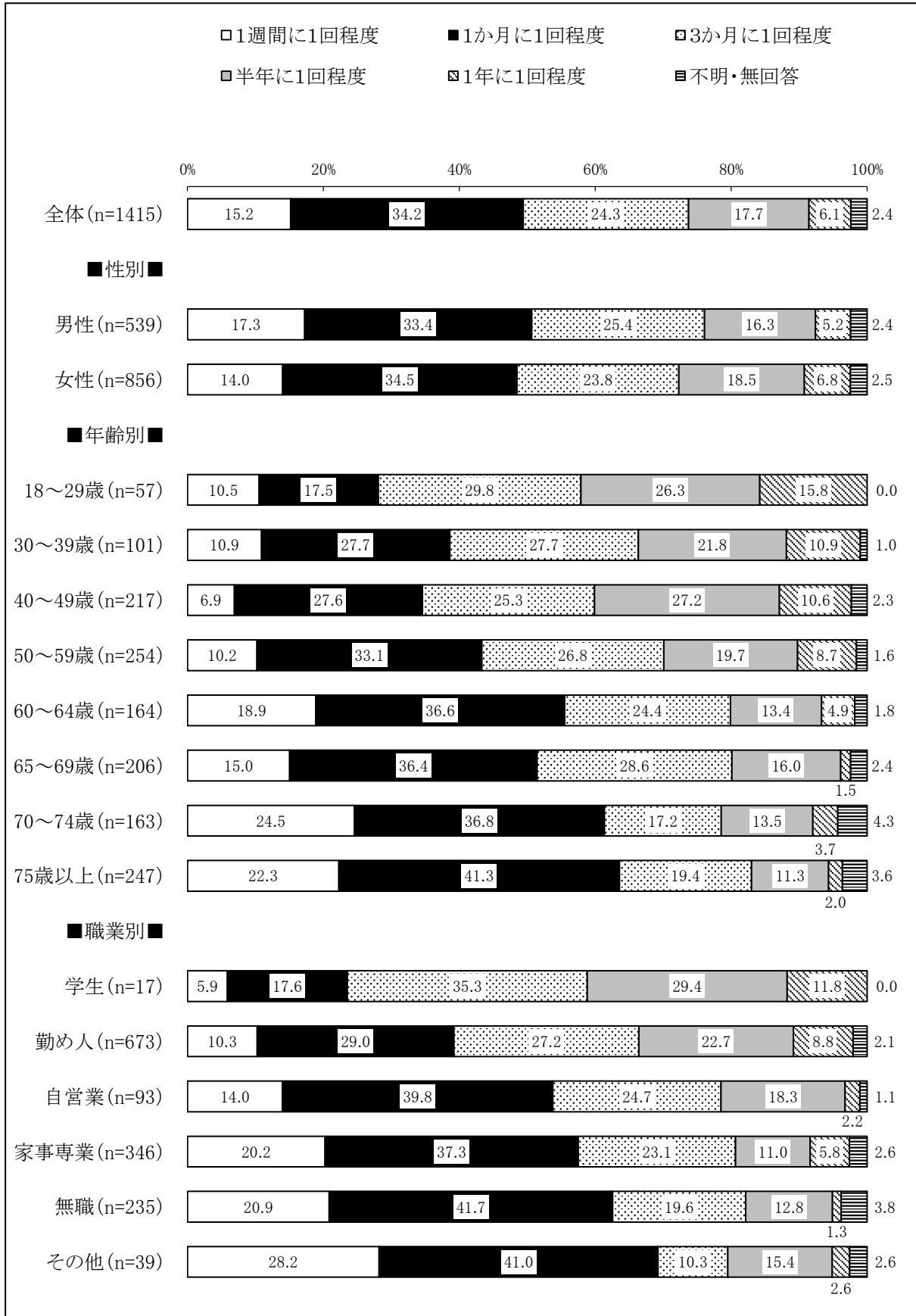
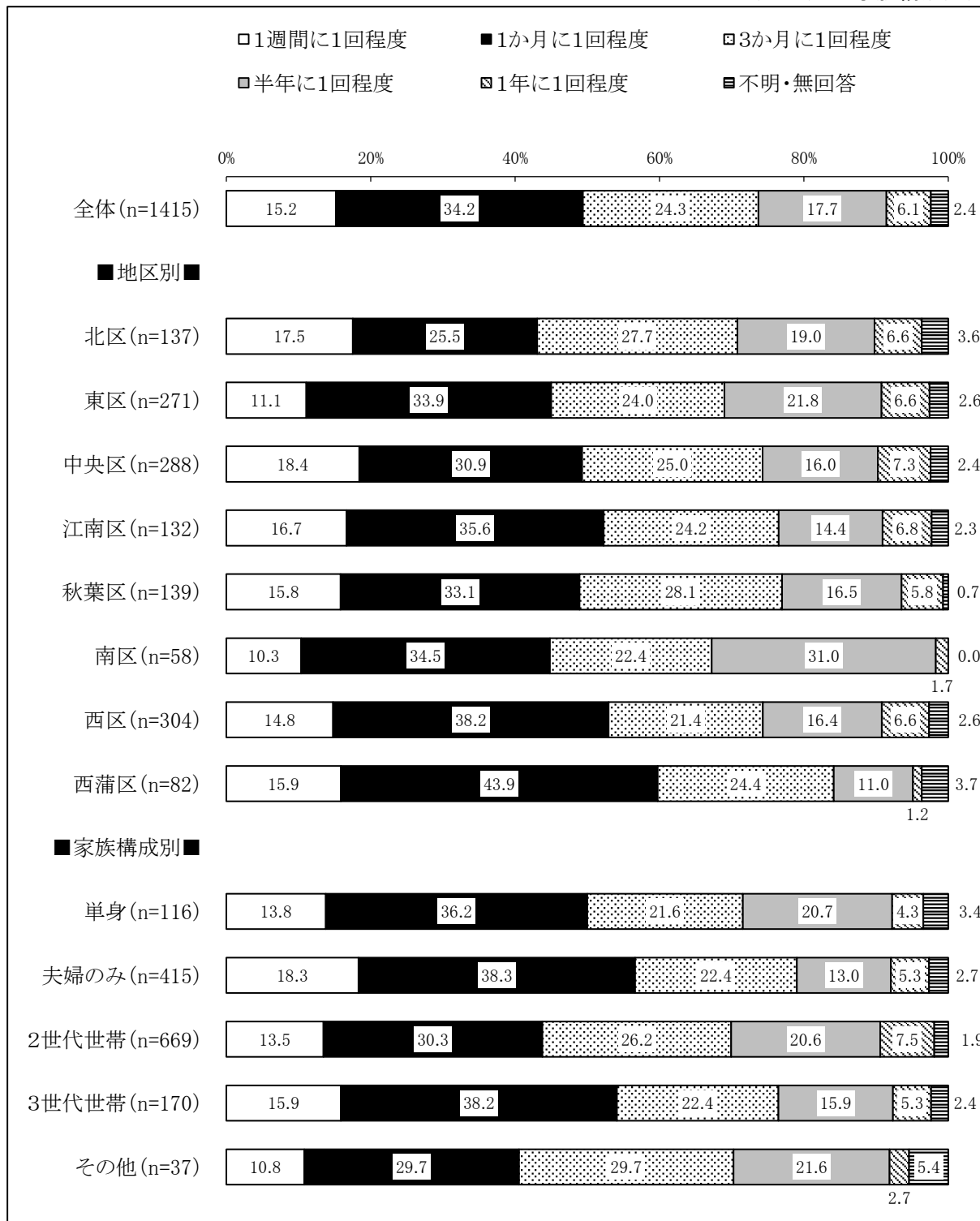


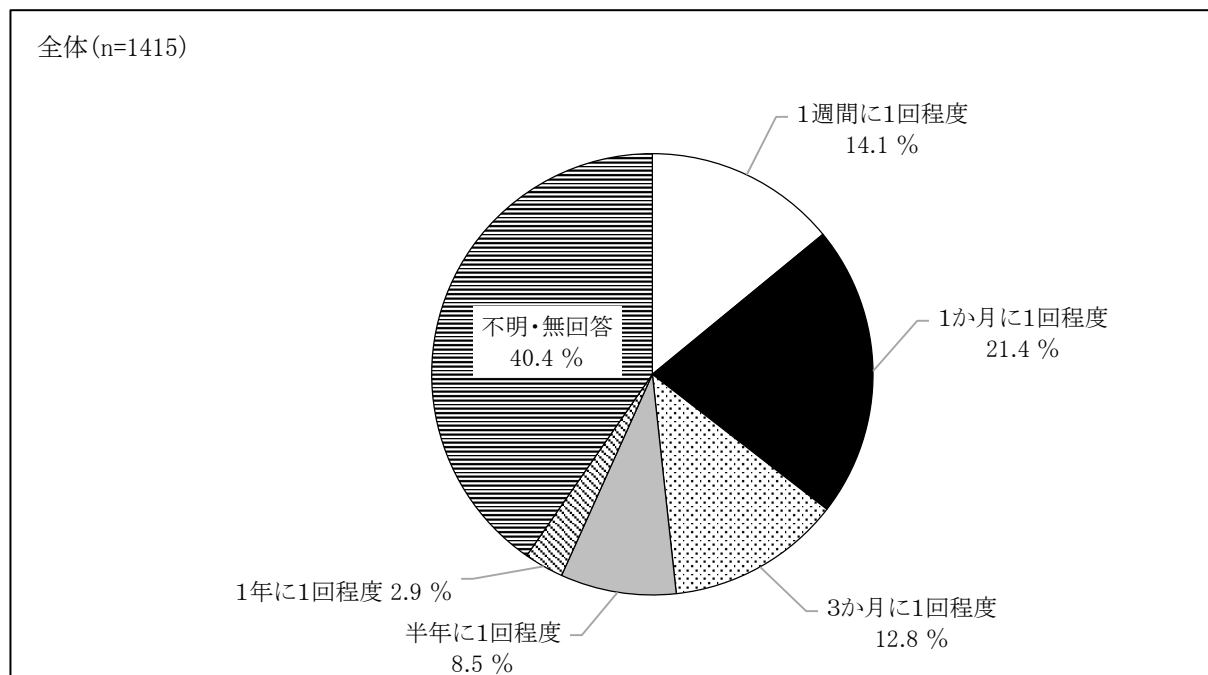
図 1.7-2 「枝葉」の分別収集の利用回数

(地区別／家族構成別)



## (8)「草」の分別収集の利用回数

(問5で1と回答した方に質問します。)  
問5-2 枝葉・草のうち「草」の分別収集の利用回数はどれくらいですか。  
(近いもの1つに○)



— 2割以上が「1か月に1回程度」と回答。 —

### 【全体結果】

「草」の分別収集の利用回数について、「1か月に1回程度」(21.4%)が約2割、「1週間に1回程度」(14.1%)、「3か月に1回程度」(12.8%)が1割台となった。「不明・無回答」(40.4%)が約4割を占めた。

【属性別結果】(図1.8参照) ※以下、「不明・無回答」の結果についてのコメントを除く。

#### ①性別

男女差はみられない。

#### ②年齢別

30～39歳を除く年齢で、「1か月に1回程度」と答えた割合が最も高く、30～39歳で、「3か月に1回程度」(19.8%)と回答した割合が最も高い。「1週間に1回程度」は70～74歳(23.9%)で、他の年齢と比べて割合が高い。

#### ③職業別

学生とその他を除く職業で、「1か月に1回程度」と答えた割合が最も高く、学生で、「3か月に1回程度」(29.4%)と回答した割合が最も高い。家事専業、無職で、「1週間に1回程度」(各19.9%、17.0%)と回答した割合が、他の職業と比べて割合が高い。

#### ④地区別

すべての地区で、「1 か月に 1 回程度」と回答した割合が最も高い。北区では、「3 か月に 1 回程度」(17.5%)と答えた割合が、他の地区と比べてやや高い。南区では、「1 週間に 1 回程度」(3.4%)と答えた割合が 1 割に満たず、他の地区と比べて差がみられる。

#### ⑤家族構成別

すべての家族構成で、「1 か月に 1 回程度」と回答した割合が最も高い。夫婦のみで、「1 週間に 1 回程度」(16.9%)と答えた割合がやや高い。

図 1.8-1 「草」の分別収集の利用回数

(性別／年齢別／職業別)

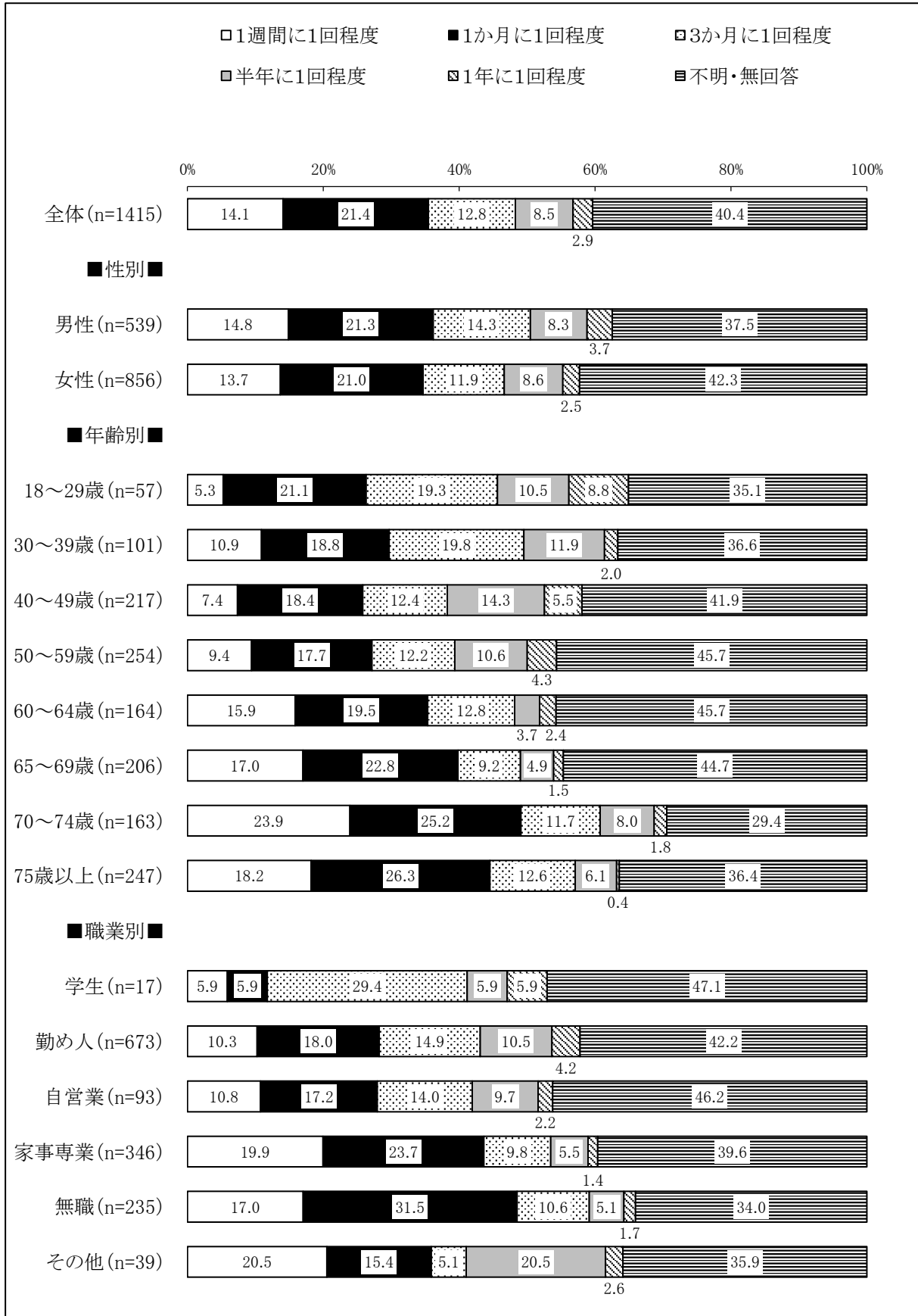
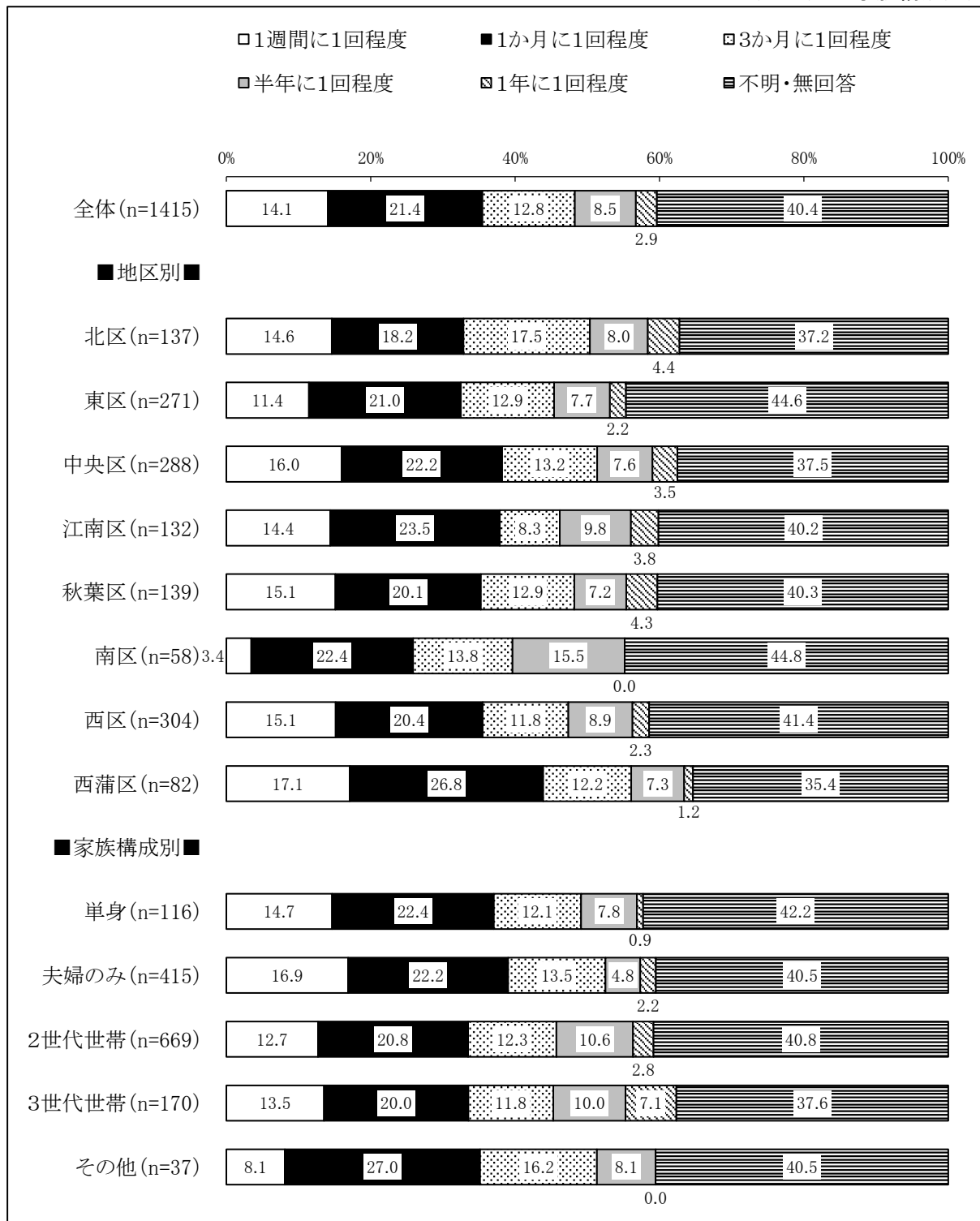


図 1.8-2 「草」の分別収集の利用回数

(地区別／家族構成別)



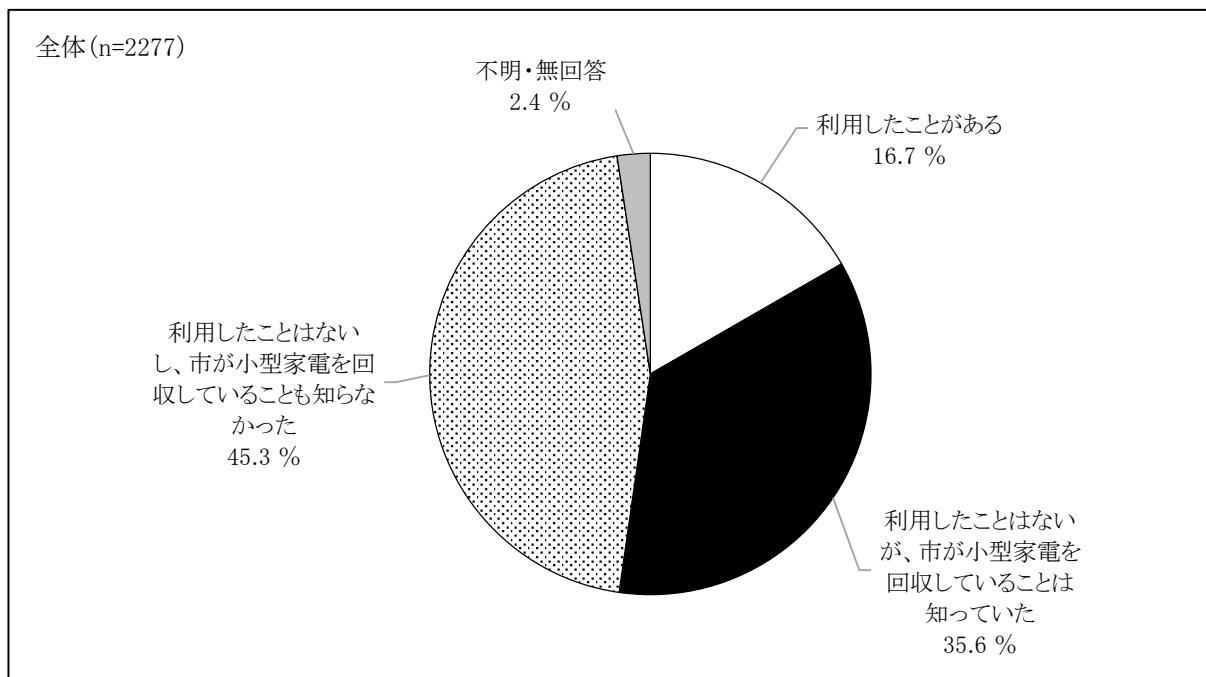


### (9) 「使用済小型家電拠点回収事業」の利用状況

問6 あなたは市が実施している「使用済小型家電拠点回収事業\*」を利用したことがありますか。(〇は1つ)

#### ★「小型家電回収事業」とは

ごみの減量を図るとともに、有用な金属資源を回収して国内で再利用するため、不用になった携帯電話やパソコンなどの「小型家電」を回収ボックスや拠点の窓口で回収している事業です。



— 「利用したことはないし、市が小型家電を回収していることも知らなかった」が4割半ば —

#### 【全体結果】

「使用済小型家電拠点回収事業」の利用状況について、「利用したことがある」が16.7%、「利用したことはないが、市が小型家電を回収していることは知っていた」が35.6%、「利用したことはないし、市が小型家電を回収していることも知らなかった」と答えた割合が最も高く45.3%となった。

#### 【属性別結果】(図1.9参照)

##### ①性別

性別での差は、ほぼ無い。

##### ②年齢別

70～74歳を除く年齢で、「利用したことはないし、市が小型家電を回収していることも知らなかった」と答えた割合が最も高い。特に18～29歳(63.1%)で最も高く、6割を超えた。「利用したことがある」「利用したことはないが、市が小型家電を回収していることは知っていた」とも、高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。70～74歳で、「利用したことはないが、市が小型家電を回収していることは知っていた」(44.3%)が4割を超え、最も高い割合となった。

### ③職業別

すべての職業で、「利用したことがある」は1割台にとどまった。「利用したことはないが、市が小型家電を回収していることは知っていた」は、家事専業(41.7%)で4割台、勤め人(33.2%)、自営業(33.3%)、無職(39.5%)、その他(37.9%)で3割台という結果となった。学生では、「利用したことはないし、市が小型家電を回収していることも知らなかった」(65.4%)の割合が6割半ばを超えた。

### ④地区別

東区で「利用したことがある」(20.3%)が2割を超え、他の地区と比べて割合がやや高い。北区、江南区で、「利用したことはないし、市が小型家電を回収していることも知らなかった」(各49.8%、49.5%)が約半数を占め、他の地区と比べて割合がやや高い。

### ⑤家族構成別

単身で「利用したことがある」(11.6%)で1割強にとどまり、他の家族構成と比べて割合が低い。

図 1.9-1 「使用済小型家電拠点回収事業」の利用状況

(性別／年齢別／職業別)

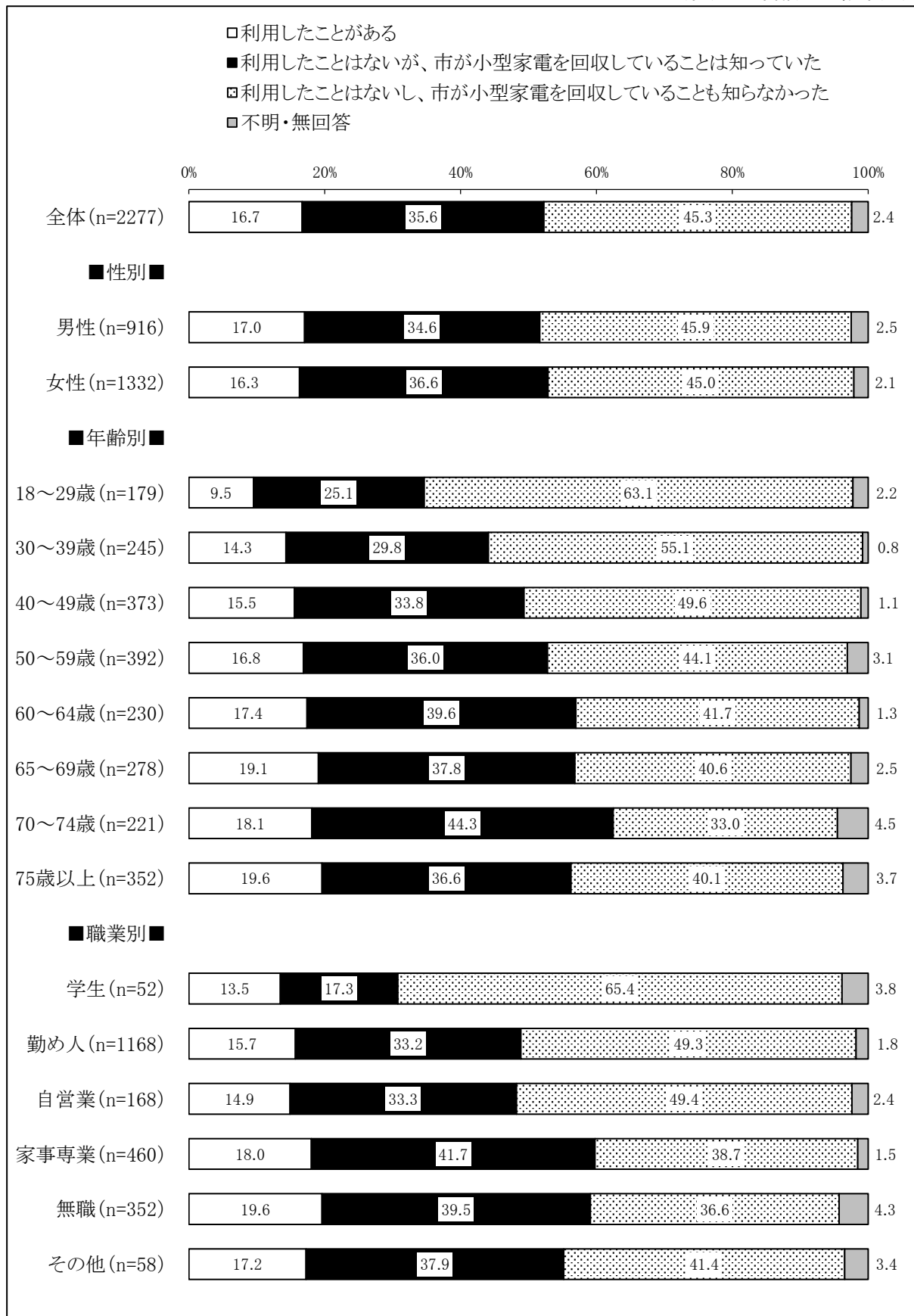
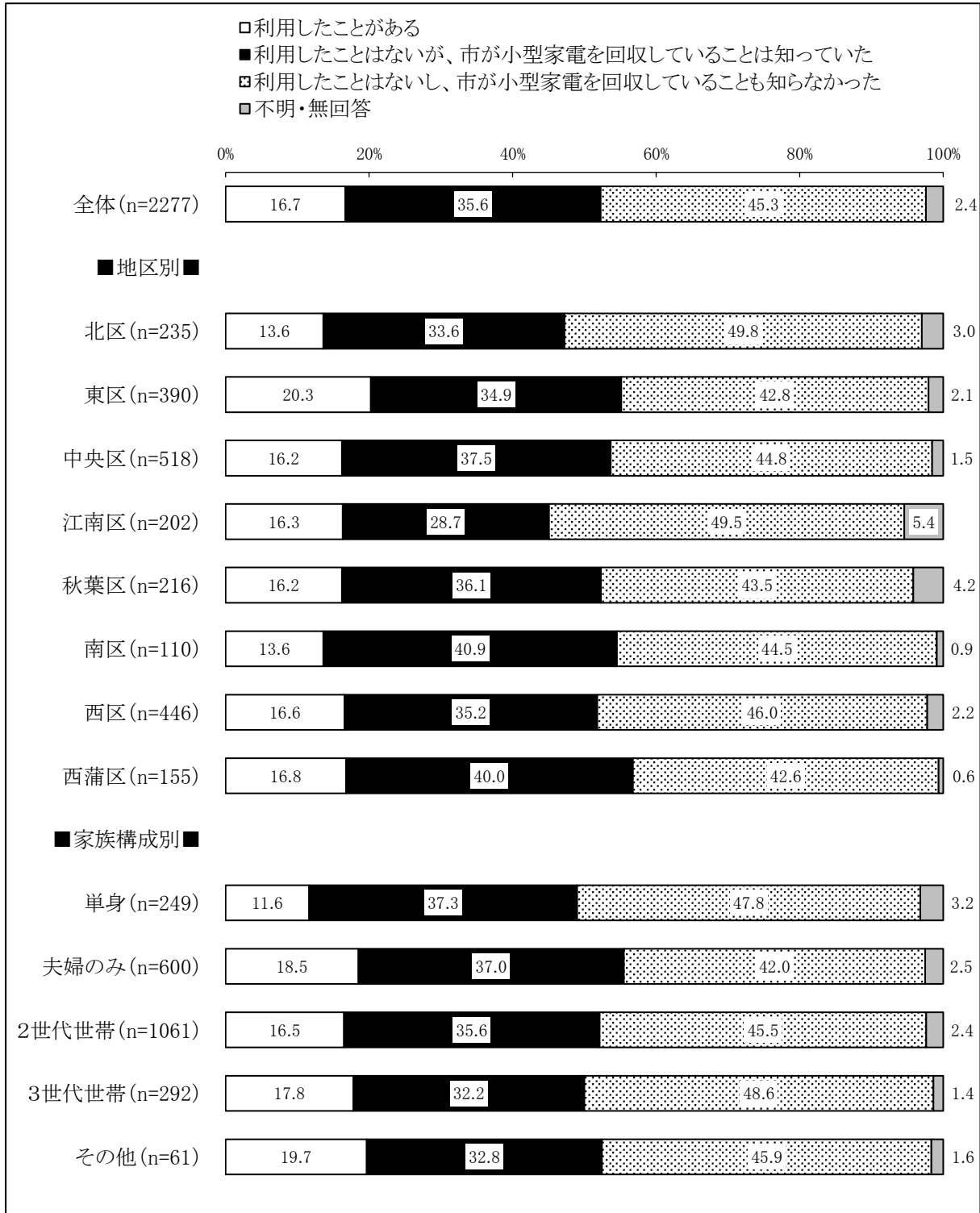


図 1.9-2 「使用済小型家電拠点回収事業」の利用状況

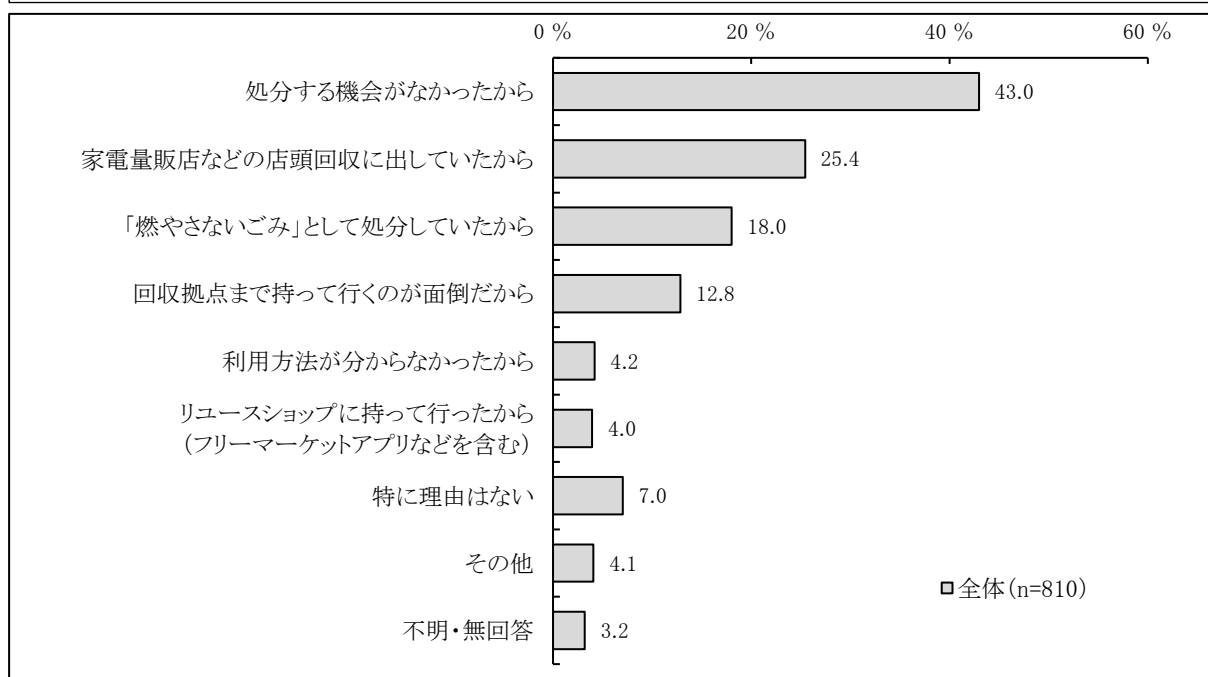
(地区別／家族構成別)



## (10) 「使用済小型家電拠点回収事業」を利用しなかった理由

(問6で2と回答した方に質問します。)

問6-1 あなたが「使用済小型家電拠点回収事業」を利用しなかった理由は何ですか。  
(複数回答可)



— 4割以上が「処分する機会がなかったから」と回答 —

### 【全体結果】

「使用済小型家電拠点回収事業」を利用しなかった理由について、「処分する機会がなかったから」(43.0%)が4割を超え、割合が最も高い。次いで「家電量販店などの店頭回収に出していたから」(25.4%)が2割台、「『燃やさないごみ』として処分していたから」(18.0%)、「回収拠点まで持って行くのが面倒だから」(12.8%)が1割台の順で続いている。

### 【属性別結果】(図1.10参照)

#### ①性別

「回収拠点まで持って行くのが面倒だから」が、男性(10.1%)より女性(14.8%)でやや高いものの、あまり差はみられない。

#### ②年齢別

すべての年齢で、「処分する機会がなかったから」と答えた割合が最も高い。特に18～29歳(68.9%)、30～39歳(65.8%)で6割を超え、他の年齢と比べて割合が突出している。

#### ③職業別 ※学生のコメントについては対象者数が少ないため割愛。

すべての職業で、「処分する機会がなかったから」と答えた割合が最も高い。勤め人(46.1%)、家事専業(43.2%)で4割を超えた。

#### ④地区別

すべての地区で、「処分する機会がなかったから」と答えた割合が最も高い。中央区（51.0%）で5割以上、東区（42.6%）、南区（42.2%）、西蒲区（45.2%）で4割以上という結果となった。秋葉区では、「家電量販店などの店頭回収に出していたから」（21.8%）より「『燃やさないごみ』として処分していたから」（28.2%）と答えた割合が高く、他の地区と差がみられる。

#### ⑤家族構成別

その他を除く家族構成で、「処分する機会がなかったから」と答えた割合が最も高く、特に単身（48.4%）で5割弱を占めた。

図 1.10-1 「使用済小型家電拠点回収事業」を利用しなかった理由  
(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

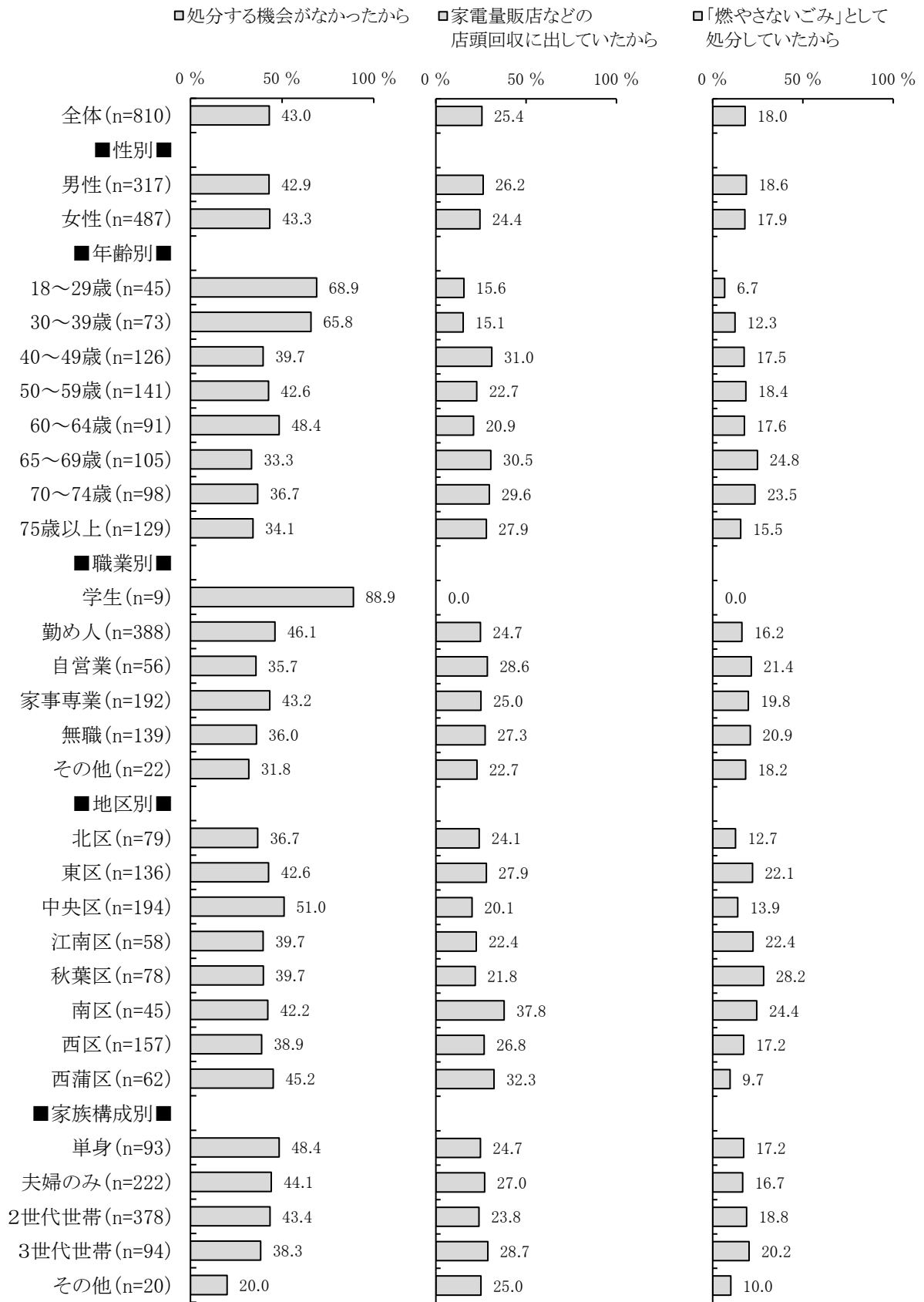


図 1.10-2 「使用済小型家電拠点回収事業」を利用しなかった理由

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

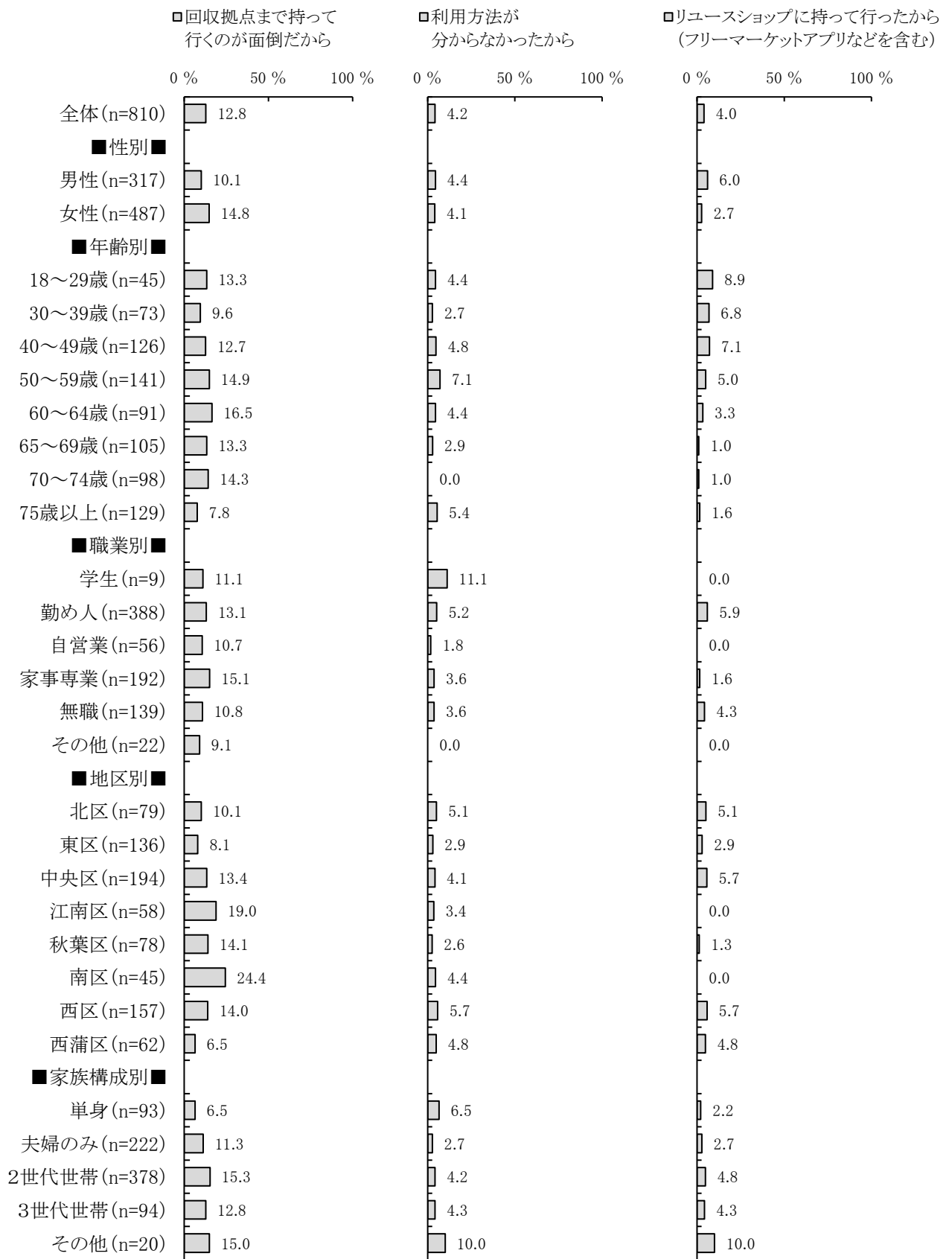
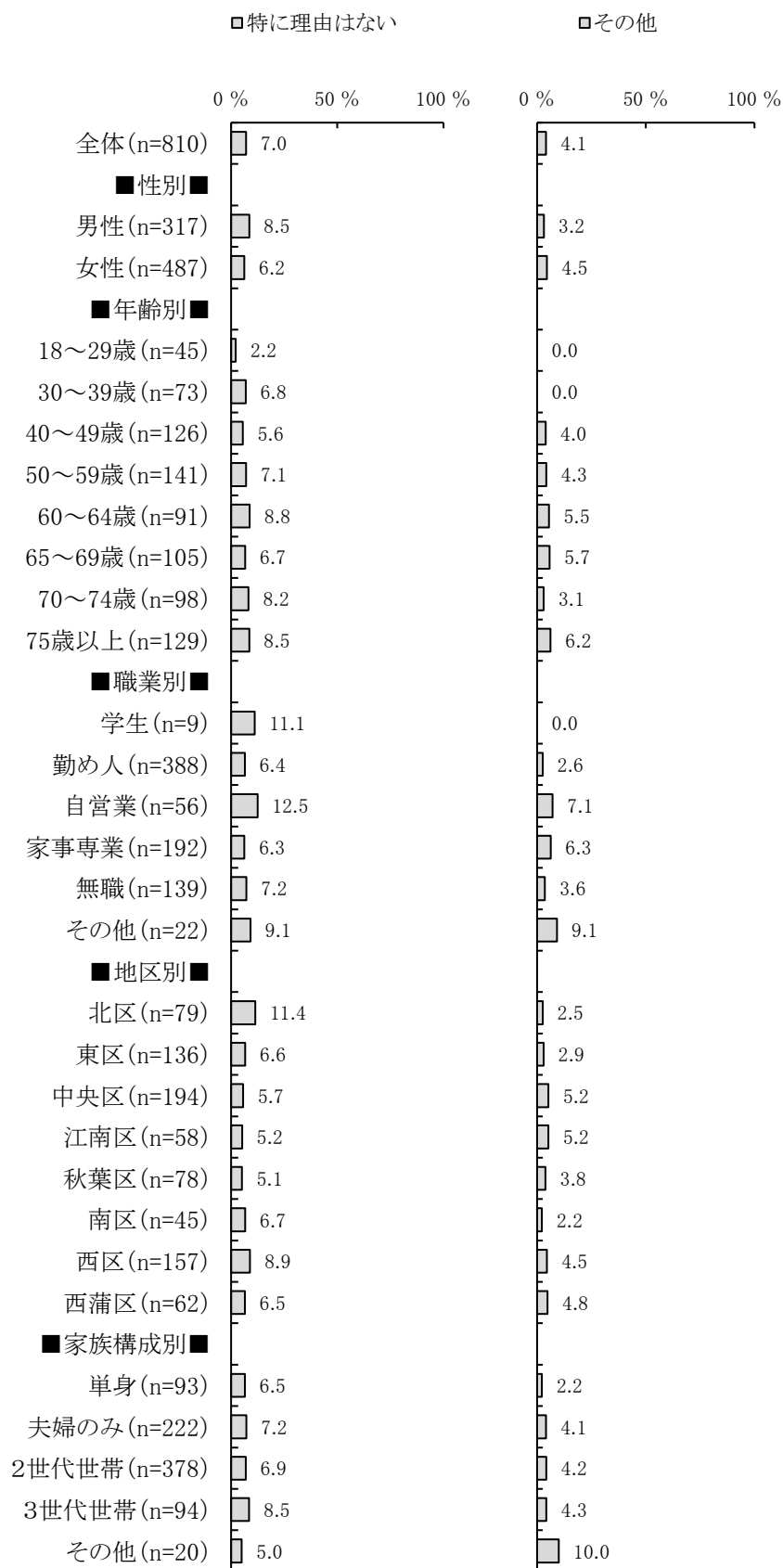




図 1.10-3 「使用済小型家電拠点回収事業」を利用しなかった理由

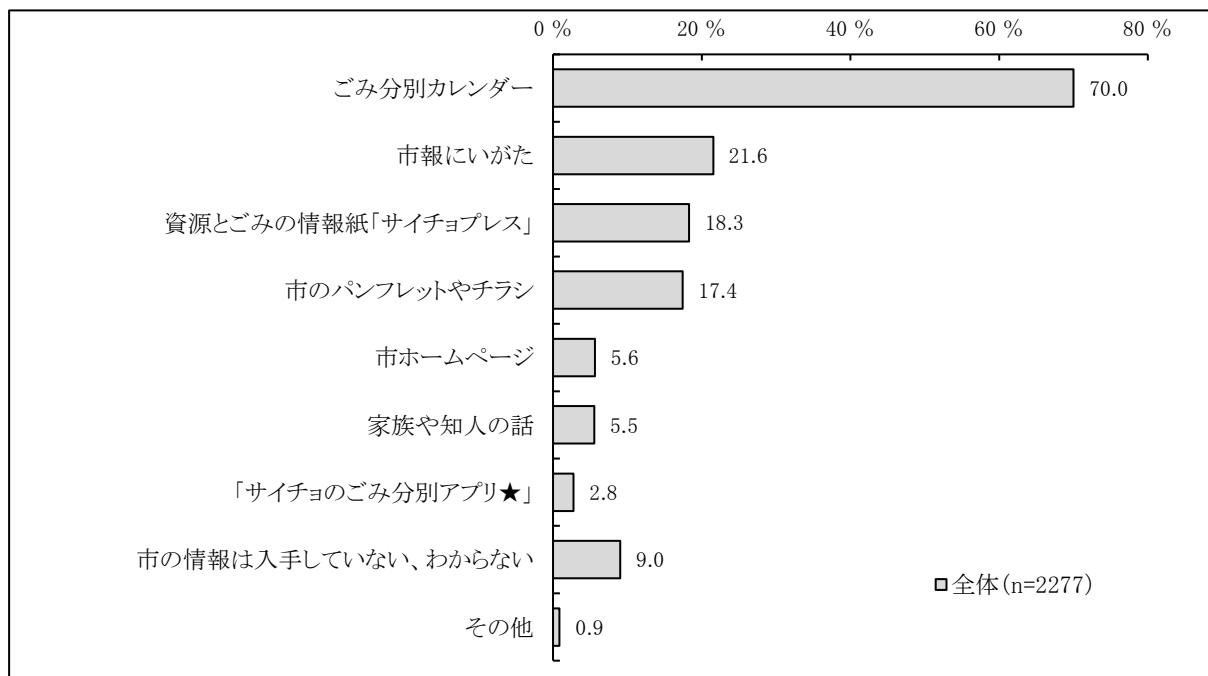
(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)



## 2. 情報入手について

### (1) 市が発信している情報の入手手段

問7 市が発信しているごみやリサイクルの情報をどのような手段で入手していますか。  
(複数回答可)



#### ★「サイチョのごみ分別アプリ」とは

スマートフォンなどで、ごみの分別方法や出し方を調べられるアプリケーション（無料）です。「新潟 ごみ アプリ」で検索して、ダウンロードできます。

— 「ごみ分別カレンダー」が7割で突出 —

#### 【全体結果】

市が発信している情報の入手手段について、「ごみ分別カレンダー」(70.0%)が7割を占め、突出している。次いで「市報にいがた」(21.6%)が2割台、「資源とごみの情報紙『サイチョypress』」(18.3%)、「市のパンフレットやチラシ」(17.4%)が1割台の順で続いている。

#### 【属性別結果】(図2.1参照)

##### ①性別

「ごみ分別カレンダー」は、男性(64.7%)より女性(73.4%)で割合が高く、「市報にいがた」「資源とごみの情報紙『サイチョypress』」も男性(各19.4%、16.0%)より女性(各23.1%、20.0%)で割合がやや高い結果となった。

##### ②年齢別

すべての年齢で、「ごみ分別カレンダー」と答えた割合が最も高く、概ね高齢層ほど割合が高い。18～29歳は、他の年齢と比べて、「家族や知人の話」(15.1%)、「市の情報は入手していない、わからない」(30.2%)と答えた割合が高い。

### ③職業別

すべての職業で、「ごみ分別カレンダー」と答えた割合が最も高く、家事専業（80.9%）では8割を占めた。学生は、他の職業と比べて、「家族や知人の話」（28.8%）、「市の情報は入手していない、わからない」（23.1%）と答えた割合が高い。

### ④地区別

すべての地区で、「ごみ分別カレンダー」と答えた割合が最も高い。他の地区と比べて、東区（74.6%）、西蒲区（74.8%）で割合がやや高い。西蒲区は、他の地区と比べて、「市のパンフレットやチラシ」（26.5%）と答えた割合が高い。

### ⑤家族構成別

すべての家族構成で、「ごみ分別カレンダー」と答えた割合が最も高い。夫婦のみは、他の家族構成と比べて、「市のパンフレットやチラシ」（21.7%）と答えた割合が高い。

図 2.1-1 市が発信している情報の入手手段

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

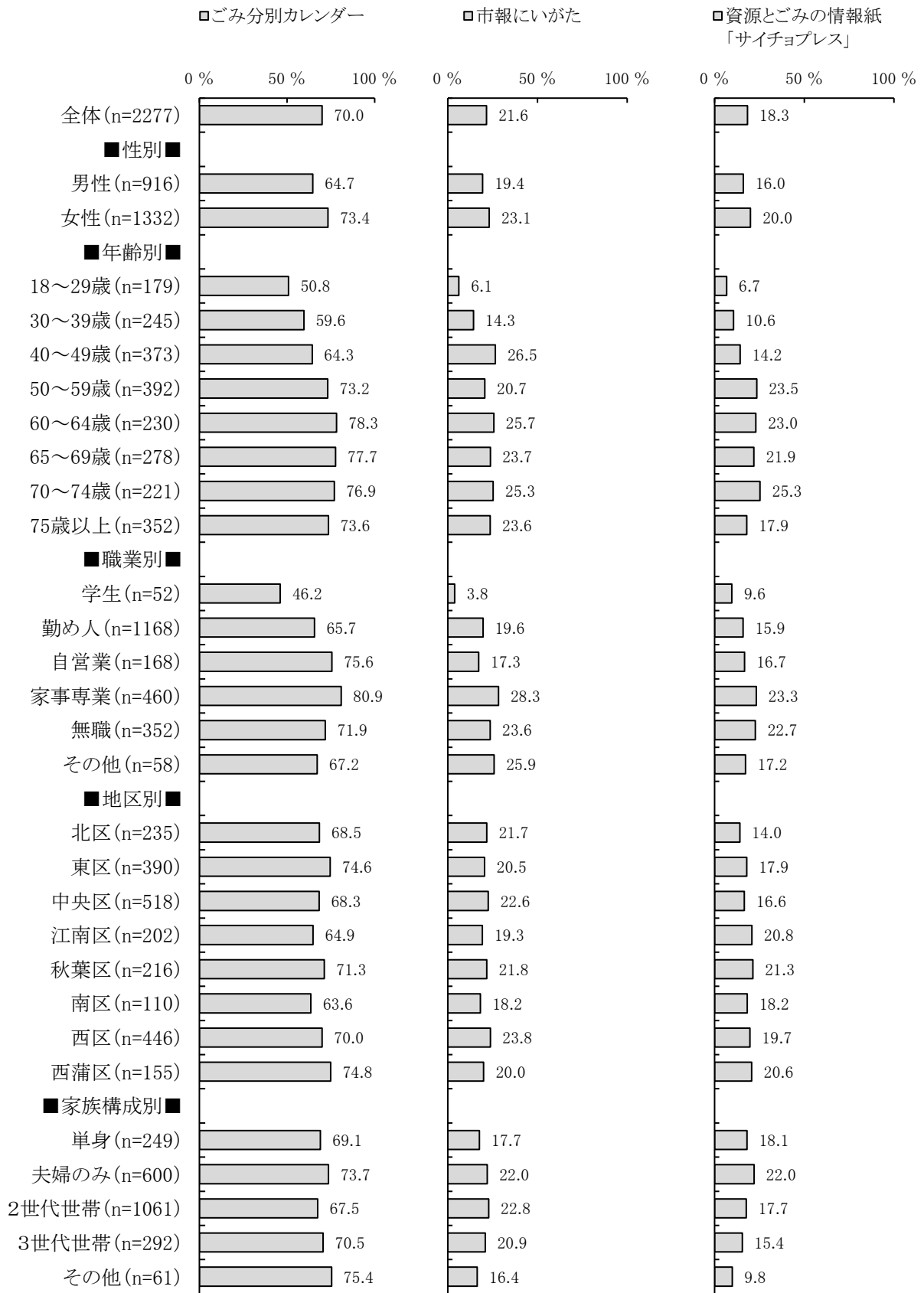


図 2.1-2 市が発信している情報の入手手段

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

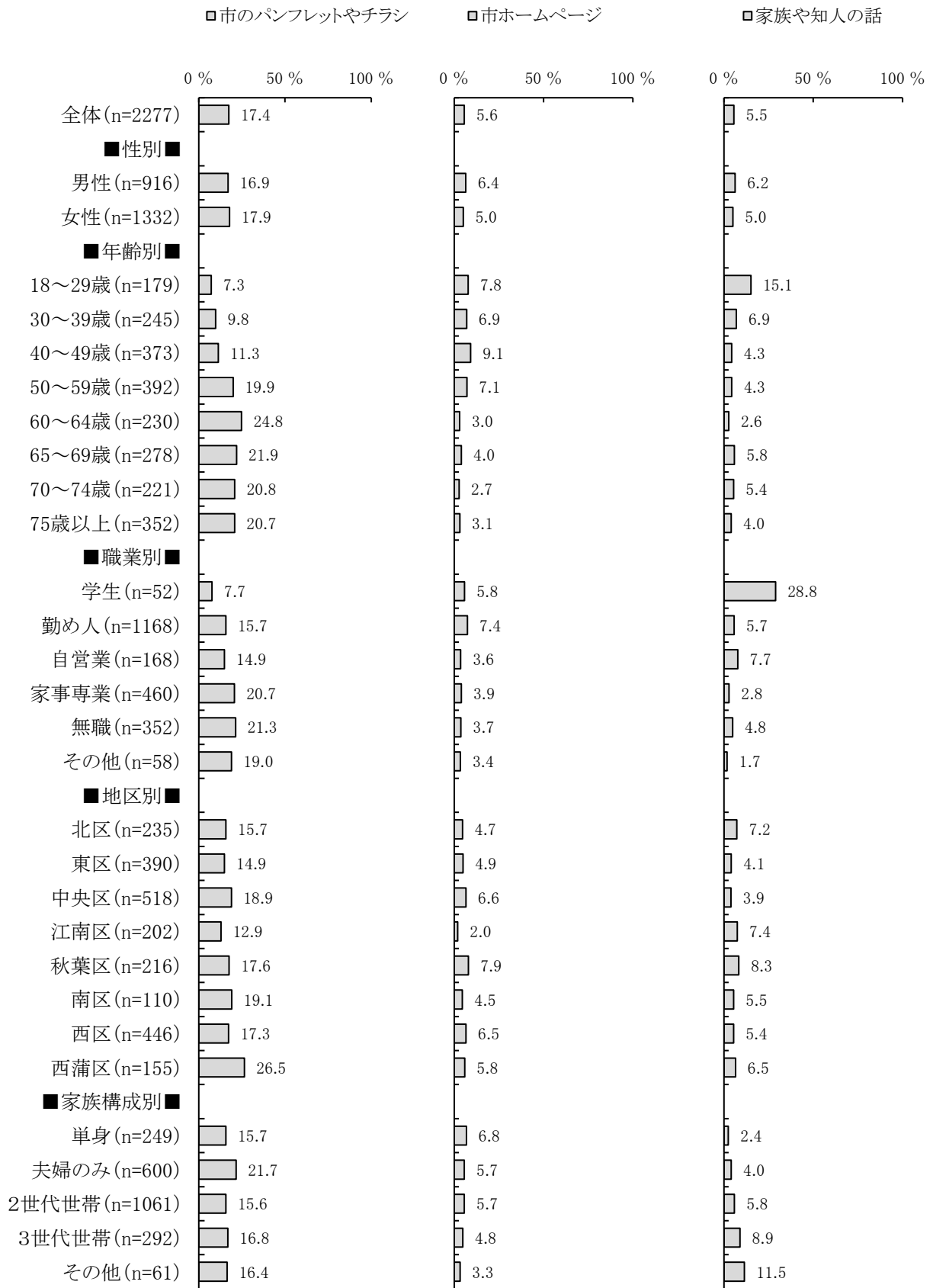
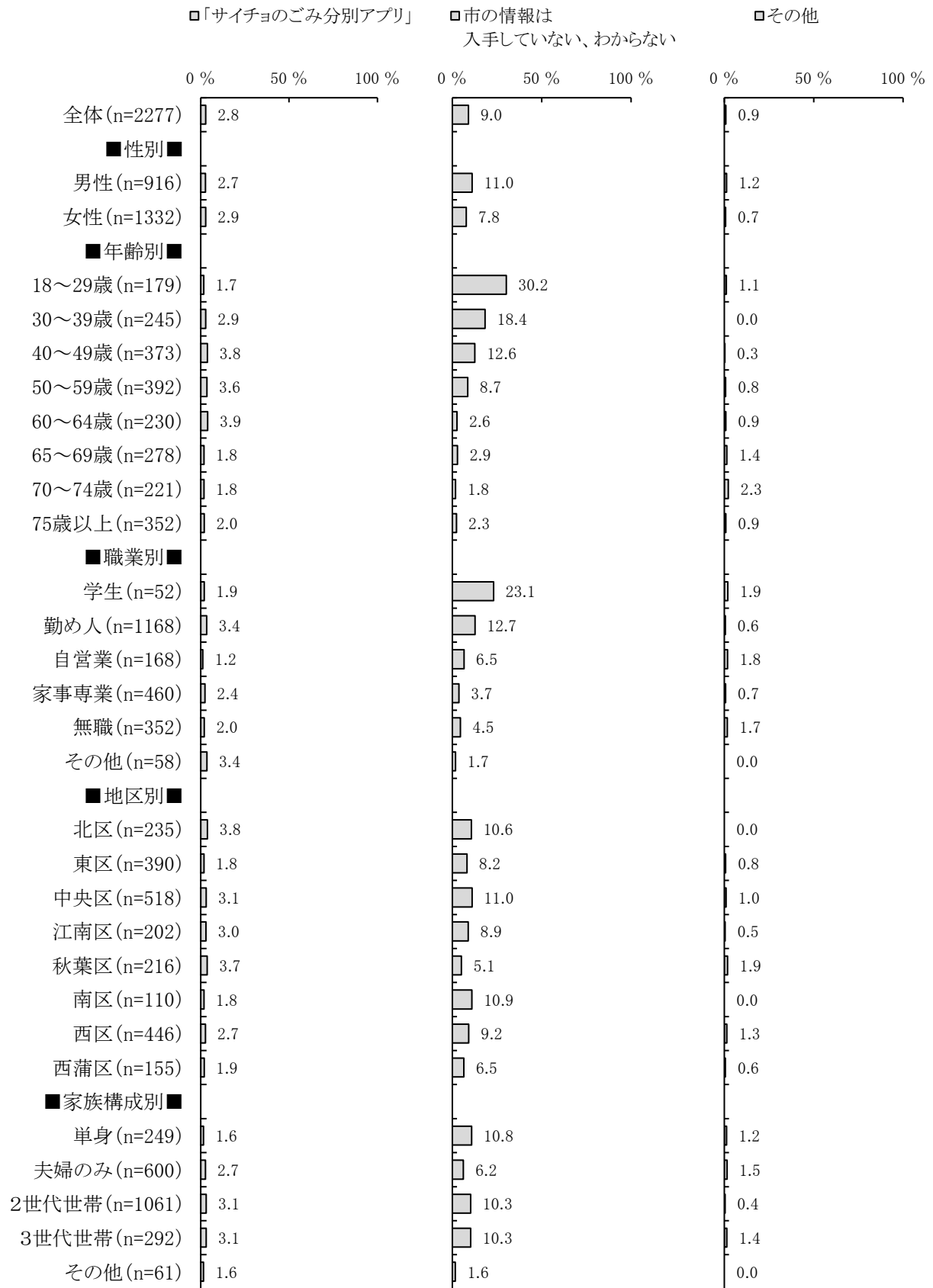


図 2.1-3 市が発信している情報の入手手段

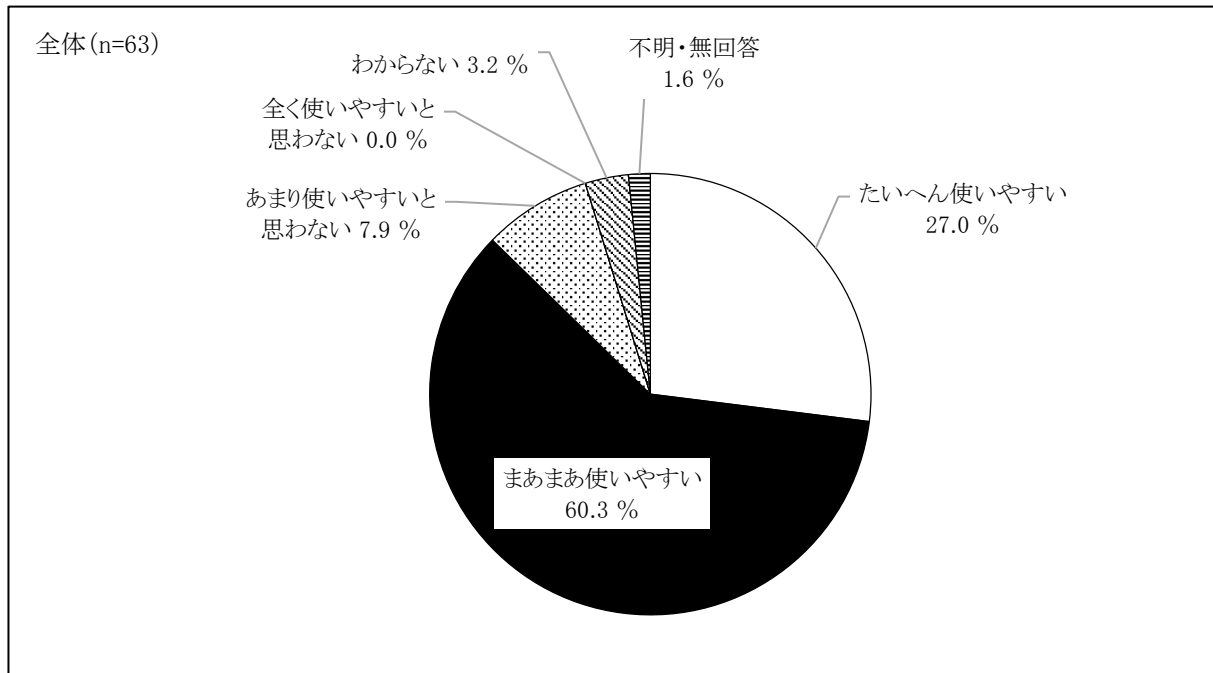
(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)



## (2) 「サイチョのごみ分別アプリ」の使いやすさ

(問7で2と回答した方に質問します。)

問7-1 「サイチョのごみ分別アプリ」を使ってみてどうですか。(○は1つ)



— 「たいへん使いやすい」が3割弱、「まあまあ使いやすい」が約6割 —

### 【全体結果】

「サイチョのごみ分別アプリ」の使いやすさについて、「たいへん使いやすい」が27.0%、「まあまあ使いやすい」が60.3%、「あまり使いやすいと思わない」が7.9%、「全く使いやすいと思わない」が0.0%。「たいへん使いやすい」と「まあまあ使いやすい」を合わせると、8割以上が『使いやすい』と回答した結果となった。

### 【属性別結果】(図2.2参照)

※対象者数が少ないため、図のみの掲載とする。

図 2.2-1 「サイチョのごみ分別アプリ」の使いやすさ

(性別／年齢別／職業別)

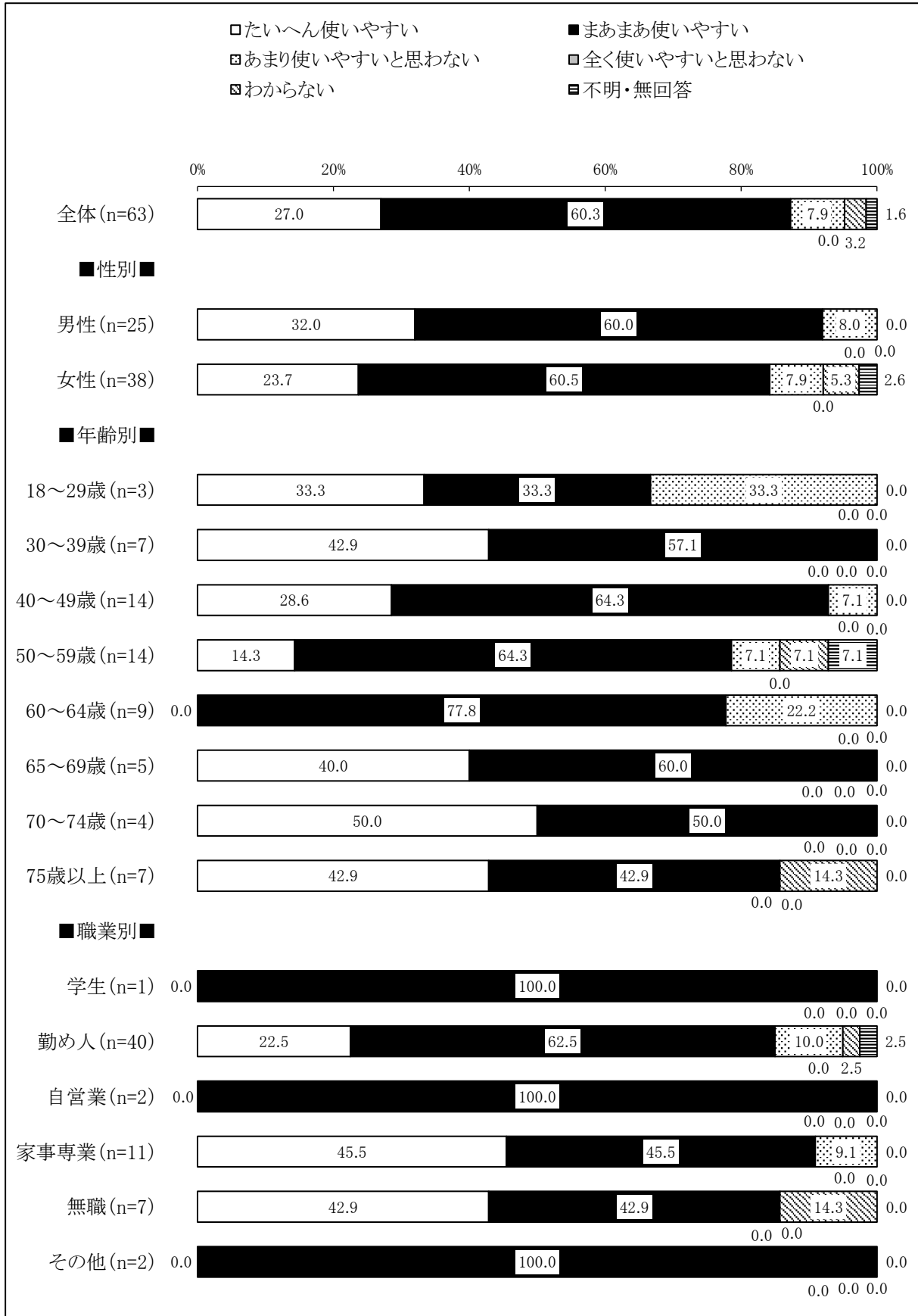
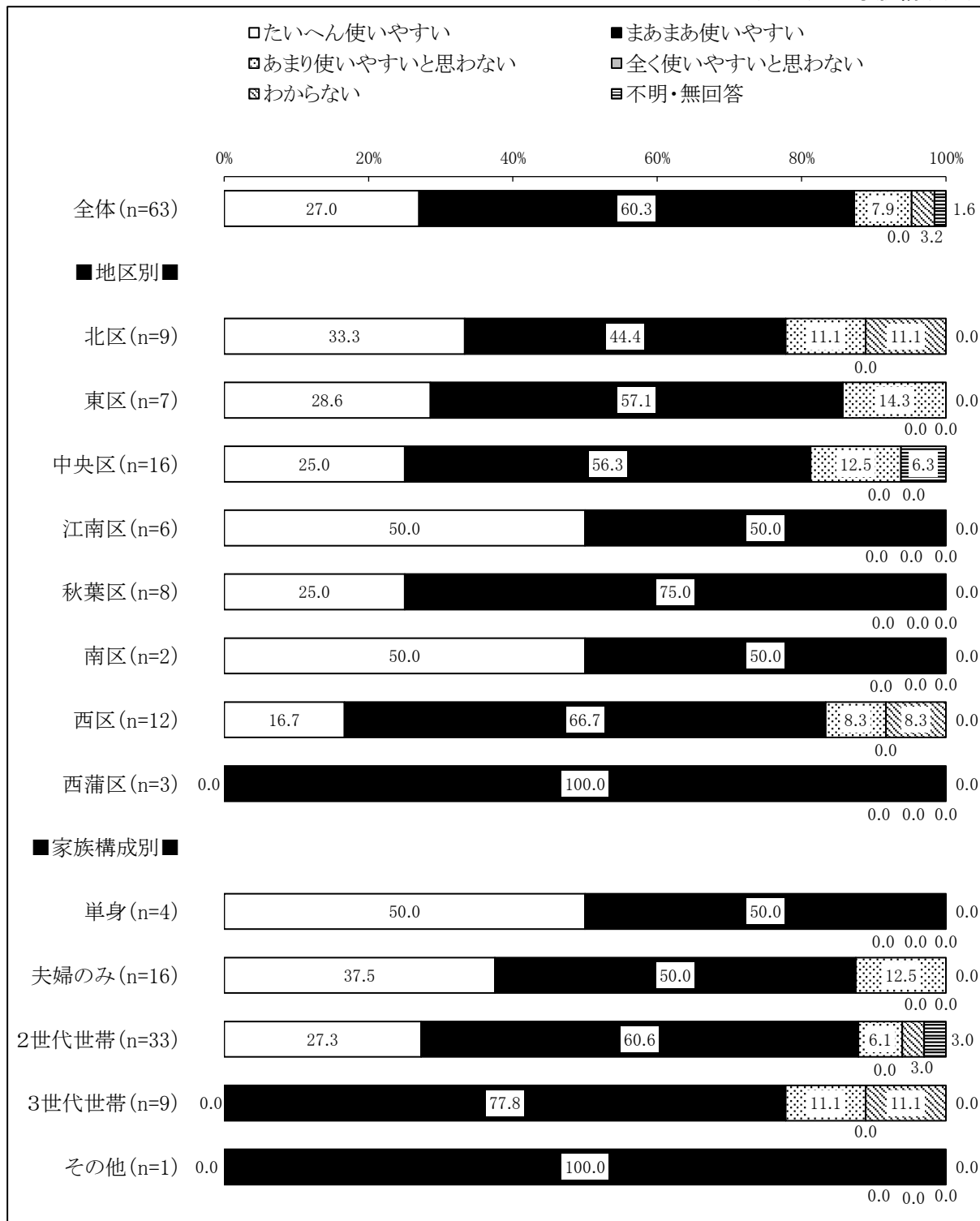




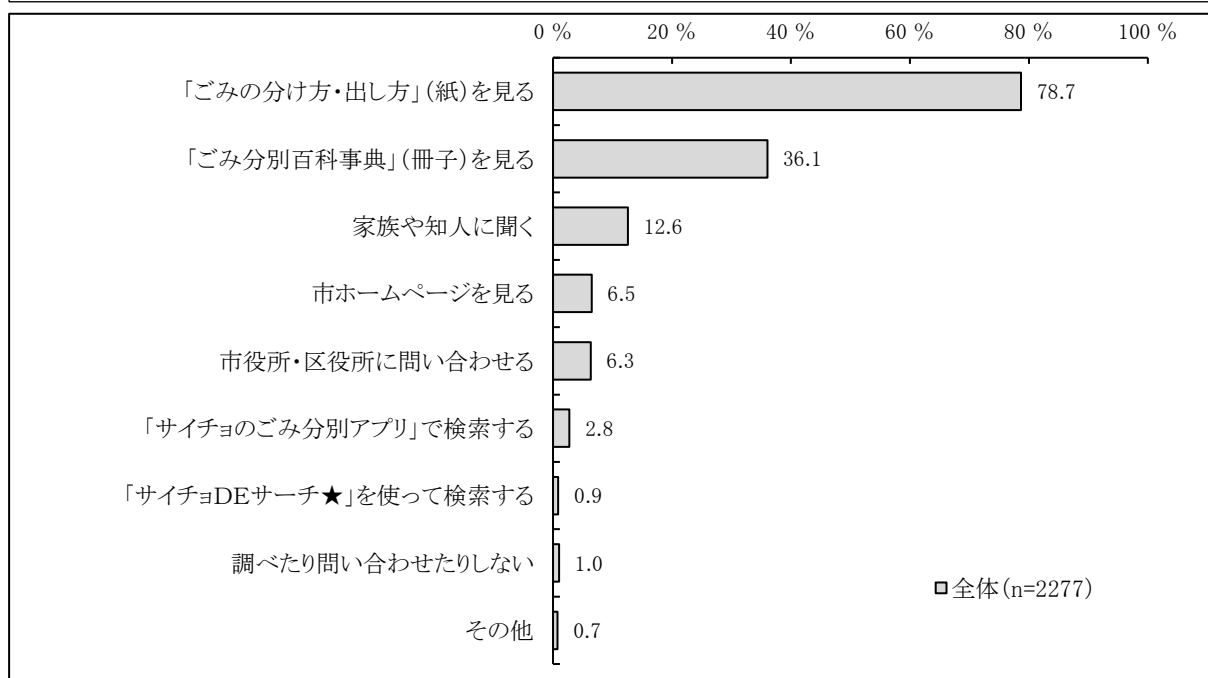
図 2.2-2 「サイチョのごみ分別アプリ」の使いやすさ

(地区別／家族構成別)



### (3) ごみの分別の確認方法

問8 ごみの分別はどのように確認していますか。(複数回答可)



#### ★「サイチヨDEサーチ」とは

ごみの分別・出し方をパソコンやスマートフォンから検索できるサービスです。

— 「『ごみの分け方・出し方』(紙)を見る」が7割以上で突出 —

#### 【全体結果】

ごみの分別の確認方法について、「『ごみの分け方・出し方』(紙)を見る」(78.7%)が最も割合が高く、7割を超えた。次いで「『ごみ分別百科事典』(冊子)を見る」(36.1%)が3割台、「家族や知人に聞く」(12.6%)が1割台で続き、その他の項目は1割未満という結果となった。

#### 【属性別結果】(図2.3参照)

##### ①性別

男女とも、「『ごみの分け方・出し方』(紙)を見る」(各76.4%、80.4%)と答えた割合が最も高い。「『ごみ分別百科事典』(冊子)を見る」は、男性(28.2%)より女性(41.8%)で割合が高く、「家族や知人に聞く」は、女性(10.2%)より男性(15.8%)で割合が高い。

##### ②年齢別

すべての年齢で、「『ごみの分け方・出し方』(紙)を見る」と答えた割合が最も高い。次いで、18～29歳では、「家族や知人に聞く」(33.0%)と答えた割合が高く、30歳以上では、「『ごみ分別百科事典』(冊子)を見る」と答えた割合が高い。18～49歳では、「市ホームページを見る」が1割を超え、60歳以上では、「市役所・区役所に問い合わせる」が約1割を占めた。

### ③職業別

すべての職業で、『ごみの分け方・出し方』（紙）を見る」と答えた割合が最も高い。『ごみ分別百科事典』（冊子）を見る」は、家事専業（46.1%）で他の職業と比べて割合が高い。学生は、「家族や知人に聞く」（46.2%）が4割を超え、他の職業と比べて突出している。

### ④地区別

すべての地区で、『ごみの分け方・出し方』（紙）を見る」と答えた割合が最も高い。北区（74.9%）、中央区（78.2%）、西区（74.2%）を除く地区で8割を超えた。『ごみ分別百科事典』（冊子）を見る」は、中央区（42.9%）で4割を超え、他の地区と比べて割合が高い。

### ⑤家族構成別

すべての家族構成で、『ごみの分け方・出し方』（紙）を見る」と答えた割合が最も高く、2世代世帯で8割、他の家族構成で7割台という結果となった。『ごみ分別百科事典』（冊子）を見る」は、夫婦のみ（44.3%）で最も高く、他の家族構成と比べて割合が高い。「家族や知人に聞く」は、3世代世帯（19.5%）、その他（23.0%）で割合が高い。

図 2.3-1 ごみの分別の確認方法

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

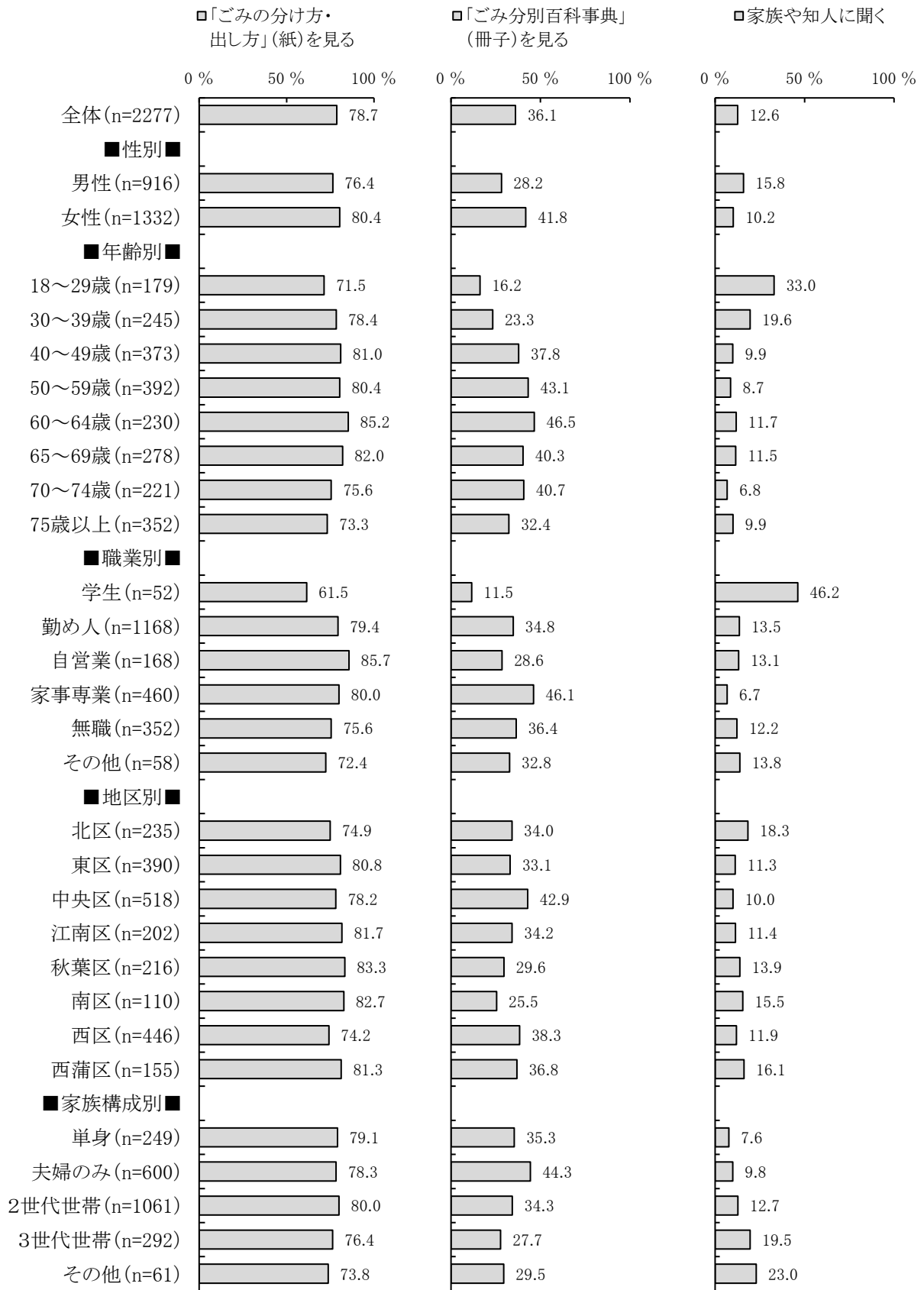


図 2.3-2 ごみの分別の確認方法

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

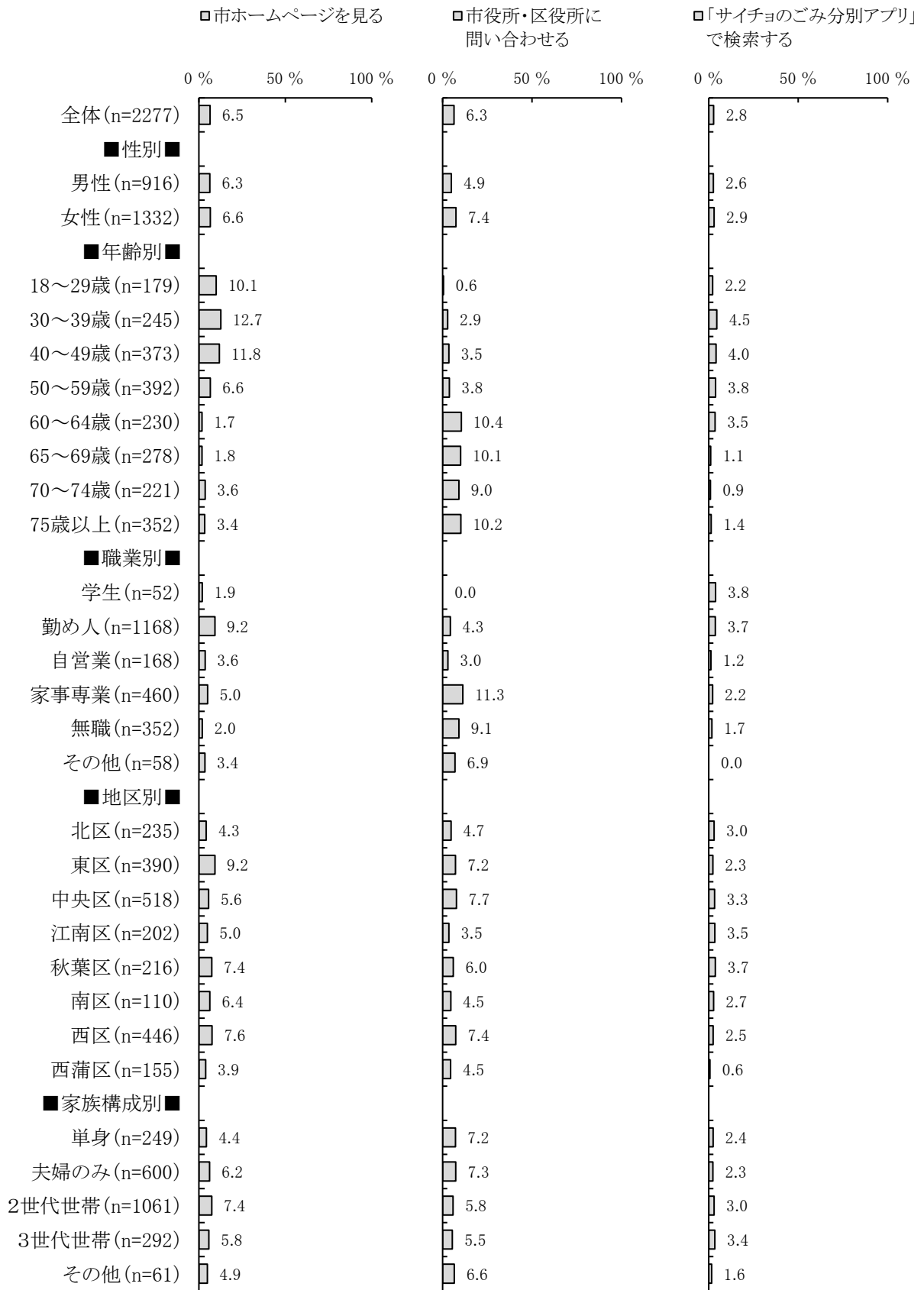
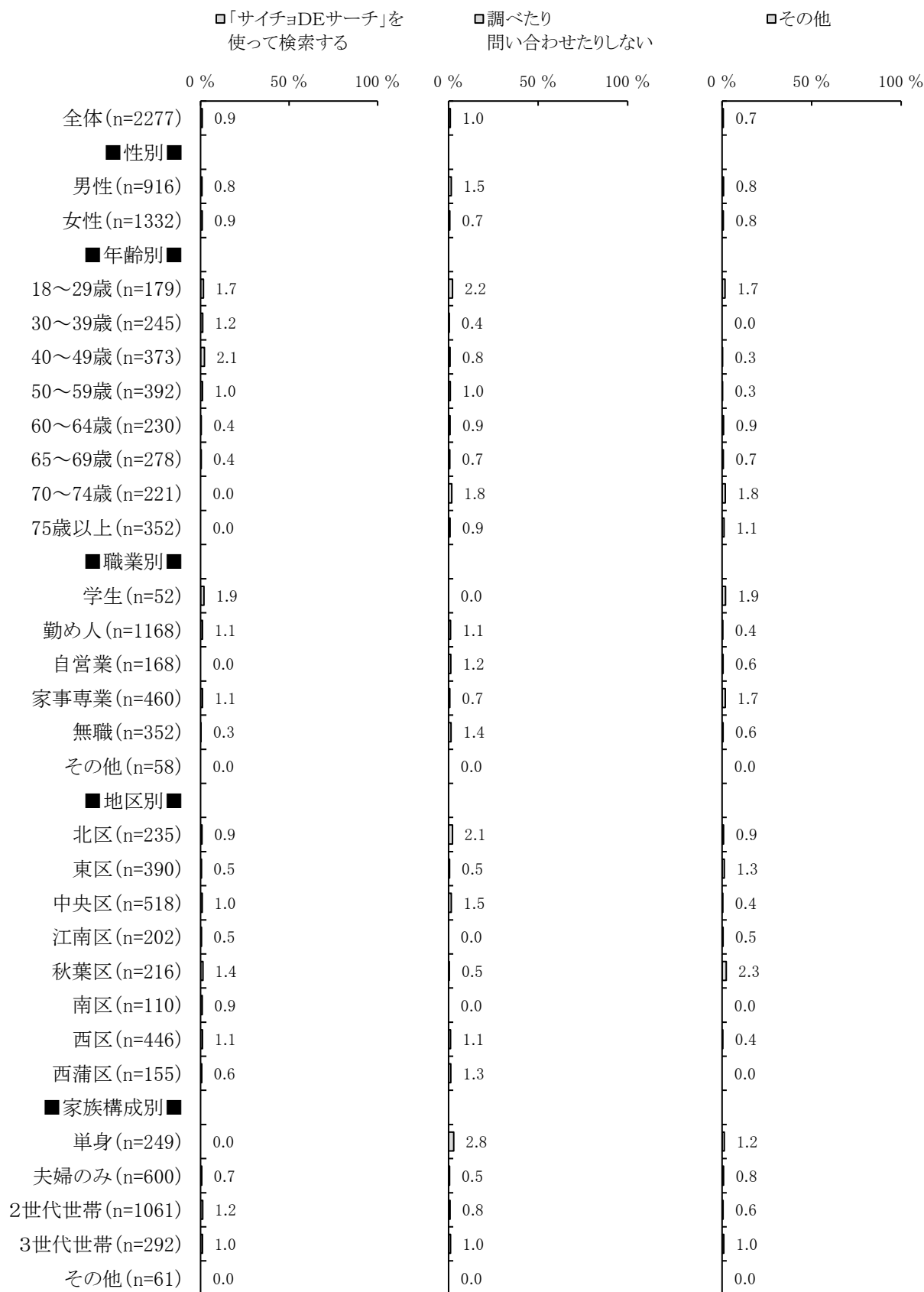


図 2.3-3 ごみの分別の確認方法

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)



### 3. 3R（スリーアール）意識について

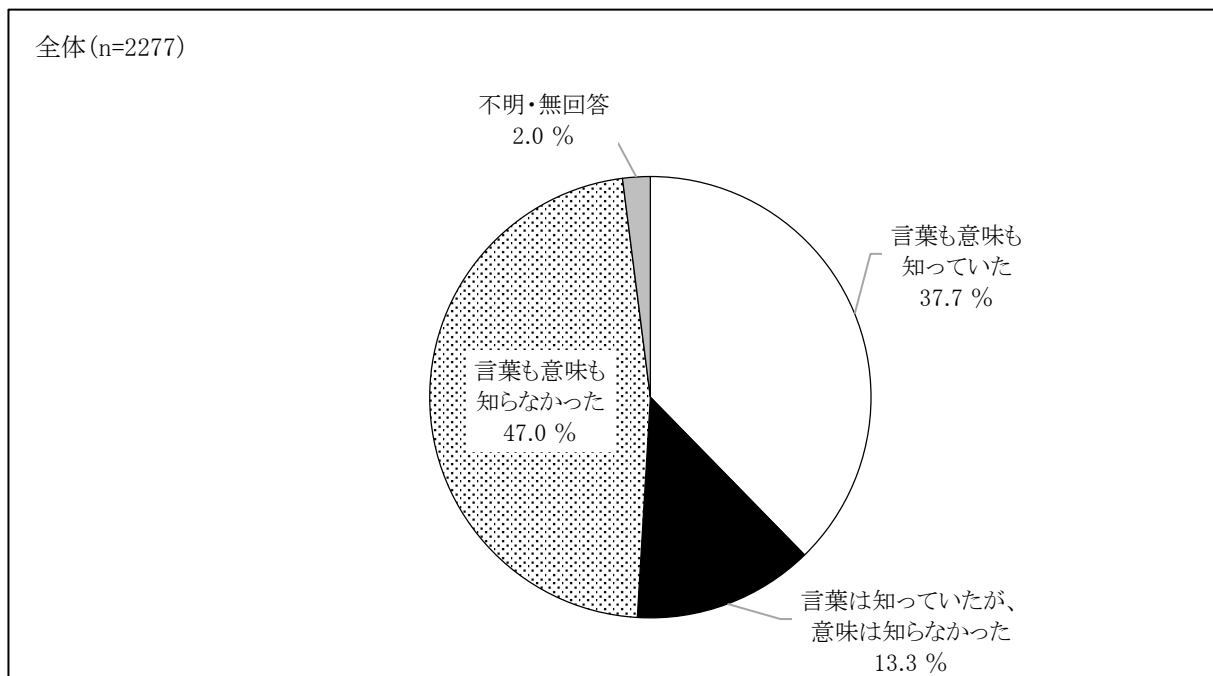
#### (1) 3Rの認知度

問9 「3R（スリーアール）★」という言葉や意味を知っていましたか。（○は1つ）

#### ★「3R（スリーアール）」とは

以下の3つの英語の頭文字をとった言葉で、この優先順位で廃棄物の削減に努めるのがよいという考え方です。

- ① リデュース（Reduce：発生抑制）  
不必要な物は買わない、物を大切に使うなど、ごみを減らすことです。
- ② リユース（Reuse：再使用）  
いらなくなった物を譲り合うなど、使えるものは繰り返し使うことです。
- ③ リサイクル（Recycle：再生利用）  
ごみを正しく分別して、資源として再生利用することです。



— 約4割が「言葉も意味も知っていた」と回答 —

#### 【全体結果】

3Rという言葉や意味について、「言葉も意味も知っていた」は37.7%、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」は13.3%、「言葉も意味も知らなかった」が47.0%という結果となった。「言葉も意味も知っていた」と「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」を合わせた『知名度』は、5割以上を占めた。

#### 【属性別結果】（図3.1参照）

##### ①性別

「言葉も意味も知っていた」は、女性（35.9%）より男性（40.8%）でやや割合が高い。「言葉も意味も知らなかった」は、男性（45.0%）より女性（48.1%）で割合が高い。

## ②年齢別

18歳～59歳では、「言葉も意味も知っていた」と答えた割合が最も高く、18～29歳（67.0%）では6割以上で、他の年齢と比べて割合が高い。一方、60歳以上では、「言葉も意味も知らなかった」と答えた割合が最も高く、65～69歳（61.2%）、75歳以上（67.6%）で6割を超えた。概ね若年層ほど『知名度』が高い傾向がみられる。

## ③職業別

学生、勤め人では、「言葉も意味も知っていた」（各 67.3%、45.4%）と答えた割合が最も高い。他の職業では、「言葉も意味も知っていた」は3割以下にとどまり、「言葉も意味も知らなかった」と答えた割合が5～6割台を占めた。

## ④地区別

「言葉も意味も知っていた」は、中央区（43.4%）で他の地区と比べて割合が高く、「言葉も意味も知らなかった」（43.1%）と答えた割合を上回った。「言葉も意味も知らなかった」は、北区（52.3%）、江南区（50.0%）、秋葉区（53.2%）、南区（50.9%）、西蒲区（51.6%）で、約半数を占めた。

## ⑤家族構成別

単身、2世代世帯で、「言葉も意味も知っていた」（各 40.6%、40.8%）と答えた割合が高い。夫婦のみ、その他では、「言葉も意味も知らなかった」（各 53.2%、54.1%）が半数を超え、他の家族構成と比べて割合が高い。



図 3.1-1 3Rの認知度

(性別／年齢別／職業別)

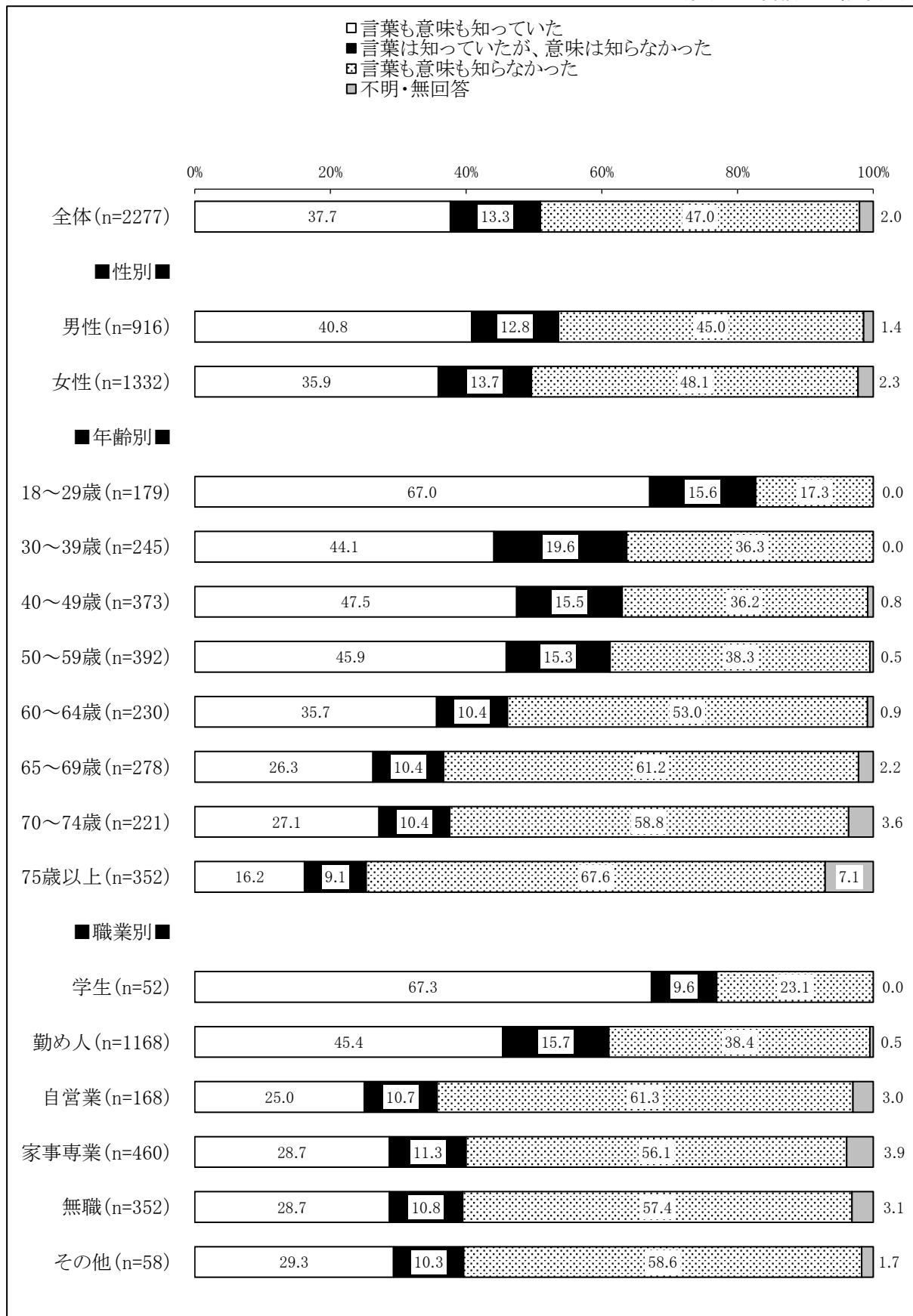
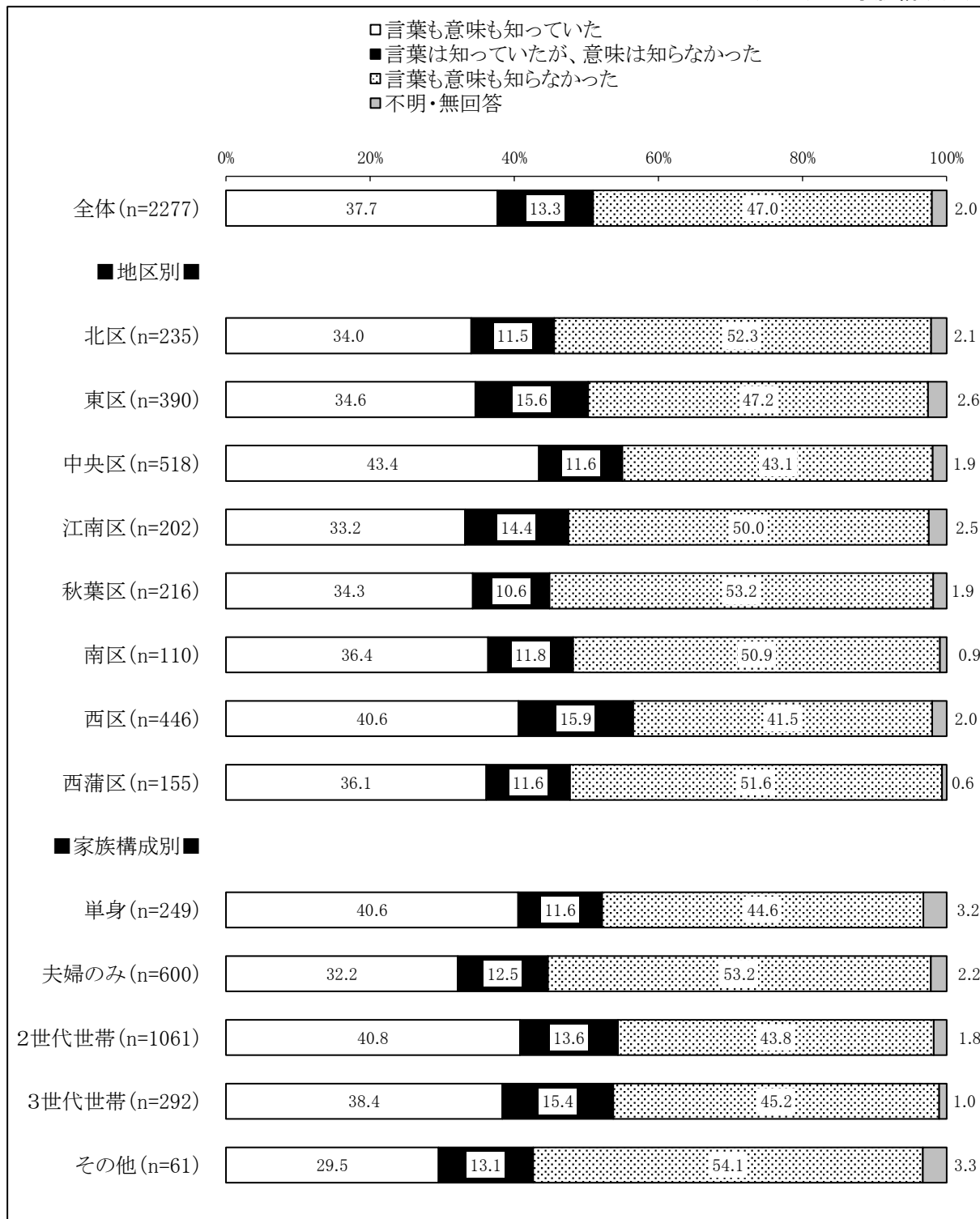


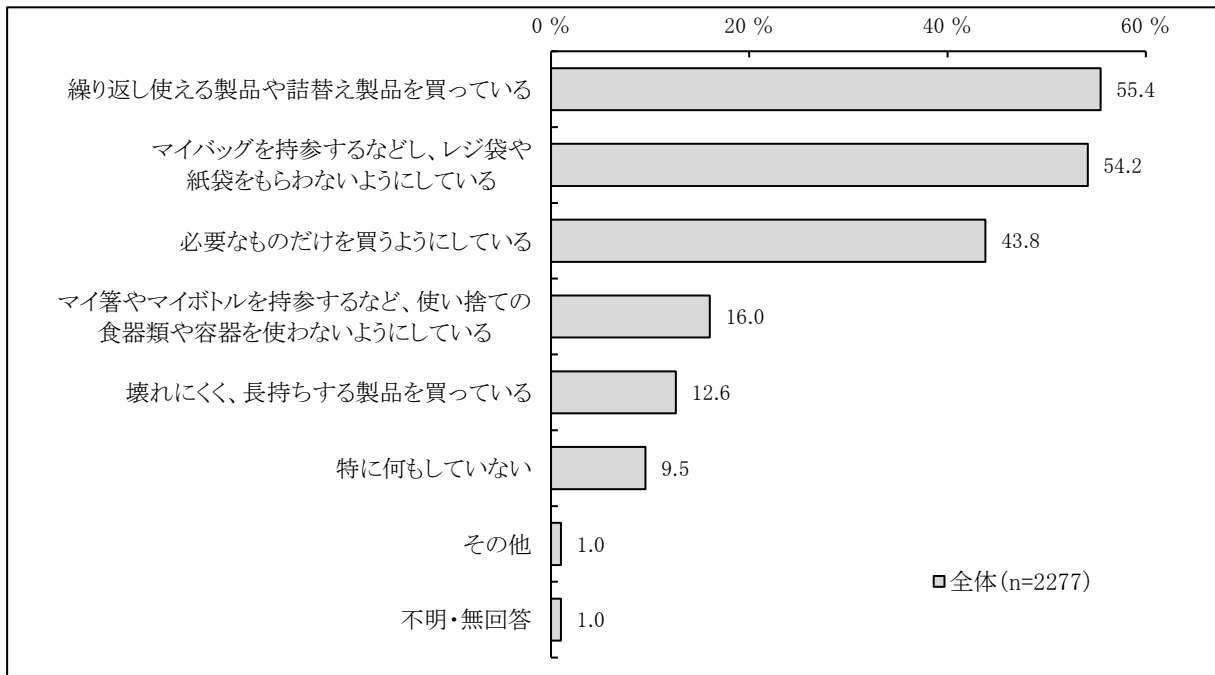
図 3.1-2 3Rの認知度

(地区別／家族構成別)



## (2) ふだん行っているリデュースへの取組み

問10 ごみを減らす（リデュース）ために、あなたがふだん行っていることは何ですか。  
（複数回答可）



— 「繰り返し使える製品や詰替え製品を買っている」が僅差でトップ —

### 【全体結果】

ふだん行っているリデュースへの取組みについて、「繰り返し使える製品や詰替え製品を買っている」(55.4%)が5割で、割合が最も高い。次いで「マイバッグを持参するなどし、レジ袋や紙袋をもらわないようにしている」(54.2%)も5割台で続き、「必要なものだけを買うようにしている」(43.8%)が4割台の順で続いている。「特に何もしていない」は1割未満にとどまった。

### 【属性別結果】(図3.2参照)

#### ①性別

「繰り返し使える製品や詰替え製品を買っている」「マイバッグを持参するなどし、レジ袋や紙袋をもらわないようにしている」「マイ箸やマイボトルを持参するなど、使い捨ての食器類や容器を使わないようにしている」は、男性(各44.1%、42.6%、10.5%)と比べて女性(各63.7%、61.9%、19.9%)で割合が高い。一方、「壊れにくく、長持ちする製品を買っている」「特に何もしていない」は、女性(各10.7%、6.5%)と比べて男性(各15.4%、14.0%)で割合が高い。

#### ②年齢別

40～64歳で、「繰り返し使える製品や詰替え製品を買っている」が6割を超え、他の年齢と比べて割合が高い。「マイバッグを持参するなどし、レジ袋や紙袋をもらわないようにしている」は、50～69歳で6割を超え、他の年齢と比べて割合が高い。50～59歳、65歳以上では、「繰り返し使える製品や詰替え製品を買っている」と答えた割合より、「マイバッグを持参するなどし、レジ袋や紙袋をもらわないようにしている」と答えた割合が高い結果となった。

### ③職業別

「繰り返し使える製品や詰替え製品を買っている」は、勤め人（57.4%）、家事専業（62.8%）で半数を超え、割合が高い。「マイバッグを持参するなどし、レジ袋や紙袋をもらわないようにしている」は、家事専業（68.9%）で6割を超え、突出している。勤め人（51.9%）、無職（51.4%）でも半数を超えた。学生、自営業では、「必要なものだけを買うようにしている」（各44.2%、51.8%）と答えた割合が最も高い。「マイ箸やマイボトルを持参するなど、使い捨ての食器類や容器を使わないようにしている」は勤め人（20.1%）で2割を占め、他の職業と比べて割合が高い。

### ④地区別

東区、江南区、西蒲区を除く地区で、「繰り返し使える製品や詰替え製品を買っている」と答えた割合が最も高い。東区、江南区、西蒲区では、「マイバッグを持参するなどし、レジ袋や紙袋をもらわないようにしている」（各56.9%、53.0%、58.1%）と答えた割合が最も高い。

### ⑤家族構成別

夫婦のみを除く家族構成で、「繰り返し使える製品や詰替え製品を買っている」と答えた割合が最も高い。夫婦のみでは、「マイバッグを持参するなどし、レジ袋や紙袋をもらわないようにしている」（63.0%）と答えた割合が6割を超え、他の家族構成と比べて割合が高い。「必要なものだけを買うようにしている」は、単身（52.2%）で半数を超え、他の家族構成と比べて割合が高い。

図 3.2-1 ふだん行っているリデュースへの取組み

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

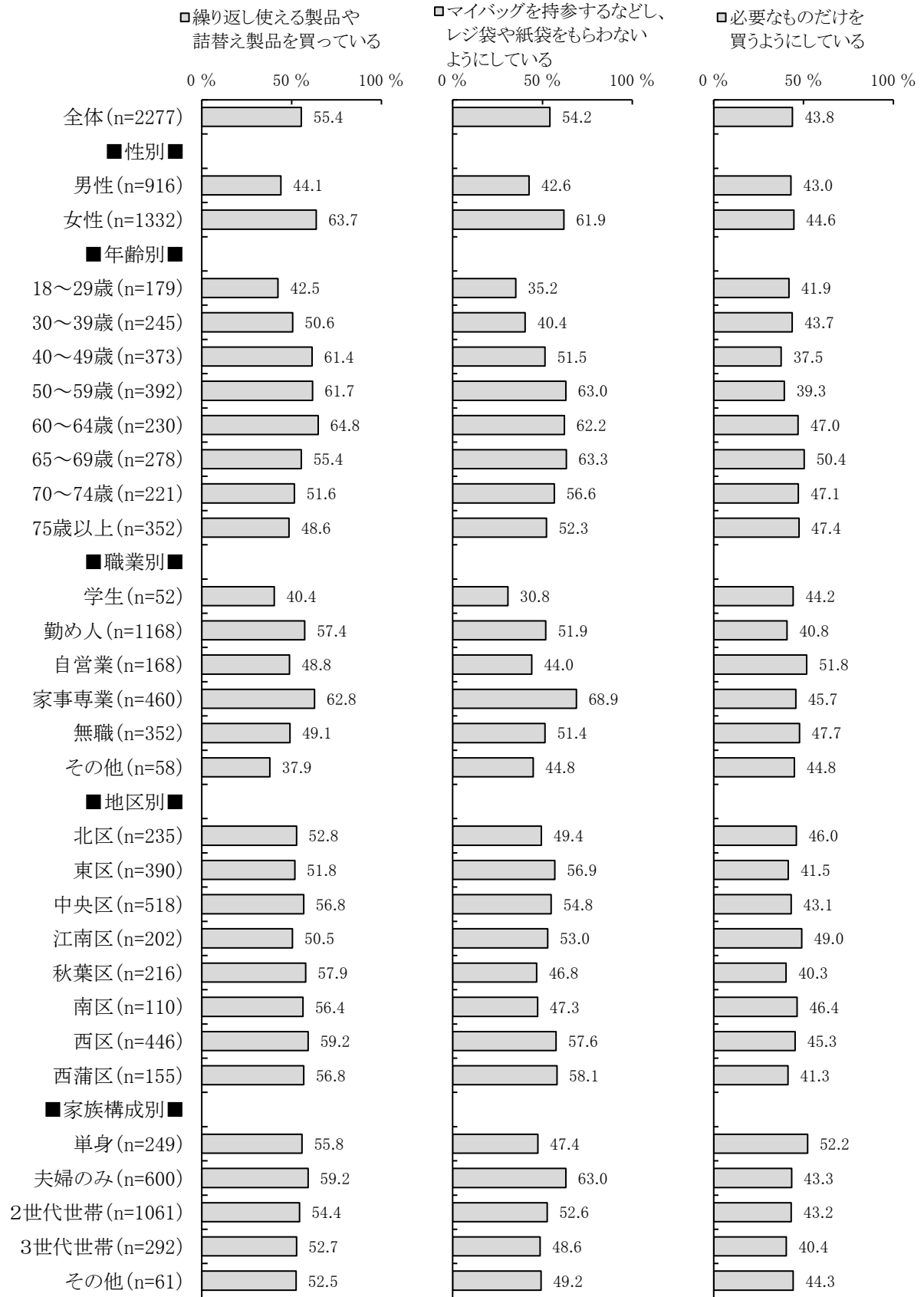


図 3.2-2 ふだん行っているリデュースへの取組み

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

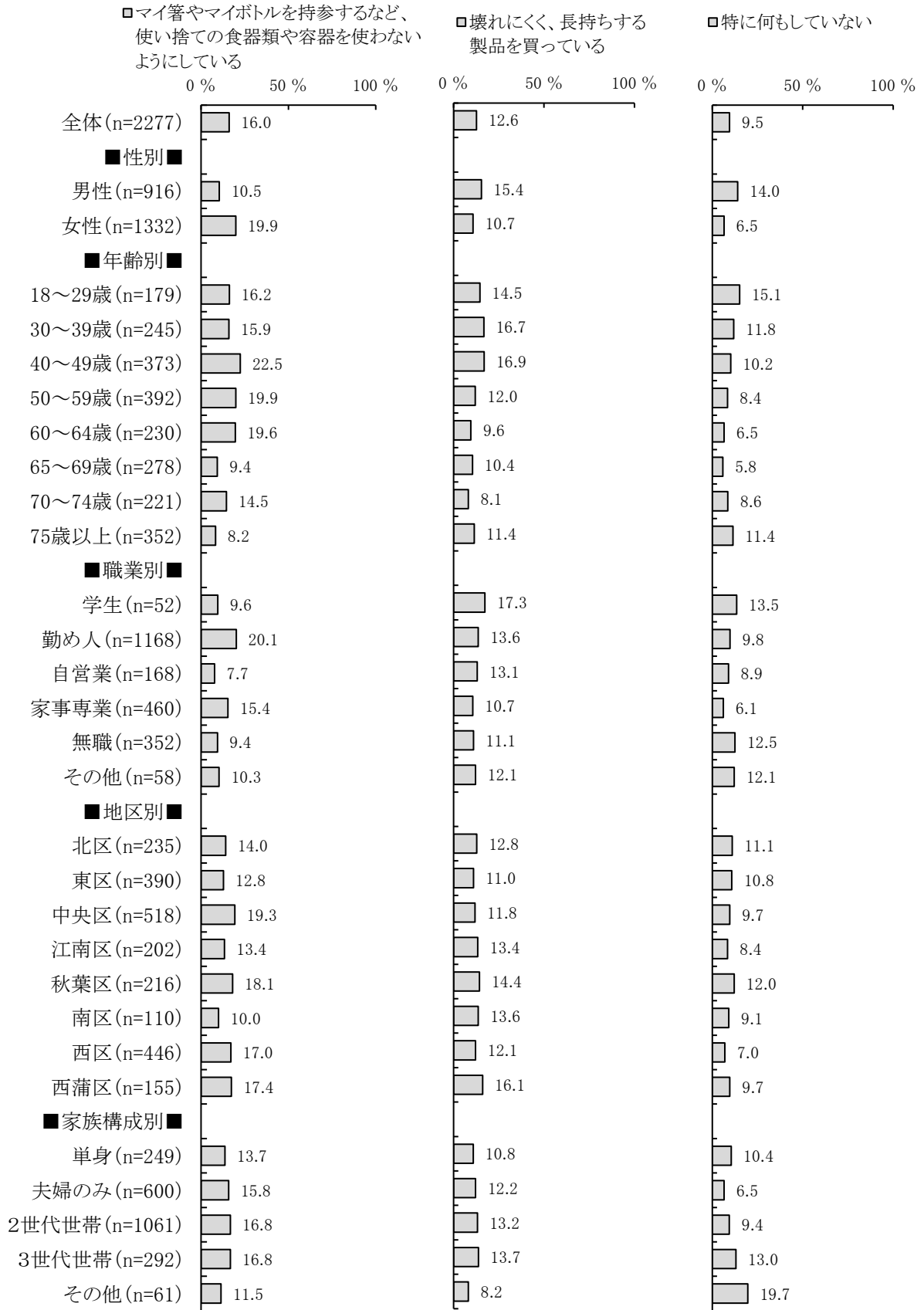
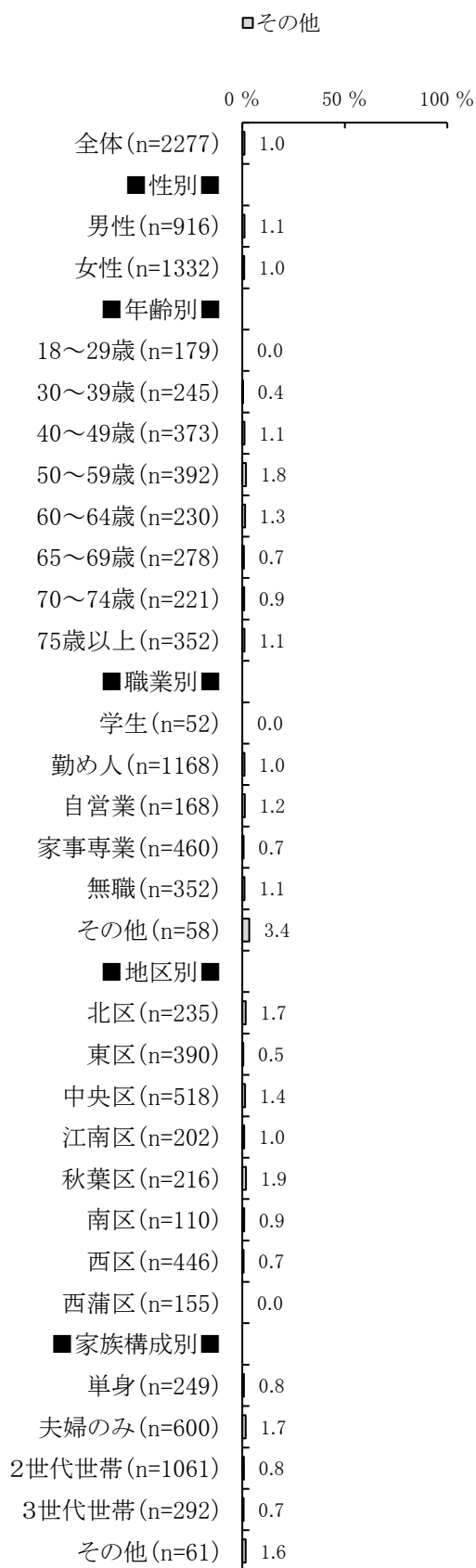


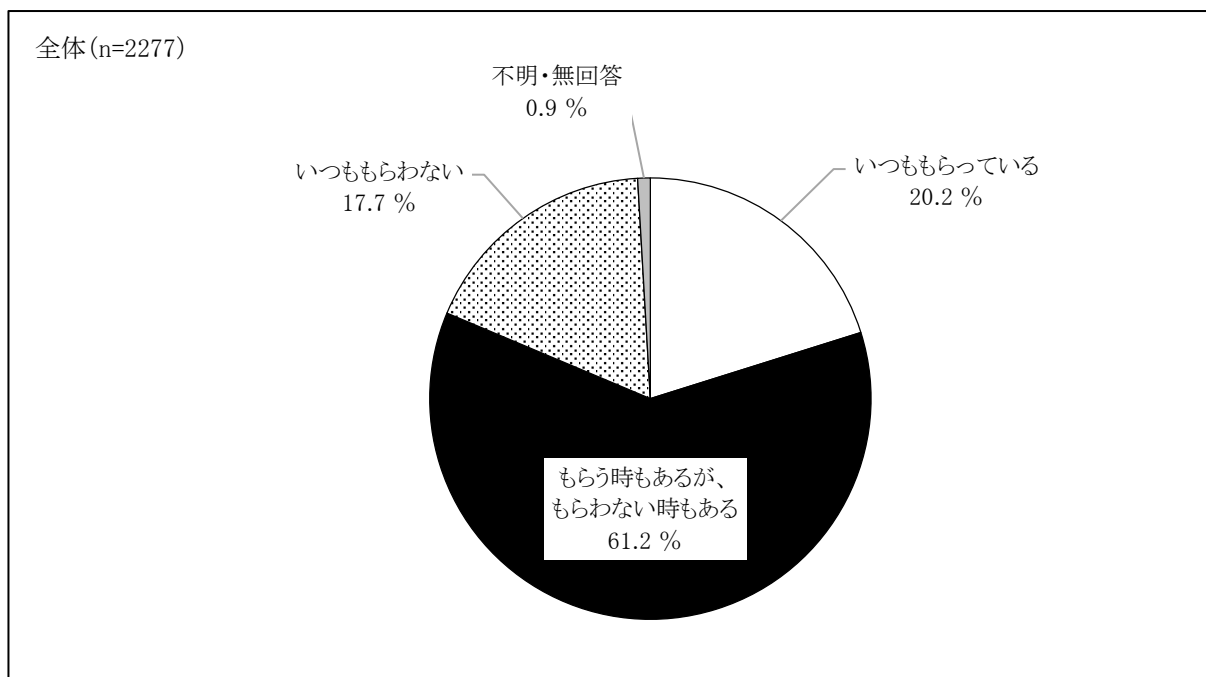
図 3.2-3 ふだん行っているリデュースへの取組み

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)



### (3) 買い物でのレジ袋の取得状況

問 1 1 あなたは買い物の際にレジ袋をもらっていますか？ (○は1つ)



— 6割以上が「もらう時もあるが、もらわない時もある」と回答 —

#### 【全体結果】

買い物でのレジ袋の取得状況について、「いつももらっている」が20.2%、「もらう時もあるが、もらわない時もある」が61.2%、「いつももらわない」が17.7%。「もらう時もあるが、もらわない時もある」が6割を超え、最も割合が高い結果となった。

#### 【属性別結果】(図 3.3 参照)

##### ①性別

「いつももらっている」は、女性(14.7%)より男性(28.2%)で割合が高い。「もらう時もあるが、もらわない時もある」、「いつももらわない」は、男性(各58.3%、12.7%)より女性(63.2%、21.1%)で割合が高い。

##### ②年齢別

すべての年齢で、「もらう時もあるが、もらわない時もある」と答えた割合が最も高い。「いつももらっている」は、30～39歳(28.6%)では3割弱で、他の年齢と比べて割合が高い。50歳以上では、「いつももらっている」より「いつももらわない」と答えた割合が上回った。

##### ③職業別

すべての職業で、「もらう時もあるが、もらわない時もある」と答えた割合が最も高い。「いつももらっている」は、自営業(29.2%)、その他(29.3%)で約3割を占めた。家事専業では、「いつももらわない」(28.0%)が3割弱で、他の職業と比べて割合が高い。



#### ④地区別

すべての地区で、「もらう時もあるが、もらわない時もある」と答えた割合が最も高い。「いつももらっている」は、北区（26.4%）、秋葉区（25.9%）で、他の地区と比べて割合が高い。「いつももらわない」は、西区（22.0%）で2割を超えた。

#### ⑤家族構成別

すべての家族構成で、「もらう時もあるが、もらわない時もある」と答えた割合が最も高い。「いつももらっている」は、単身（24.1%）、2世代世帯（22.0%）で2割を超え、他の家族構成と比べて割合が高い。「いつももらわない」は、夫婦のみ（22.8%）で2割を超えた。

図 3.3-1 買い物でのレジ袋の取得状況

(性別／年齢別／職業別)

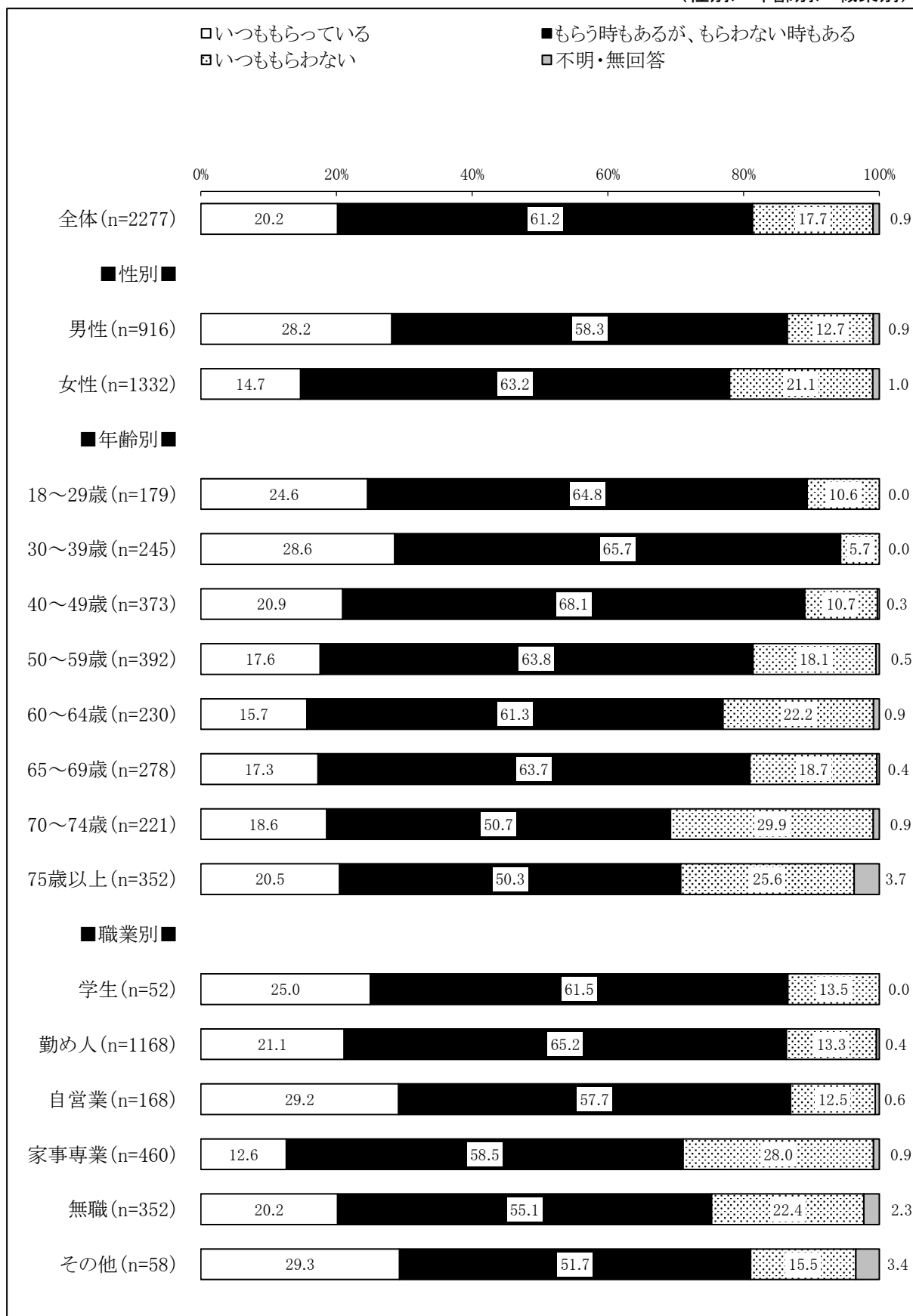
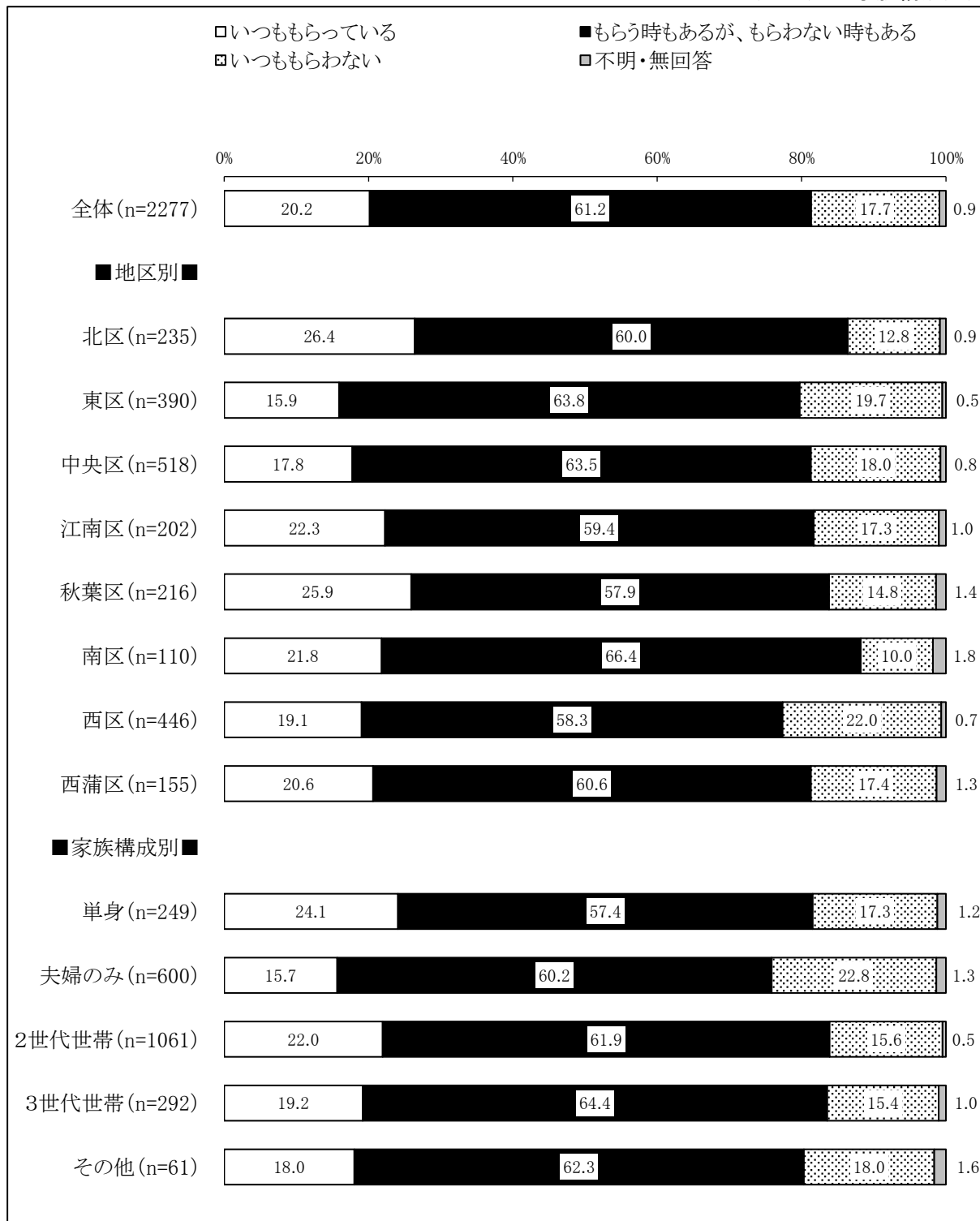


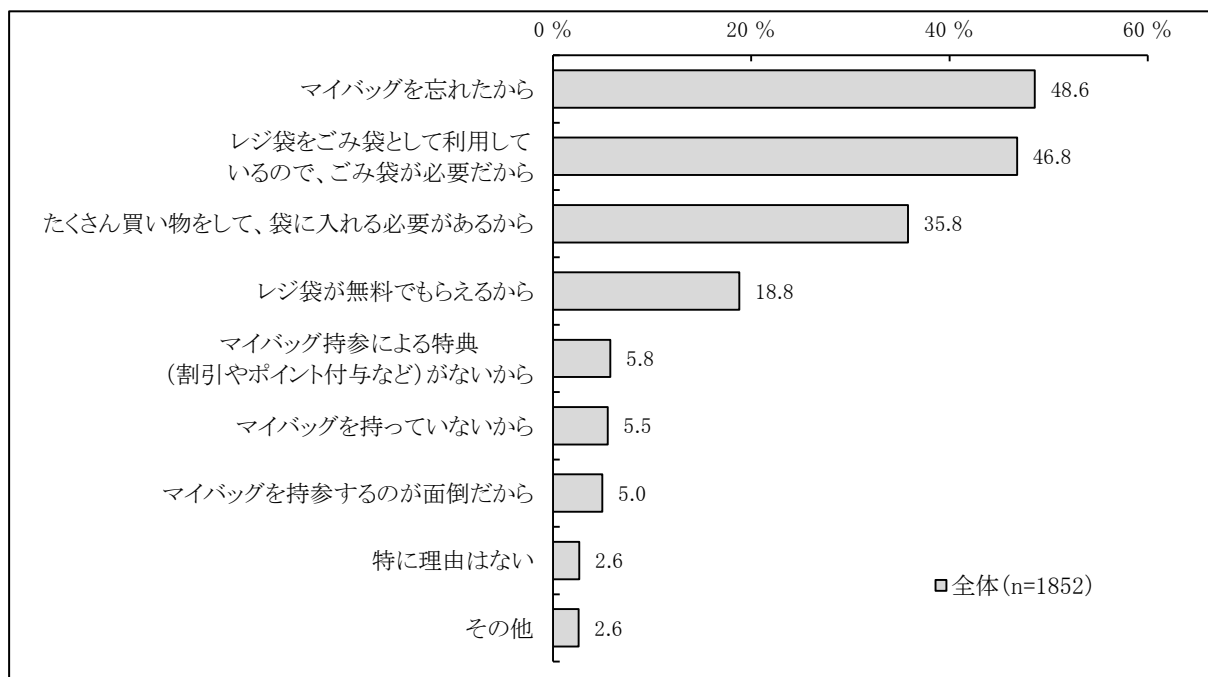
図 3.3-2 買い物でのレジ袋の取得状況

(地区別／家族構成別)



#### (4) レジ袋をもらう理由

(問11で1、2と回答した方に質問します。)  
 問11-1 あなたがレジ袋をもらう理由は何ですか。(複数回答可)



#### — 5割弱が「マイバッグを忘れたから」と回答 —

##### 【全体結果】

レジ袋をもらう理由について、「マイバッグを忘れたから」(48.6%)と答えた割合が最も高い。次いで「レジ袋をごみ袋として利用しているので、ごみ袋が必要だから」(46.8%)も4割台で続き、「たくさん買い物をして、袋に入れる必要があるから」(35.8%)が3割台、「レジ袋が無料でもらえるから」(18.8%)が1割台の順で続いている。

##### 【属性別結果】(図3.4参照)

###### ①性別

「マイバッグを忘れたから」「レジ袋をごみ袋として利用しているので、ごみ袋が必要だから」「たくさん買い物をして、袋に入れる必要があるから」は、男性(各38.4%、43.3%、30.3%)より女性(各56.5%、50.1%、40.1%)で割合が高い。「マイバッグを持っていないから」「マイバッグを持参するのが面倒だから」は、女性(各2.6%、3.3%)より男性(各9.3%、7.3%)で割合が高い。

###### ②年齢別

40～69歳では、「マイバッグを忘れたから」と答えた割合が最も高く、18～39歳、75歳以上では、「レジ袋をごみ袋として利用しているので、ごみ袋が必要だから」と答えた割合が最も高い。70～74歳では、「マイバッグを忘れたから」「レジ袋をごみ袋として利用しているので、ごみ袋が必要だから」(共に39.9%)が同じ割合という結果となった。60～64歳は、「たくさん買い物をして、袋に入れる必要があるから」(42.4%)が4割を超え、他の年齢と比べて割合が高い。18～29歳は、「マイバッグを持っていないから」(16.3%)と答えた割合が、他の年齢より高い。「レジ袋が無料でもらえるから」と答えた割合は、概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。

### ③職業別

勤め人、家事専業、その他では、「マイバッグを忘れたから」(各 51.8%、51.4%、40.4%)と答えた割合が最も高く、学生、自営業、無職は、「レジ袋をごみ袋として利用しているので、ごみ袋が必要だから」(各 44.4%、43.2%、46.4%)と答えた割合が最も高い。家事専業は、「たくさん買い物をして、袋に入れる必要があるから」(45.3%)が4割を超え、他の職業と比べて割合が高い。学生は、「レジ袋が無料でもらえるから」(33.3%)、「マイバッグ持参による特典(割引やポイント付与など)がないから」(11.1%)と答えた割合が、他の職業と比べて高い。

### ④地区別

東区、秋葉区、南区を除く地区で、「マイバッグを忘れたから」と答えた割合が最も高い。東区、秋葉区では、「レジ袋をごみ袋として利用しているので、ごみ袋が必要だから」(各 52.7%、49.2%)と答えた割合が最も高い。南区では、「マイバッグを忘れたから」「レジ袋をごみ袋として利用しているので、ごみ袋が必要だから」(共に 50.5%)が同じ割合という結果となった。

### ⑤家族構成別

夫婦のみ、3世代世帯、その他では、「マイバッグを忘れたから」(各 51.4%、51.2%、51.0%)と答えた割合が最も高く、単身、2世代世帯では、「レジ袋をごみ袋として利用しているので、ごみ袋が必要だから」(各 47.8%、48.8%)と答えた割合が最も高い。「たくさん買い物をして、袋に入れる必要があるから」は、夫婦のみ(40.0%)、3世代世帯(40.2%)で約4割を占め、他の家族構成と比べて割合が高い。単身で「マイバッグを持っていないから」(8.4%)と答えた割合がやや高い。

図 3.4-1 レジ袋をもらう理由

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

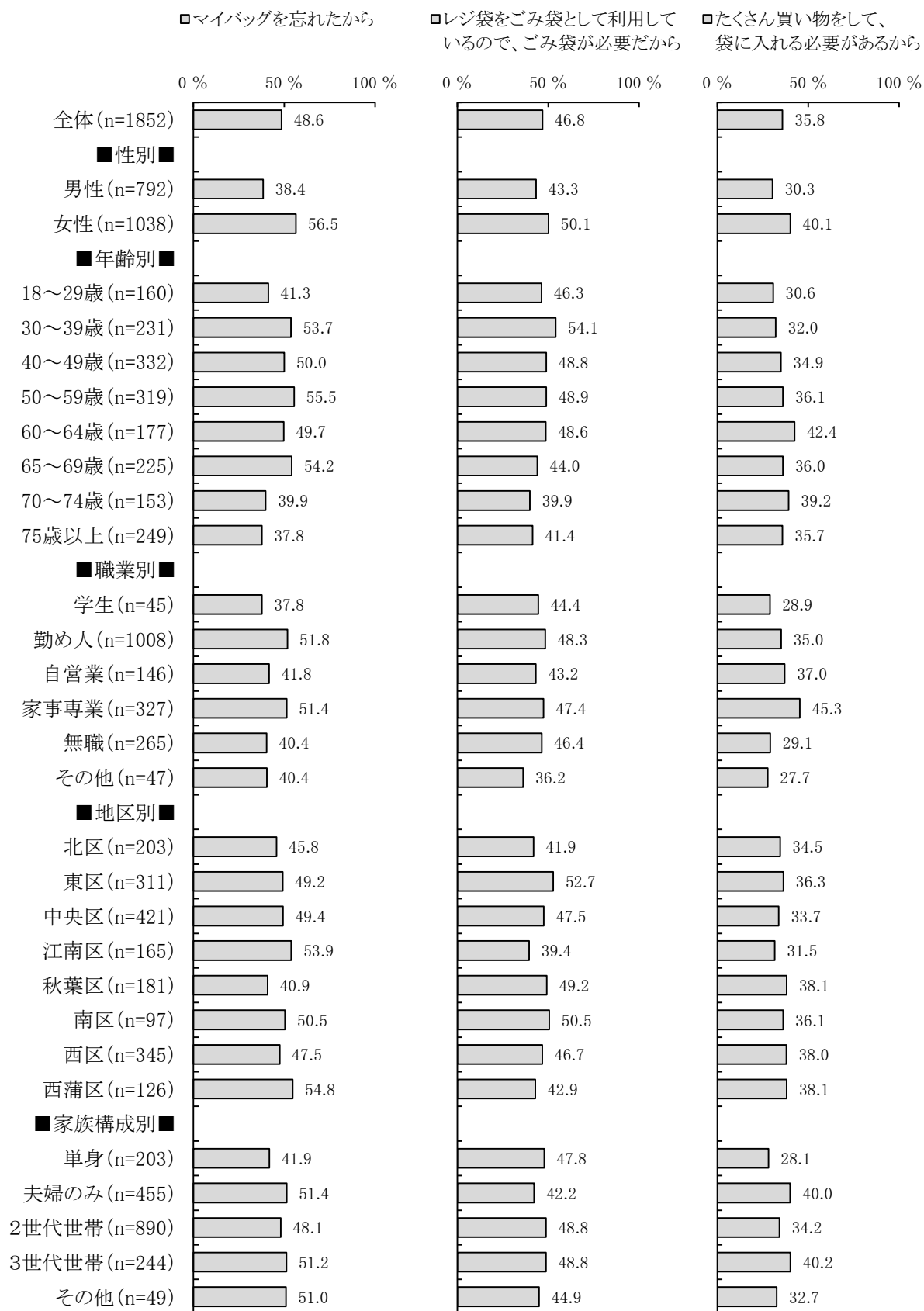


図 3.4-2 レジ袋をもらう理由

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

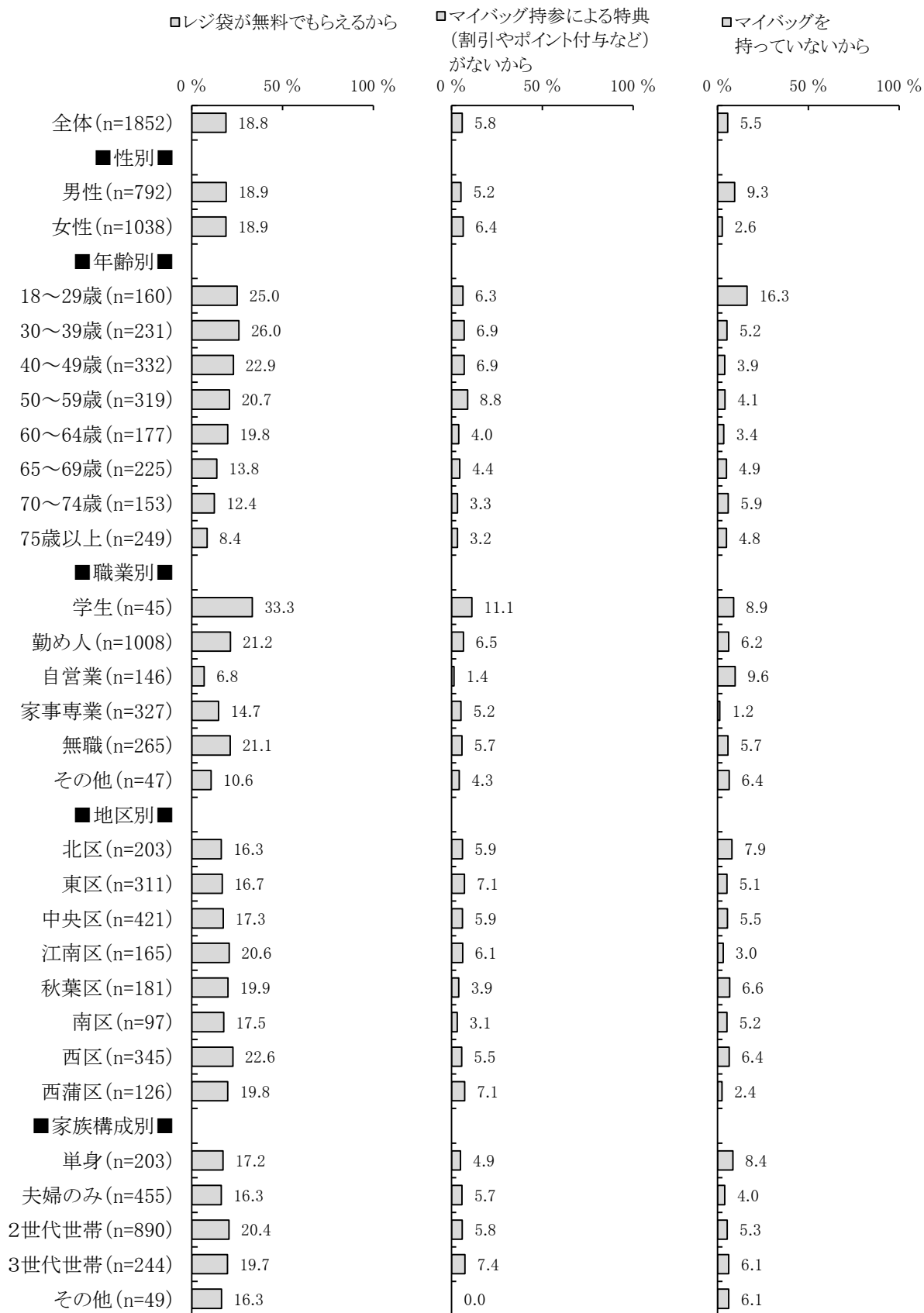
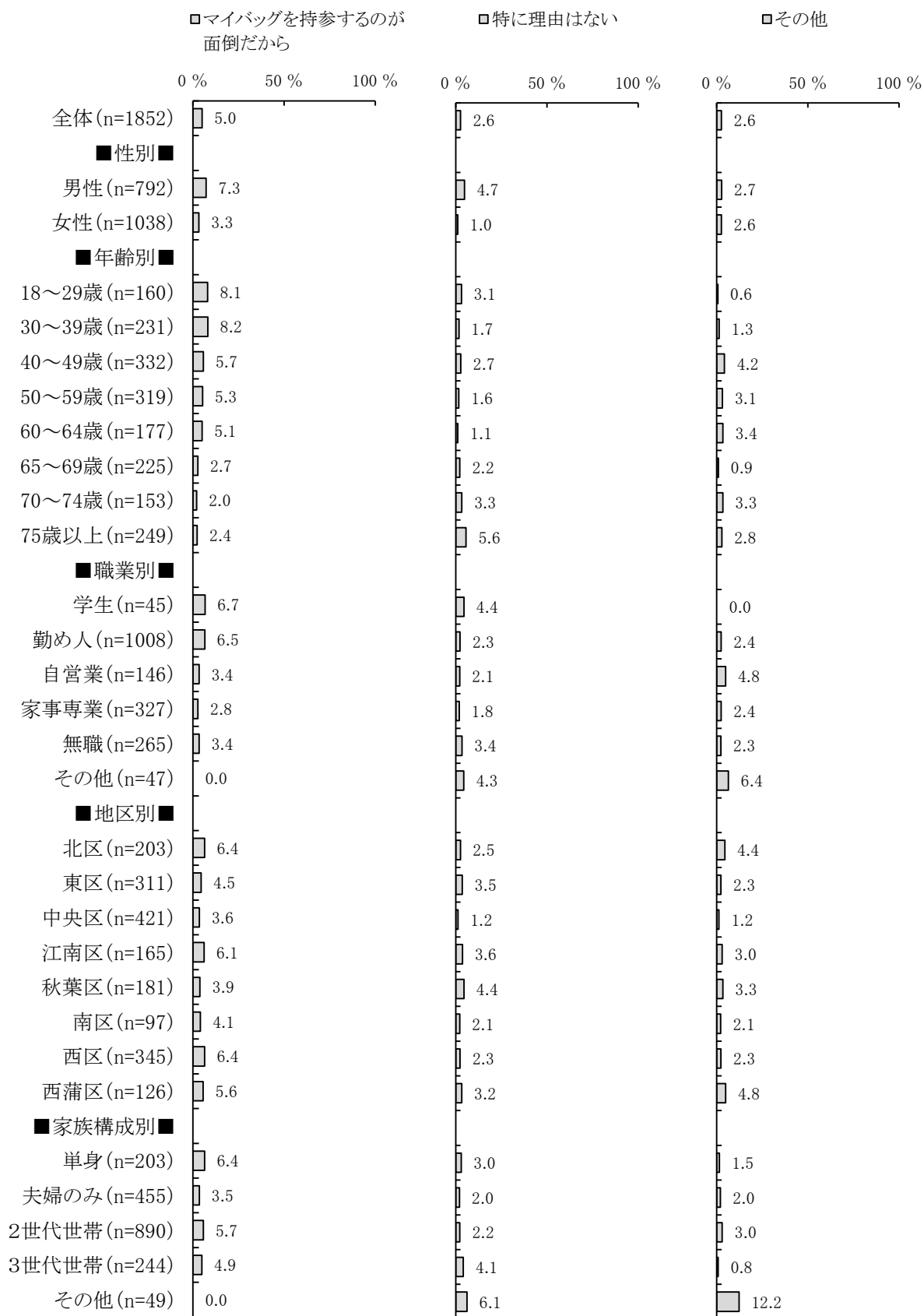


図 3.4-3 レジ袋をもらう理由

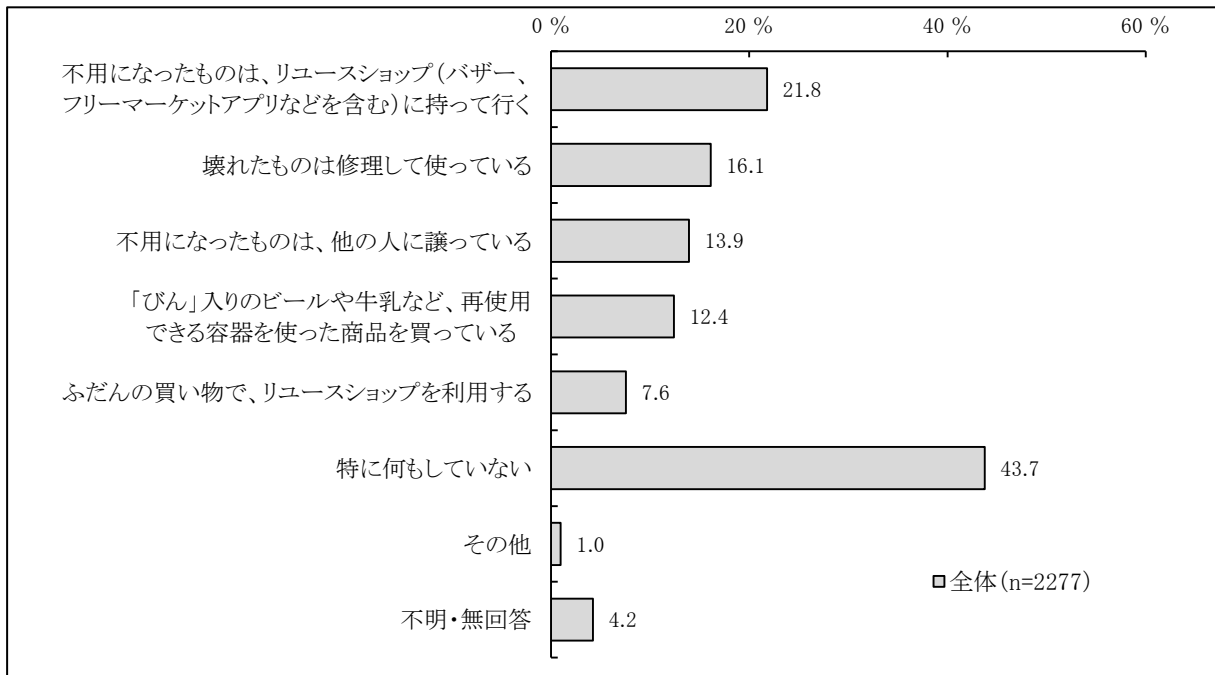
(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)





### (5) ふだん行っているリユースへの取組み

問12 製品などの再使用（リユース）のために、あなたがふだん行っていることは何ですか。  
（複数回答可）



— 4割以上が「特に何もしていない」と回答 —

#### 【全体結果】

ふだん行っているリユースへの取組みについて、「特に何もしていない」（43.7%）が4割を超え、最も割合が高い。「不用になったものは、リユースショップ（バザー、フリーマーケットアプリなどを含む）に持って行く」（21.8%）が2割台、「壊れたものは修理して使っている」（16.1%）、「不用になったものは、他の人に譲っている」（13.9%）、「『びん』入りのビールや牛乳など、再使用できる容器を使った商品を買っている」（12.4%）が1割台という結果となった。

#### 【属性別結果】（図3.5参照）

##### ①性別

「不用になったものは、リユースショップ（バザー、フリーマーケットアプリなどを含む）に持って行く」「不用になったものは、他の人に譲っている」は、男性（各17.8%、9.1%）より女性（各24.8%、17.5%）で割合が高い。「特に何もしていない」は女性（39.9%）より男性（49.3%）で割合が高く、約半数を占めた。

##### ②年齢別

「不用になったものは、リユースショップ（バザー、フリーマーケットアプリなどを含む）に持って行く」「不用になったものは、他の人に譲っている」は、概ね若年層ほど割合が高く、「壊れたものは修理して使っている」「『びん』入りのビールや牛乳など、再使用できる容器を使った商品を買っている」は、概ね高齢層ほど割合が高い。すべての年齢で「特に何もしていない」と答えた割合が最も高く、特に18～29歳（50.8%）で約半数を占めた。

### ③職業別

学生、勤め人、その他で、「不用になったものは、リユースショップ（バザー、フリーマーケットアプリなどを含む）に持って行く」（各 25.0%、28.9%、22.4%）が 2 割を超え、他の職業と比べて割合が高い。学生は、「ふだんの買い物で、リユースショップを利用する」（13.5%）が 1 割を超え、他の職業と比べて割合が高い。すべての職業で「特に何もしていない」と答えた割合が最も高く、特に学生（55.8%）で 5 割を超えた。

### ④地区別

すべての地区で「特に何もしていない」と答えた割合が最も高い。西蒲区では、「『びん』入りのビールや牛乳など、再使用できる容器を使った商品を買っている」（20.6%）と答えた割合が約 2 割で、他の地区と比べて割合が高い。

### ⑤家族構成別

すべての家族構成で「特に何もしていない」と答えた割合が最も高い。「不用になったものは、リユースショップ（バザー、フリーマーケットアプリなどを含む）に持って行く」は、2 世代世帯（25.9%）で、他の家族構成と比べて割合が高い。「不用になったものは、他の人に譲っている」は、2 世代世帯（17.0%）、3 世代世帯（16.1%）で、他の家族構成と比べて割合がやや高い。

図 3.5-1 ふだん行っているリユースへの取組み

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

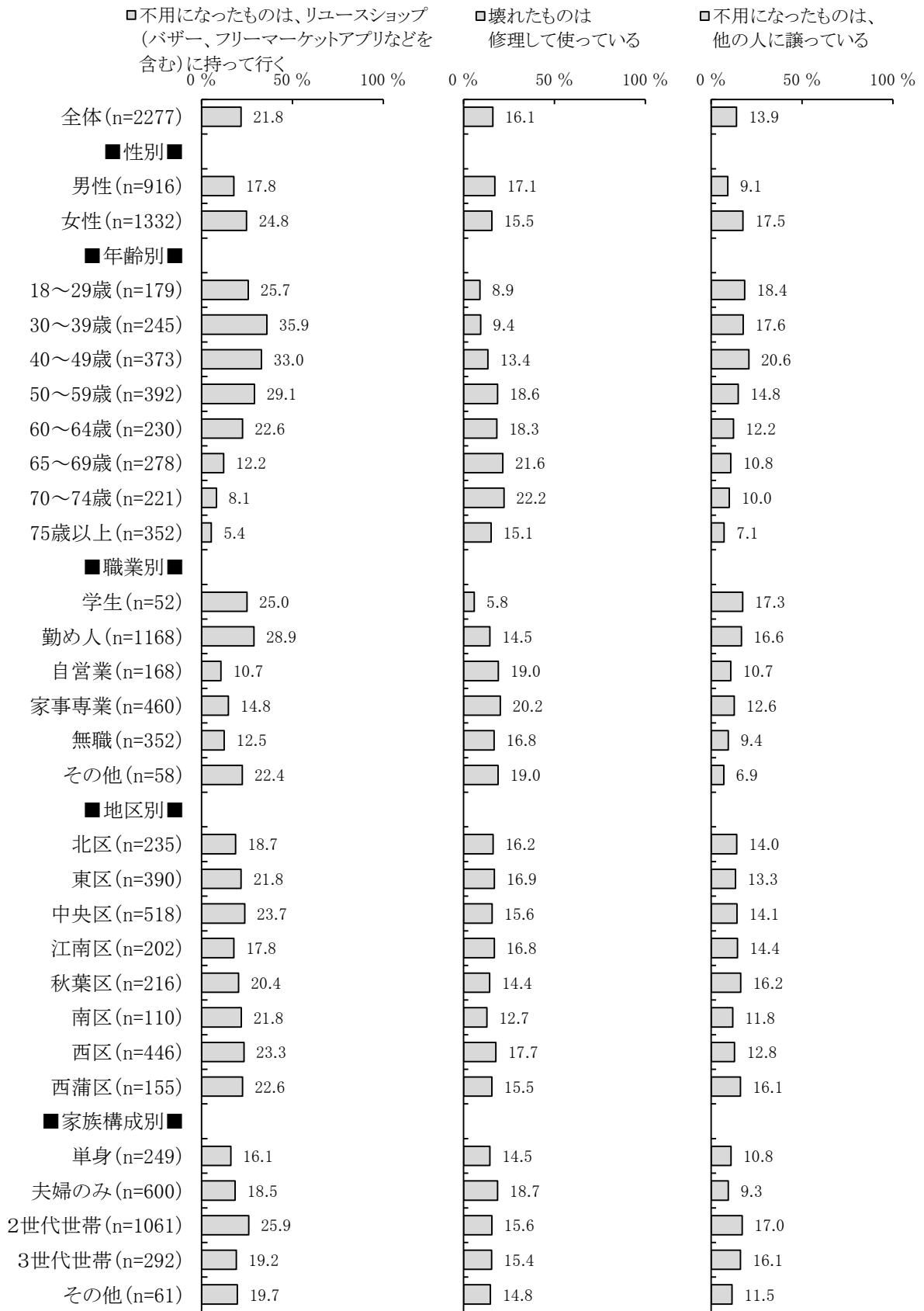


図 3.5-2 ふだん行っているリユースへの取組み

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

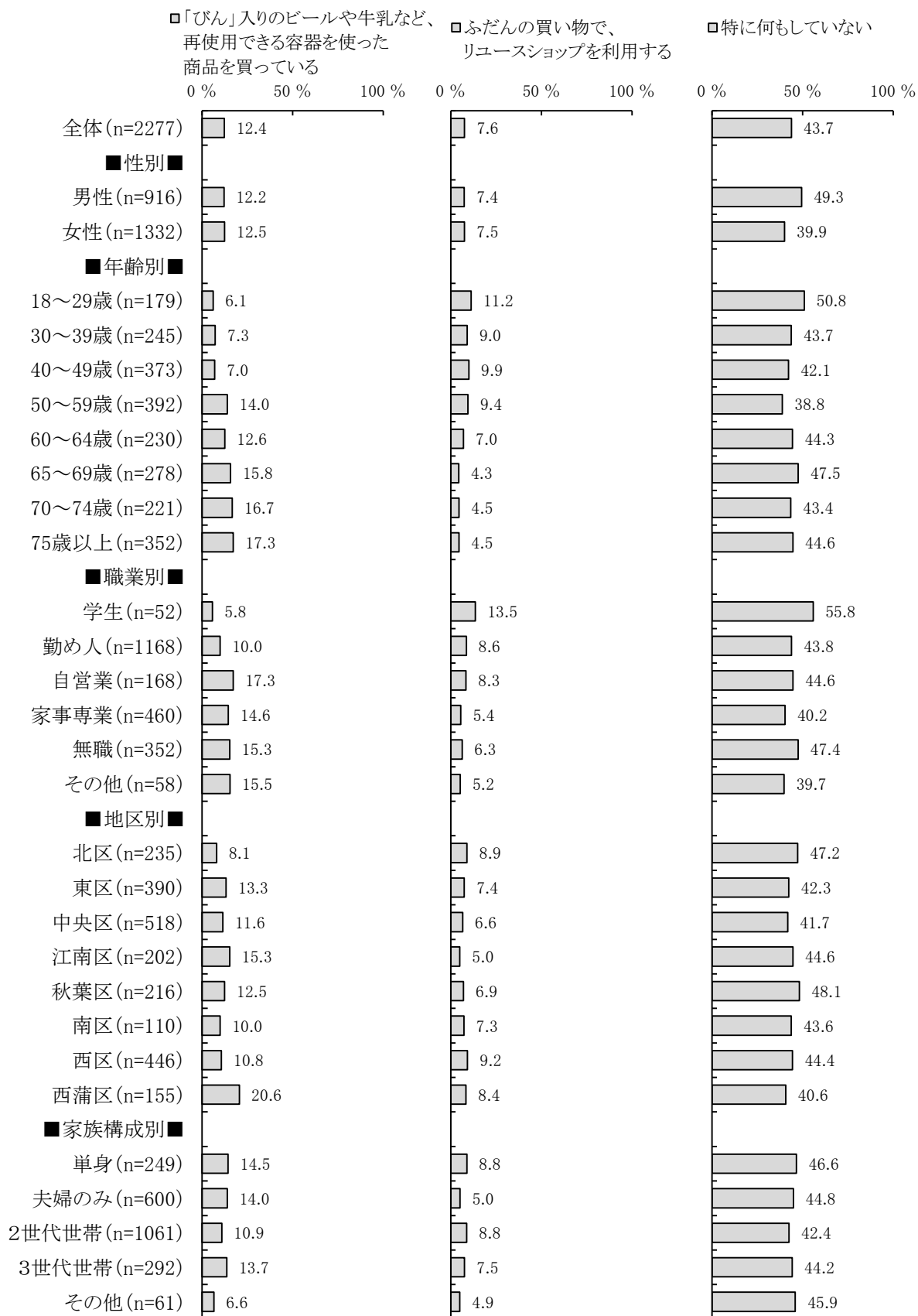
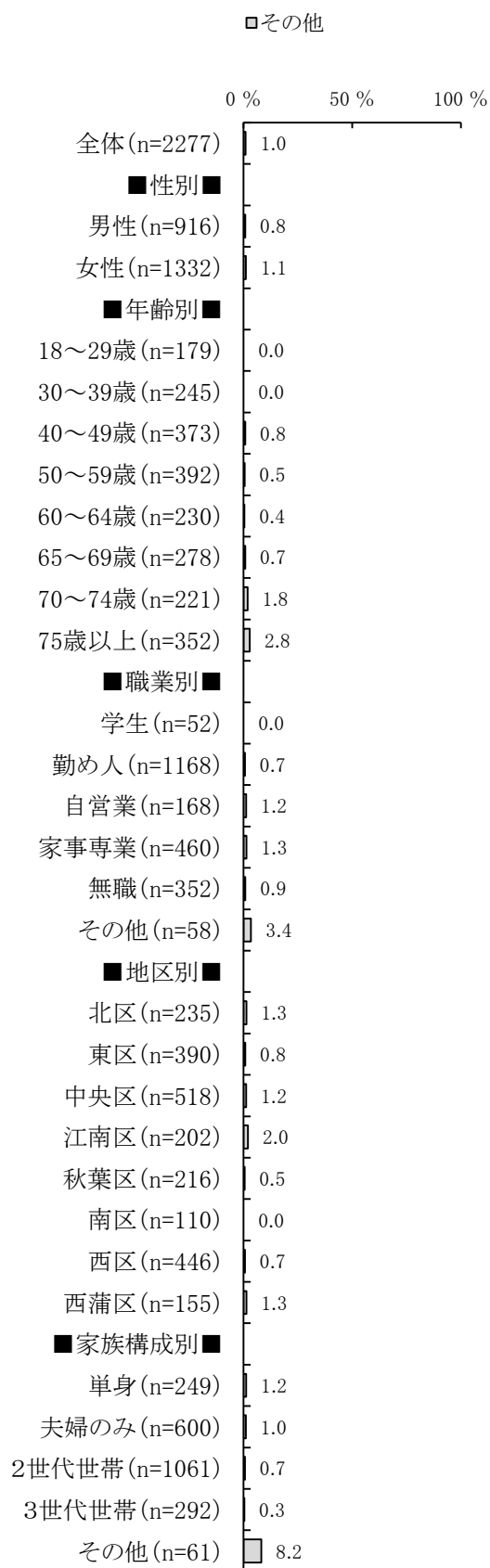


図 3.5-3 ふだん行っているリユースへの取組み

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)



## 4. 食品ロスについて

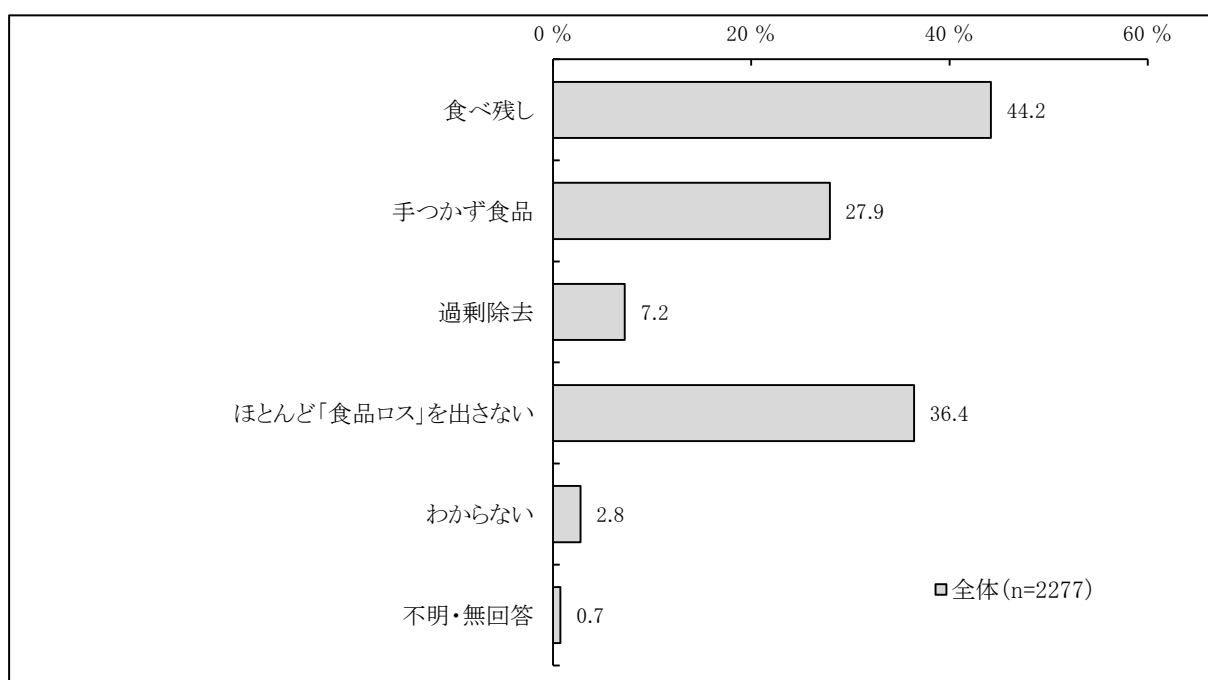
### (1) 自宅で発生する「食品ロス」の内容

問13 あなたが、ふだん自宅で出すことのある「食品ロス★」は何ですか。(複数回答可)

#### ★「食品ロス」とは

まだ食べられるのに、捨てられてしまう食品のこと。日本では、年間約646万トンものまだ食べられる食品が捨てられており、これを国民1人1日当たりに換算すると「お茶碗1杯のごはん」が毎日捨てられているといわれています。

- 手つかず食品：消費期限切れなどで、手をつけずに捨てられる食品
- 食べ残し：家庭での食事や外食の際に、食べ残された食品
- 過剰除去：調理の際に野菜の皮を厚くむき過ぎるなど、食べられる部分も捨てられた食品



— 4割以上が「食べ残し」と回答 —

#### 【全体結果】

自宅で発生する「食品ロス」の内容について、「食べ残し」(44.2%)と答えた割合が最も高い。「手つかず食品」が27.9%、「過剰除去」が7.2%。「ほとんど『食品ロス』を出さない」(36.4%)と答えた割合は3割を超えた。

#### 【属性別結果】(図4.1参照)

##### ①性別

「手つかず食品」は、男性(20.5%)より女性(33.3%)で割合が高い。「ほとんど『食品ロス』を出さない」は、女性(34.2%)より男性(39.5%)でやや高い。

## ②年齢別

75歳以上を除く年齢で、「食べ残し」と答えた割合が最も高い。75歳以上は、「ほとんど『食品ロス』を出さない」(45.7%)と答えた割合が最も高い。「手つかず食品」は、40～49歳(39.7%)で約4割を占め、他の年齢と比べて割合が高く、概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。「過剰除去」は、50～59歳(11.0%)でやや高い。

## ③職業別

勤め人、自営業、無職では、「食べ残し」(各46.6%、49.4%、42.9%)と答えた割合が最も高く、学生、家事専業、その他では、「ほとんど『食品ロス』を出さない」(各36.5%、41.3%、50.0%)と答えた割合が最も高い。「手つかず食品」は、勤め人(33.6%)で他の年齢と比べて割合が高い。

## ④地区別

すべての地区で、「食べ残し」と答えた割合が最も高い。特に南区(49.1%)で高く、約5割を占めた。「過剰除去」は、秋葉区(11.1%)で、他の年齢と比べて割合がやや高い。

## ⑤家族構成別

単身、夫婦のみでは、「ほとんど『食品ロス』を出さない」(各42.6%、42.0%)と答えた割合が最も高く、他の家族構成では、「食べ残し」と答えた割合が最も高い。「手つかず食品」は、単身(30.1%)、2世代世帯(31.4%)で約3割を占め、他の家族構成と比べて割合が高い。

図 4.1-1 自宅で発生する「食品ロス」の内容

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

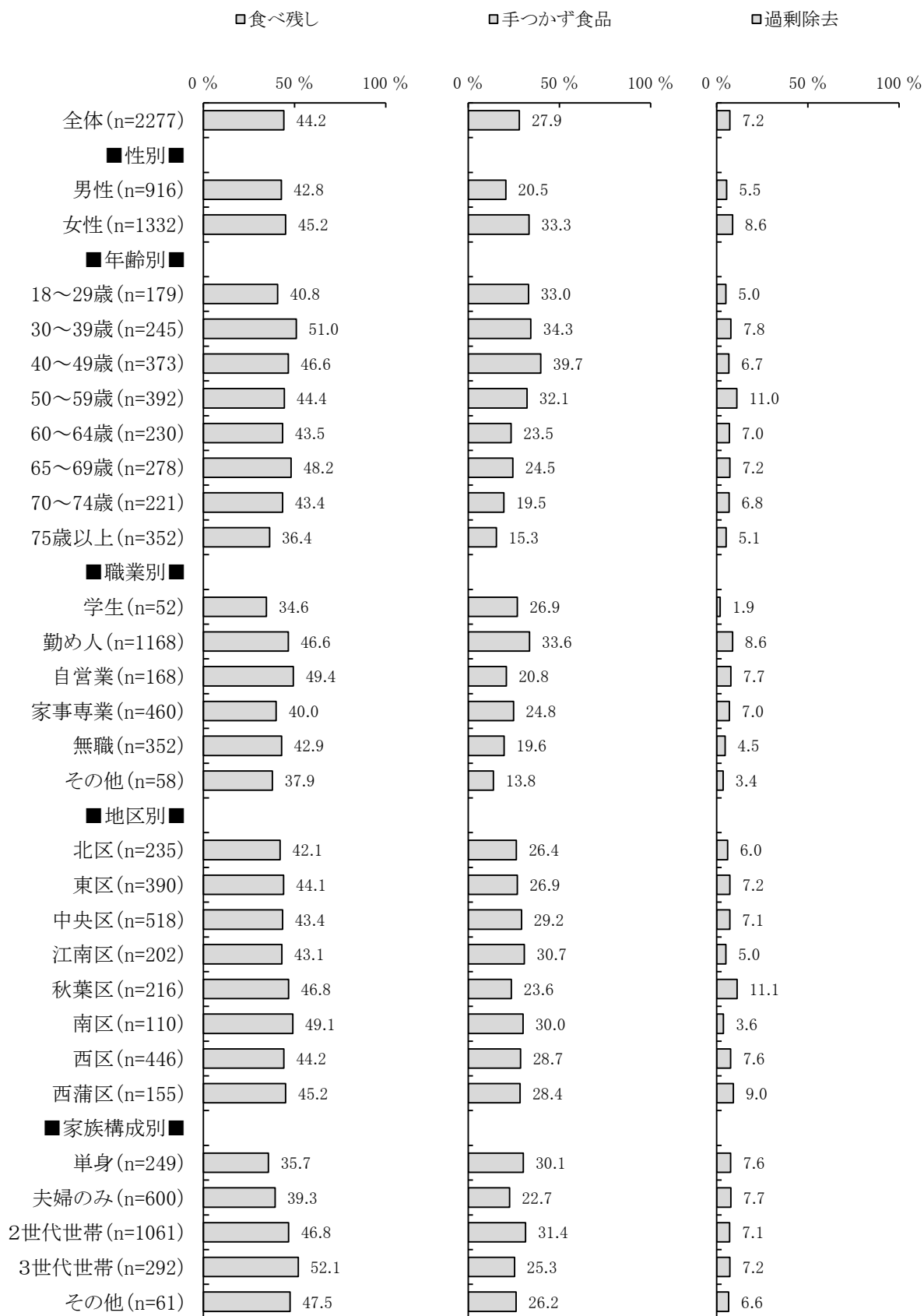
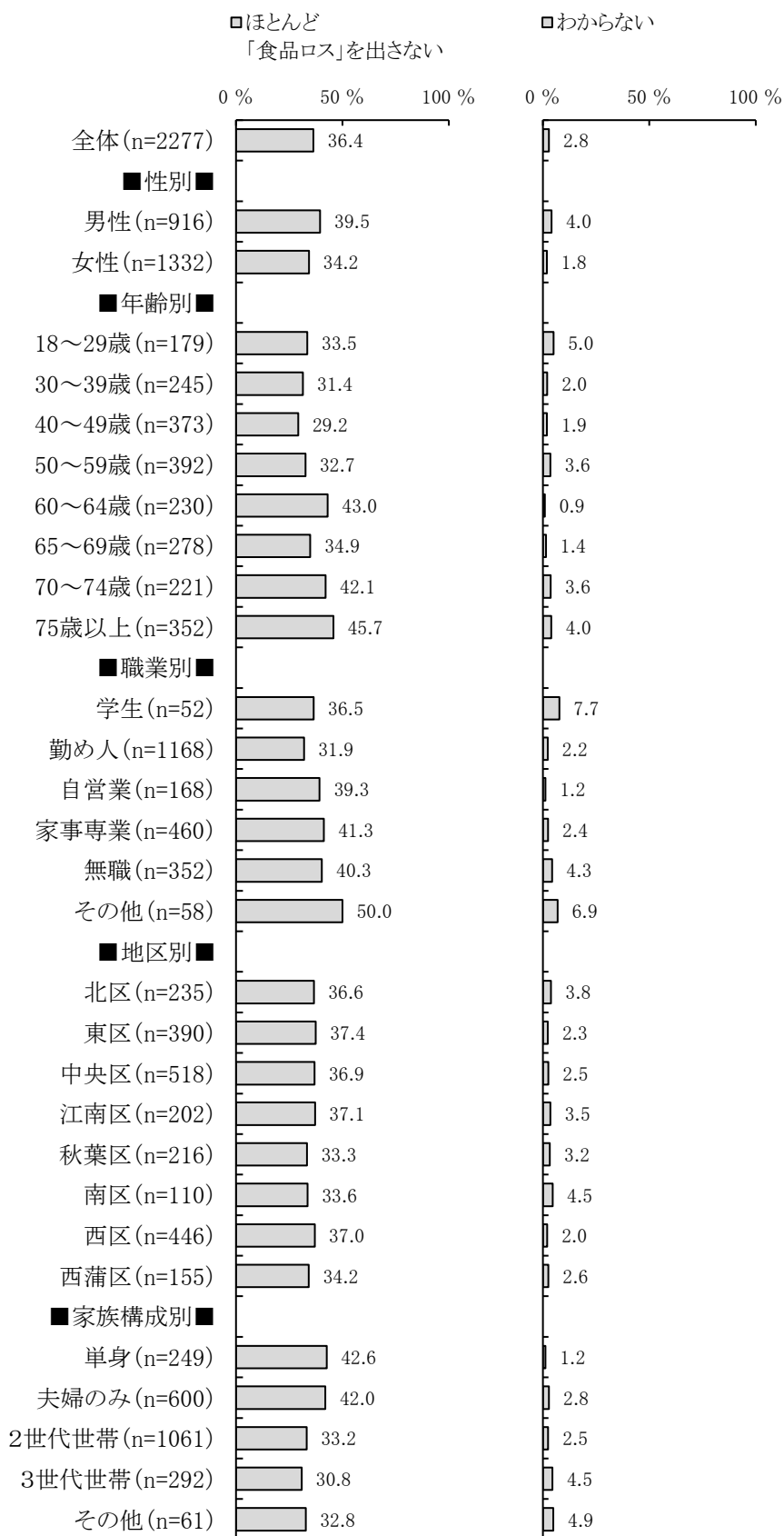




図 4.1-2 自宅で発生する「食品ロス」の内容

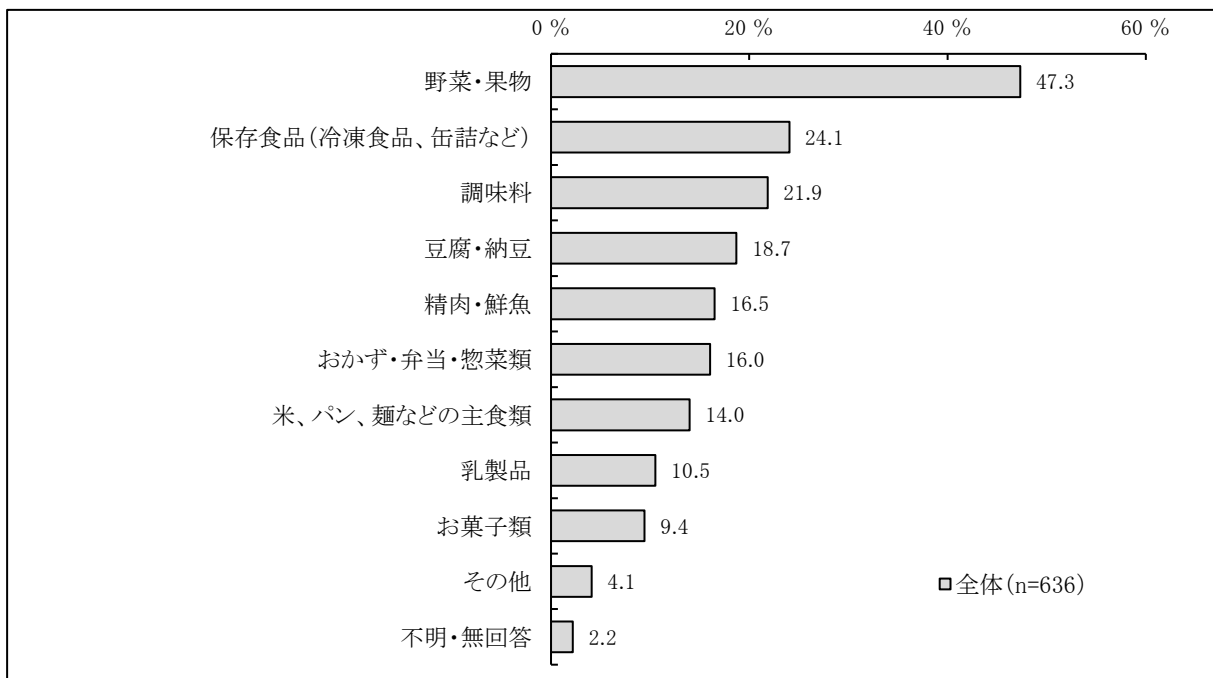
(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)



## (2) 自宅で発生する「手つかず食品」の内容

(問13で1と回答した方に質問します。)

問13-1 あなたが、ふだん自宅ですることのある「手つかず食品」は何ですか。  
(複数回答可)



— 「野菜・果物」が5割弱で突出 —

### 【全体結果】

自宅で発生する「手つかず食品」の内容について、「野菜・果物」(47.3%)と回答した割合が最も高く、突出している。次いで「保存食品(冷凍食品、缶詰など)」(24.1%)、「調味料」(21.9%)、「豆腐・納豆」(18.7%)、「精肉・鮮魚」(16.5%)、「おかず・弁当・惣菜類」(16.0%)の順で続いている。

### 【属性別結果】(図4.2参照)

#### ①性別

「豆腐・納豆」「米、パン、麺などの主食類」は、男性(各12.8%、9.6%)と比べて女性(各21.2%、16.0%)で割合が高い。「おかず・弁当・惣菜類」は、女性(14.2%)より男性(20.2%)で割合が高い。

#### ②年齢別

「野菜・果物」は、18～49歳で5割を超えた。65～69歳で、「豆腐・納豆」(35.3%)と答えた割合が、他の年齢と比べて割合が高い。70～74歳では、「保存食品(冷凍食品、缶詰など)」(34.9%)、「精肉・鮮魚」(25.6%)、「おかず・弁当・惣菜類」(30.2%)と答えた割合が他の年齢と比べてやや高い。「お菓子類」は、30～39歳(15.5%)、60～64歳(16.7%)で割合が高い。

#### ③職業別 ※学生、その他のコメントについては対象者数が少ないため割愛。

「野菜・果物」と答えた割合は、勤め人(52.6%)で最も高く、半数を超えた。「豆腐・納豆」は、自営業(28.6%)、家事専業(28.9%)で割合が高い。

#### ④地区別

「野菜・果物」と答えた割合は、中央区（51.7%）、西区（53.1%）で半数を超えた。中央区、秋葉区、西蒲区を除く地区で、「野菜・果物」に次いで「保存食品（冷凍食品、缶詰など）」と答えた割合が高い。中央区では、「保存食品（冷凍食品、缶詰など）」「調味料」（共に23.2%）の割合が「野菜・果物」に次いで高く、秋葉区では「調味料」（27.5%）、西蒲区では「豆腐・納豆」（36.4%）の割合が「野菜・果物」に次いで高い。

#### ⑤家族構成別

すべての家族構成で、「野菜・果物」と答えた割合が最も高い。次いで、単身、その他を除く家族構成では、「保存食品（冷凍食品、缶詰など）」と答えた割合が高く、単身は、「調味料」（29.3%）と回答した割合が高い。

図 4.2-1 自宅で発生する「手つかず食品」の内容

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

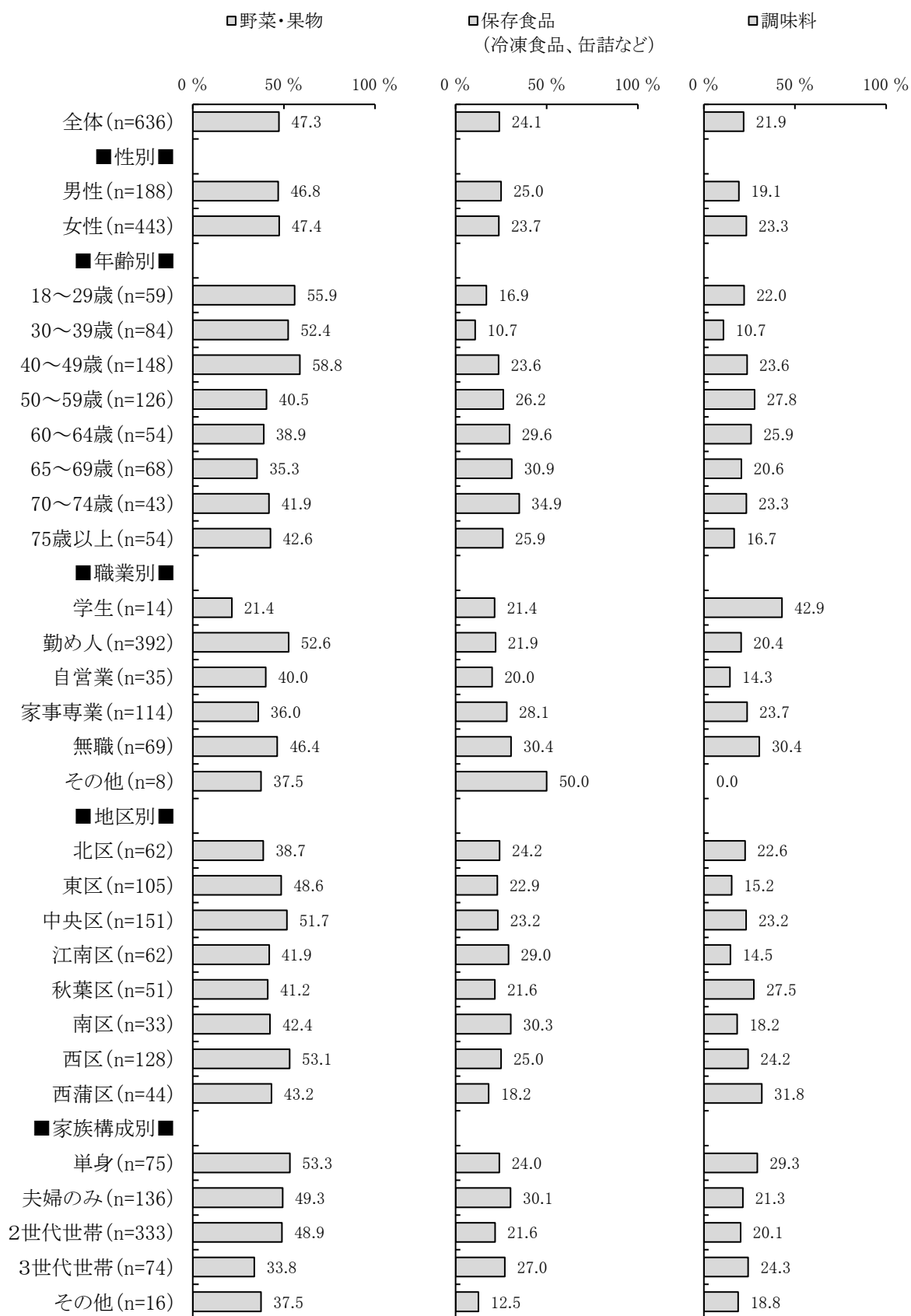


図 4.2-2 自宅で発生する「手つかず食品」の内容

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

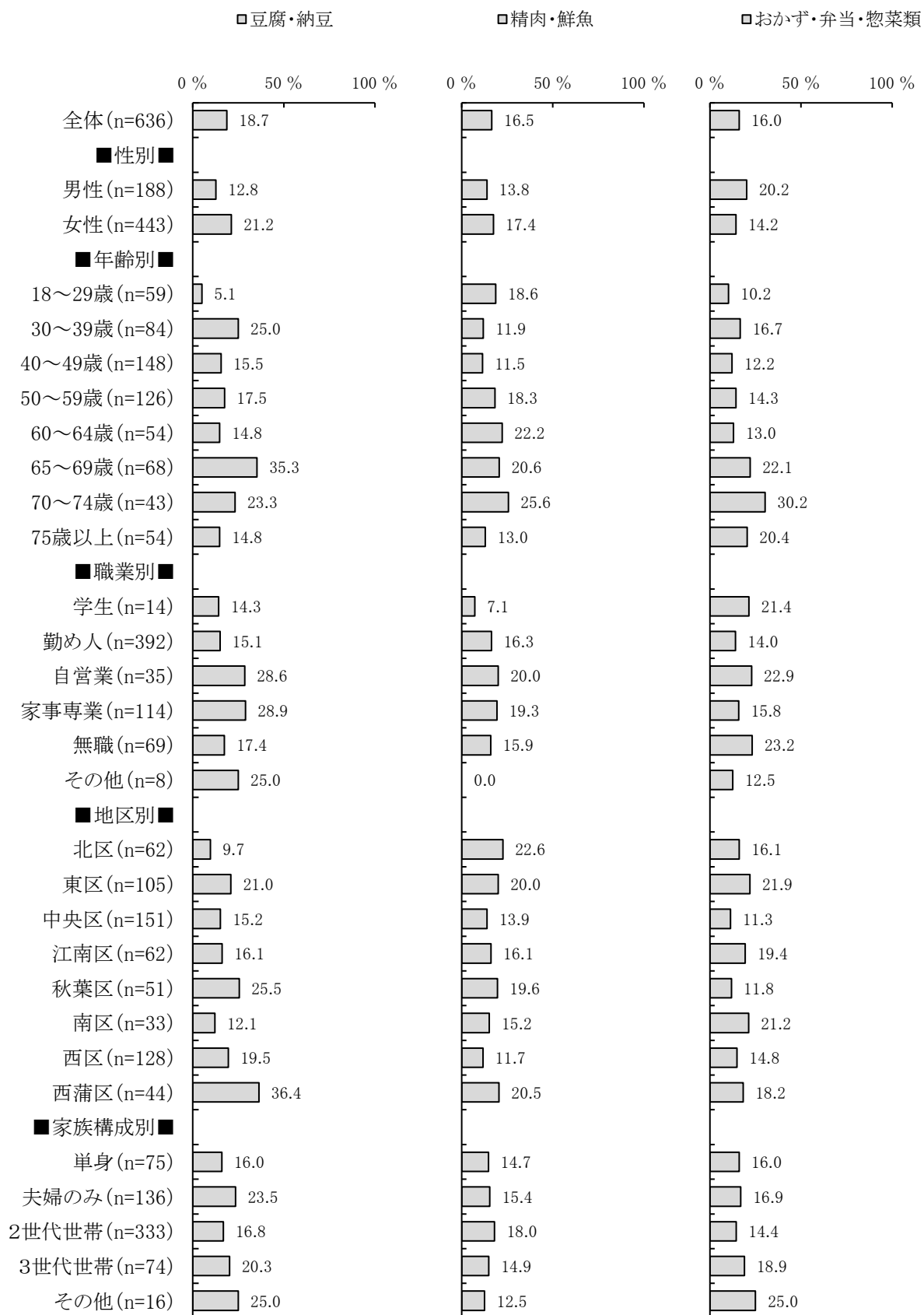


図 4.2-3 自宅で発生する「手つかず食品」の内容

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

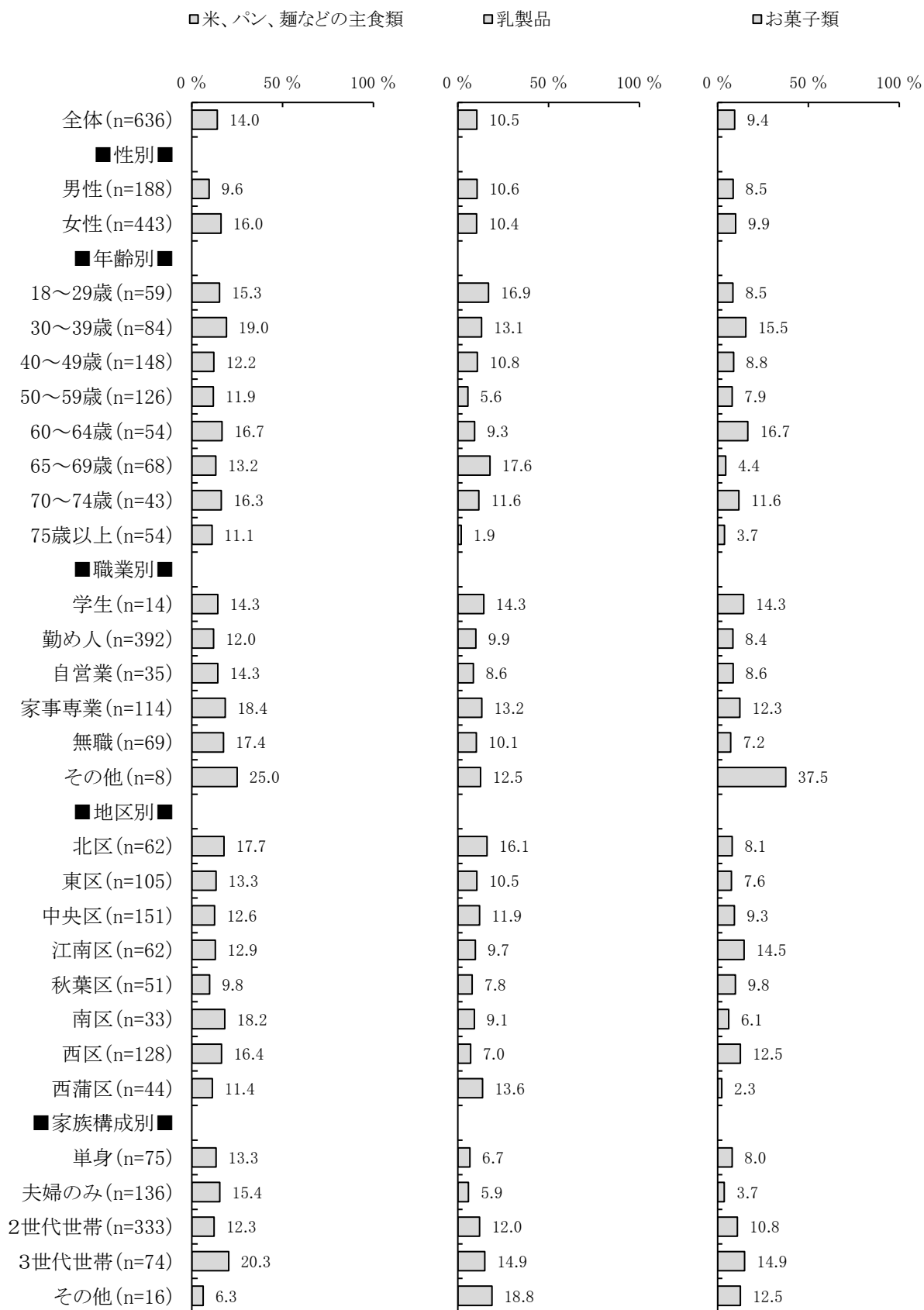
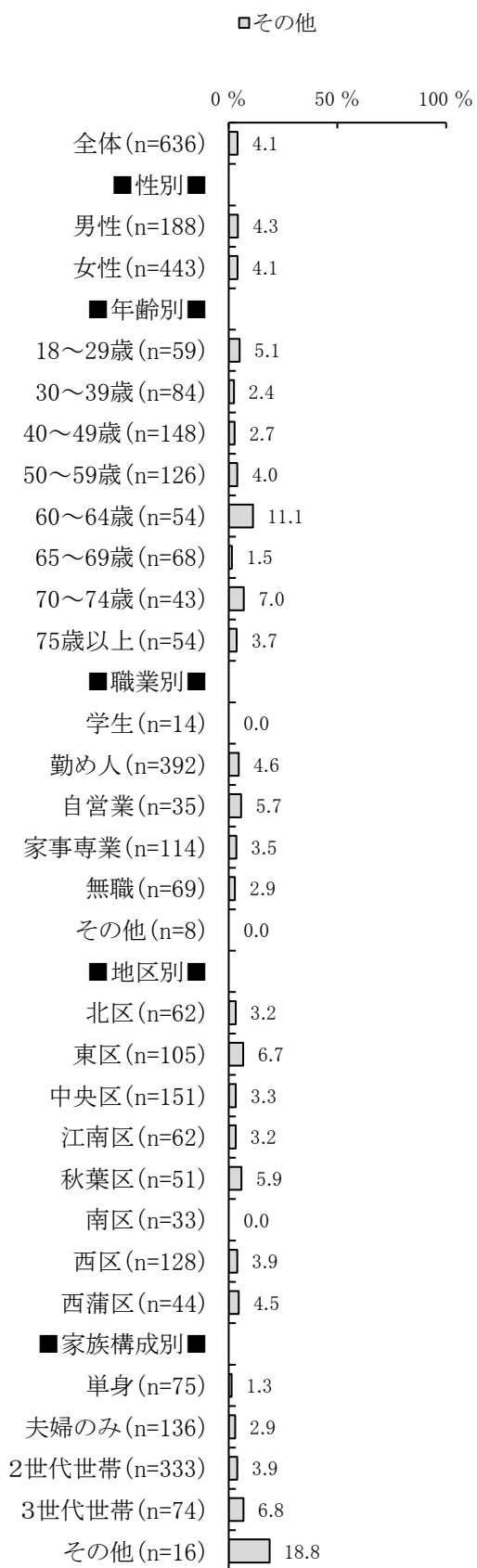


図 4.2-4 自宅で発生する「手つかず食品」の内容

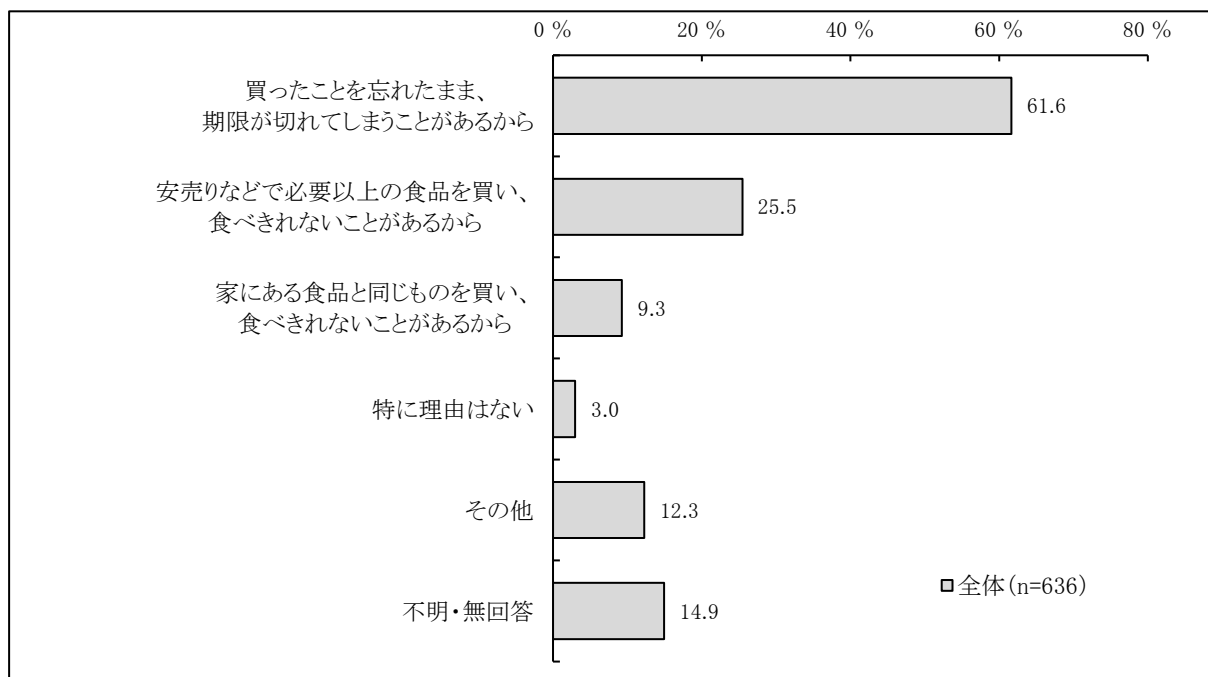
(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)



### (3) 「手つかず食品」が発生する理由

(問13で1と回答した方に質問します。)

問13-2 あなたが、「手つかず食品」を出してしまう理由は何ですか。(複数回答可)



— 6割以上が「買ったことを忘れたまま、期限が切れてしまうことがあるから」と回答 —

#### 【全体結果】

「手つかず食品」が発生する理由について、「買ったことを忘れたまま、期限が切れてしまうことがあるから」(61.6%)と答えた割合が6割を超え、突出している。次いで「安売りなどで必要以上の食品を買い、食べきれないことがあるから」(25.5%)が2割台で続いている。「特に理由はない」(3.0%)はわずかだった。「その他」(12.3%)では、「貰い物が多い。」「貰い物だと好みものじゃないから。」等、貰い物に関する意見が散見された。

#### 【属性別結果】(図4.3参照)

##### ①性別

すべての項目で、男性より女性で割合が高い結果となった。

##### ②年齢別

「買ったことを忘れたまま、期限が切れてしまうことがあるから」は、18～29歳(67.8%)で割合がやや高い。「安売りなどで必要以上の食品を買い、食べきれないことがあるから」は、18～29歳(39.0%)、30～39歳(32.1%)、50～59歳(31.0%)で3割を超えた。

##### ③職業別 ※学生、その他のコメントについては対象者数が少ないため割愛。

すべての職業で、「買ったことを忘れたまま、期限が切れてしまうことがあるから」と答えた割合が最も高い。次いで、自営業では、「家にある食品と同じものを買って、食べきれないことがあるから」(20.0%)の割合が高く、他の職業では、「安売りなどで必要以上の食品を買い、食べきれないことがあるから」と答えた割合が高い。



#### ④地区別

すべての地区で、「買ったことを忘れたまま、期限が切れてしまうことがあるから」と答えた割合が最も高く、次いで「安売りなどで必要以上の食品を買い、食べきれないことがあるから」と答えた割合が高い。

#### ⑤家族構成別

すべての家族構成で、「買ったことを忘れたまま、期限が切れてしまうことがあるから」と答えた割合が最も高い。夫婦のみでは、「家にある食品と同じものを買って、食べきれないことがあるから」(14.7%)の割合が、他の家族構成と比べて割合が高い。

図 4.3-1 「手つかず食品」が発生する理由

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

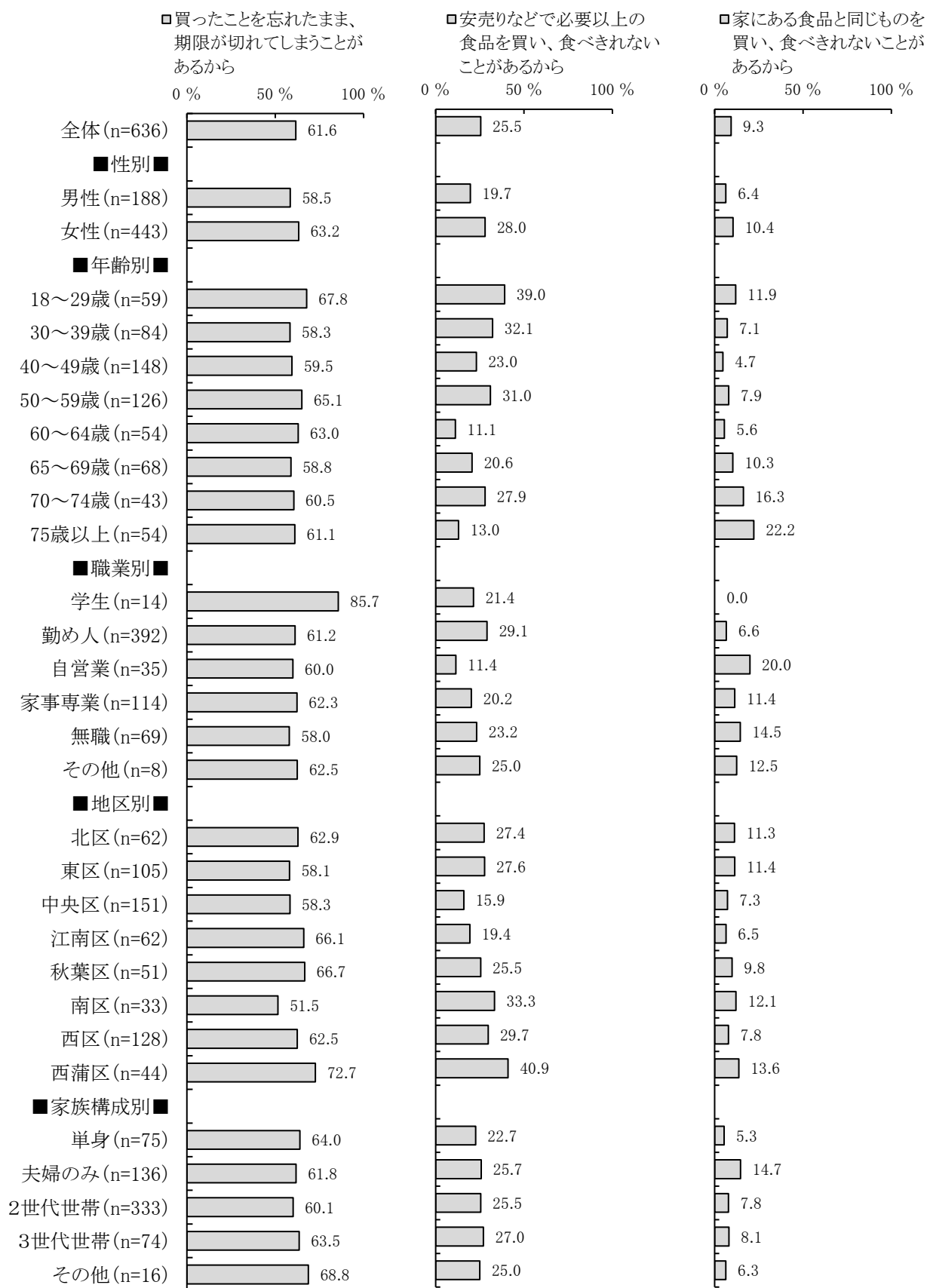
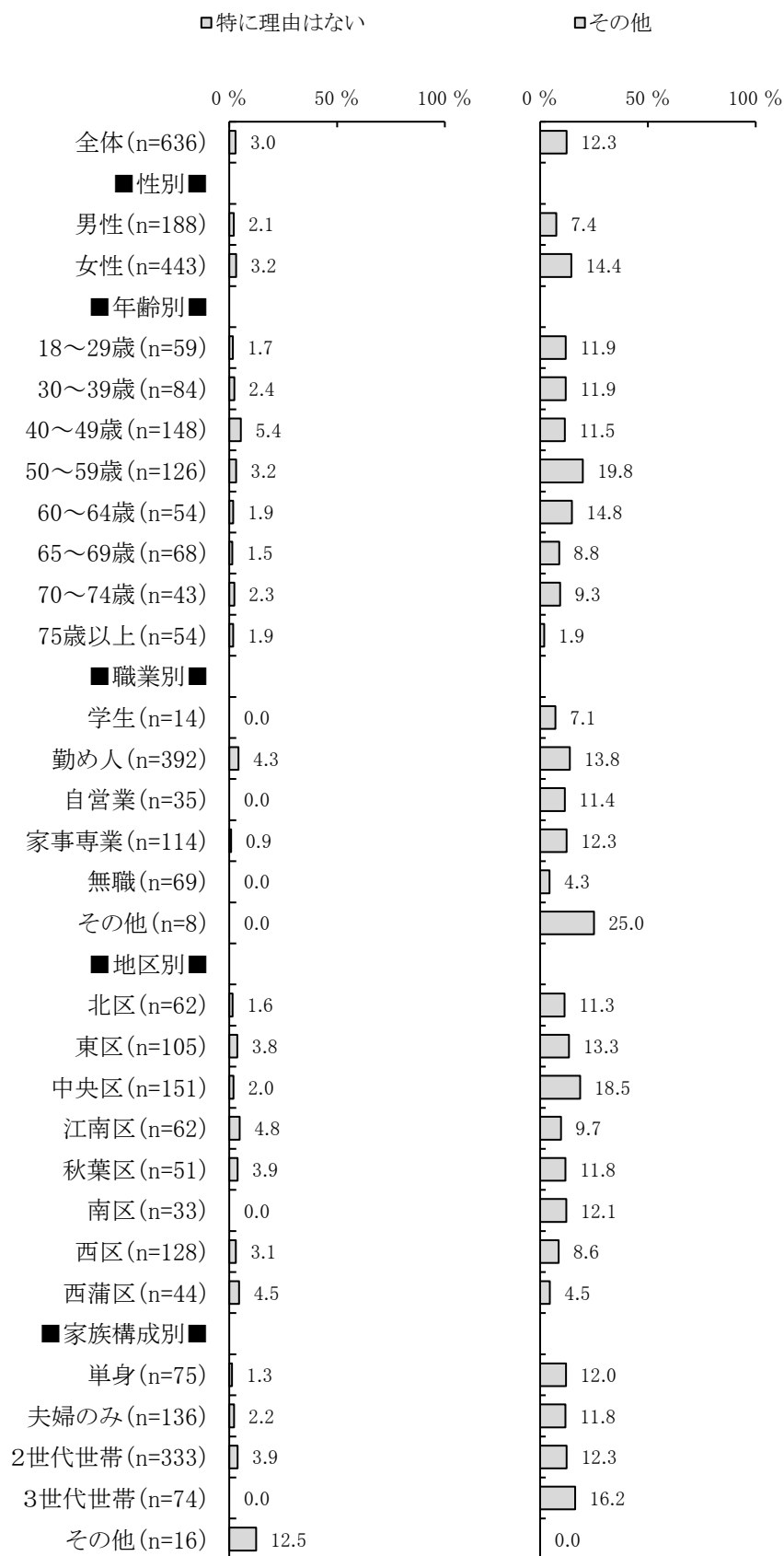


図 4.3-2 「手つかず食品」が発生する理由

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)



#### (4) 「賞味期限」と「消費期限」の違いの認知度

問14 あなたは、「賞味期限★」と「消費期限★」の意味の違いを知っていましたか。  
(○は1つ)

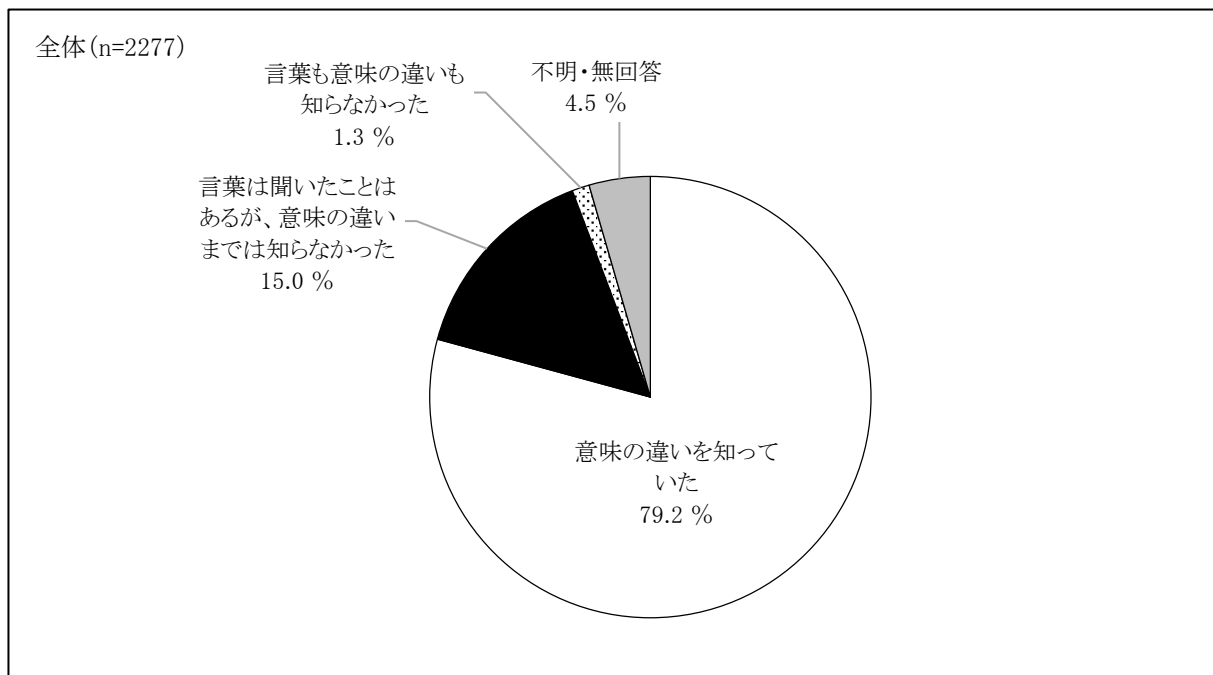
##### ★「賞味期限」「消費期限」とは

###### ➤ 「賞味期限」

袋や容器を開けないままで、表示された保存方法を守って保存していた場合に、この「年月日」まで、「品質が変わらずにおいしく食べられる期限」のこと

###### ➤ 「消費期限」

袋や容器を開けないままで、表示された保存方法を守って保存していた場合に、この「年月日」まで、「安全に食べられる期限」のこと



— 約8割が「意味の違いを知っていた」と回答 —

##### 【全体結果】

「賞味期限」と「消費期限」の意味の違いについて、「意味の違いを知っていた」が79.2%で最も割合が高い。「言葉は聞いたことはあるが、意味の違いまでは知らなかった」が15.0%、「言葉も意味の違いも知らなかった」は1.3%という結果となった。

##### 【属性別結果】(図4.4参照)

###### ①性別

性別での差は、ほぼ見られない。

###### ②年齢別

18～29歳(88.3%)で、「意味の違いを知っていた」と答えた割合が高く、他の年齢と比べて割合が高い。30～39歳(76.3%)、70～74歳(75.1%)、75歳以上(73.0%)では、7割台にとどまった。

### ③職業別

学生で、「意味の違いを知っていた」（88.5％）と答えた割合が高く、他の職業と比べて割合が高い。自営業（73.8％）、その他（72.4％）で、他の職業と比べて割合がやや低い。

### ④地区別

「意味の違いを知っていた」は、中央区（81.7％）、秋葉区（80.6％）、西区（82.1％）で8割を超えた。西蒲区（71.0％）では約7割で、他の地区と比べて割合が低い。

### ⑤家族構成別

家族構成別による差は、あまりみられない。

図 4.4-1 「賞味期限」と「消費期限」の違いの認知度

(性別／年齢別／職業別)

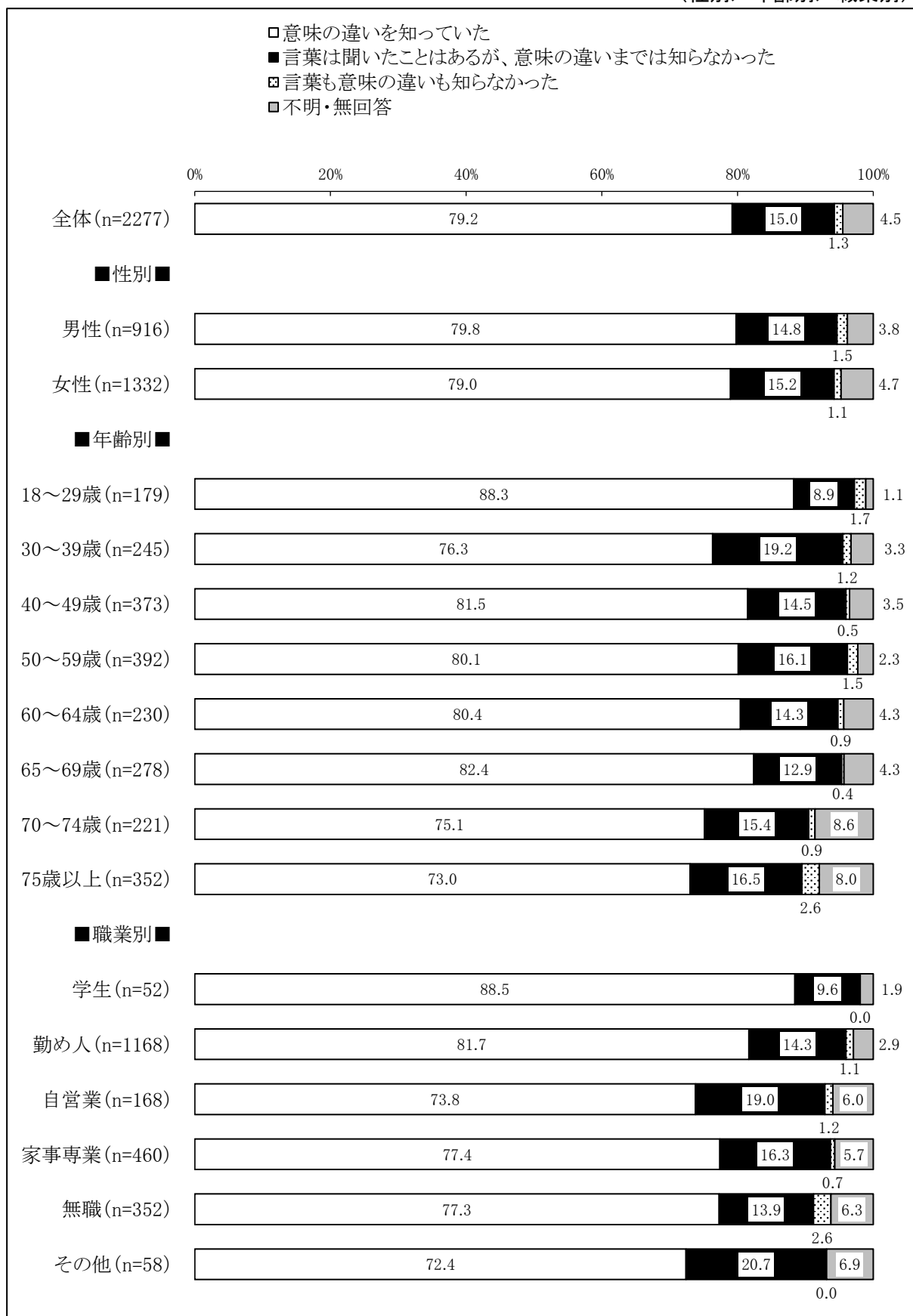
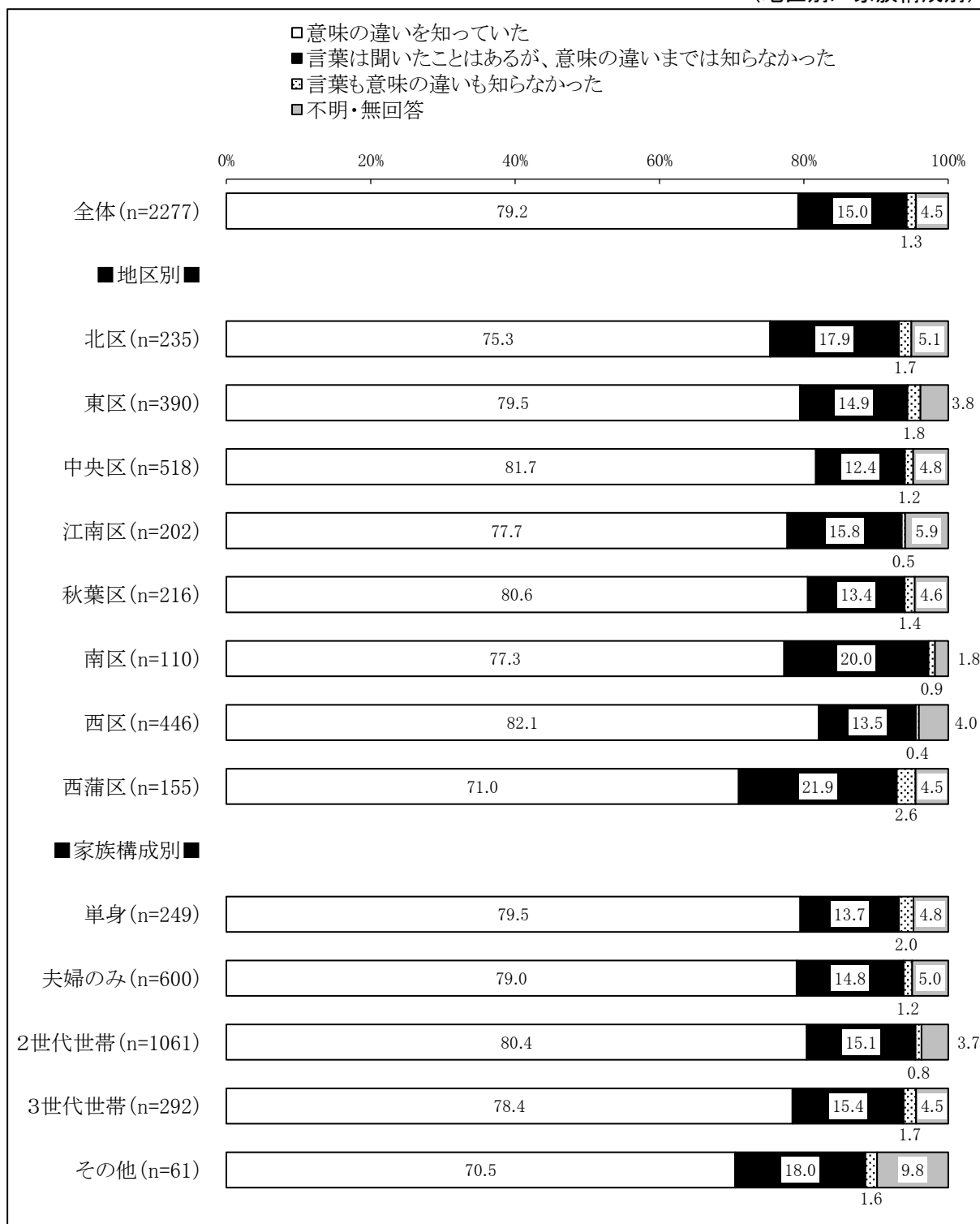


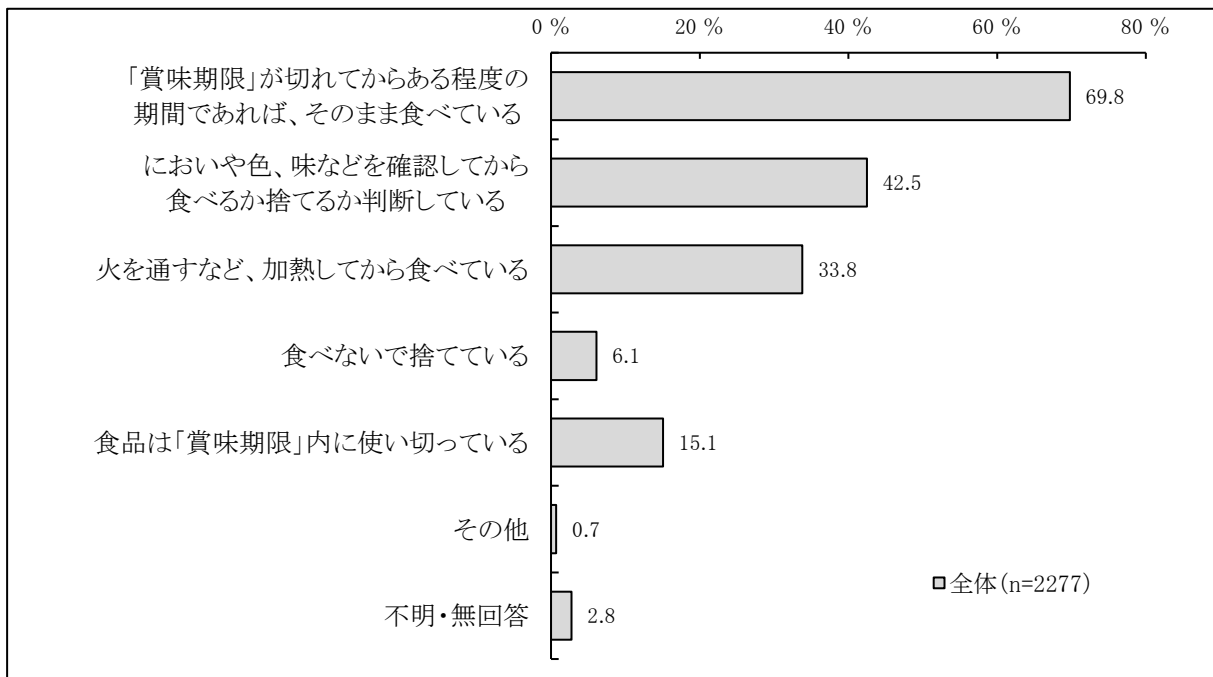
図 4.4-2 「賞味期限」と「消費期限」の違いの認知度

(地区別／家族構成別)



(5) 「賞味期限」が切れた食品への対応

問15 あなたは、ふだん「賞味期限」が切れた食品をどうしていますか。(複数回答可)



— 「『賞味期限』が切れてからある程度の期間であれば、そのまま食べている」が約7割 —

【全体結果】

「賞味期限」が切れた食品への対応について、「『賞味期限』が切れてからある程度の期間であれば、そのまま食べている」(69.8%)と答えた割合が最も高い。次いで「においや色、味などを確認してから食べるか捨てるか判断している」(42.5%)が4割台、「火を通すなど、加熱してから食べている」(33.8%)が3割台の順で続いている。

【属性別結果】(図4.5参照)

①性別

「においや色、味などを確認してから食べるか捨てるか判断している」「火を通すなど、加熱してから食べている」は男性(各37.8%、27.0%)より女性(各46.3%、38.7%)で割合が高い。

②年齢別

すべての年齢で、「賞味期限」が切れた食品への対応について、「『賞味期限』が切れてからある程度の期間であれば、そのまま食べている」と答えた割合が最も高い。75歳以上(57.7%)では他の年齢と比べて割合が低く、5割台にとどまった。「においや色、味などを確認してから食べるか捨てるか判断している」は、若年層ほど割合が高い傾向がみられ、「食品は『賞味期限』内に使い切っている」は、概ね高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。

③職業別

学生は、「においや色、味などを確認してから食べるか捨てるか判断している」(53.8%)と答えた割合が他の年齢と比べて高く、「火を通すなど、加熱してから食べている」(25.0%)と答えた割合が、他の年齢と比べて低い。



#### ④地区別

『賞味期限』が切れてからある程度の期間であれば、そのまま食べている」は、南区(78.2%)で、他の地区と比べて割合がやや高い。「火を通すなど、加熱してから食べている」は、南区(39.1%)、西蒲区(41.9%)で、他の地区と比べて割合がやや高い。

#### ⑤家族構成別

『賞味期限』が切れてからある程度の期間であれば、そのまま食べている」は、2世代世帯(72.0%)、3世代世帯(71.9%)で7割を超えた。2世代世帯は、「においや色、味などを確認してから食べるか捨てるか判断している」(47.3%)で、他の家族構成と比べて割合がやや高い。

図 4.5-1 「賞味期限」が切れた食品への対応

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

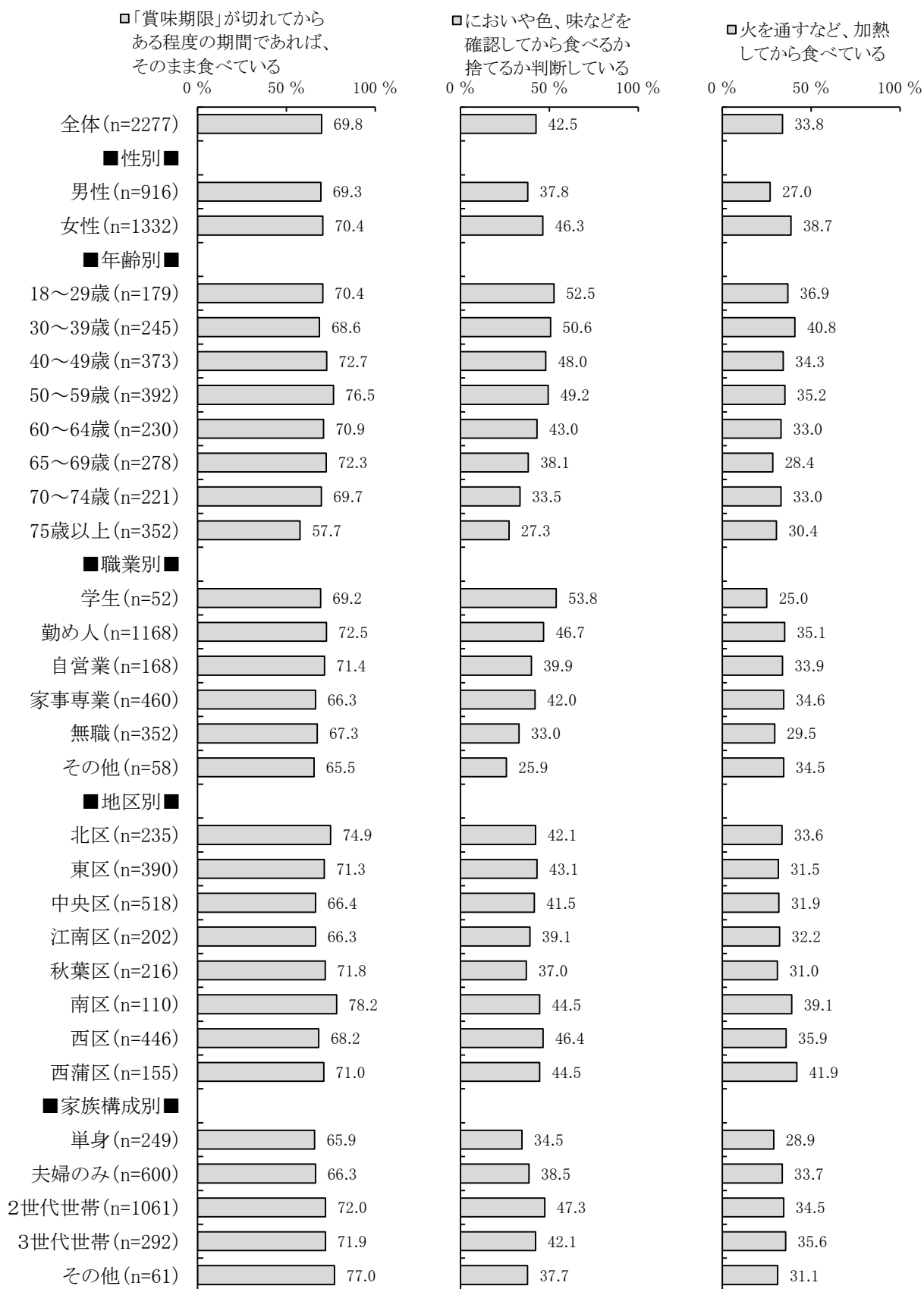
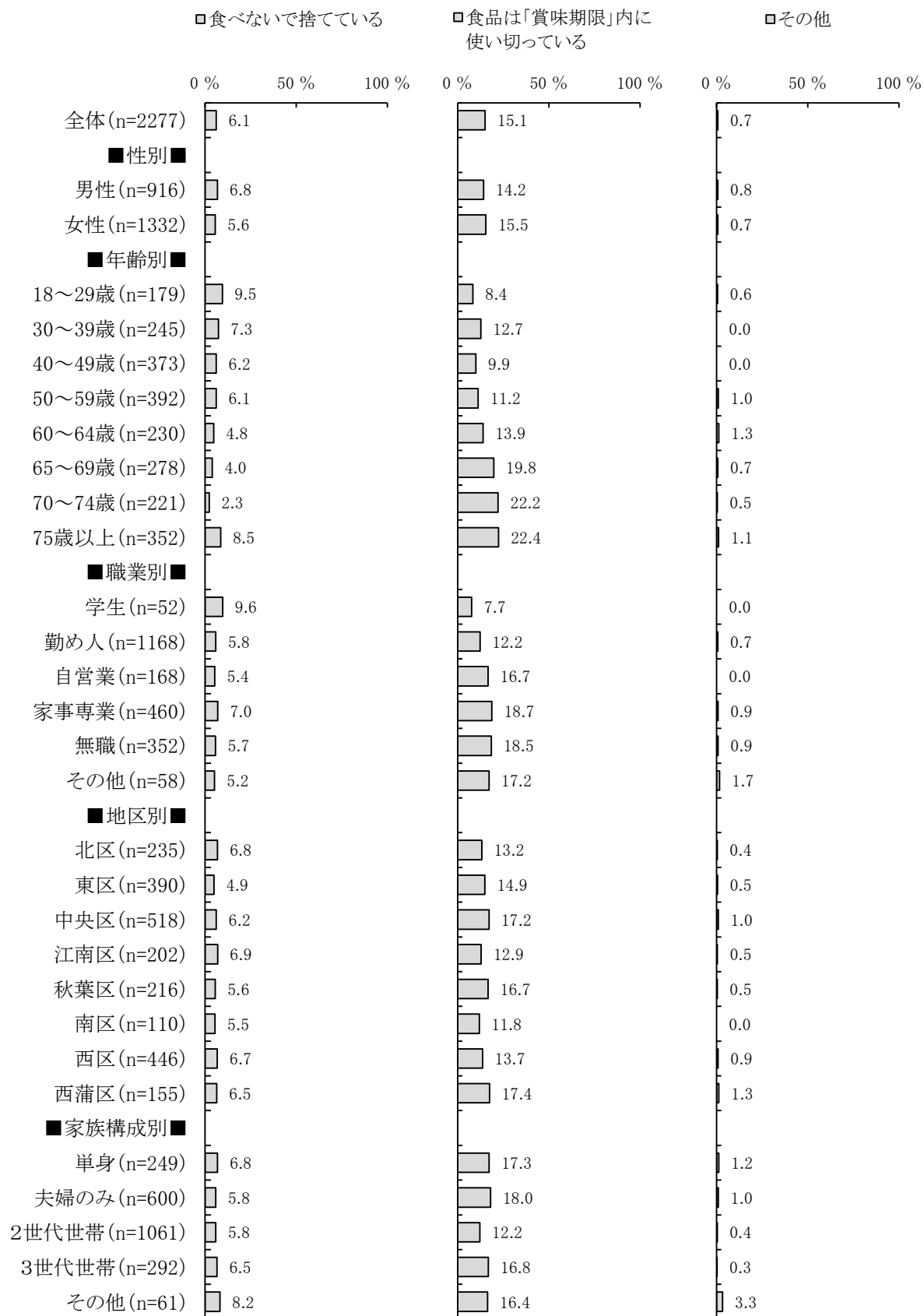


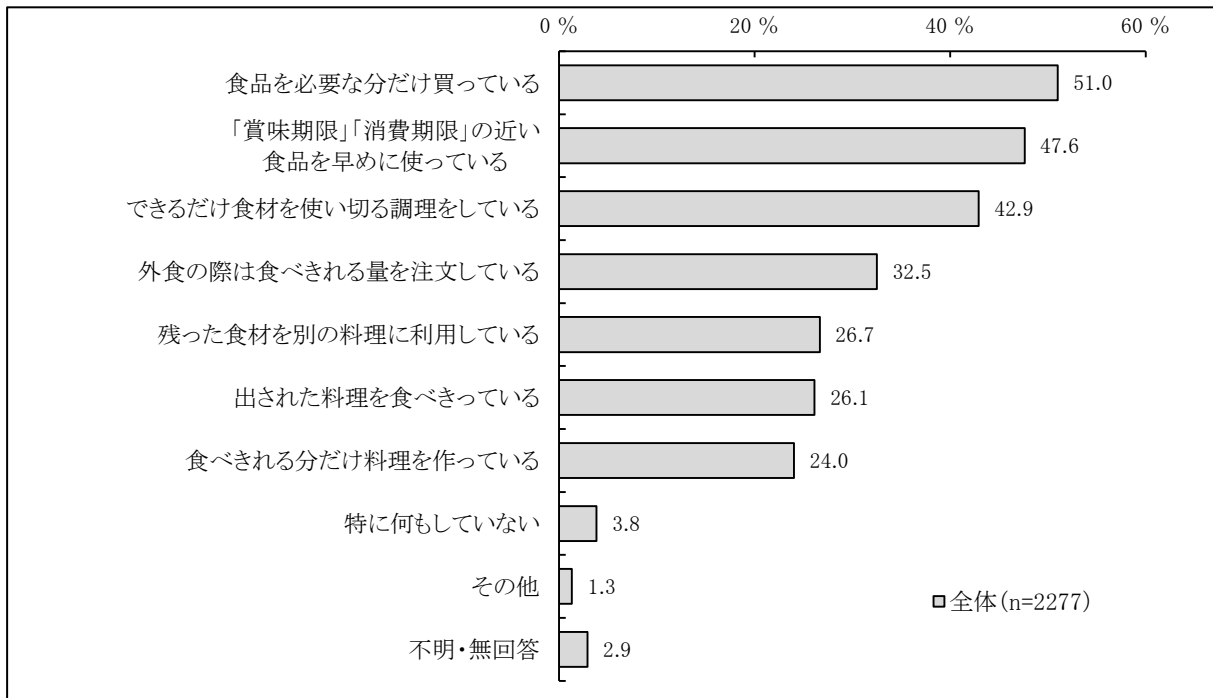
図 4.5-2 「賞味期限」が切れた食品への対応

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)



## (6) 「食品ロス」を出さないために行っていること

問16 「食品ロス」を出さないために、あなたがふだん行っていることは何ですか。  
(複数回答可)



— 5割以上が「食品を必要な分だけ買っている」と回答 —

### 【全体結果】

「食品ロス」を出さないために行っていることについて、「食品を必要な分だけ買っている」(51.0%)と答えた割合が最も高く、半数を超えた。次いで「『賞味期限』『消費期限』の近い食品を早めに使っている」(47.6%)、「できるだけ食材を使い切る調理をしている」(42.9%)、「外食の際は食べきれぬ量を注文している」(32.5%)の順で続いている。「特に何もしていない」は3.8%で、ごく僅かという結果となった。

### 【属性別結果】(図4.6参照)

#### ①性別

「食品を必要な分だけ買っている」「出された料理を食べきっている」は、女性(各49.0%、23.0%)より男性(各53.8%、30.9%)で割合が高い。『賞味期限』『消費期限』の近い食品を早めに使っている」「できるだけ食材を使い切る調理をしている」「外食の際は食べきれぬ量を注文している」「残った食材を別の料理に利用している」「食べきれぬ分だけ料理を作っている」は、男性(各40.2%、31.3%、27.0%、18.9%、17.6%)より女性(各53.2%、51.3%、36.7%、32.4%、28.5%)で割合が高い。

#### ②年齢別

40～49歳を除く年齢で、「食品を必要な分だけ買っている」と答えた割合が最も高く、18～49歳で4割台、50歳以上で5割台という結果となった。40～49歳では、「できるだけ食材を使い切る調理をしている」(47.2%)と答えた割合が最も高い。30～39歳は、「出された料理を食べきっている」(39.2%)で、他の年齢と比べて割合が高く、60～64歳は、「残った食材を別の料理に利用している」(38.7%)で、他の年齢と比べて割合が高い。

### ③職業別

家事専業を除く職業で、「食品を必要な分だけ買っている」と答えた割合が最も高い。家事専業は、『賞味期限』『消費期限』の近い食品を早めに使っている（55.0%）と答えた割合が最も高い。学生は、「出された料理を食べきっている」（44.2%）で、他の職業と比べて割合が高く、家事専業は、「できるだけ食材を使い切る調理をしている」（50.9%）で、他の職業と比べて割合が高い。

### ④地区別

西蒲区を除く地区で、「食品を必要な分だけ買っている」と答えた割合が最も高い。西蒲区は、『賞味期限』『消費期限』の近い食品を早めに使っている（54.8%）と答えた割合が最も高い。「できるだけ食材を使い切る調理をしている」は、他の地区と比べて西区（48.0%）でやや高い。

### ⑤家族構成別

単身、2世代世帯、その他では、「食品を必要な分だけ買っている」（各 65.9%、48.8%、55.7%）と答えた割合が最も高く、夫婦のみ、3世代世帯では、『賞味期限』『消費期限』の近い食品を早めに使っている（各 52.5%、52.1%）と答えた割合が最も高い。「できるだけ食材を使い切る調理をしている」は、夫婦のみ（45.8%）、2世代世帯（43.4%）、3世代世帯（43.8%）で4割を超えた。

図 4.6-1 「食品ロス」を出さないために行っていること

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

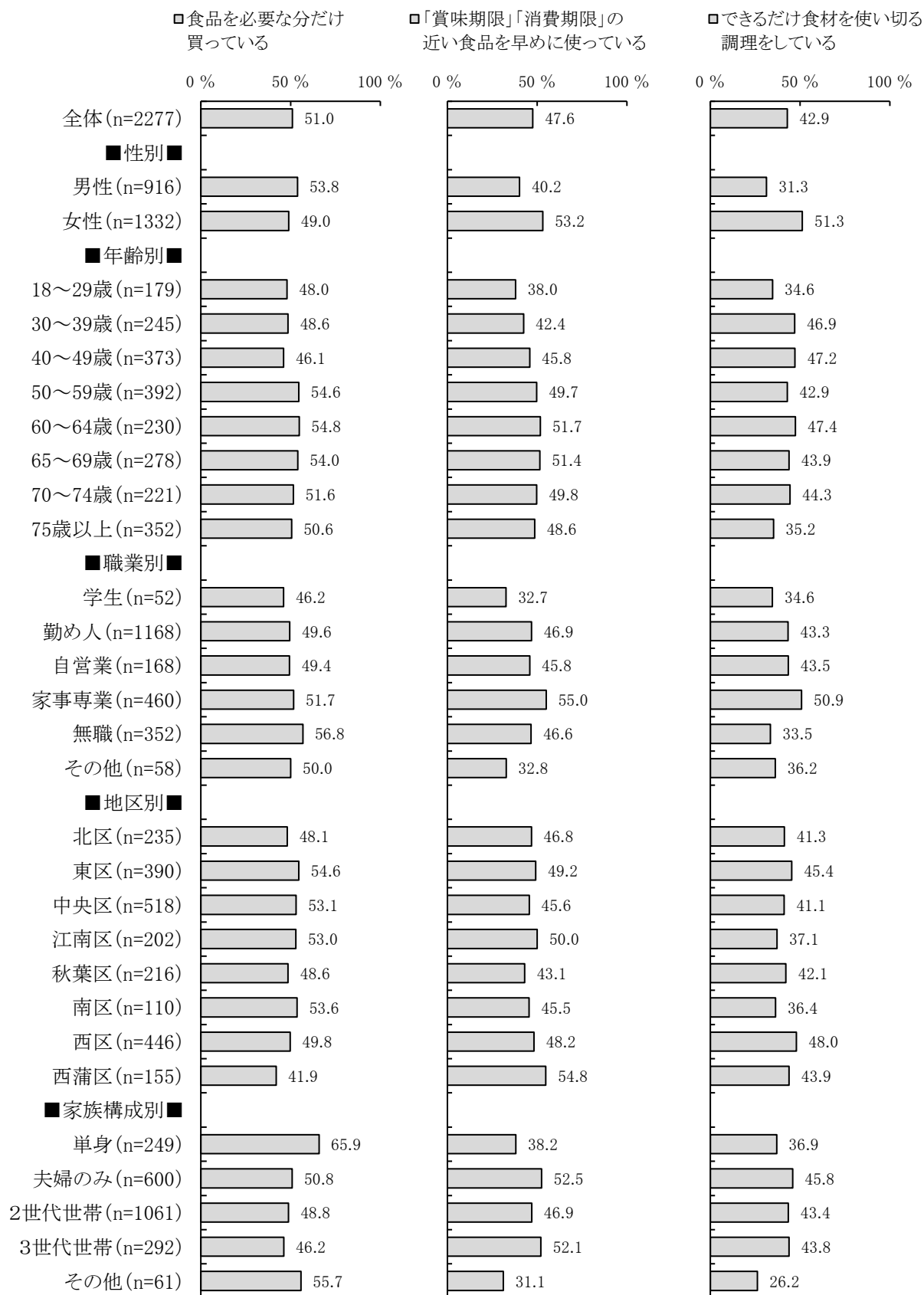


図 4.6-2 「食品ロス」を出さないために行っていること

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

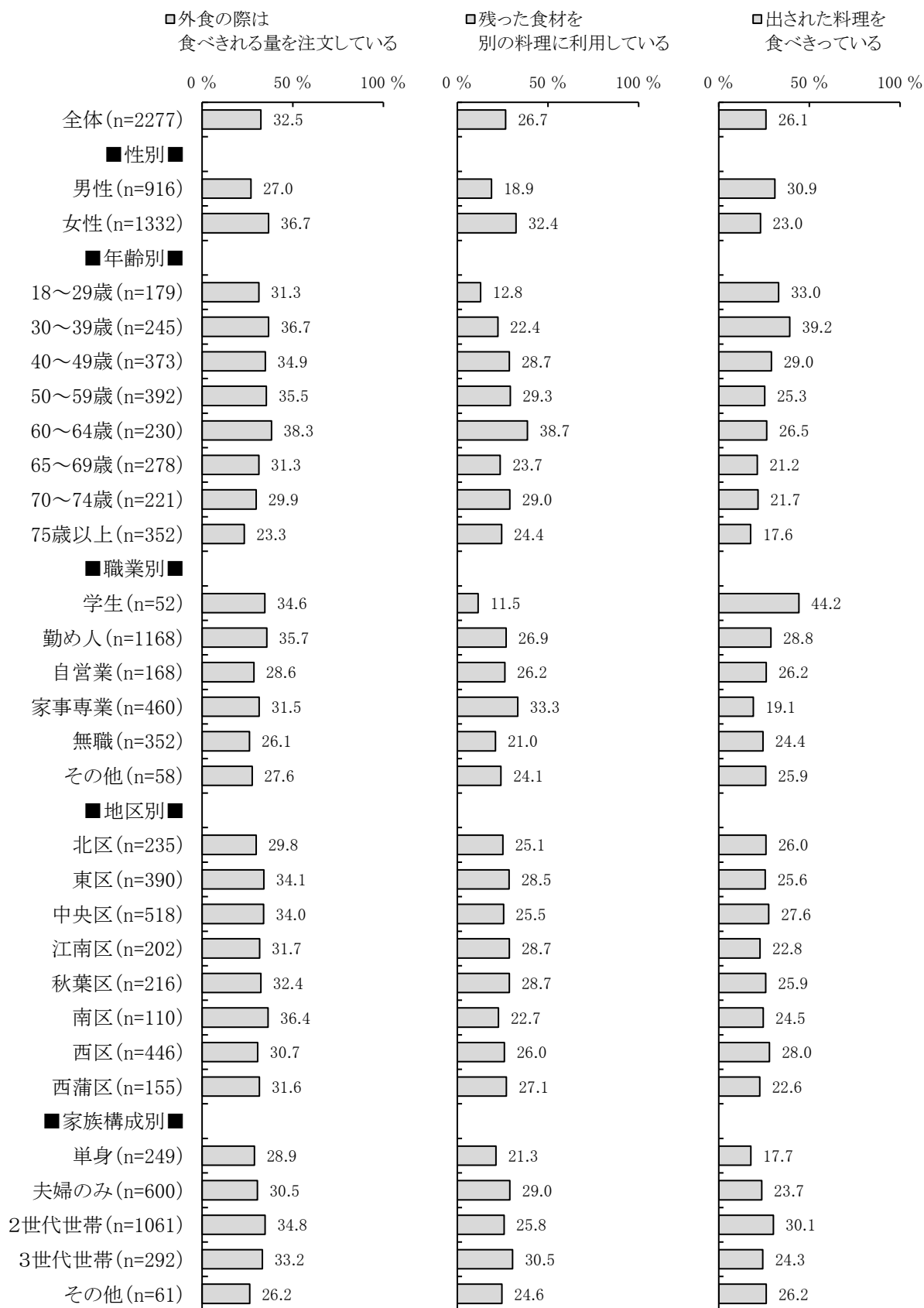
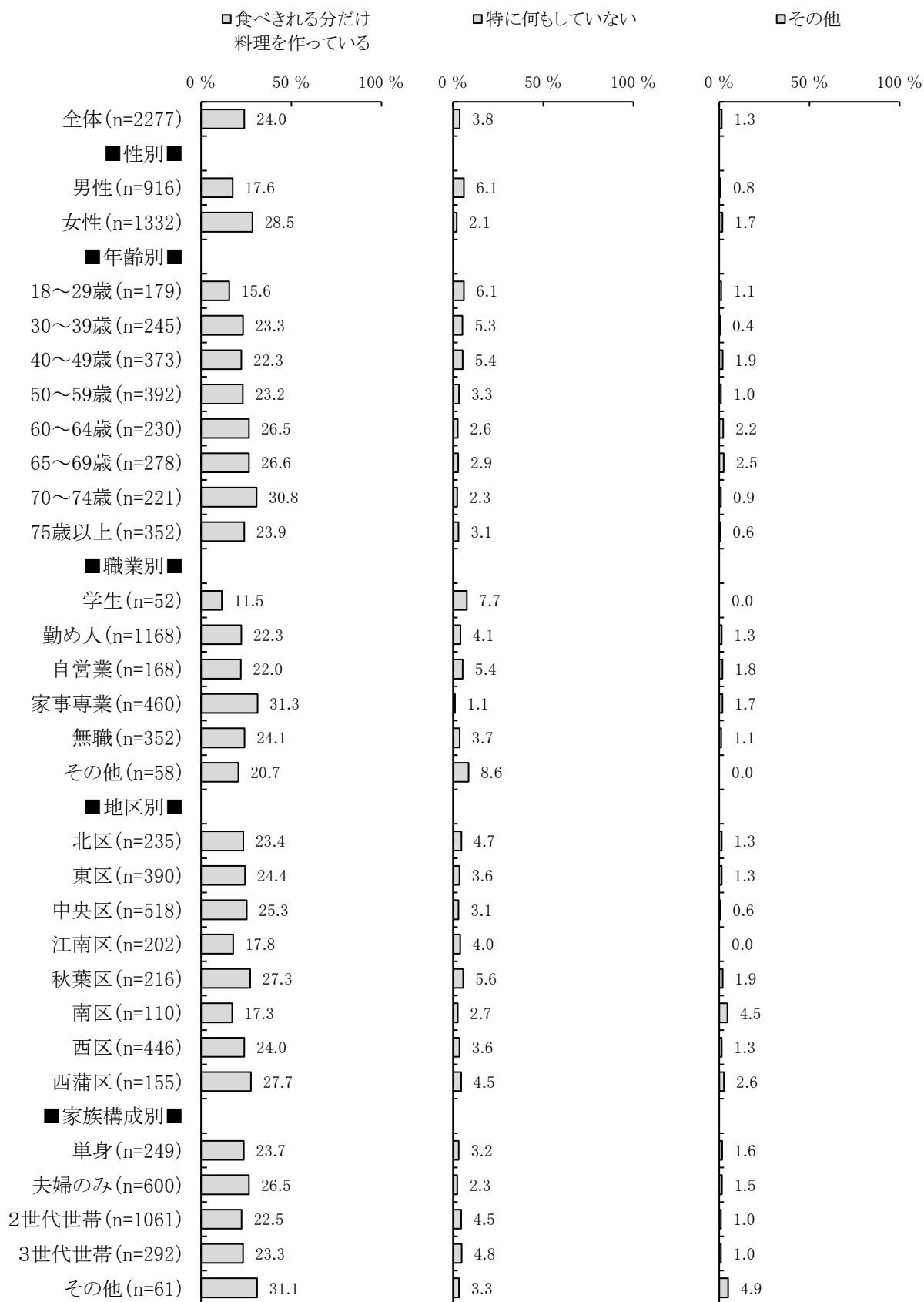


図 4.6-3 「食品ロス」を出さないために行っていること

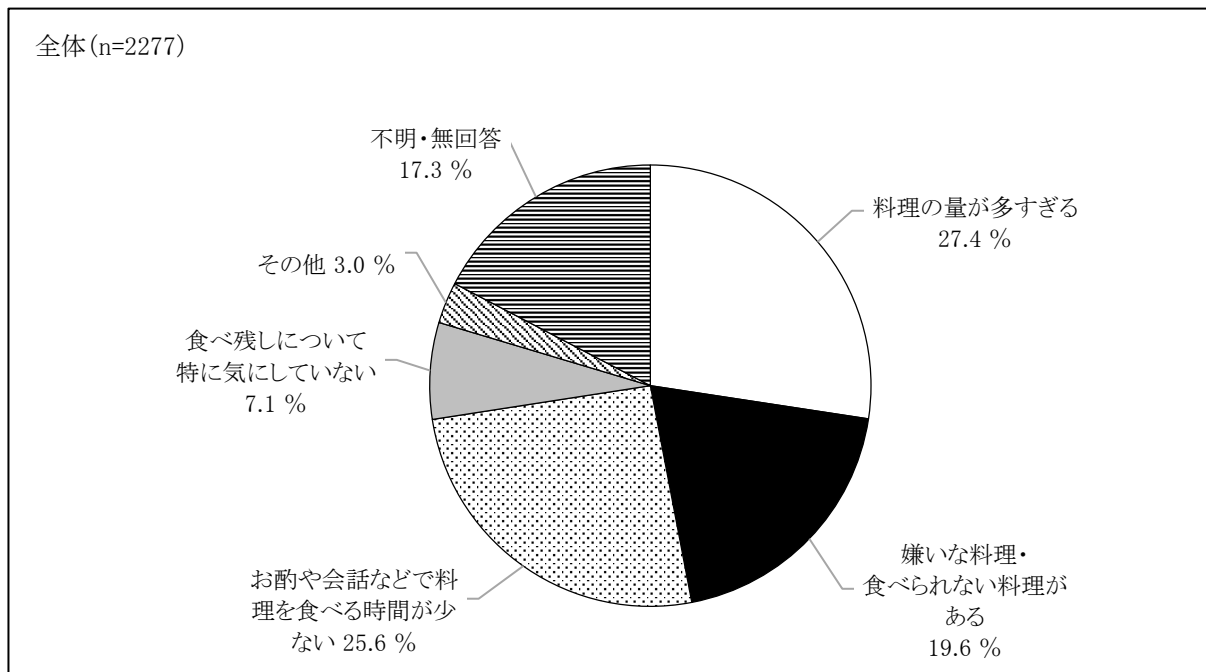
(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)





## (7) 会食の際に食べ残しが発生する原因への考え

問17 あなたは、宴席など会食の際に食べ残しが発生する原因は何だと思えますか。  
(○は1つ)



— 3割弱が「料理の量が多すぎる」と回答 —

### 【全体結果】

会食の際に食べ残しが発生する原因について、「料理の量が多すぎる」(27.4%)と答えた割合が最も高い。次いで「お酌や会話などで料理を食べる時間が少ない」が25.6%、「嫌いな料理・食べられない料理がある」が19.6%で、「食べ残しについて特に気にしていない」(7.1%)は1割未満という結果となった。

### 【属性別結果】(図4.7参照)

#### ①性別

「お酌や会話などで料理を食べる時間が少ない」は、女性(22.7%)より男性(29.9%)で割合が高く、「嫌いな料理・食べられない料理がある」は、男性(16.2%)より女性(21.8%)で割合が高い。

#### ②年齢別

18歳～59歳では、「お酌や会話などで料理を食べる時間が少ない」と答えた割合が最も高く、60歳以上では、「料理の量が多すぎる」と答えた割合が最も高い。「嫌いな料理・食べられない料理がある」は、60～64歳(26.1%)、65～69歳(26.3%)で、他の年齢と比べて割合が高い。

#### ③職業別

勤め人、自営業を除く職業で、「料理の量が多すぎる」と答えた割合が最も高く、特に家事専業(39.3%)では、約4割を占めた。勤め人、自営業では、「お酌や会話などで料理を食べる時間が少ない」(各31.3%、29.8%)と答えた割合が最も高い。

#### ④地区別

北区、中央区、西区、西蒲区では、「料理の量が多すぎる」（各 25.1%、30.7%、30.7%、26.5%）と答えた割合が最も高い。東区、江南区、秋葉区、南区では、「お酌や会話などで料理を食べる時間が少ない」（各 27.2%、23.8%、26.4%、31.8%）と答えた割合が最も高い。次いで、秋葉区では、「嫌いな料理・食べられない料理がある」（25.5%）の割合が高く、江南区では、「料理の量が多すぎる」「嫌いな料理・食べられない料理がある」（共に 22.8%）が同じ割合という結果となった。

#### ⑤家族構成別

単身、夫婦のみ、その他では、「料理の量が多すぎる」（各 31.7%、33.8%、26.2%）と答えた割合が最も高く、特に単身、夫婦のみで 3 割を超えた。2 世代世帯、3 世代世帯では、「お酌や会話などで料理を食べる時間が少ない」（各 28.0%、27.1%）と答えた割合が最も高い。

図 4.7-1 会食の際に食べ残しが発生する原因への考え

(性別／年齢別／職業別)

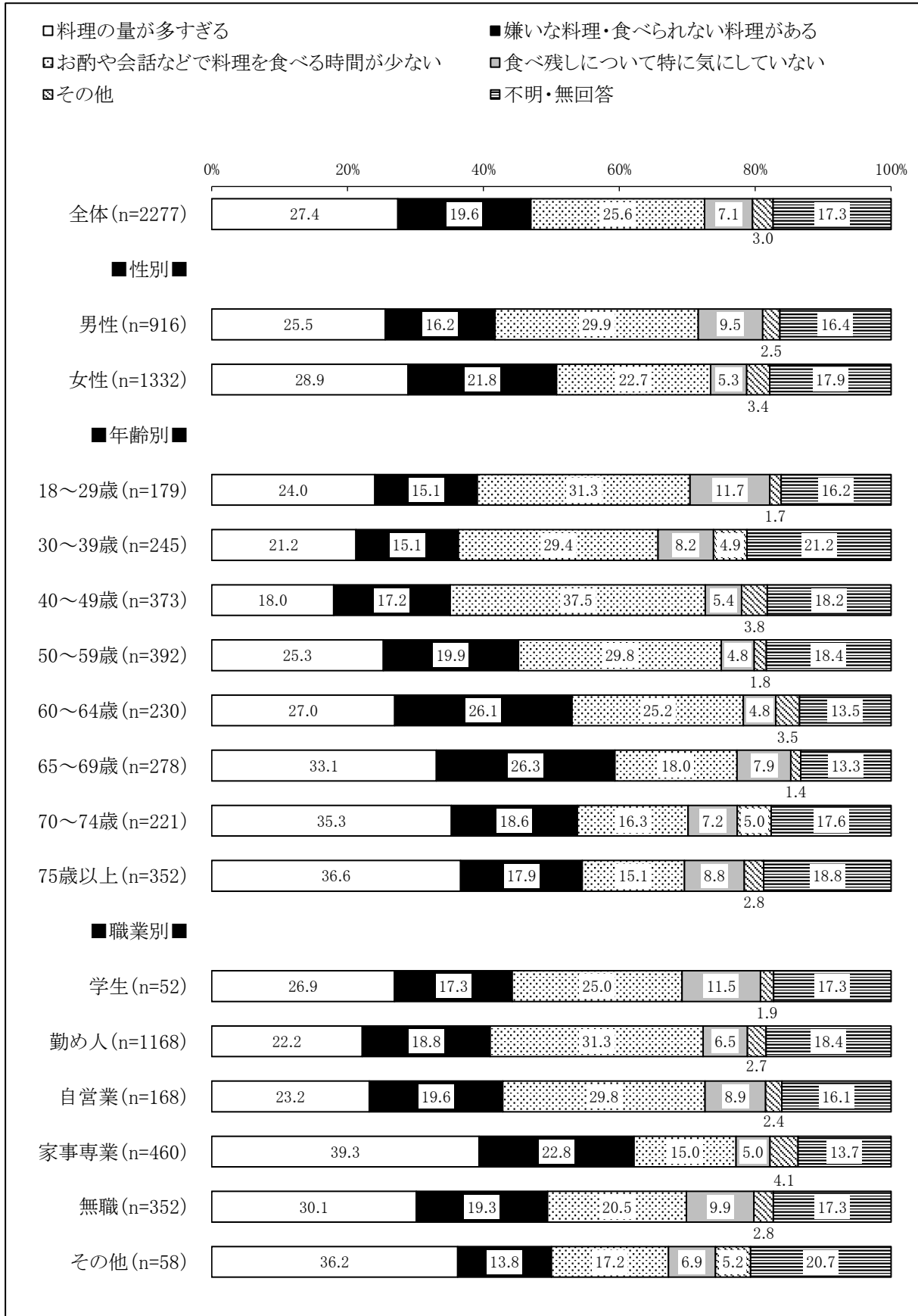
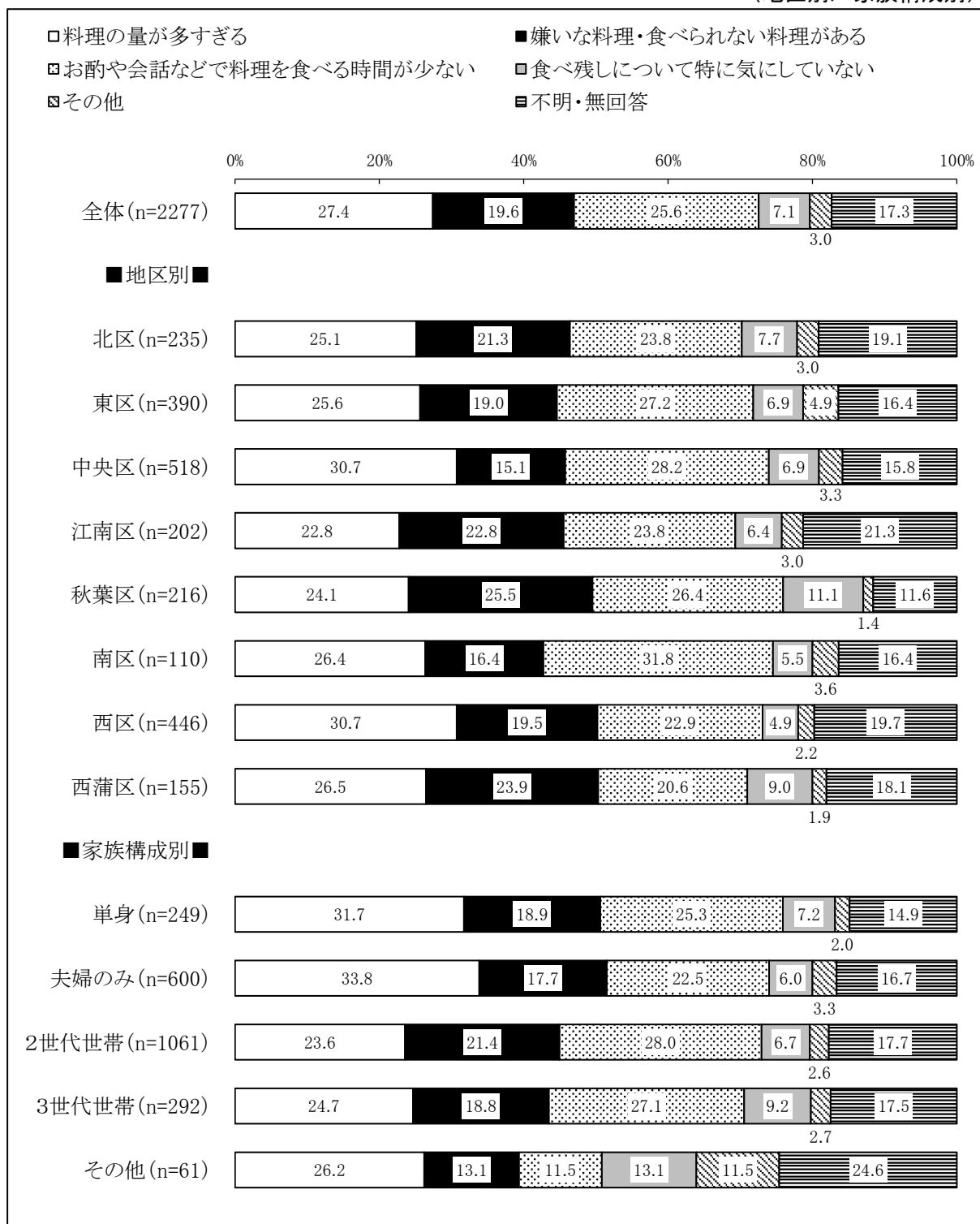


図 4.7-2 会食の際に食べ残しが発生する原因への考え

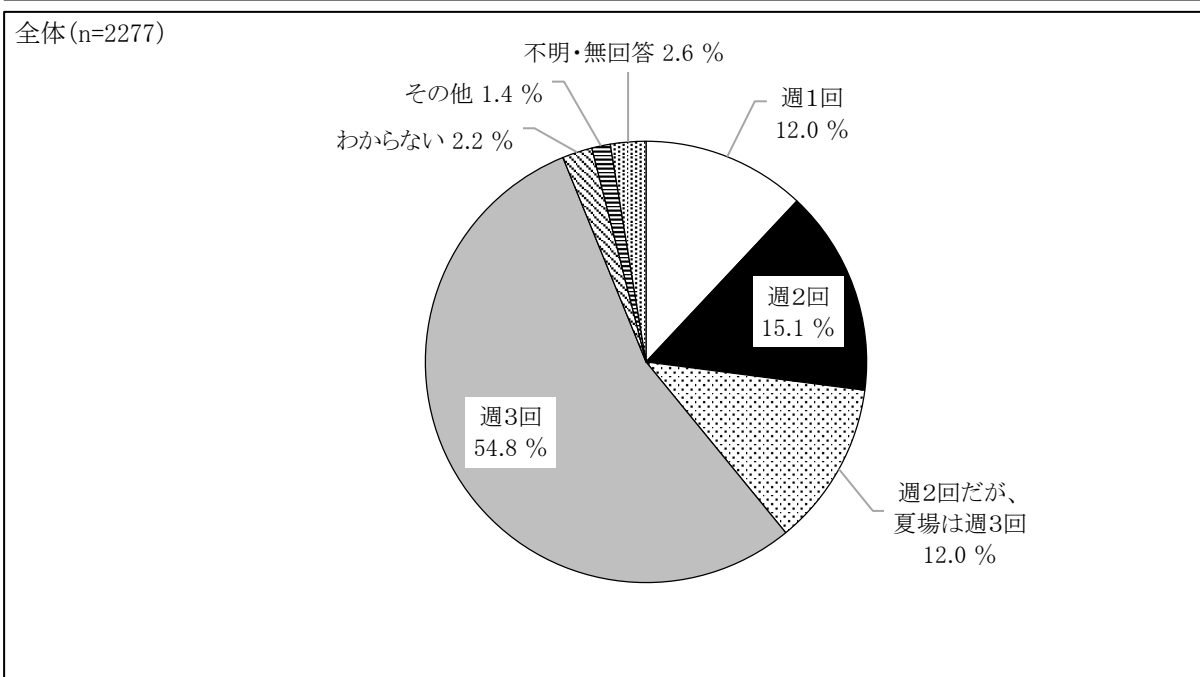
(地区別/家族構成別)



## 5. 燃やすごみの収集について

### (1) 燃やすごみを出す頻度

問18 あなたは、ふだん燃やすごみを何回出していますか。(○は1つ)



— 過半数が「週3回」と回答 —

#### 【全体結果】

燃やすごみを出す頻度について、「週3回」と答えた割合が最も高く、半数を超えた。「週1回」が12.0%、「週2回」が15.1%、「週2回だが、夏場は週3回」が12.0%という結果となった。

#### 【属性別結果】(図5.1参照)

##### ①性別

「週3回」は、男性(52.0%)より女性(56.7%)で割合がやや高い。男性は、「週2回」(17.5%)と答えた割合が女性(13.2%)より高く、女性は、「週2回だが、夏場は週3回」(14.3%)と答えた割合が男性(8.8%)より高い。

##### ②年齢別

「週3回」は、18~29歳(35.8%)を除く年齢で、半数を超えた。18~29歳は、「週1回」(16.2%)が他の年齢と比べて割合がやや高い。30~39歳で「週2回」(21.2%)が2割を超え、他の年齢と比べて割合がやや高い。

##### ③職業別

すべての職業で、「週3回」と答えた割合が最も高い。「週1回」は、学生(21.2%)、その他(22.4%)で2割を超え、他の年齢と比べて割合が高い。勤め人で「週2回」(17.3%)が、他の年齢と比べて割合がやや高い。

#### ④地区別

すべての地区で、「週3回」と答えた割合が最も高く、東区（64.4%）で6割を超え、他の地区と比べて割合が高い。「週1回」は、北区（17.9%）、秋葉区（16.2%）、南区（15.5%）、西蒲区（18.7%）で1割半ばを超えた。「週2回」は、江南区（18.8%）で、他の地区と比べて割合がやや高い。

#### ⑤家族構成別

単身を除く家族構成で、「週3回」と答えた割合が最も高い。単身は、「週1回」（30.1%）と答えた割合が最も高く、約3割を占めた。単身は、「週2回」（18.9%）、「週2回だが、夏場は週3回」（15.3%）と答えた割合も、他の家族構成と比べて割合がやや高い。

図 5.1-1 燃やすごみを出す頻度

(性別／年齢別／職業別)

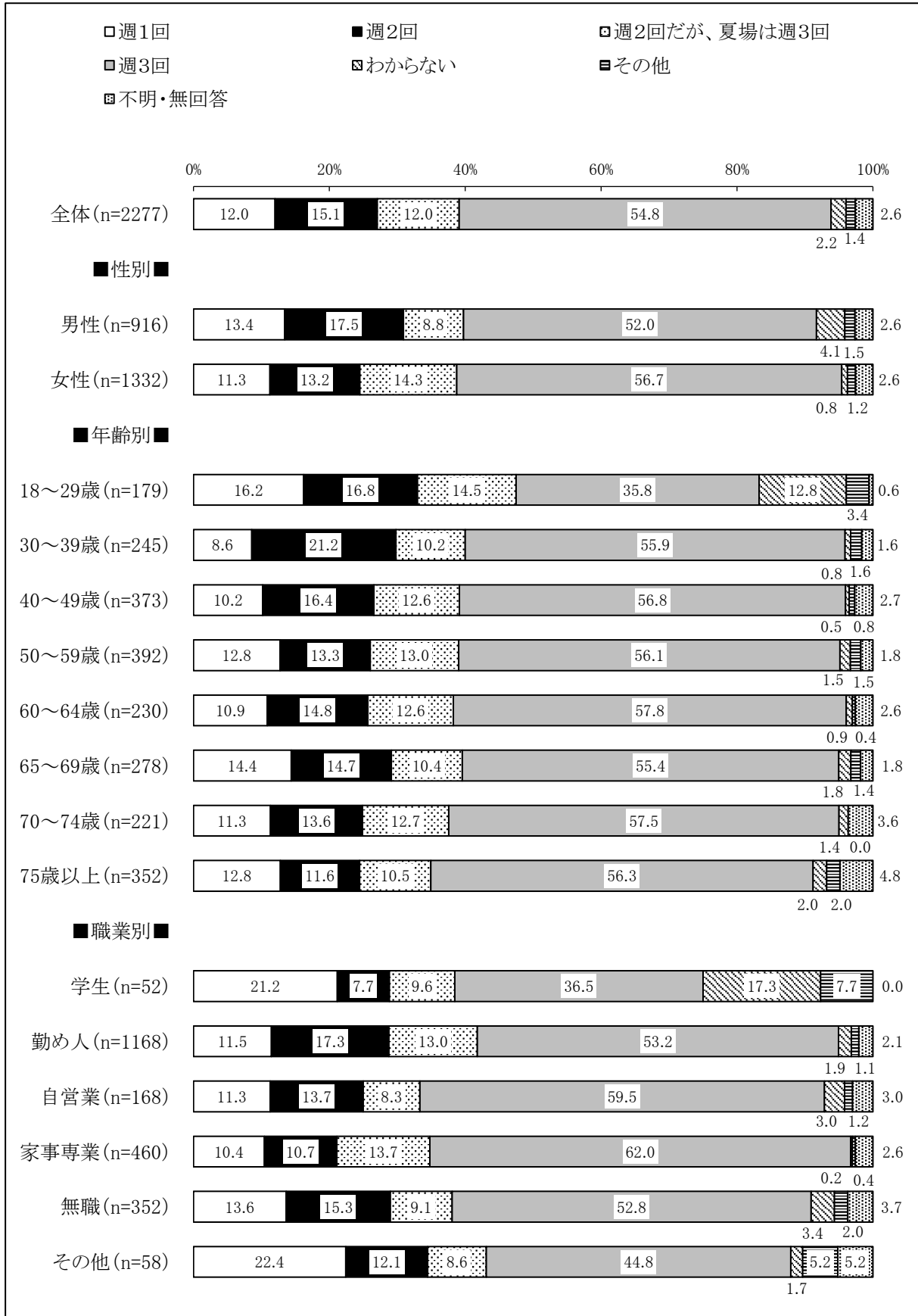
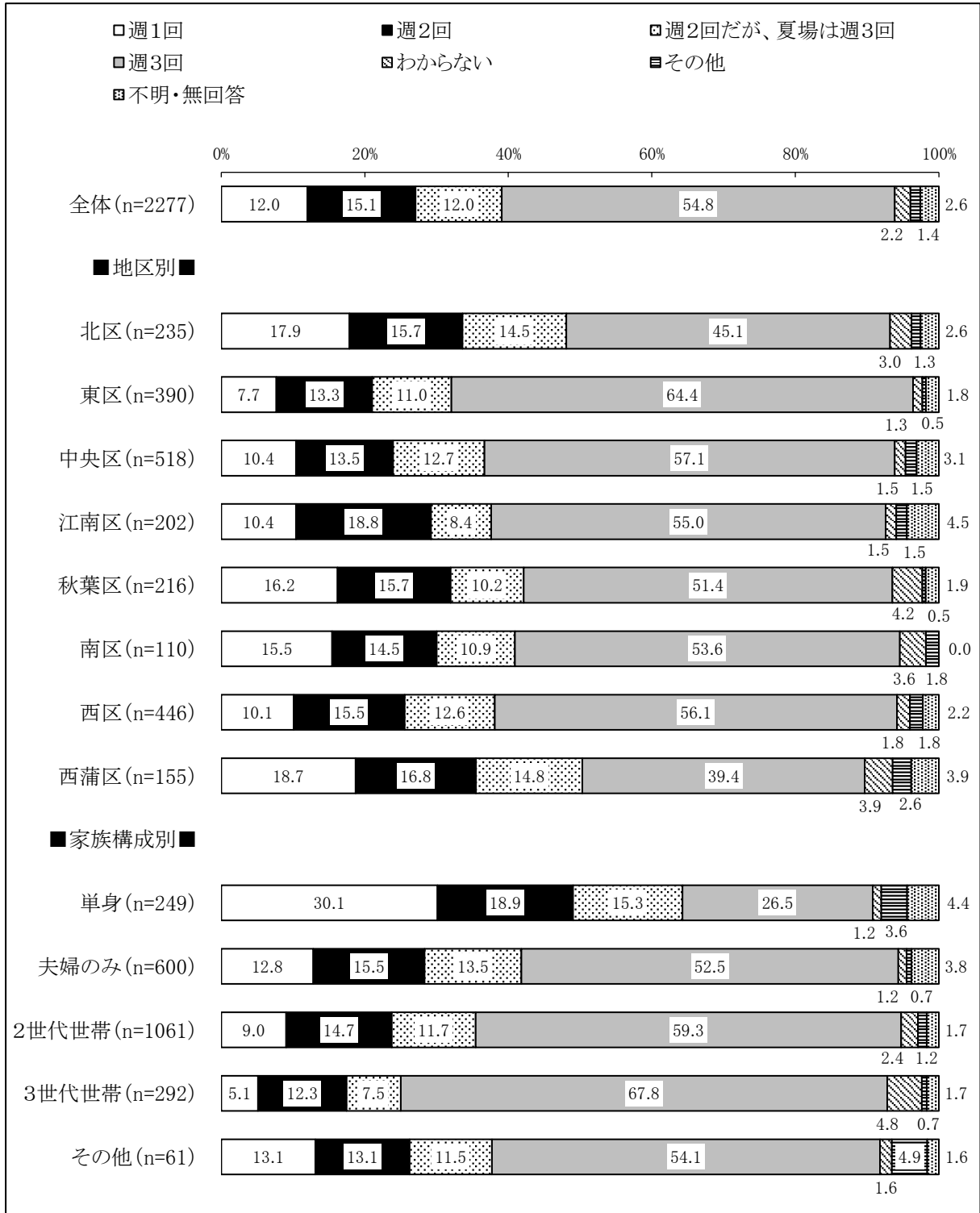


図 5.1-2 燃やすごみを出す頻度

(地区別／家族構成別)

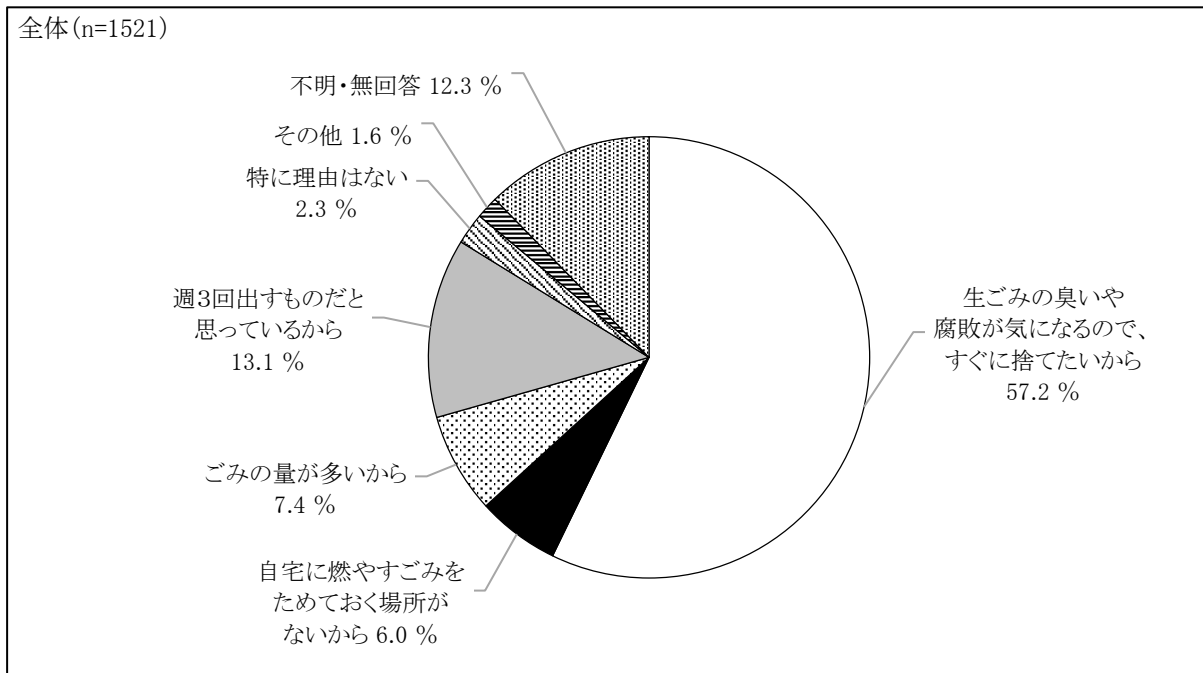




## (2) 燃やすごみを週3回出す理由

(問18で3、4と回答した方に質問します。)

問18-1 あなたが燃やすごみを週3回出す理由は何ですか。(主なもの1つに○)



— 過半数が「生ごみの臭いや腐敗が気になるので、すぐに捨てたいから」と回答 —

### 【全体結果】

燃やすごみを週3回出す理由について、「生ごみの臭いや腐敗が気になるので、すぐに捨てたいから」(57.2%)と答えた割合が最も高く、半数を超えた。次いで「週3回出すものだと思っているから」(13.1%)、「ごみの量が多いから」(7.4%)、「自宅に燃やすごみをためておく場所がないから」(6.0%)の順が続いている。「特に理由はない」は2.3%という結果となった。「その他」(1.6%)では、「おむつが匂うから。」「おむつが沢山でるから。」等、おむつに関する意見が散見された。

### 【属性別結果】(図5.2参照)

#### ①性別

性別では、あまり大きな差はみられない。

#### ②年齢別

すべての年齢で、「生ごみの臭いや腐敗が気になるので、すぐに捨てたいから」と答えた割合が最も高い。65～69歳(66.1%)で最も割合が高く、18～29歳(46.7%)で最も割合が低い。「週3回出すものだと思っているから」は、概ね高齢層ほど割合が高く、75歳以上(20.0%)で2割を占めた。「ごみの量が多いから」は、若年層ほど割合が高い傾向がみられる。

#### ③職業別

すべての職業で、「生ごみの臭いや腐敗が気になるので、すぐに捨てたいから」と答えた割合が最も高いものの、学生(37.5%)、その他(32.3%)で3割台にとどまった。学生、その他は、「週3回出すものだと思っているから」(各20.8%、32.3%)が、他の職業と比べて割合が高い。「ごみの量が多いから」は、自営業(13.2%)でやや高く、1割を超えた。

#### ④地区別

すべての地区で、「生ごみの臭いや腐敗が気になるので、すぐに捨てたいから」と答えた割合が最も高い。北区（62.1%）、中央区（60.8%）では6割を超えた。「週3回出すものだと思っているから」は、南区（21.1%）で2割を超え、他の地区と比べて割合が高い。

#### ⑤家族構成別

すべての家族構成で、「生ごみの臭いや腐敗が気になるので、すぐに捨てたいから」と答えた割合が最も高く、単身（68.3%）、夫婦のみ（61.9%）で6割を超えた。「週3回出すものだと思っているから」は、その他（20.0%）で他の家族構成と比べて割合が高く、「ごみの量が多いから」は、3世代世帯（17.7%）で他の家族構成と比べて割合が高い。

図 5.2-1 燃やすごみを週3回出す理由

(性別／年齢別／職業別)

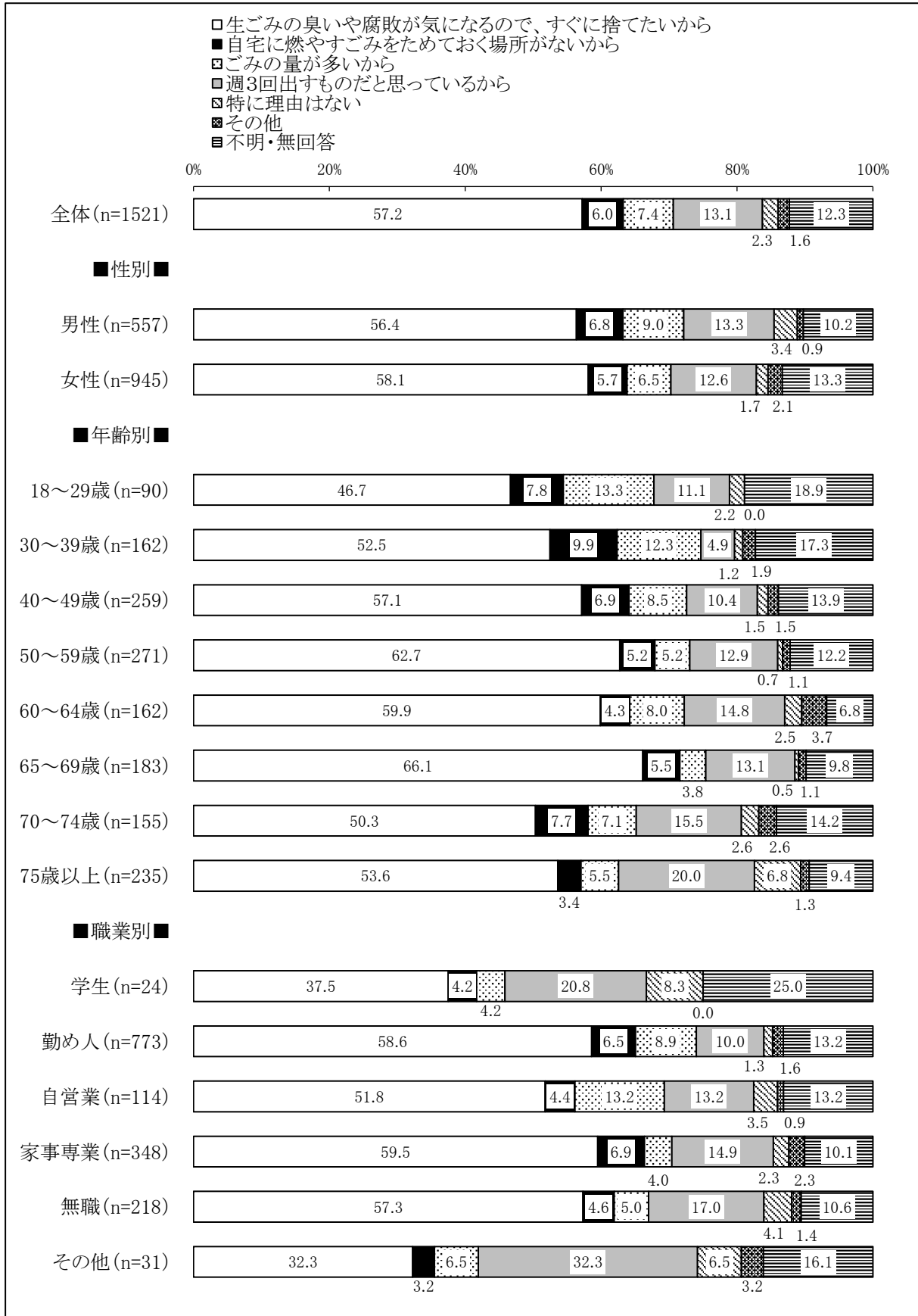
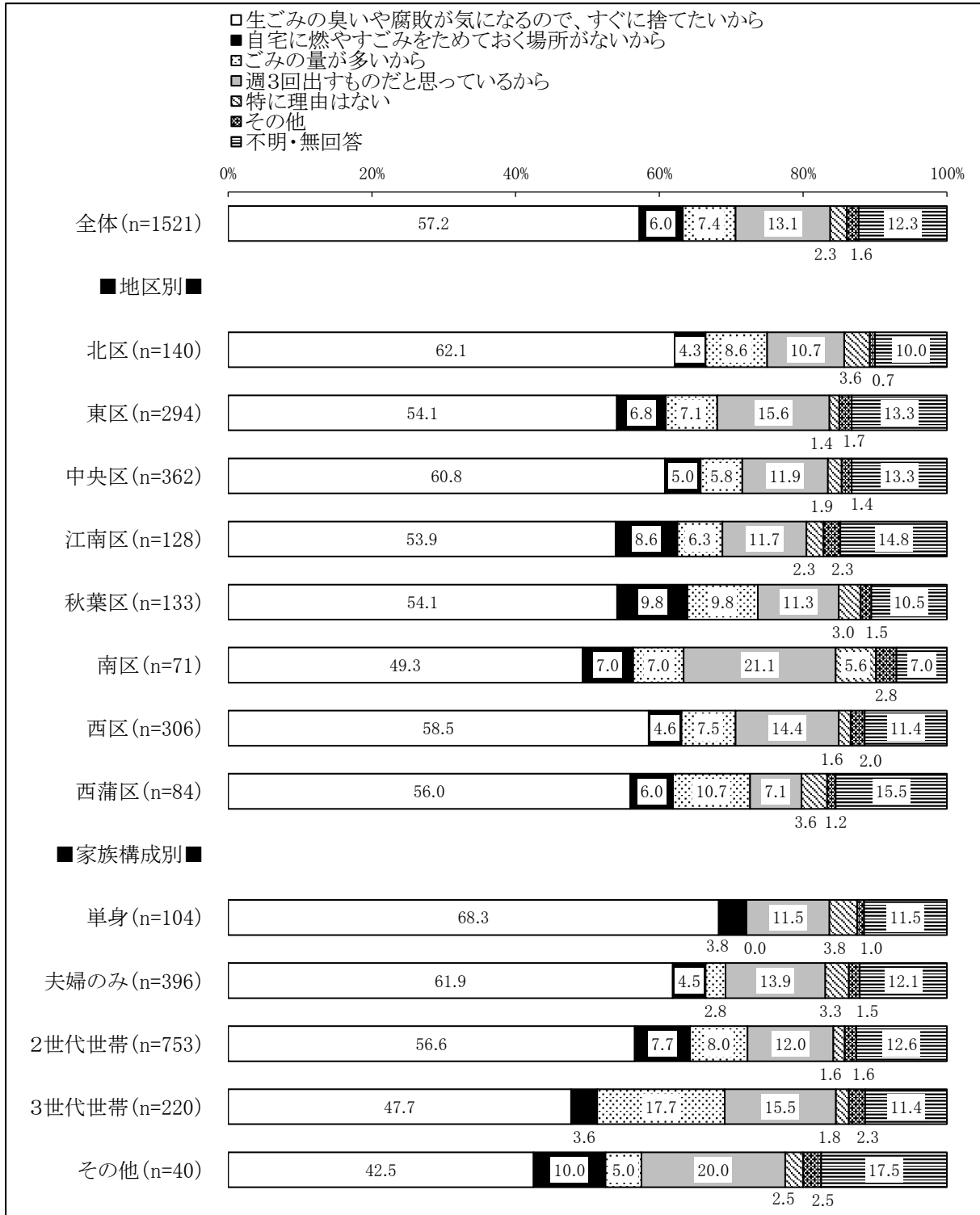


図 5.2-2 燃やすごみを週3回出す理由

(地区別／家族構成別)

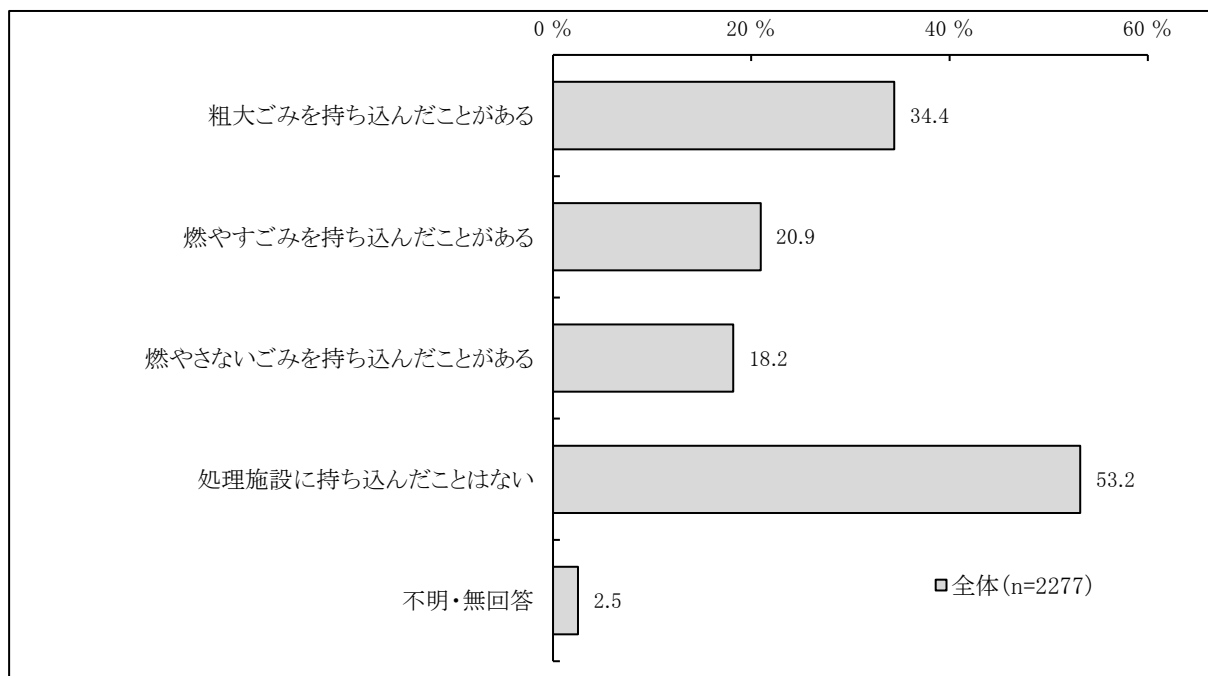


## 6. 市のごみ処理施設へのごみの持ち込みについて

### (1) 市の処理施設への持ち込み有無

問19 家庭系ごみは、10kgまでごとに60円の手数料で、自分で市の処理施設に持ち込むことができます。

あなたは、ごみを自分で市の処理施設に持ち込んだことはありますか。(複数回答可)



— 半数以上が「処理施設に持ち込んだことはない」と回答 —

#### 【全体結果】

市の処理施設への持ち込み有無について、「処理施設に持ち込んだことはない」(53.2%)と答えた割合が最も高く、半数を超えた。「粗大ごみを持ち込んだことがある」(34.4%)が3割を超え、「燃やすごみを持ち込んだことがある」(20.9%)、「燃やさないごみを持ち込んだことがある」(18.2%)が約2割という結果となった。

#### 【属性別結果】(図6.1参照)

##### ①性別

「粗大ごみを持ち込んだことがある」「燃やすごみを持ち込んだことがある」「燃やさないごみを持ち込んだことがある」は、女性(各32.4%、18.8%、16.4%)より男性(各37.8%、24.0%、20.9%)で割合が高い。

##### ②年齢別

すべての年齢で、「処理施設に持ち込んだことはない」と答えた割合が最も高い。「粗大ごみを持ち込んだことがある」は、40～49歳(41.6%)、50～59歳(40.8%)で4割を超え、他の年齢と比べて割合がやや高い。18～29歳、75歳以上は、「粗大ごみを持ち込んだことがある」(各22.9%、24.4%)、「燃やすごみを持ち込んだことがある」(各14.5%、17.3%)、「燃やさないごみを持ち込んだことがある」(各8.4%、13.4%)のいずれも、他の年齢と比べて割合がやや低い。

### ③職業別

すべての職業で、「処理施設に持ち込んだことはない」と答えた割合が最も高い。「粗大ごみを持ち込んだことがある」は、勤め人（37.6%）、自営業（39.9%）で、他の職業と比べて割合が高い。自営業は、「燃やすごみを持ち込んだことがある」（29.8%）、「燃やさないごみを持ち込んだことがある」（26.8%）でも他の職業と比べて割合が高い。

### ④地区別

秋葉区、西蒲区を除く地区で、「処理施設に持ち込んだことはない」と答えた割合が最も高い。秋葉区、西蒲区は、「粗大ごみを持ち込んだことがある」（各 50.9%、49.％）が最も高く、約5割を占めた。「燃やすごみを持ち込んだことがある」は、北区（30.6%）、西蒲区（37.4%）で、他の地区と比べて割合が高い。「燃やさないごみを持ち込んだことがある」は、北区（23.8%）、秋葉区（25.9%）、西蒲区（23.2%）で、割合がやや高い。

### ⑤家族構成別

すべての家族構成で、「処理施設に持ち込んだことはない」と答えた割合が最も高く、単身（67.1%）では6割を超えた。単身は、「粗大ごみを持ち込んだことがある」（21.7%）、「燃やさないごみを持ち込んだことがある」（9.6%）で、他の家族構成と比べて割合が低い。「燃やすごみを持ち込んだことがある」は、3世代世帯（27.1%）で割合が高い。

図 6.1-1 市の処理施設への持ち込み有無

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

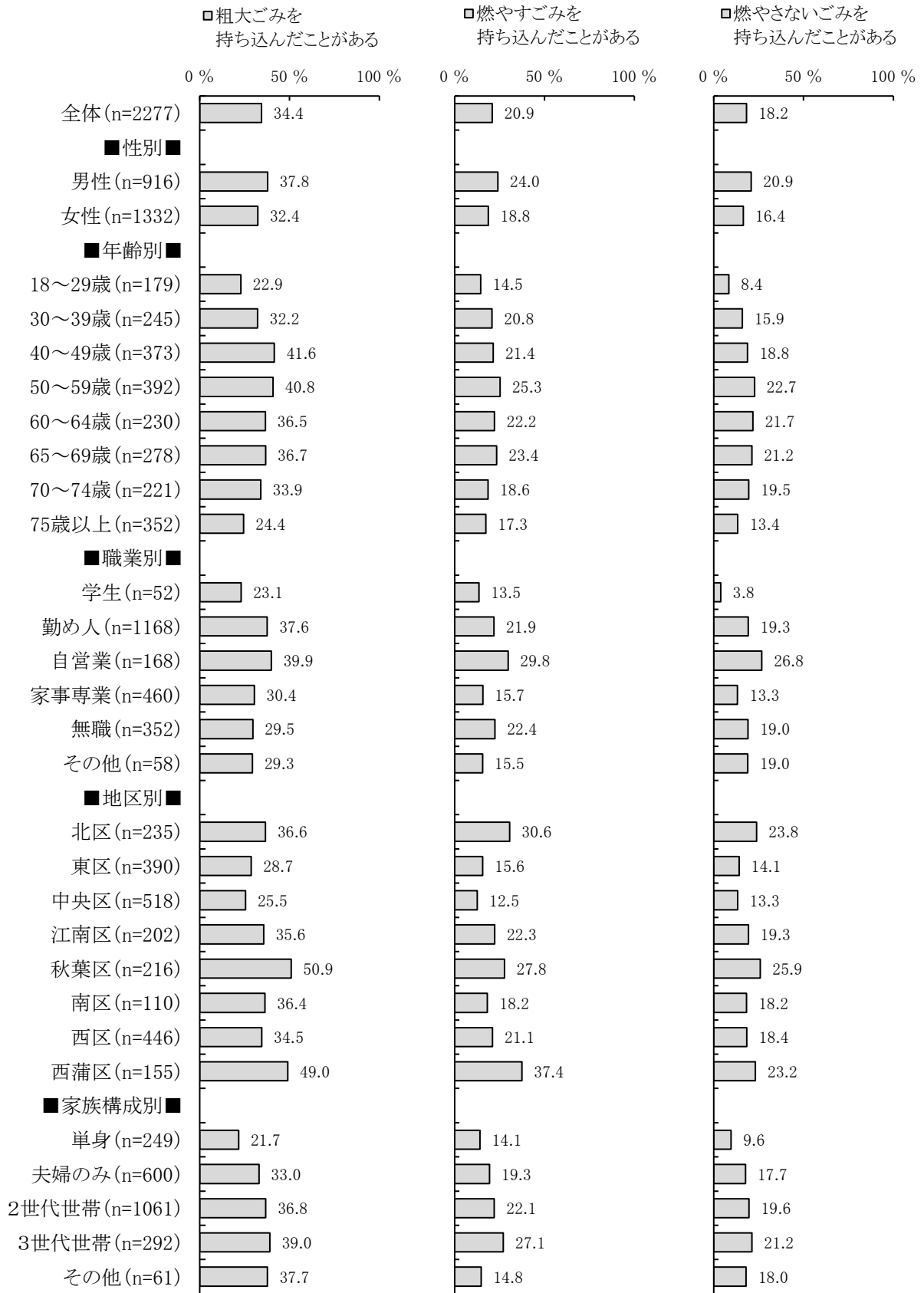
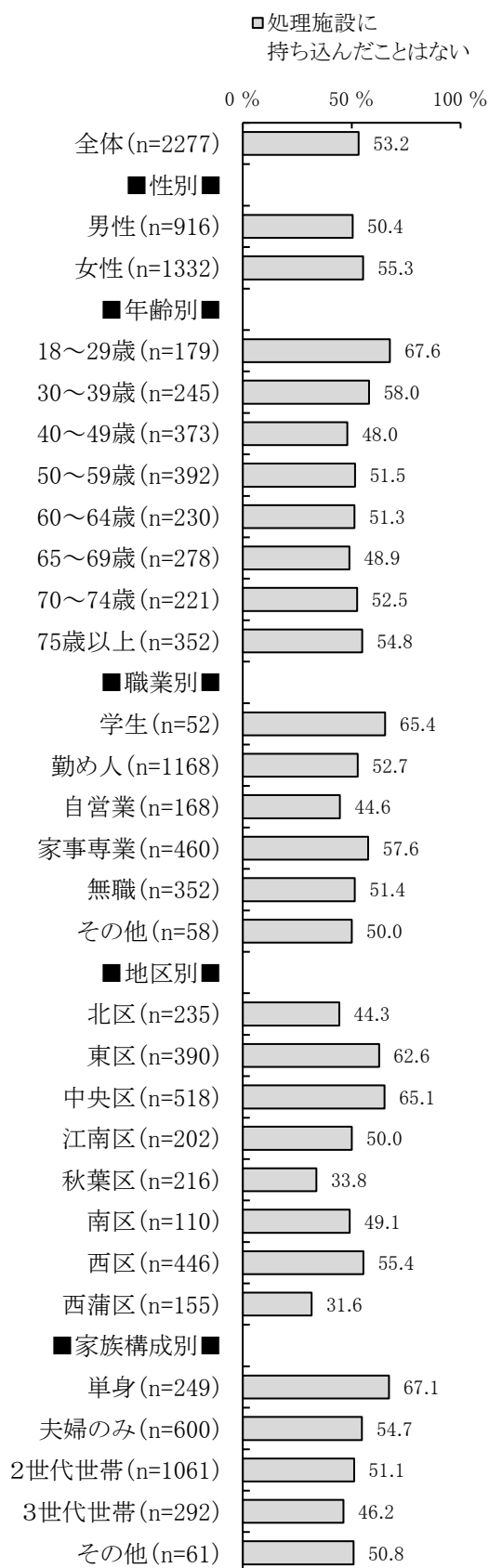


図 6.1-2 市の処理施設への持ち込み有無

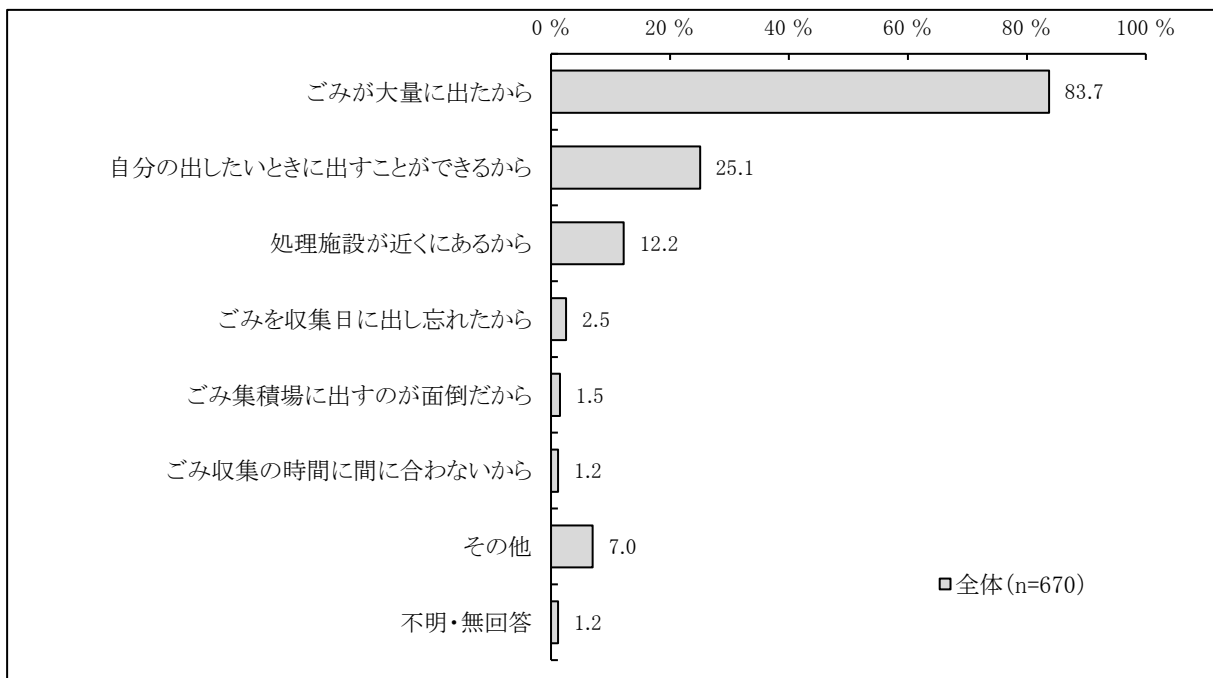
(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)





(2) 燃やすごみ又は燃やさないごみを市の処理施設に持ち込んだ理由

(問19で1、2と回答した方に質問します。)  
 問19-1 あなたが燃やすごみ又は燃やさないごみを自分で市の処理施設に持ち込んだ理由は何ですか。(複数回答可)



— 8割以上が「ごみが大量に出たから」と回答 —

【全体結果】

燃やすごみ又は燃やさないごみを市の処理施設に持ち込んだ理由について、「ごみが大量に出たから」(83.7%)が8割を超え、突出している。次いで「自分の出したいときに出すことができるから」(25.1%)が2割台、「処理施設が近くにあるから」(12.2%)が1割台の順で続いている。

【属性別結果】(図6.2参照)

①性別

性別による男女差は、ほとんどない。

②年齢別

すべての年齢で、「ごみが大量に出たから」と答えた割合が最も高い。65～69歳(89.9%)で最も高く、約9割を占めた。70～74歳(71.2%)では、約7割にとどまり、他の年齢と比べて差がみられる。「自分の出したいときに出すことができるから」は、40～49歳(32.1%)、65～69歳(30.3%)、70～74歳(31.5%)で3割を超え、割合が高い。

③職業別 ※学生、その他のコメントについては対象者数が少ないため割愛。

「ごみが大量に出たから」は、自営業(88.2%)、家事専業(89.0%)で約9割を占め、割合が高い。「処理施設が近くにあるから」は、自営業(20.6%)で2割を超え、他の職業と比べて割合が高い。

#### ④地区別

すべての地区で、「ごみが大量に出たから」と答えた割合が最も高く、南区（90.9%）では9割を超えた。「自分の出したいときに出すことができるから」は、北区（26.1%）、東区（30.1%）、中央区（29.7%）、西区（27.3%）で、他の地区と比べて割合が高い。「処理施設が近くにあるから」は、北区（14.1%）、江南区（15.6%）、西区（17.2%）、西蒲区（21.1%）で、割合が高い。

#### ⑤家族構成別

すべての家族構成で、「ごみが大量に出たから」と答えた割合が最も高く、単身（91.3%）では9割を超えた。「自分の出したいときに出すことができるから」は、3世代世帯（34.0%）、その他（37.5%）で3割を超えた。「処理施設が近くにあるから」は、3世代世帯（14.2%）で割合がやや高い。

図 6.2-1 燃やすごみ又は燃やさないごみを市の処理施設に持ち込んだ理由  
(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

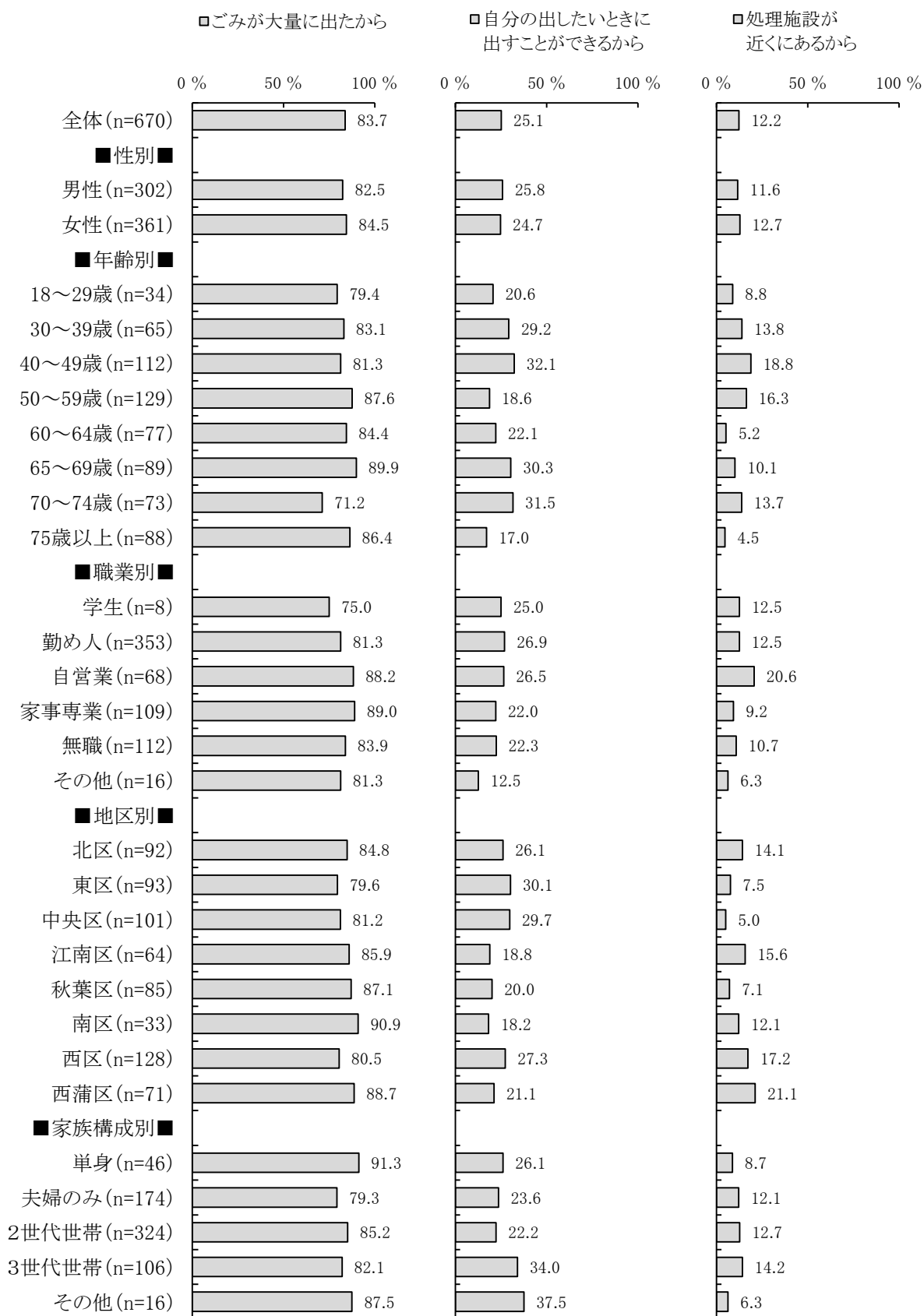
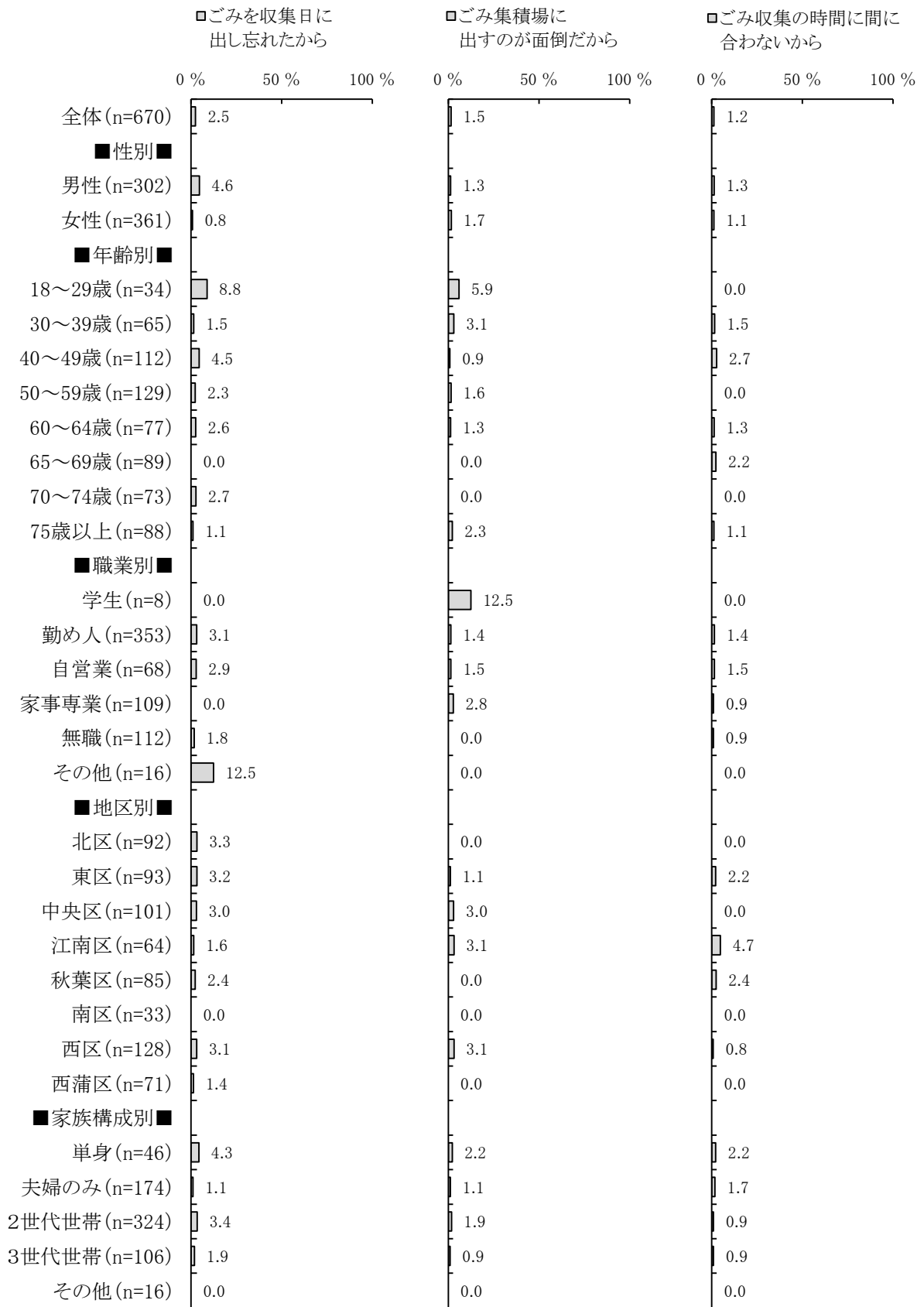


図 6.2-2 燃やすごみ又は燃やさないごみを市の処理施設に持ち込んだ理由  
(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

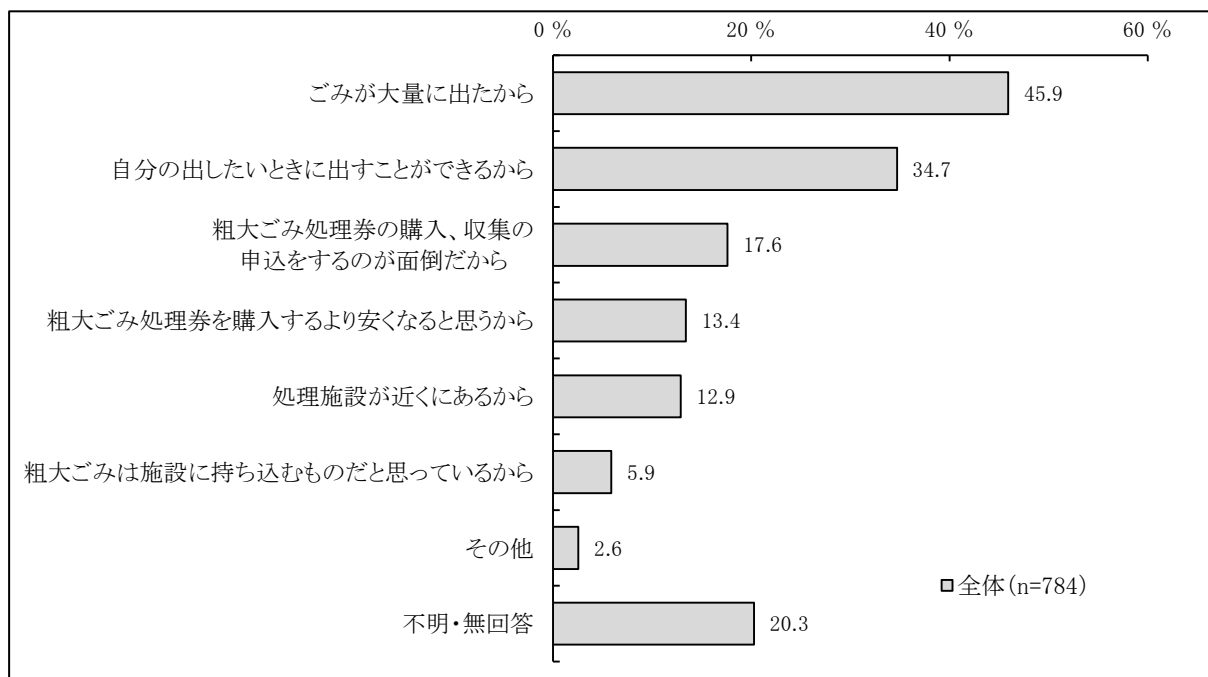




### (3) 粗大ごみを市の処理施設に持ち込んだ理由

(問19で3と回答した方に質問します。)

問19-2 あなたが粗大ごみを自分で処理施設に持ち込んだ理由は何ですか。(複数回答可)



— 4割半ばが「ごみが大量に出たから」と回答 —

#### 【全体結果】

粗大ごみを市の処理施設に持ち込んだ理由について、「ごみが大量に出たから」(45.9%)が4割を超え、割合が最も高い。次いで「自分の出したいときに出すことができるから」(34.7%)が3割台、「粗大ごみ処理券の購入、収集の申込をするのが面倒だから」(17.6%)、「粗大ごみ処理券を購入するより安くなると思うから」(13.4%)、「処理施設が近くにあるから」(12.9%)が1割台の順で続いている。

#### 【属性別結果】(図6.3参照)

##### ①性別

「ごみが大量に出たから」は、男性(41.6%)より女性(48.7%)で割合が高い。「粗大ごみ処理券を購入するより安くなると思うから」も、男性(11.3%)より女性(15.3%)で、割合がやや高い。

##### ②年齢別

すべての年齢で、「ごみが大量に出たから」と答えた割合が最も高い。50～59歳(53.8%)では5割を超えた。18～29歳、30～39歳は、「自分の出したいときに出すことができるから」(各36.6%、36.7%)と「ごみが大量に出たから」と答えた割合が同じ結果となった。「粗大ごみ処理券の購入、収集の申込をするのが面倒だから」は、30～39歳(27.8%)、40～49歳(29.0%)で2割を超え、他の年齢と比べて割合が高い。75歳以上は、「粗大ごみは施設に持ち込むものだと思っているから」(12.8%)と答えた割合が、他の年齢より高い結果となった。

### ③職業別

その他を除く職業で、「ごみが大量に出たから」答えた割合が最も高く、4割を超えた。「自分の出したいときに出すことができるから」は、その他（41.2%）で4割台、勤め人（36.7%）、自営業（32.8%）、家事専業（33.6%）で3割台となった。「粗大ごみ処理券の購入、収集の申込をするのが面倒だから」は、学生、勤め人（各25.0%、22.8%）で他の職業と比べて割合が高い。

### ④地区別

「ごみが大量に出たから」は、中央区（54.5%）、南区（57.5%）、西蒲区（50.0%）で5割を超えた。「自分の出したいときに出すことができるから」は、南区（40.0%）、西蒲区（40.8%）で約4割を占め、割合が高い。「粗大ごみ処理券を購入するより安くなると思うから」は、中央区（17.4%）、西区（18.8%）で他の地区と比べて割合が高い。「粗大ごみは施設に持ち込むものだと思っているから」は、北区（10.5%）、秋葉区（14.5%）、南区（12.5%）で1割を超えた。

### ⑤家族構成別

単身を除く家族構成で、「ごみが大量に出たから」と答えた割合が最も高い。単身では、「自分の出したいときに出すことができるから」（50.0%）と答えた割合が最も高く、5割を占めた。「粗大ごみ処理券の購入、収集の申込をするのが面倒だから」は、2世代世帯（21.5%）で2割を超え、他の家族構成と比べて割合が高い。

図 6.3-1 粗大ごみを市の処理施設に持ち込んだ理由

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

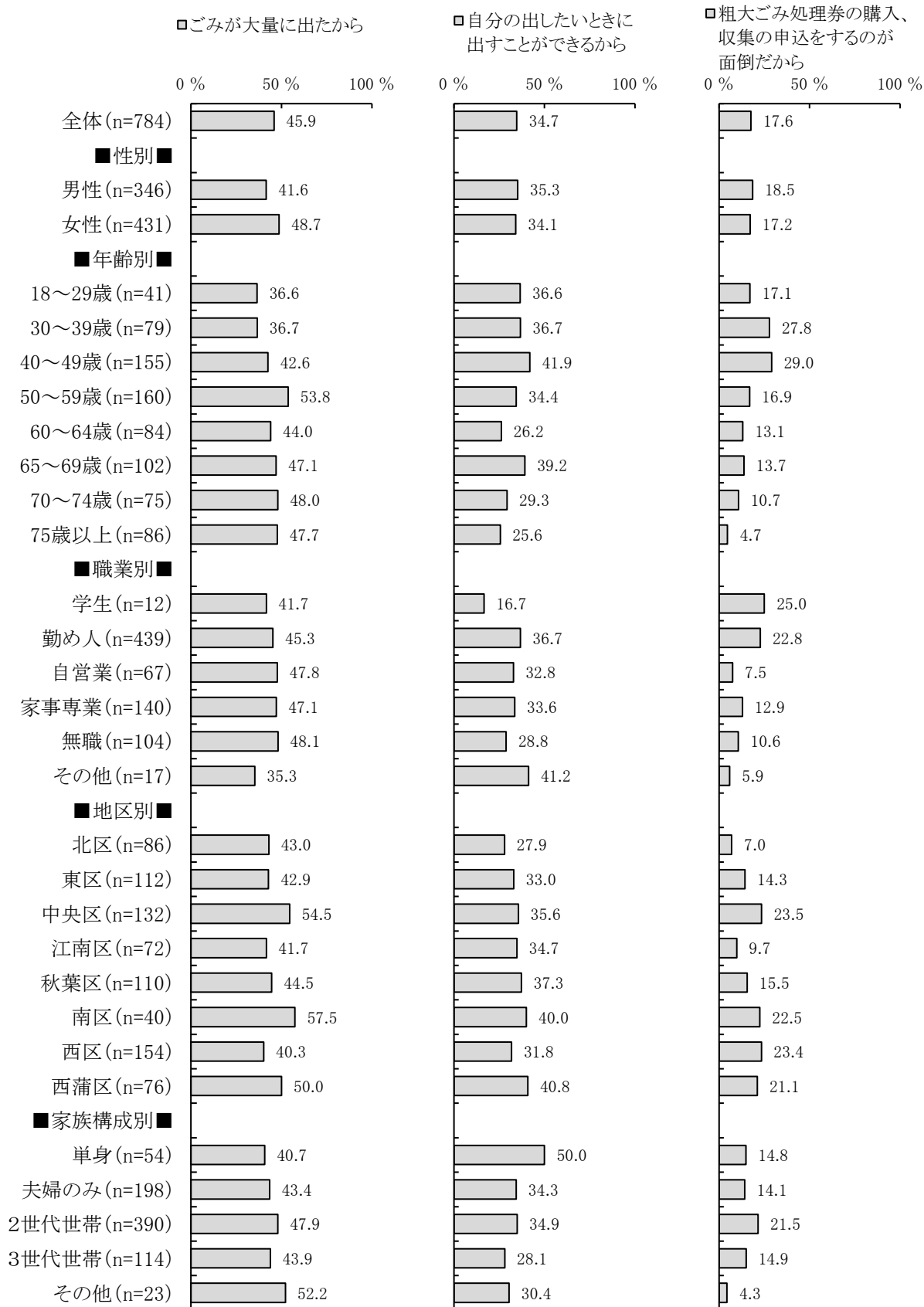




図 6.3-2 粗大ごみを市の処理施設に持ち込んだ理由

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)

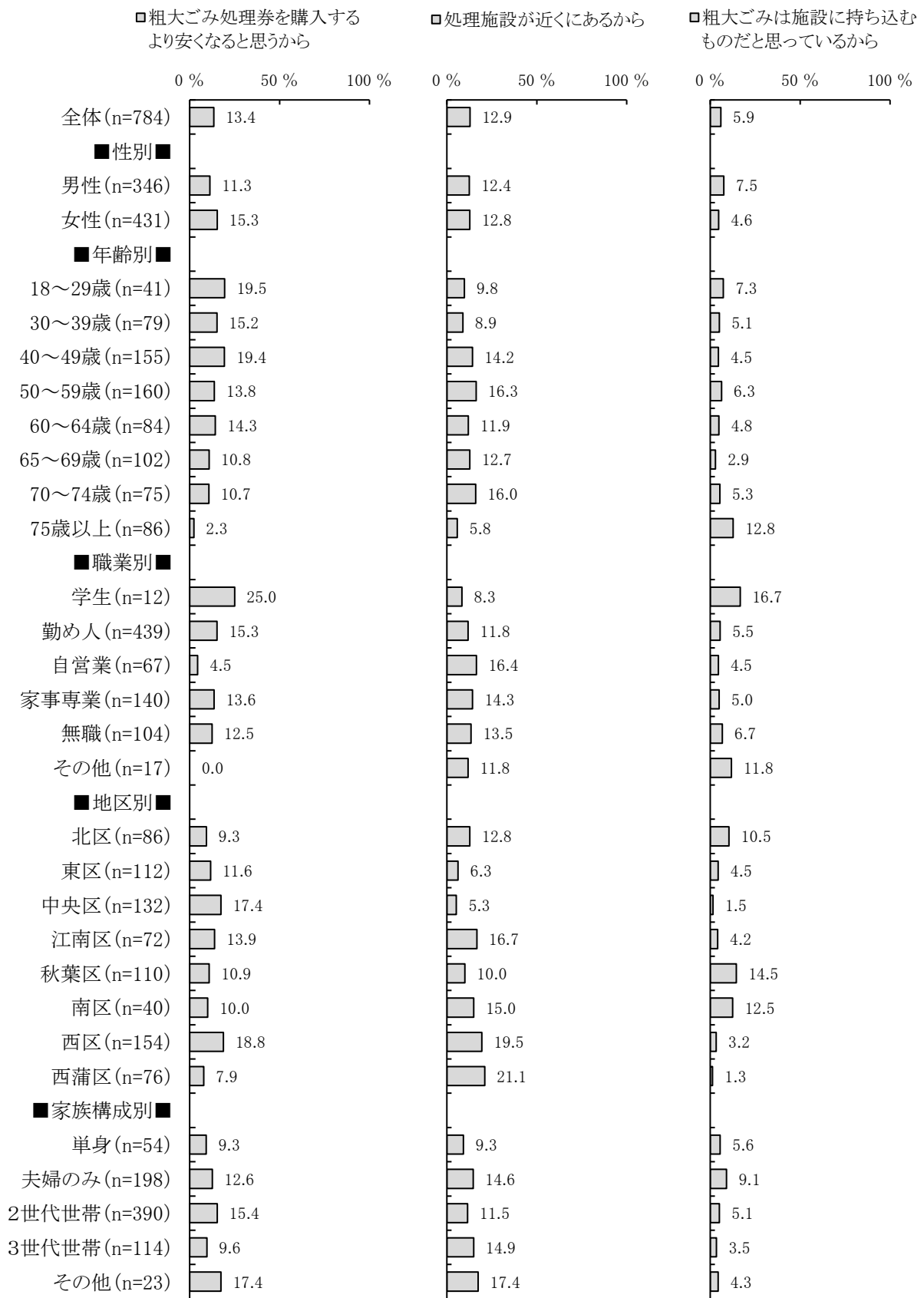
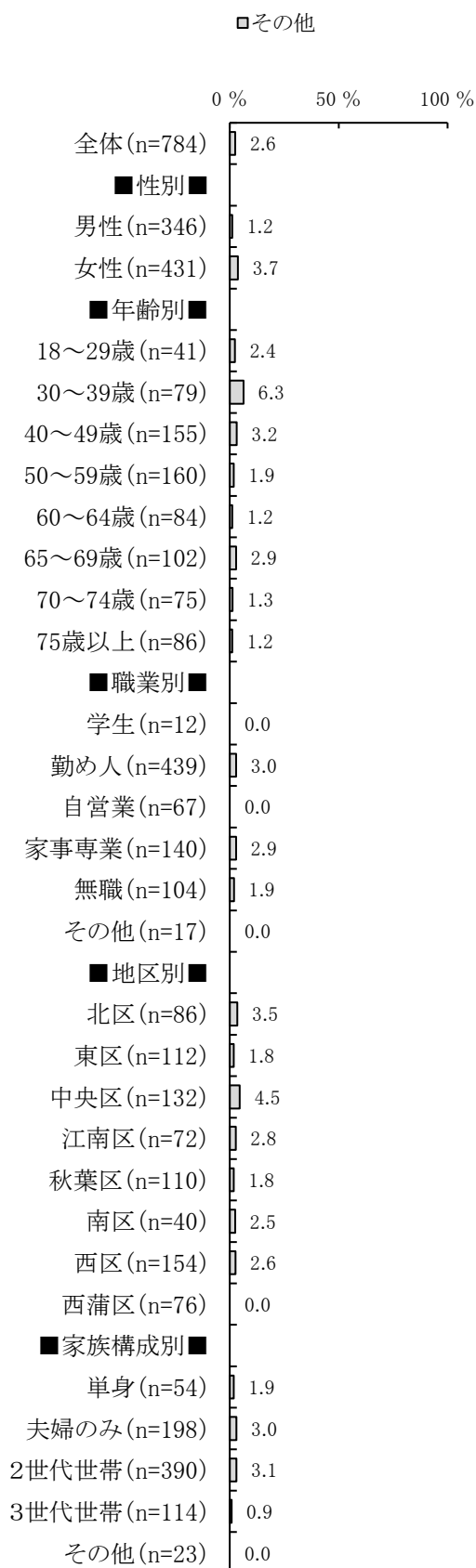


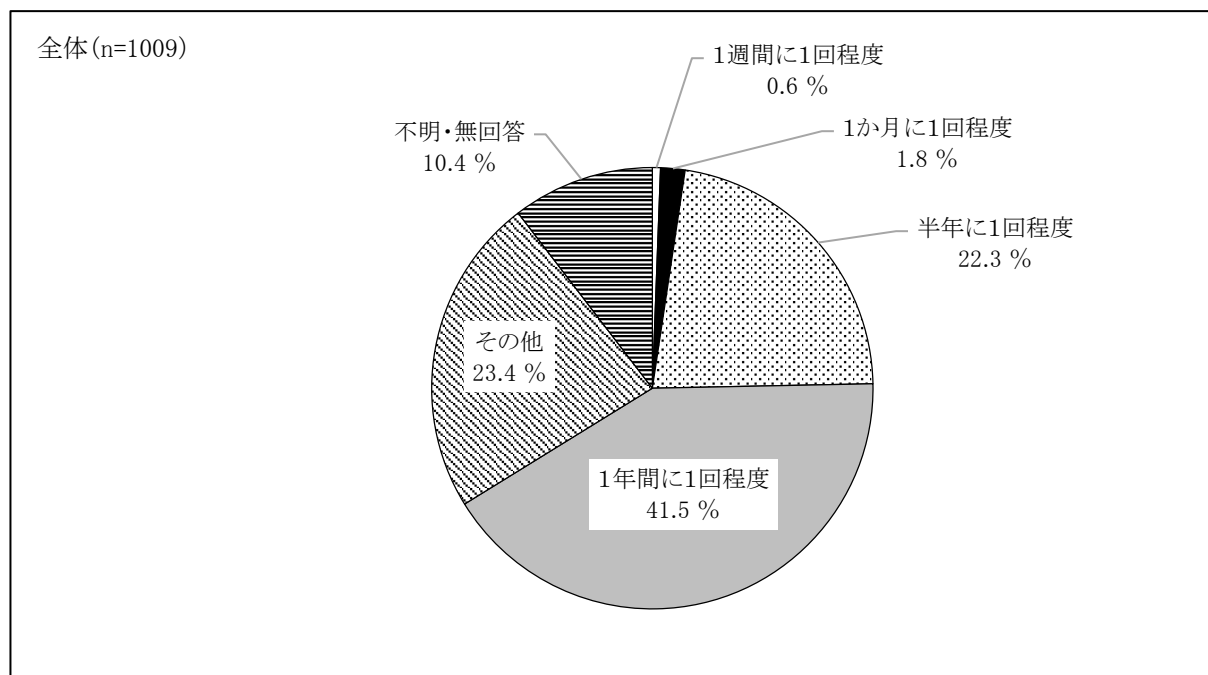
図 6.3-3 粗大ごみを市の処理施設に持ち込んだ理由

(性別／年齢別／職業別／地区別／家族構成別)



#### (4) 市の処理施設へのごみの持ち込み頻度

(問19で1、2、3と回答した方に質問します。)  
問19-3 市の処理施設へのごみの持ち込みの利用回数はどれくらいですか。  
(近いもの1つに○)



— 4割以上が「1年間に1回程度」と回答 —

#### 【全体結果】

市の処理施設へのごみの持ち込み頻度について、「1年間に1回程度」(41.5%)が4割を超え、最も割合が高い。「1週間に1回程度」が0.6%、「1か月に1回程度」が1.8%、「半年に1回程度」が22.3%、「その他」が23.4%という結果となった。

#### 【属性別結果】(図6.4参照)

##### ①性別

「半年に1回程度」は、女性(21.1%)と比べて男性(24.1%)でやや高い。

##### ②年齢別

「1年間に1回程度」と答えた割合は、18～29歳(45.6%)で最も高く、65～69歳(37.7%)で最も低い。「半年に1回程度」は、40～49歳(27.2%)で他の年齢と比べて割合が高い。

##### ③職業別

すべての職業で、「1年間に1回程度」と答えた割合が最も高く、学生では「半年に1回程度」(33.3%)と同じ割合という結果となった。「半年に1回程度」は、自営業(27.8%)でも他の職業と比べて割合が高い。

##### ④地区別

「1年間に1回程度」は、秋葉区(50.0%)で最も高く、半数を占めた。「半年に1回程度」は、北区(27.2%)、西蒲区(29.4%)で、他の地区と比べて割合が高い。

#### ⑤家族構成別

「1年間に1回程度」は、単身（49.3%）で最も高く、約5割を占めた。「半年に1回程度」は、3世代世帯（25.8%）で、他の家族構成と比べて割合がやや高い。

図 6.4-1 市の処理施設へのごみの持ち込み回数

(性別／年齢別／職業別)

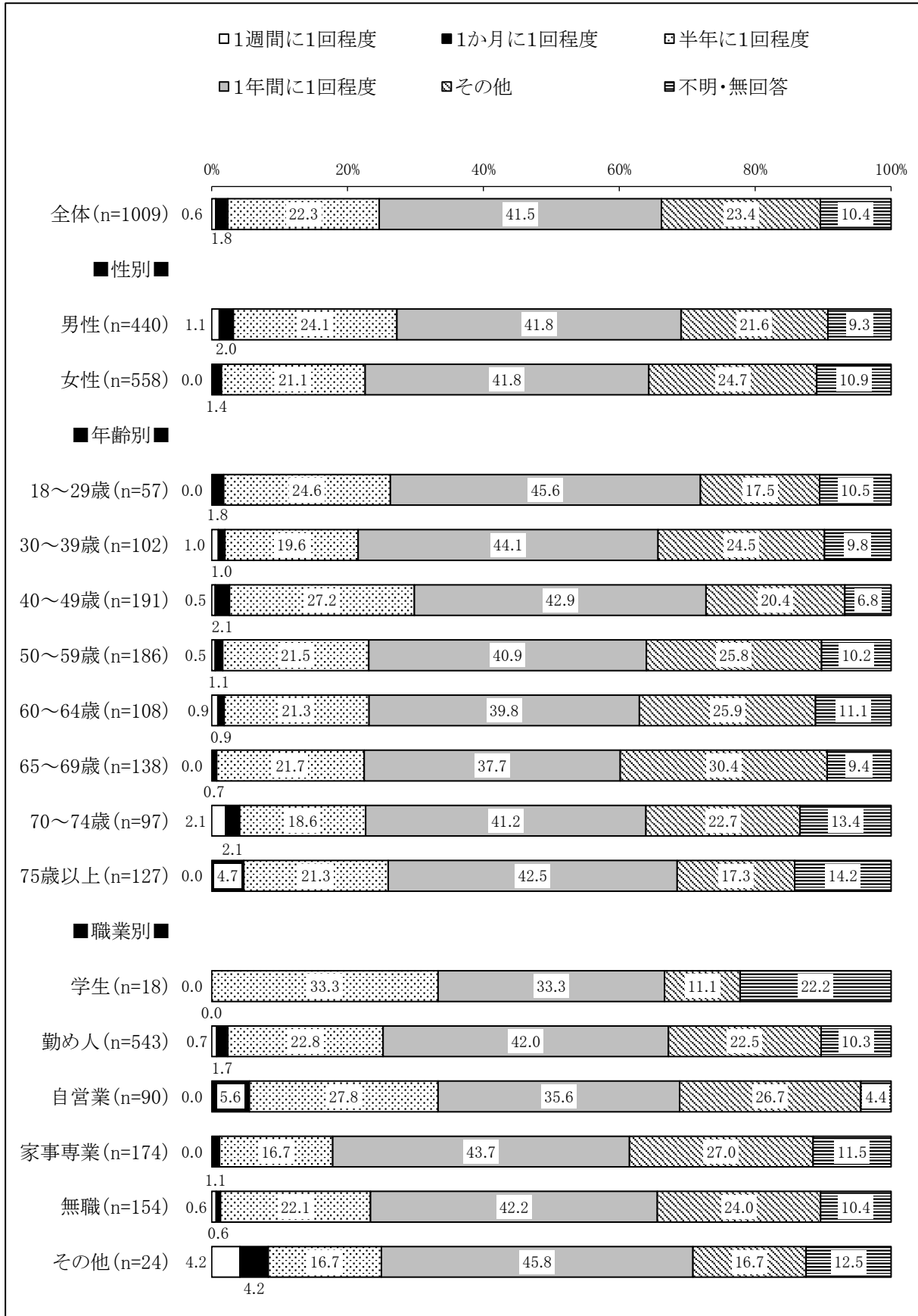
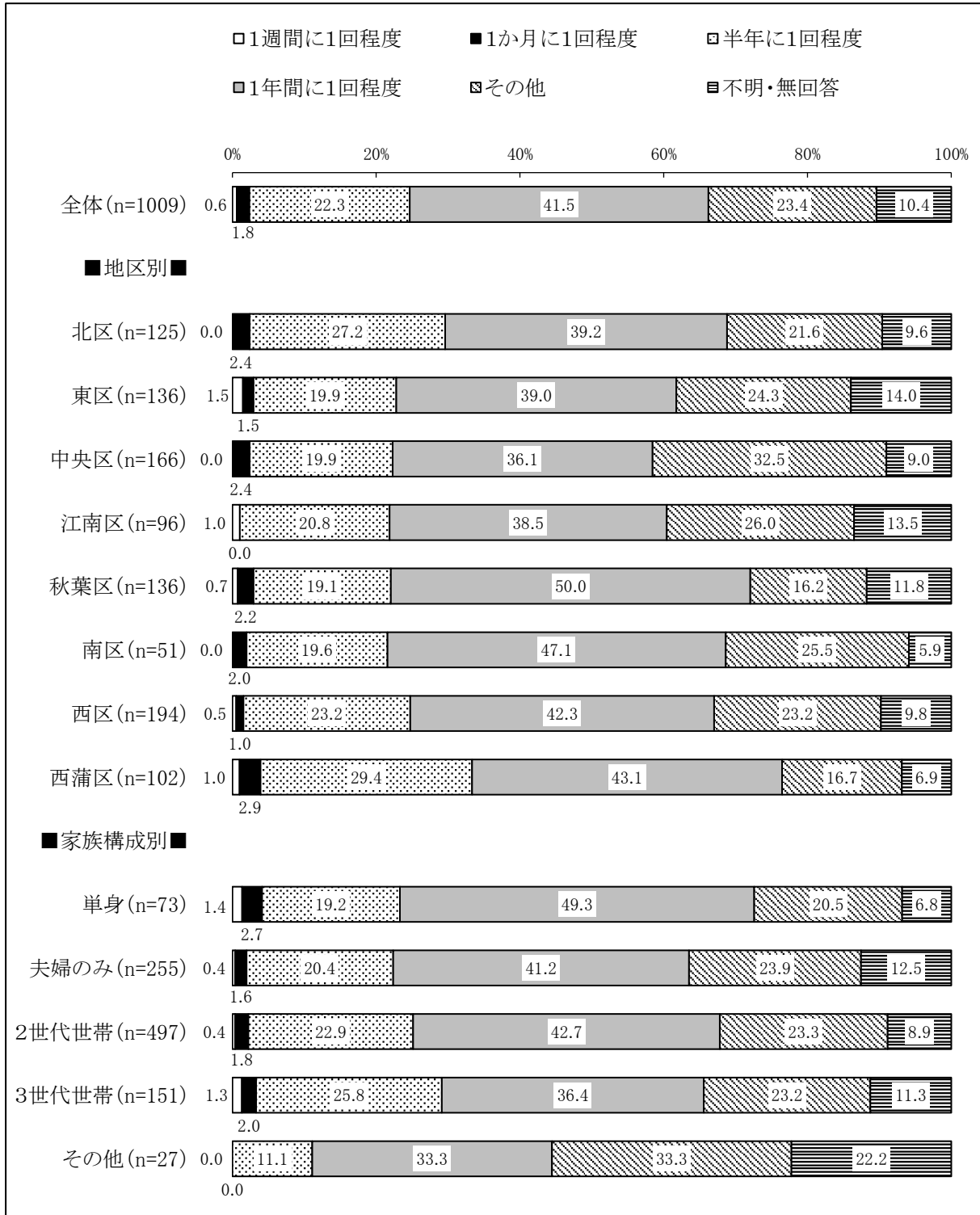


図 6.4-2 市の処理施設へのごみの持ち込み回数

(地区別／家族構成別)



## 7. 家庭ごみ処理手数料（有料指定袋）収入の使途について

問20 家庭ごみの有料指定袋による収入は、ごみの収集運搬経費や処理経費ではなく、「資源循環型社会促進策」「地球温暖化対策」「地域コミュニティ活動の振興」の3本柱に資する事業に充てられています。  
ごみ処理手数料収入の活用について、どう思いますか。（○は1つ）

### 【参考】現在活用している事業（3本柱）

#### <Ⅰ 資源循環型社会促進策>

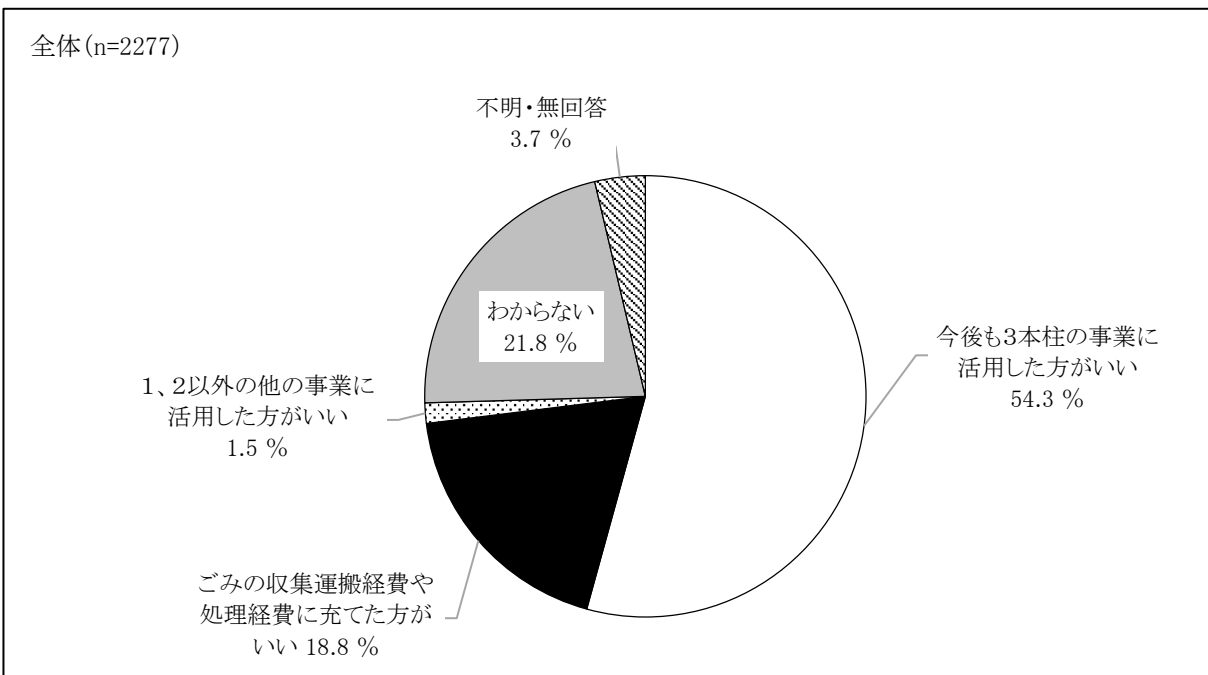
- ①分別意識の向上と啓発  
（ごみ分別アプリの普及、情報紙サイチョプレス発行など）
- ②クリーンにいがた推進員育成事業
- ③ごみ集積場設置等補助金
- ④地域清掃等への助成
- ⑤不法投棄・違反ごみ対策（監視カメラの設置、不法投棄物の処理など）
- ⑥古紙資源化の一層の推進（集団資源回収奨励金、古紙拠点回収費など）
- ⑦家庭系生ごみ減量化の推進  
（電動生ごみ処理機購入費補助、乾燥生ごみ拠点回収など）
- ⑧古布・古着の拠点回収費

#### <Ⅱ 地球温暖化対策>

- ⑨環境教育・環境学習に対する支援（環境教育副読本の作製など）
- ⑩バイオマス利活用（廃食用油の回収）
- ⑪にいがた未来ポイント事業
- ⑫防犯灯設置補助金

#### <Ⅲ 地域コミュニティ活動の振興>

- ⑬ごみ出し支援（高齢者・障がい者等への支援活動費助成）
- ⑭地域活動への支援（地域活動補助金）



— 半数以上が「今後も3本柱の事業に活用した方がいい」と回答 —

## 【全体結果】

家庭ごみ処理手数料（有料指定袋）収入の用途について、「今後も3本柱の事業に活用した方がいい」（54.3%）と回答した割合が最も高く、半数を超えた。「ごみの収集運搬経費や処理経費に充てた方がいい」が18.8%、「1、2以外の他の事業に活用した方がいい」が1.5%という結果となった。「わからない」（21.8%）は約2割を占めた。

## 【属性別結果】（図7参照）

### ①性別

「ごみの収集運搬経費や処理経費に充てた方がいい」は、女性（16.1%）より男性（22.9%）で割合が高い。「わからない」は、男性（19.0%）と比べて女性（23.4%）で割合が高い。

### ②年齢別

「今後も3本柱の事業に活用した方がいい」は、60～64歳（60.0%）で最も高く、6割を占めた。70～74歳（58.4%）も、他の年齢と比べて割合がやや高い。「わからない」は、概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。

### ③職業別

「今後も3本柱の事業に活用した方がいい」は、家事専業（57.0%）、無職（56.8%）で、他の職業と比べて割合がやや高い。「ごみの収集運搬経費や処理経費に充てた方がいい」は、学生（25.0%）で割合が高い。

### ④地区別

「今後も3本柱の事業に活用した方がいい」は、西蒲区（59.4%）で最も高く、東区（50.5%）で最も低い。「ごみの収集運搬経費や処理経費に充てた方がいい」は、東区（21.3%）、秋葉区（21.8%）で2割を超えた。

### ⑤家族構成別

2世代世帯、3世代世帯、その他で、「わからない」（各23.8%、22.6%、26.2%）と答えた割合がやや高い。



図 7-1 家庭ごみ処理手数料（有料指定袋）収入の用途について

(性別／年齢別／職業別)

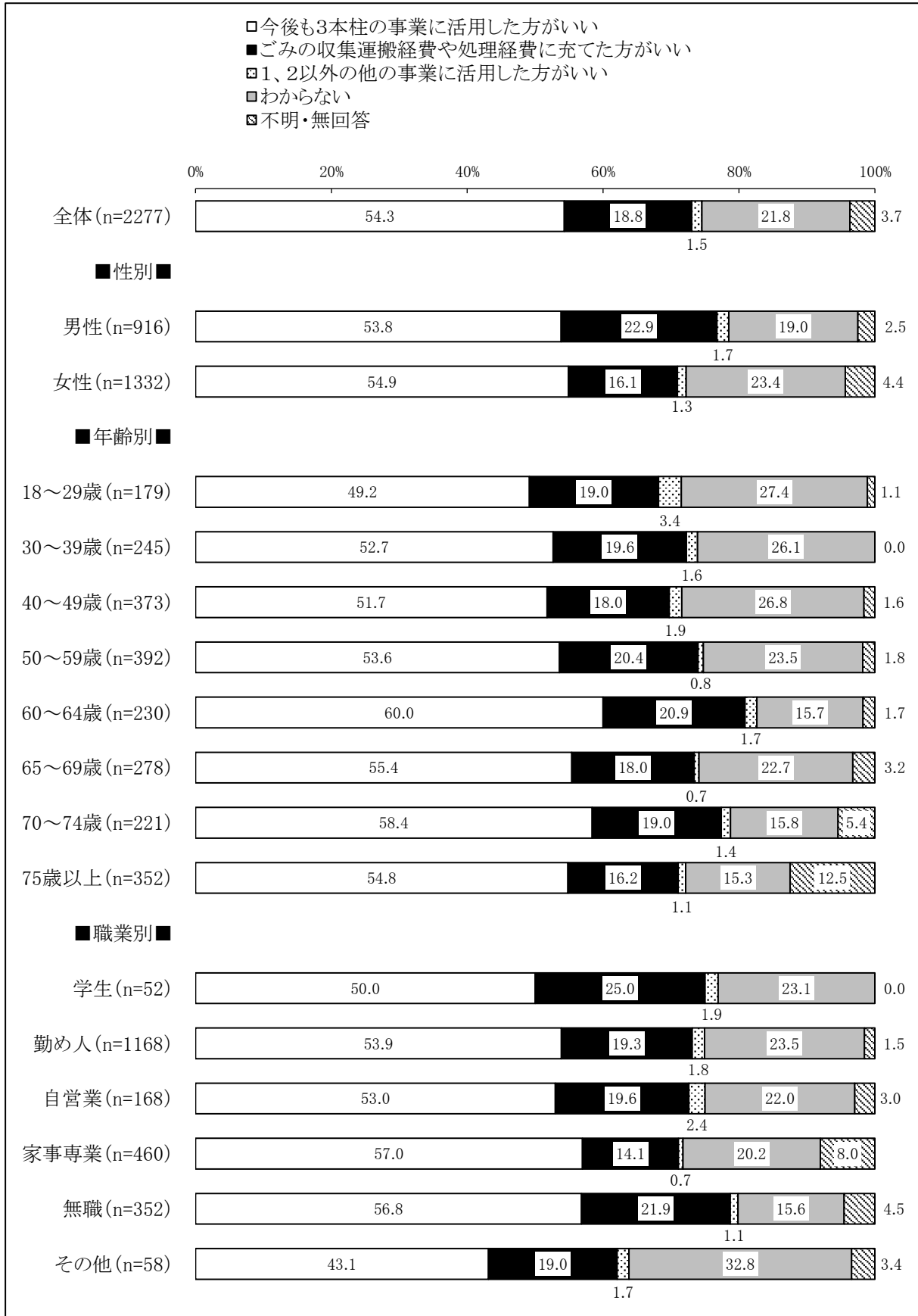
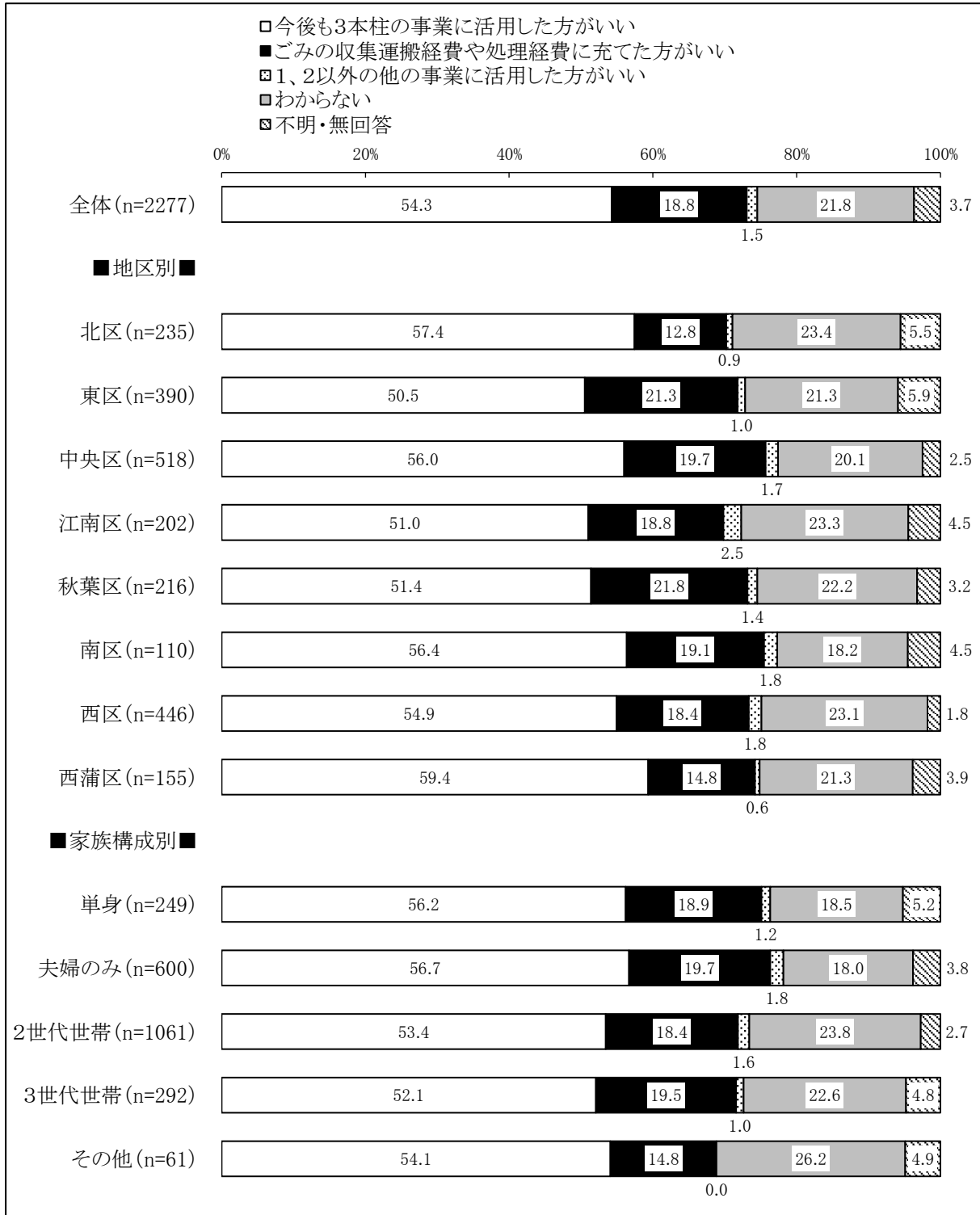


図 7-2 家庭ごみ処理手数料（有料指定袋）収入の用途について

(地区別／家族構成別)



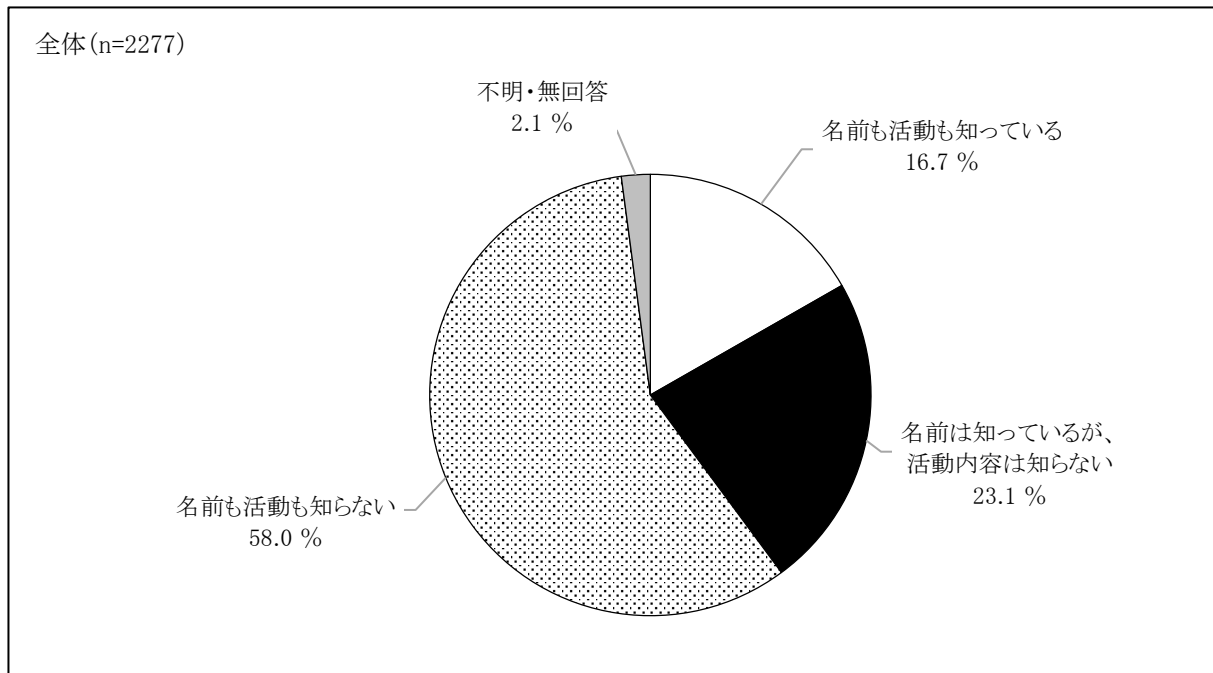
## 8. 地域と協働で取り組む美化活動について

### (1) 「クリーンにいがた推進員」の認知度

問 2 1 市では現在のごみ減量制度を市民と協働して円滑に運営するため、「クリーンにいがた推進員★」制度を設けています。あなたは「クリーンにいがた推進員」をご存知ですか。(○は1つ)

#### ★「クリーンにいがた推進員」とは

ごみ集積場での分別の声掛け、回覧板等を使った周知や地域清掃活動など、ごみ出しルールの啓発や環境美化をすすめるため、お住まいの地域で活動する方々です。



— 6割弱が「名前も活動も知らない」と回答 —

#### 【全体結果】

「クリーンにいがた推進員」の認知度について、「名前も活動も知っている」が16.7%、「名前は知っているが、活動内容は知らない」が23.1%、「名前も活動も知らない」が58.0%という結果となった。「名前も活動も知らない」が半数を超え、割合が最も高い。「名前も活動も知っている」と「名前は知っているが、活動内容は知らない」を合わせた『知名度(以下同様)』は、約4割を占めた。

#### 【属性別結果】(図8.1参照)

##### ①性別

「名前は知っているが、活動内容は知らない」は、男性(20.7%)より女性(24.8%)で割合がやや高い。

##### ②年齢別

「名前も活動も知っている」は、概ね高齢層ほど割合が高く、60歳以上では2割を超えた。『知名度』は、70～74歳で最も高く、半数を超えた。18～29歳で最も低く、2割に満たない。

### ③職業別

「名前も活動も知っている」は、学生（7.7%）、勤め人（12.0%）を除く職業で2割を超えた。『知名度』は、その他で最も高く、半数を超えた。学生で最も低く、約1割という結果となった。

### ④地区別

「名前も活動も知っている」は、北区（19.1%）、江南区（19.8%）、南区（20.0%）で、他の地区と比べて割合が高く、約2割を占めた。『知名度』は、江南区で約5割を占め、割合が最も高い。

### ⑤家族構成別

「名前も活動も知っている」は、夫婦のみ（21.7%）で他の家族構成と比べて割合が高く、2割を超えた。『知名度』は、2世代世帯では4割未満で、他の家族構成と比べて割合がやや低い。

図 8.1-1 「クリーンにいがた推進員」の認知度

(性別／年齢別／職業別)

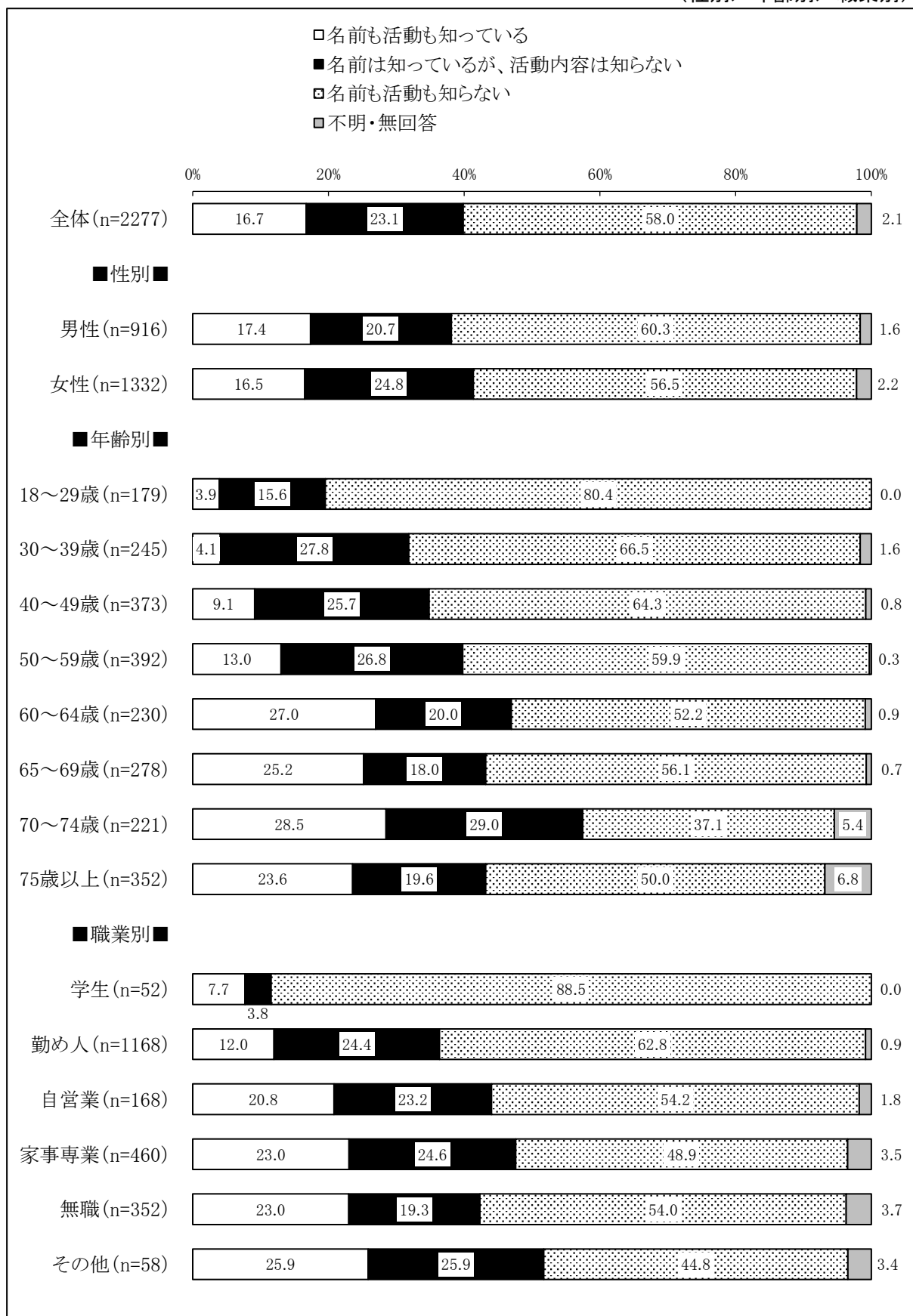
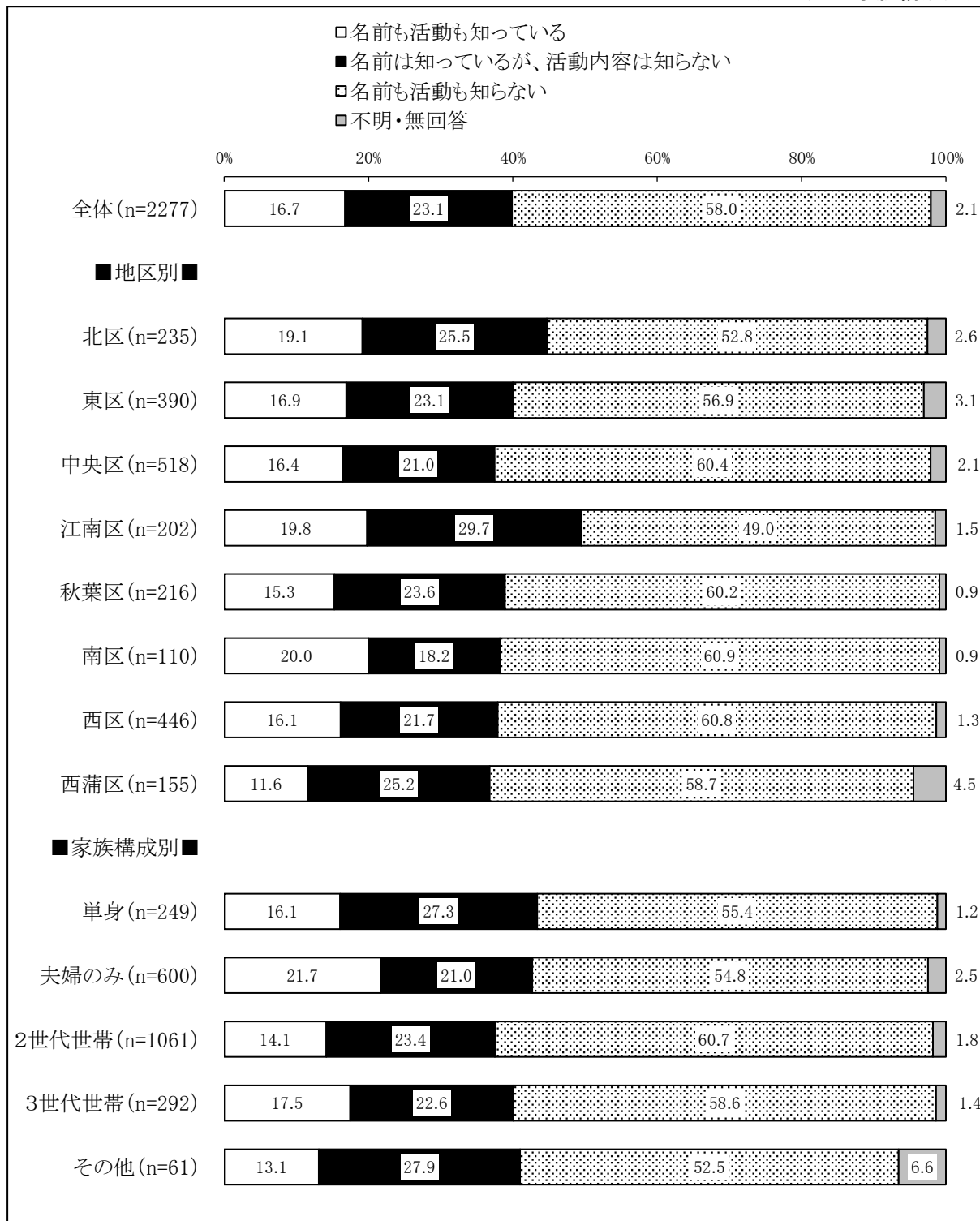


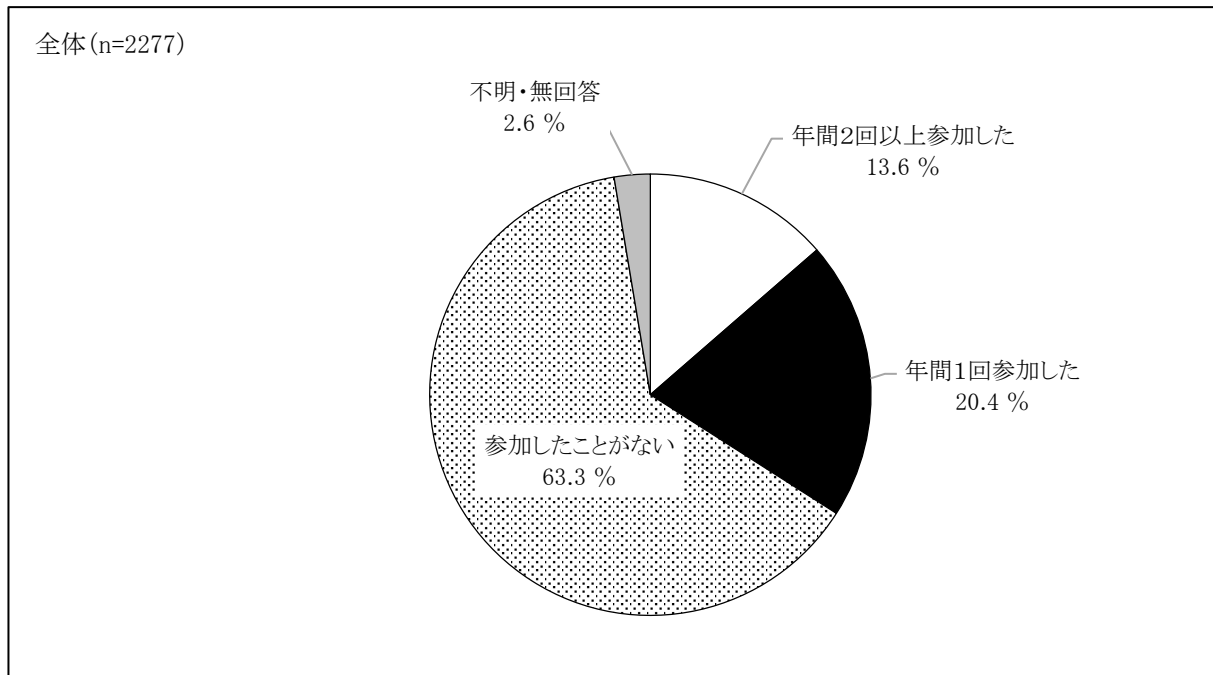
図 8.1-2 「クリーンにいがた推進員」の認知度

(地区別／家族構成別)



## (2) 清掃活動への参加頻度

問 2 2 昨年、延べ15万人以上の市民の方がボランティアで自治会・町内会をはじめとする様々な清掃活動に参加されましたが、あなたは年間どの程度参加したことがありますか。(○は1つ)



— 6割以上が「参加したことがない」と回答 —

### 【全体結果】

清掃活動への参加頻度について、「年間2回以上参加した」が13.6%、「年間1回参加した」が20.4%、「参加したことがない」が63.3%で、「参加したことがない」と回答した割合が最も高い結果となった。

### 【属性別結果】(図 8.2 参照)

#### ①性別

「年間2回以上参加した」は、女性(12.3%)より男性(15.6%)で割合がやや高い。

#### ②年齢別

「年間2回以上参加した」は、70～74歳(22.2%)で割合が最も高く、2割を超えた。「年間1回参加した」は、18～29歳(10.1%)、30～39歳(14.3%)、75歳以上(17.6%)を除く年齢で2割を超えた。「年間2回以上参加した」「年間1回参加した」とも、概ね高齢層ほど割合が高い。

#### ③職業別

「年間2回以上参加した」は、家事専業(18.3%)、無職(17.6%)で、他の職業と比べて割合がやや高い。学生で「参加したことがない」(92.3%)が9割を超えた。

#### ④地区別

「年間2回以上参加した」は、北区（17.0%）、江南区（17.8%）で、他の地区と比べて割合がやや高い。「年間1回参加した」は、西蒲区（34.2%）で3割を超え、他の地区と比べて割合が高い。「参加したことがない」と答えた割合は、中央区（72.6%）で最も高く、西蒲区（49.0%）で最も低い。

#### ⑤家族構成別

「年間1回参加した」は、3世代世帯（25.0%）で、他の家族構成と比べて割合が高い。「参加したことがない」と答えた割合は、単身（68.7%）で最も高く、3世代世帯（59.2%）で最も低い。



図 8.2-1 清掃活動への参加頻度

(性別／年齢別／職業別)

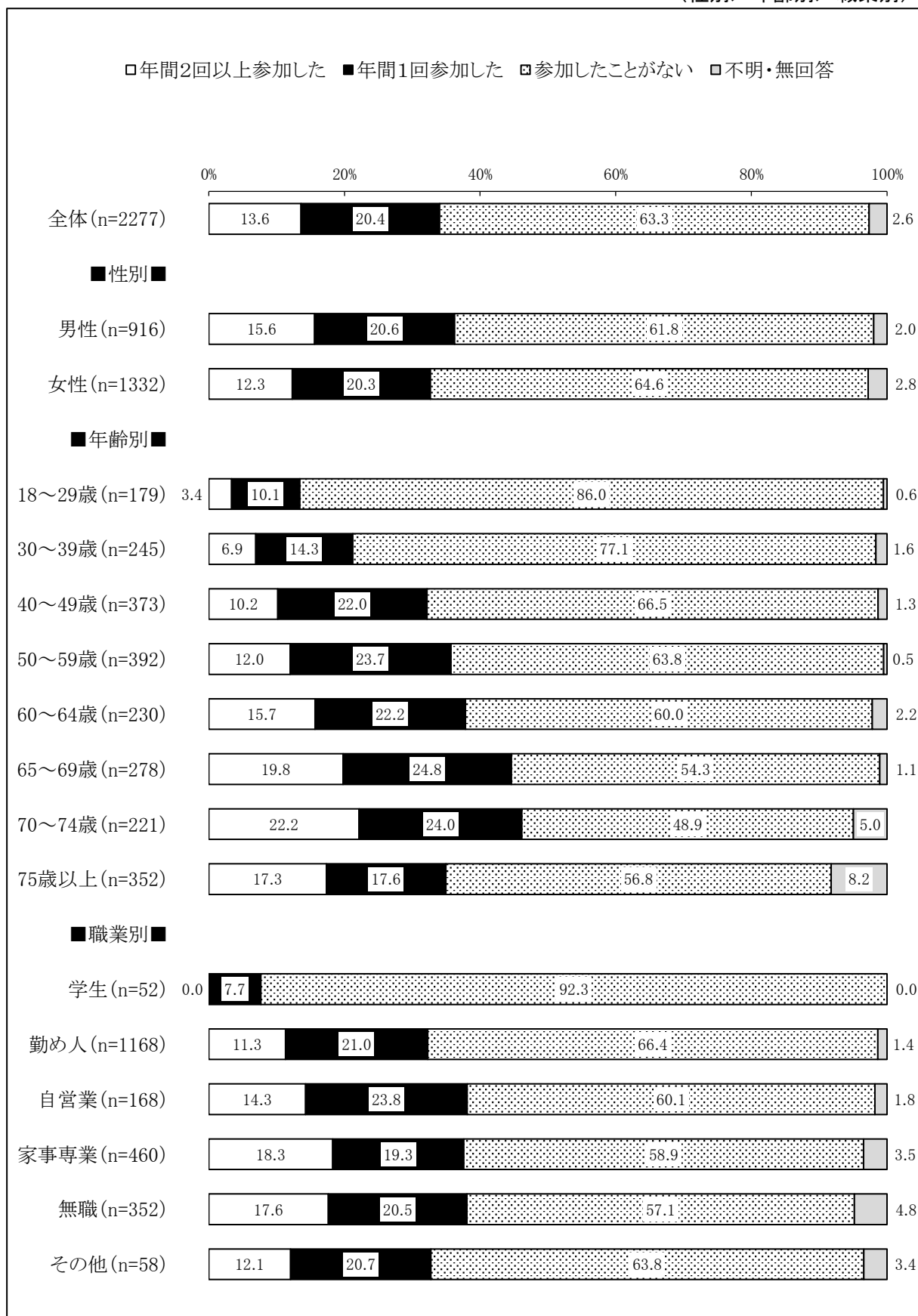
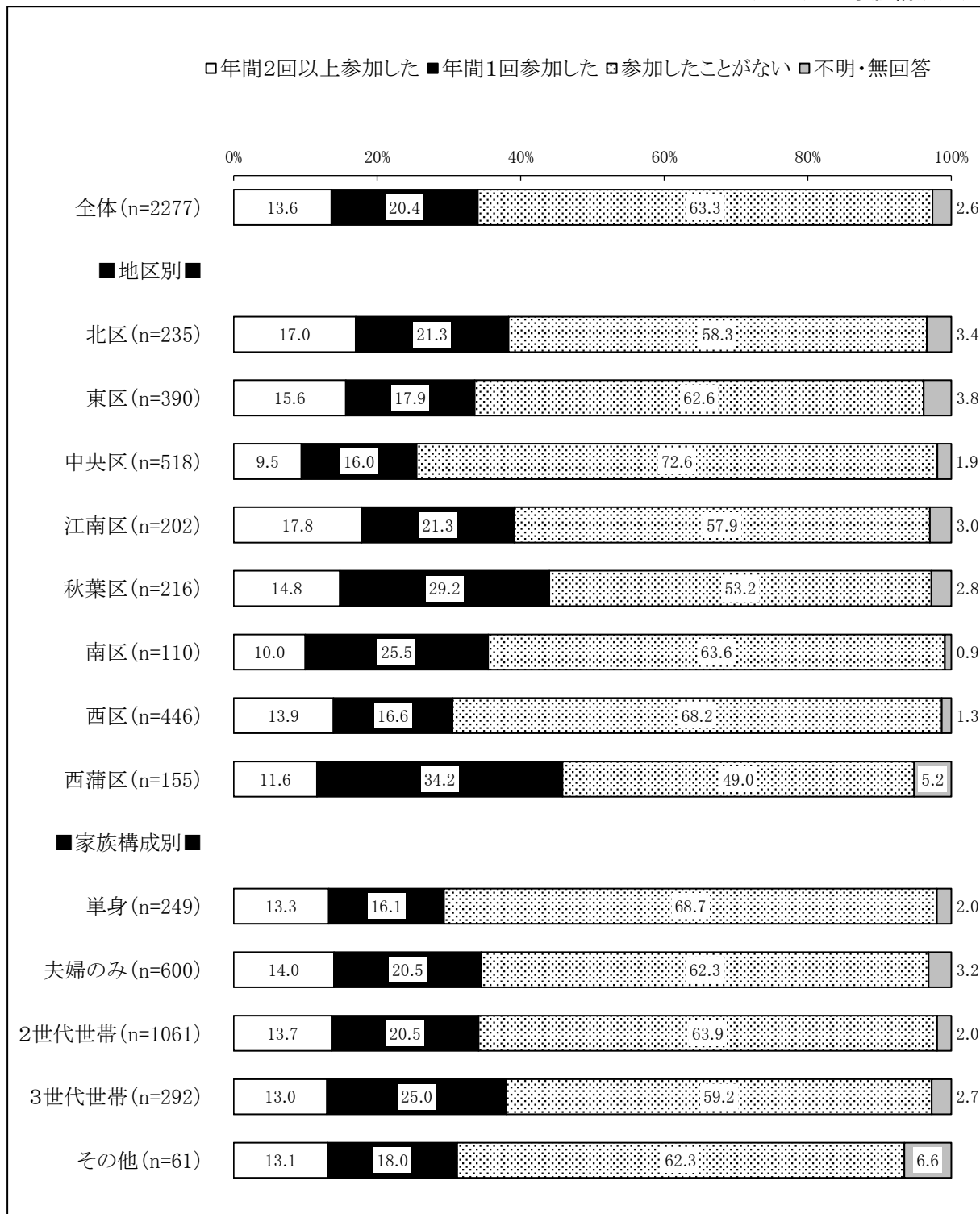


図 8.2-2 清掃活動への参加頻度

(地区別／家族構成別)



### Ⅲ 調査票様式



# 「平成30年度 家庭ごみに関する市民意識アンケート調査」

## ご協力をお願い

日頃から新潟市の廃棄物行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この調査は、今後のごみの減量や資源化についての計画(新潟市一般廃棄物処理基本計画)を策定するにあたり、基礎資料として活用するために、市民の皆さまのごみの分別や減量などについて伺うものです。

この調査は、新潟市内にお住まいの満18歳以上の方の中から無作為抽出した4,000人の方を対象に実施します。

お伺いした内容はプライバシーに配慮し、コンピューターで統計的に処理しますので、個人のお名前、ご住所などが公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査票にご記入のうえ、同封した返信用封筒で 平成30年10月12日(金)まで にご投函いただきますようお願いいたします。

平成30年9月28日

新潟市長 篠田 昭

### ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、必ずあて名のご本人がご記入ください。  
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません)
2. 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。  
該当者にだけお答えいただく質問については、案内に沿ってお答えください。
3. 調査対象者は、無作為で抽出しているため、あて名ご本人の様子がわかりません。万一、ご病気などでお答えいただけない場合は、回答の必要はございません。
4. 調査についてご不明な点などがございましたら、下記にお問い合わせください。

新潟市 環境部 廃棄物政策課 電話025-226-1391 (直通)

### ご記入が終わりましたら

◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて平成30年10月12日(金)までにご投函ください。切手を貼る必要、お名前を記入する必要はありません。



問2 生ごみの約8割は「水分」と言われています。

あなたは生ごみの水分を減らすために、工夫していることがありますか。

(複数回答可)

- 1 三角コーナーで水を切っている
- 2 手でしぼっている
- 3 風に当てるなど自然乾燥させている
- 4 電動式生ごみ処理機などの機械を使って乾燥させている
- 5 工夫していることはない
- 6 その他 ( )

問3 あなたは、 プラマーク容器包装をどのように処分していますか。

- 1 「プラマーク容器包装 (週1回)」として出すことが多い (主なもの1つに○)
- 2 「燃やすごみ (週3回)」として出すことが多い
- 3 食品トレーはスーパーマーケットなどの店頭回収に出すことが多い
- 4 その他 ( )

問4 あなたは、「雑がみ\*」をどのように処分していますか。(主なもの1つに○)

- 1 「古紙類 (月2回)」として出すことが多い
- 2 「燃やすごみ (週3回)」として出すことが多い
- 3 スーパーマーケットなどの店頭回収に出すことが多い
- 4 自治会・町内会の回収に出すことが多い
- 5 その他 ( )

★「雑がみ」とは

新聞、雑誌類、段ボール、紙パック以外のリサイクルできる紙のことです。


(例：ティッシュ箱や菓子箱、包装紙、紙袋、はがきなど)

※以下のものは雑がみでは出せません！

- ・防水加工された紙
- ・汚れた紙
- ・カーボン紙 (宅配便の伝票など)
- ・感熱紙 (レシートなど)
- ・圧着はがき
- ・アルミ加工紙
- ・ティッシュペーパー
- ・写真や写真プリント用紙
- ・ビニールコーティングされた紙
- ・においのついた紙

(問4で1と回答した方に質問します。)

問4-1 あなたは雑がみを「古紙類 (月2回)」として出すとき、どのようなことに気を付けていましたか。(複数回答可)

- 1 汚れているものは出さないようにしていた
- 2 大部分が紙でできているものを出していた
- 3 臭いがついたもの (洗剤や化粧品の箱など) は出さないようにしていた
- 4 加工されているもの (防水加工やアルミ加工がされているもの) は出さないようにしていた
- 5 紙製容器包装識別マーク  を確認して出していた
- 6 その他 ( )

問5 あなたは枝葉・草をどのように処分していますか。(主なもの1つに○)

- 1 「枝葉・草(週1回)」として出すことが多い
- 2 「燃やすごみ(週3回)」として出すことが多い
- 3 ごみ処理施設に持ち込むことが多い
- 4 自宅の敷地内で処分することが多い
- 5 枝葉・草は出したことがない

(問5で1と回答した方に質問します。)

問5-1 枝葉・草のうち「枝葉」の分別収集の利用回数はどれくらいですか。

(近いもの1つに○)

- 1 1週間に1回程度
- 2 1か月に1回程度
- 3 3か月に1回程度
- 4 半年に1回程度
- 5 1年に1回程度

(問5で1と回答した方に質問します。)

問5-2 枝葉・草のうち「草」の分別収集の利用回数はどれくらいですか。

(近いもの1つに○)

- 1 1週間に1回程度
- 2 1か月に1回程度
- 3 3か月に1回程度
- 4 半年に1回程度
- 5 1年に1回程度

問6 あなたは市が実施している「使用済小型家電拠点回収事業\*」を利用したことがありますか。(○は1つ)

- 1 利用したことがある
- 2 利用したことはないが、市が小型家電を回収していることは知っていた
- 3 利用したことはないし、市が小型家電を回収していることも知らなかった

★「小型家電回収事業」とは

ごみの減量を図るとともに、有用な金属資源を回収して国内で再利用するため、不用になった携帯電話やパソコンなどの「小型家電」を回収ボックスや拠点の窓口で回収している事業で

(問6で2と回答した方に質問します。)

問6-1 あなたが「使用済小型家電拠点回収事業」を利用しなかった理由は何ですか。

- 1 処分する機会がなかったから (複数回答可)
- 2 「燃やさないごみ」として処分していたから
- 3 家電量販店などの店頭回収に出していたから
- 4 リユースショップに持って行ったから(フリーマーケットアプリなどを含む)
- 5 利用方法が分からなかったから
- 6 回収拠点まで持って行くのが面倒だから
- 7 特に理由はない
- 8 その他 ( )



## 【2】 情報入手について

問7 市が発信しているごみやりサイクルの情報をどのような手段で入手していますか。  
(複数回答可)

- 1 資源とごみの情報紙「サイチョプレス」
- 2 「サイチョのごみ分別アプリ★」
- 3 市ホームページ
- 4 ごみ分別カレンダー
- 5 市報にいがた
- 6 市のパンフレットやチラシ
- 7 家族や知人の話
- 8 市の情報は入手していない、わからない
- 9 その他 ( )



サイチョプレス

★「サイチョのごみ分別アプリ」とは

スマートフォンなどで、ごみの分別方法や出し方を調べられるアプリケーション(無料)です。  
「新潟 ごみ アプリ」で検索して、ダウンロードできます。

(問7で2と回答した方に質問します。)

問7-1 「サイチョのごみ分別アプリ」を使ってみてどうですか。(〇は1つ)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1 たいへん使いやすい     | 2 まあまあ使いやすい    |
| 3 あまり使いやすいと思わない | 4 全く使いやすいと思わない |
| 5 わからない         |                |

問8 ごみの分別はどのように確認していますか。(複数回答可)

- 1 「ごみの分け方・出し方」(紙)を見る
- 2 「ごみ分別百科事典」(冊子)を見る
- 3 「サイチョのごみ分別アプリ」で検索する
- 4 「サイチョDEサーチ★」を使って検索する
- 5 市ホームページを見る
- 6 家族や知人に聞く
- 7 市役所・区役所に問い合わせる
- 8 調べたり問い合わせたりしない
- 9 その他 ( )



ごみの分け方・出し方 ごみ分別百科事典

★「サイチョDEサーチ」とは

ごみの分別・出し方をパソコンやスマートフォンから検索できるサービスです。

### 【3】 3R（スリーアール）意識について

問9 「3R（スリーアール）＊」という言葉や意味を知っていましたか。（○は1つ）

- 1 言葉も意味も知っていた
- 2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- 3 言葉も意味も知らなかった

★「3R（スリーアール）」とは

以下の3つの英語の頭文字をとった言葉で、この優先順位で廃棄物の削減に努めるのがよいという考え方です。

- ④ リデュース（Reduce：発生抑制）  
不必要な物は買わない、物を大切に使うなど、ごみを減らすことです。
- ⑤ リユース（Reuse：再使用）  
いらなくなった物を譲り合うなど、使えるものは繰り返し使うことです。
- ⑥ リサイクル（Recycle：再生利用）  
ごみを正しく分別して、資源として再生利用することです。

問10 ごみを減らす（リデュース）ために、あなたがらだん行っていることは何ですか。（複数回答可）

- 1 必要なものだけを買うようにしている
- 2 繰り返し使える製品や詰替え製品を買っている
- 3 壊れにくく、長持ちする製品を買っている
- 4 マイバッグを持参するなどし、レジ袋や紙袋をもらわないようにしている
- 5 マイ箸やマイボトルを持参するなど、使い捨ての食器類や容器を使わないようにしている
- 6 特に何もしていない
- 7 その他（ ）

問11 あなたは買い物の際にレジ袋をもらっていますか？（○は1つ）

- 1 いつももらっている
- 2 もらう時もあるが、もらわない時もある
- 3 いつももらわない

**（問11で1、2と回答した方に質問します。）**

問11-1 あなたがレジ袋をもらう理由は何ですか。（複数回答可）

- 1 マイバッグを忘れたから
- 2 たくさん買い物をして、袋に入れる必要があるから
- 3 レジ袋が無料でもらえるから
- 4 マイバッグ持参による特典（割引やポイント付与など）がないから
- 5 レジ袋をごみ袋として利用しているので、ごみ袋が必要だから
- 6 マイバッグを持参するのが面倒だから
- 7 マイバッグを持っていないから
- 8 特に理由はない
- 9 その他（ ）



**(問 13で1と回答した方に質問します。)**

問 13-2 あなたが、「手つかず食品」を出してしまう理由は何ですか。(複数回答可)

- 1 買ったことを忘れたまま、期限が切れてしまうことがあるから
- 2 安売りなどで必要以上の食品を買い、食べきれないことがあるから
- 3 家にある食品と同じものを買って、食べきれないことがあるから
- 4 特に理由はない
- 5 その他 ( )

問 14 あなたは、「賞味期限\*」と「消費期限\*」の意味の違いを知っていましたか。

(○は1つ)

- 1 意味の違いを知っていた
- 2 言葉は聞いたことはあるが、意味の違いまでは知らなかった
- 3 言葉も意味の違いも知らなかった

★「賞味期限」「消費期限」とは

➤ 「賞味期限」

袋や容器を開けないままで、表示された保存方法を守って保存していた場合に、この「年月日」まで、「品質が変わらずにおいしく食べられる期限」のこと

➤ 「消費期限」

袋や容器を開けないままで、表示された保存方法を守って保存していた場合に、この「年月日」まで、「安全に食べられる期限」のこと

問 15 あなたは、ふだん「賞味期限」が切れた食品をどうしていますか。(複数回答可)

- 1 「賞味期限」が切れてからある程度の期間であれば、そのまま食べている
- 2 火を通すなど、加熱してから食べている
- 3 においや色、味などを確認してから食べるか捨てるか判断している
- 4 食べないで捨てている
- 5 食品は「賞味期限」内に使い切っている
- 6 その他 ( )

問 16 「食品ロス」を出さないために、あなたがふだん行っていることは何ですか。

(複数回答可)

- 1 食品を必要な分だけ買っている
- 2 できるだけ食材を使い切る調理をしている
- 3 「賞味期限」「消費期限」の近い食品を早めに使っている
- 4 食べきれ的分だけ料理を作っている
- 5 残った食材を別の料理に利用している
- 6 出された料理を食べきっている
- 7 外食の際は食べきれる量を注文している
- 8 特に何もしていない
- 9 その他 ( )

問 17 あなたは、宴席など会食の際に食べ残しが発生する原因は何だと思えますか。

(〇は1つ)

- 1 料理の量が多すぎる
- 2 嫌いな料理・食べられない料理がある
- 3 お酌や会話などで料理を食べる時間が少ない
- 4 食べ残しについて特に気にしていない
- 5 その他 ( )

#### 【5】 燃やすごみの収集について

問 18 あなたは、ふだん燃やすごみを何回出していますか。(〇は1つ)

- 1 週1回
- 2 週2回
- 3 週2回だが、夏場は週3回
- 4 週3回
- 5 わからない
- 6 その他 ( )

**(問18で3、4と回答した方に質問します。)**

問 18-1 あなたが燃やすごみを週3回出す理由は何ですか。(主なもの1つに〇)

- 1 生ごみの臭いや腐敗が気になるので、すぐに捨てたいから
- 2 自宅に燃やすごみをためておく場所がないから
- 3 ごみの量が多いから
- 4 週3回出すものだと思っているから
- 5 特に理由はない
- 6 その他 ( )

**【6】 市のごみ処理施設へのごみの持ち込みについて**

問 19 家庭系ごみは、10kg までごとに 60 円の手数料で、自分で市の処理施設に持ち込むことができます。

あなたは、ごみを自分で市の処理施設に持ち込んだことはありますか。

(複数回答可)

- 1 燃やすごみを持ち込んだことがある
- 2 燃やさないごみを持ち込んだことがある
- 3 粗大ごみを持ち込んだことがある
- 4 処理施設に持ち込んだことはない

**(問 19 で 1、2 と回答した方に質問します。)**

問 19-1 あなたが燃やすごみ又は燃やさないごみを自分で市の処理施設に持ち込んだ理由は何ですか。(複数回答可)

- 1 ごみ集積場に出すのが面倒だから
- 2 ごみが大量に出たから
- 3 ごみを収集日に出し忘れたから
- 4 ごみ収集の時間に間に合わないから
- 5 自分の出したいときに出すことができるから
- 6 処理施設が近くにあるから
- 7 その他 ( )

**(問 19 で 3 と回答した方に質問します。)**

問 19-2 あなたが粗大ごみを自分で処理施設に持ち込んだ理由は何ですか。

(複数回答可)

- 1 粗大ごみ処理券の購入、収集の申込をするのが面倒だから
- 2 ごみが大量に出たから
- 3 自分の出したいときに出すことができるから
- 4 粗大ごみ処理券を購入するより安くなると思うから
- 5 粗大ごみは施設に持ち込むものだと思っているから
- 6 処理施設が近くにあるから
- 7 その他 ( )

**(問 19 で 1、2、3 と回答した方に質問します。)**

問 19-3 市の処理施設へのごみの持ち込みの利用回数はどれくらいですか。

(近いもの 1 つに○)

- 1 1 週間に 1 回程度
- 2 1 か月に 1 回程度
- 3 半年に 1 回程度
- 4 1 年間に 1 回程度
- 5 その他 ( )

## 【7】 家庭ごみ処理手数料（有料指定袋）収入の使途について

問 20 家庭ごみの有料指定袋による収入は、ごみの収集運搬経費や処理経費ではなく、「資源循環型社会促進策」「地球温暖化対策」「地域コミュニティ活動の振興」の3本柱に資する事業に充てられています。

ごみ処理手数料収入の活用について、どう思いますか。（○は1つ）

- 1 今後も3本柱の事業に活用した方がいい
- 2 ごみの収集運搬経費や処理経費に充てた方がいい
- 3 1、2以外の他の事業に活用した方がいい
- 4 わからない

【参考】現在活用している事業（3本柱）

<Ⅰ 資源循環型社会促進策>

①分別意識の向上と啓発

（ごみ分別アプリの普及、情報紙サイチョプレス発行など）

②クリーンにいがた推進員育成事業

③ごみ集積場設置等補助金

④地域清掃等への助成

⑤不法投棄・違反ごみ対策（監視カメラの設置、不法投棄物の処理など）

⑥古紙資源化の一層の推進（集団資源回収奨励金、古紙拠点回収費など）

⑦家庭系生ごみ減量化の推進

（電動生ごみ処理機購入費補助、乾燥生ごみ拠点回収など）

⑧古布・古着の拠点回収費

<Ⅱ 地球温暖化対策>

⑨環境教育・環境学習に対する支援（環境教育副読本の作製など）

⑩バイオマス利活用（廃食用油の回収）

⑪にいがた未来ポイント事業

⑫防犯灯設置補助金

<Ⅲ 地域コミュニティ活動の振興>

⑬ごみ出し支援（高齢者・障がい者等への支援活動費助成）

⑭地域活動への支援（地域活動補助金）

【8】 地域と協働で取り組む美化活動について

問 21 市では現在のごみ減量制度を市民と協働して円滑に運営するため、「クリーンにいがた推進員★」制度を設けています。あなたは「クリーンにいがた推進員」をご存知ですか。（〇は1つ）

- 1 名前も活動も知っている
- 2 名前は知っているが、活動内容は知らない
- 3 名前も活動も知らない

★「クリーンにいがた推進員」とは

ごみ集積場での分別の声掛け、回覧板等を使った周知や地域清掃活動など、ごみ出しルールの啓発や環境美化をすすめるため、お住まいの地域で活動する方々です。

問 22 昨年、延べ15万人以上の市民の方がボランティアで自治会・町内会をはじめとする様々な清掃活動に参加されましたが、あなたは年間どの程度参加したことがありますか。 (〇は1つ)

- 1 年間2回以上参加した
- 2 年間1回参加した
- 3 参加したことがない

【9】 自由意見（その他ごみの減量・資源化などについてご意見がありましたら、具体的にご記入ください。）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



新潟市ごみ減量推進キャラクター





平成 30 年度  
家庭ごみに関する市民意識アンケート調査  
結果報告書

発 行 平成 30 年 12 月

調査主体 新潟市 環境部 廃棄物政策課